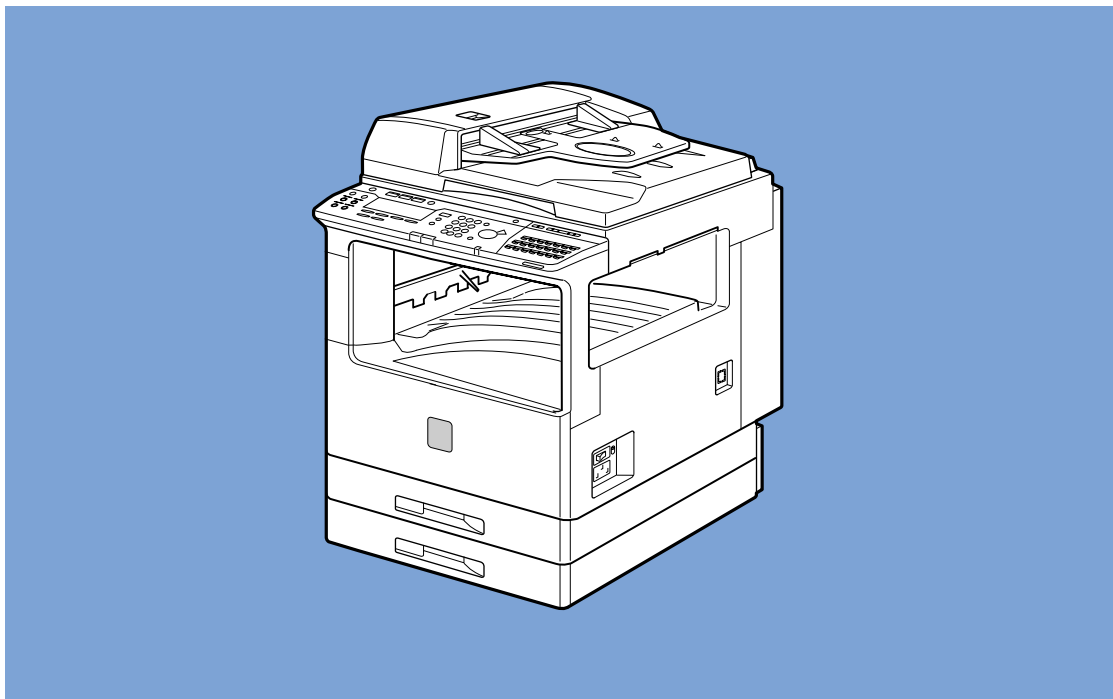


取扱説明書（ファクス編）

OFISTAR B5000



このたびは、OFISTAR B5000をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手元においてください。

取扱説明書の分冊構成について

本商品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本商品を十分にご活用ください。

基本的な使いかたを知るには 困ったときには	▶▶	OFISTAR B5000 取扱説明書 (ユーザーズ編)
コピーの基本的な使いかたを知るには コピーの便利な使いかたを知るには	▶▶	OFISTAR B5000 取扱説明書 (コピー編)
ファクスの基本的な使いかたを知るには ファクスの便利な使いかたを知るには	▶▶	OFISTAR B5000 取扱説明書 (ファクス編) (本書)
リモート UI ^{*1} の使いかたを知るには	▶▶	LAN 接続ユニット取扱説明書 (リモート UI 編)
プリンタ機能の使いかたを知るには	▶▶	PC プリンタユニット取扱説明書 (プリンタ編)
プリンタドライバをインストールするには ファクスドライバをインストールするには	▶▶	PC プリンタユニット取扱説明書 (ソフトウェア編)
ネットワークとの接続や設定をするには	▶▶	LAN 接続ユニット取扱説明書 (ネットワーク編)
G4 ファクスとして利用するには	▶▶	G4 通信ユニット取扱説明書
Iファクス ^{*2} の基本的な使いかたを知るには Iファクスの便利な使いかたを知るには	▶▶	LAN 接続ユニット取扱説明書 (インターネットファクス編)

*1：パソコンの Web ブラウザで本商品の状況を確認したり、各種の設定を行うことができる機能です。

*2：インターネットファクスを本書では「Iファクス」と略しています。



OFISTAR B5000 取扱説明書（ファクス編）の構成について

第 1 章	お使いになる前に	必ずお読みください	1
第 2 章	基本的なファクスの使いかた		2
第 3 章	便利な機能でファクスを有効に使う		3
第 4 章	ファクスの状況を確認／変更する		4
第 5 章	使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する		5
第 6 章	増設 G3 通信ユニットを使う（オプション）		6
第 7 章	困ったときには		7
第 8 章	付録		8

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	viii
本書中のマーク説明	viii
本書の読みかた	viii
ボタンの表記について	viii

第 1 章 お使いになる前に

こんなことができます	1-2
操作パネルの名称とはたらき	1-4
ワンタッチダイヤルパネルを閉じた状態	1-4
ワンタッチダイヤルパネルを 3 枚開いた状態	1-6
ご利用前に必要なこと	1-7
電話回線 / ハンドセット / 外付け電話機の接続	1-7
回線種別の登録	1-9
発信元記録の登録	1-9

第 2 章 基本的なファクスの使いかた

送信操作の流れ	2-2
原稿にあわせて解像度・濃度・画質を調節する	2-5
送信のしかたを選択する	2-8
本などの原稿を送信する（ブック送信）	2-8
原稿を読み込んでから送信する（メモリ送信）	2-10
原稿を読み込みながら送信する（ダイレクト送信）	2-11
通話してから送信する（手動送信）	2-12
送信済み / 読み取り済みの原稿にスタンプをつける	2-14
いろいろなダイヤルのしかた	2-16
テンキーで指定する	2-16
リダイヤルで指定する	2-18
リダイヤル待機中の原稿を確認する	2-18
もう一度同じ相手を呼び出す場合は（手動リダイヤル）	2-19
ECM 方式での通信について	2-19
ワンタッチ宛先で指定する	2-20
短縮ダイヤルで指定する	2-21
複数の相手先を指定する	2-22
電話帳から指定する	2-23

アクセスコードで指定する	2-25
ファクスの受信について	2-26
受信モードについて	2-26
プリントする用紙について	2-28
受信した時の状態	2-30
自動で受信する	2-31
手動で受信する	2-31
ブッシュホンサービスを利用する	2-33
F ネットを利用する	2-34
F ネットのおもなサービス	2-34
F ネットで同報通信する	2-35
F ネットで情報を取り出す	2-36

第3章 便利な機能でファクスを有効に使う

複数の相手に同じ文書を送信する（同報送信）	3-2
マルチ通信結果レポートをプリントするには	3-3
時刻を指定して送信する（タイマー通信）	3-4
タイマー通信の予約の確認と解除	3-5
送信操作途中の時刻設定	3-6
相手先にセットされている原稿を受信する（ポーリング受信）	3-7
ポーリング受信時のFコードとパスワードの設定	3-9
メモリボックスを利用する（メモリボックス）	3-11
メモリボックスに原稿を読み込む	3-11
メモリボックス内の文書をプリント／削除する	3-13
メモリボックスの種類と使いかた	3-16
親展ボックスの使いかた	3-16
中継ボックスの使いかた	3-17
ポーリングボックスの使いかた（ポーリング送信）	3-18
転送ボックスの使いかた	3-19
Fコードを使って通信する（Fコード）	3-20
Fコードをつけて文書を送信する	3-20
Fコードつきの文書をポーリング受信する	3-23
発信人名称をつけて送信する（発信人名称）	3-25
受信モードを変更する（受信モード）	3-26
回線を選択して送信する（オプション）（回線選択）	3-27

第4章 ファクスの状況を確認／変更する

送信文書の状況を確認／変更する	4-2
-----------------------	-----

送信を中止する	4-2
リダイヤル待機中やメモリ送信待機中の原稿送信を中止する場合	4-3
原稿リストをプリントする	4-4
[レポート] を押してプリントする	4-4
[メモリ照会] を押してプリントする	4-4
送信文書または通信結果の詳細情報を確認する	4-5
送信エラー文書を再送信する	4-6
送信文書の宛先を変更する	4-7
受信文書の状況を確認する	4-9
メモリ内の受信文書を消去する	4-9
受信文書の詳細情報を確認する	4-10
親展ボックスリストをプリントする	4-10
通信管理レポートをプリントする	4-12

第5章 使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

ファクス仕様設定・宛先登録一覧表	5-3
基本的な登録をする	5-7
ユーザ電話番号を登録する	5-7
受信モードを設定する	5-9
ダイヤルインサービスを設定する	5-10
電話回線の種類を選択する	5-11
送受信のスタートスピードを設定する	5-13
会社や部署の名称を登録する（ユーザ略称）	5-14
発信人名称を登録する	5-15
送信する文書に発信元記録をつける	5-18
送出電話番号を設定する	5-20
原稿を読み取るときの基準濃度を設定する	5-21
面倒な設定を簡単にする（プログラムワンタッチキー設定）	5-23
プログラムワンタッチキーに設定できる機能	5-23
プログラムワンタッチキーの設定	5-24
オフフックアラームを鳴らす	5-26
宛先を登録する	5-27
ワンタッチ宛先・短縮宛先を登録する	5-27
ワンタッチ宛先・短縮宛先の詳細設定をする	5-31
グループダイヤルを登録する	5-36
通信レポート出力の設定をする	5-41
送信結果レポートの自動出力を設定する	5-41
受信結果レポートの自動出力を設定する	5-43
親展受信レポートの自動出力を設定する	5-44
通信管理レポートの自動出力を設定する	5-45
送信機能について登録する	5-48

ECM 送信を設定する	5-48
ポーズキーの時間を設定する	5-50
自動リダイヤルを設定する	5-51
エラー文書の自動消去を設定する	5-54
ダイヤルタイムアウト機能を設定する	5-55
済スタンプの条件を設定する	5-56
回転送信を設定する	5-57
受信機能について設定する	5-58
ECM 受信を設定する	5-58
受信モードを設定する	5-60
着信時の呼び出し音を設定する	5-63
自動受信へ切り替えるように設定する	5-64
リモート受信を設定する	5-65
受信情報記録のプリントを設定する	5-67
2 in 1 記録を設定する	5-68
受信文書のプリントについて設定する	5-70
受信文書のプリント部数を設定する	5-70
受信文書のプリント方法を設定する	5-71
受信文書を縮小してプリントする	5-73
トナー不足時のプリント継続/中止の設定をする	5-76
メモリ管理について設定する	5-77
親展ボックスを設定する	5-77
親展ボックスを作成する	5-78
親展ボックスの設定内容を変更する	5-82
親展ボックスを取り消す	5-84
中継ボックスを設定する	5-86
中継ボックスを作成する	5-87
中継ボックスの設定内容を変更する	5-95
中継ボックスを取り消す	5-97
定時ポーリングを設定する	5-98
定時ポーリングを作成する	5-99
定時ポーリングの設定内容を変更する	5-104
定時ポーリングを取り消す	5-105
ポーリングボックスの設定	5-107
ポーリングボックスを作成する	5-108
ポーリングボックスの設定内容を変更する	5-112
ポーリングボックスを取り消す	5-113
受信した文書を自動転送する	5-115
転送ボックスを作成する	5-116
転送ボックスの設定内容を変更する	5-122
転送ボックスを取り消す	5-124
システム管理について設定する	5-126
メモリで受信する (メモリ受信)	5-126

指定時間外にメモリ受信を ON/OFF する	5-132
メモリ受信した原稿をプリントする	5-133
受信パスワードを設定する	5-133
通信時に相手先を確認する	5-134
標準モードを変更する	5-136
アクセスコードを設定する	5-140
F ネット無鳴動着信を設定する	5-142
FIS スイッチを設定する	5-143
登録・設定した内容をプリントする	5-145

第 6 章 増設 G3 通信ユニットを使う (オプション)

2 つの電話回線を接続する	6-2
回線 2 の基本的な登録をする	6-3
回線 2 のユーザ電話番号を登録する	6-3
回線 2 の電話回線の種類を選択する	6-5
回線 2 の送受信スタートスピードを設定する	6-7
送信回線を選択する	6-8
回線 2 で送信する	6-10
送信中止について	6-11
回線 2 で受信する	6-12
受信中止について	6-12

第 7 章 困ったときには

トラブルが発生したら	7-2
ファクス送信でのトラブル	7-2
ファクス受信でのトラブル	7-5
その他のトラブル	7-8
エラー表示	7-9
Q & A	7-12

第 8 章 付録

レポートサンプル	8-2
ワンタッチ宛先リスト 1 (一覧表示)	8-2
ワンタッチ宛先リスト 2 (詳細表示)	8-3
短縮宛先リスト 1 (一覧表示)	8-4
短縮宛先リスト 2 (詳細表示)	8-4
グループ宛先リスト	8-5
アクセスコードリスト	8-5
ユーザデータリスト	8-6

通信管理レポート	8-7
送(受)信結果レポート	8-8
エラー送信レポート	8-9
親展受信レポート	8-9
マルチ通信結果レポート	8-10
中継同報結果レポート	8-10
親展ボックスリスト	8-10
原稿リスト	8-11
メモリクリアリスト	8-11
索引	8-12





安全にお使いいただくために 必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店で求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 重要	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 メモ	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

本書の読みかた

ボタンの表記について

本書では、ボタン名称を以下のように表しています。

- 操作パネル上のボタン……………[スタート]
- ディスプレイ上のボタン……………[濃度] (F3)

1

CHAPTER

お使いになる前に

本商品を使ってできること、ご利用の前に知っていただきたいことについて説明します。

こんなことができます	1-2
操作パネルの名称とはたらき	1-4
ワンタッチダイヤルパネルを閉じた状態	1-4
ワンタッチダイヤルパネルを3枚開いた状態	1-6
ご利用前に必要なこと	1-7
電話回線 / ハンドセット / 外付け電話機の接続	1-7
回線種別の登録	1-9
発信元記録の登録	1-9

こんなことができます

本商品には、通常の手送受信だけでなく利用目的に合わせてさまざまな機能があります。

■ いろいろなファクス

- 原稿にあわせて解像度・濃度・画質を選べます。(→原稿にあわせて解像度・濃度・画質を調節する：P.2-5)
- 送信のしかた(メモリ送信・ダイレクト送信・手動送信)を選べます。(→送信のしかたを選択する：P.2-8)
- 受信のしかた(自動・手動)を選べます。(→ファクスの受信について：P.2-26)
- 自動的にファクス送信する時刻を指定できます。(→時刻を指定して送信する(タイマー通信)：P.3-4)
- メモリに読み込んだ原稿をファクス送信しながら自動受信文書をプリントするなど、いくつかのジョブを並行して処理することができます。いま行っているジョブが終わるのを待たずに次のジョブが始められます。

■ 操作の簡略化

- 63件までの宛先が登録できるワンタッチダイヤルに電話番号を登録しておけば、ファクス送信のときにボタンを1つ押すだけで、宛先を指定できます。
3桁の数字で137件までの宛先を指定できる短縮ダイヤル機能、登録した宛先を複数組み合わせたグループダイヤル機能、通信相手の略称でファクス番号を検索できる電話帳機能もあります。(→いろいろなダイヤルのしかた：P.2-16)、(→複数の相手に同じ文書を送信する(同報送信)：P.3-2)、(→宛先を登録する：P.5-27)
- アクセスコードにより任意の番号で電話番号を代用できます。相手先の支店コードや部課コードなどを電話番号代わりに使用できます。(→アクセスコードで指定する：P.2-25)
- プログラムワンタッチキーによく使う機能を登録して、操作を簡略化できます。(→面倒な設定を簡単にする(プログラムワンタッチキー設定)：P.5-23)

■ 各種サービスの利用

- プッシュホンサービスを利用できます。(→プッシュホンサービスを利用する：P.2-33)
- Fネットのサービスを利用できます。(→Fネットを利用する：P.2-34)

■ 効率的な情報提供と機密性の保持

- メモリボックス(親展・中継・ポーリング・転送)を使って、効率的な情報提供、機密性の保持を図れます。(→メモリボックスの種類と使いかた：P.3-16)
- ITU-T規格のFコードとパスワードを指定して機密性の高い送受信を行えます。(→Fコードを使って通信する(Fコード)：P.3-20)、(→メモリ管理について設定する：P.5-77)

■ 送受信登録内容の確認

- いま処理中の送信文書とこれから処理する送信文書の一覧は、操作パネルの[コピー／ファクス状況] を押すだけですぐに確認できます。(→送信文書または通信結果の詳細情報を確認する：P.4-5)
- 各種レポートをプリントできます。(→通信レポート出力の設定をする：P.5-41)、(→登録・設定した内容をプリントする：P.5-145)

■ オプションによる機能拡張

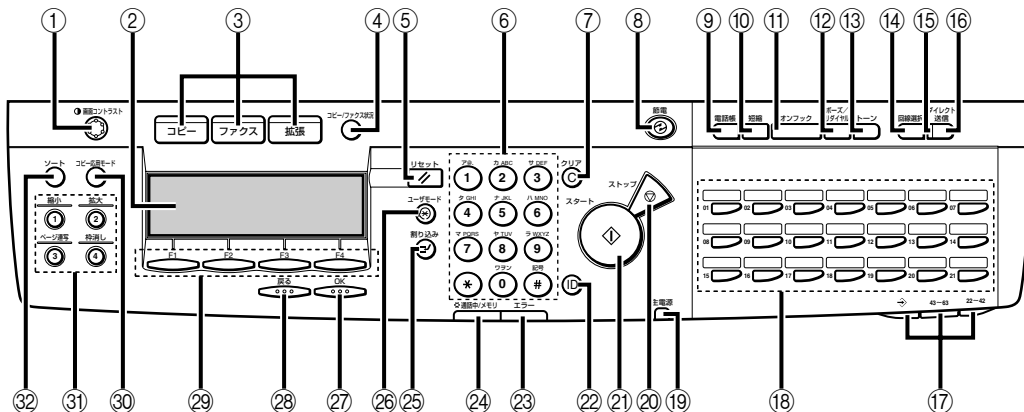
- 宛先にメールアドレスを指定すれば、ファクスと同じような操作で原稿をメールとして送信できます。原稿はメールに画像ファイルとして添付されるので、パソコンの画面上で内容を確認できます。(→ LAN 接続ユニット取扱説明書 (インターネットファクス編))
- オプションの増設 G3 通信ユニットの設置により、送信専用、受信専用の回線を設定できます。(→増設 G3 通信ユニットを使う (オプション)：P.6-1)
- オプションのG4通信ユニットの装着により、G3モードより高速なファクス送信が行えます。また、i・ナンバーサービス、サブアドレス通信も可能です。(→ G4 通信ユニット取扱説明書)

操作パネルの名称とはたらき

1

ワンタッチダイヤルパネルを閉じた状態

お使いになる前に



① 画面コントラストダイヤル

回転させてディスプレイの明るさを調整します。

② ディスプレイ

コピー機能やファクス機能の基本画面、各種設定画面が表示されます。

③ コピー／ファクス／拡張

本商品の機能を切り替えるときに押します。

④ コピー／ファクス状況

コピーやファクスの状況をディスプレイに表示するときに押します。

⑤ リセット

各種設定画面から基本画面に戻るときや、読み込み動作、ファクスの送信を止めるときに押します。

⑥ テンキー

数字や文字を入力するときに押します。

⑦ クリア

入力した数字や文字を取り消すときに押します。

⑧ 節電

節電モードにするとき／解除するときに押します。節電モード中は、[節電]と主電源ランプのみが点灯し、その他は消灯します。

⑨ 電話帳

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録した相手先を検索してダイヤルするときに押します。

⑩ 短縮

短縮ダイヤルを使うときに押します。

⑪ オンフック

ファクス情報サービスなど、相手の応答を聞きながら送受信するときに押します。

⑫ ポーズ／リダイヤル

電話番号入力中はポーズ挿入、ファクス待機中はリダイヤルのボタンになります。

⑬ トーン

ダイヤル回線でトーン信号 (PB (プッシュ) 信号) を発信するときに押します。

⑭ 回線選択

回線を選択するときに押します。

⑮ ダイレクト送信ランプ

ダイレクト送信を選択したときに点灯します。

⑯ ダイレクト送信

ダイレクト送信するとき／解除するときに押します。

⑰ ワンタッチダイヤルパネル

ワンタッチダイヤル01～21を使うときは閉じておきます。ワンタッチダイヤル22～42を使うときは1枚開きます。ワンタッチダイヤル43～63を使うときは2枚開きます。ファクス機能ボタンを使うときは3枚開きます。

⑱ ワンタッチダイヤル

登録してある電話番号にダイヤルするときや登録してあるファクスモードの機能呼び出すときに押します。

⑲ 主電源ランプ

電源がONのときは点灯、OFFのときは消灯しています。

⑳ ストップ

各種設定画面から基本画面に戻るときや、読み込み動作、コピーの出力、ファクスの送信を止めるときに押します。

㉑ スタート

動作を開始するときに押します。

㉒ ID (暗証)

部門別ID管理を設定しているとき押します。

㉓ エラーランプ

本商品にトラブルが発生したときに点滅または点灯します。点滅の場合はディスプレイに表示されるメッセージに従ってトラブルの対処をしてください。点灯の場合は当社のサービス取扱所へ連絡してください。

㉔ 通話中／メモリーランプ

本商品が動作中は点滅、コピー動作中やメモリ内に文書があるときは点灯します。

㉕ 割り込み

割り込みコピーするときに押します。

㉖ ユーザーモード

仕様設定するときに押します。

㉗ OK

登録や設定の内容を確認／確定するときに押します。

㉘ 戻る

ひとつ前の画面に戻るときに押します。

㉙ ファンクションボタン (F1～F4)

画面に表示された機能に対応するボタンです。

㉚ コピー応用モード

コピー応用モードを設定するときに押します。コピー応用モードでは、ページ連写、とじ代、枠消し、縮小レイアウトを設定できます。

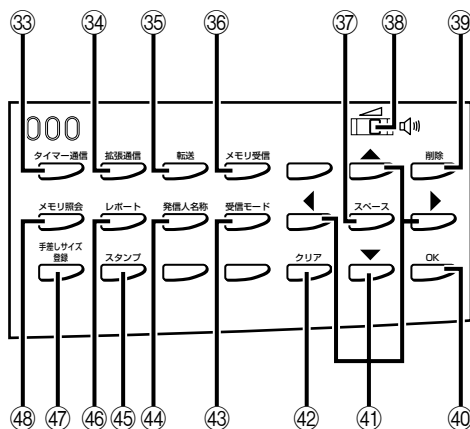
㉛ お好みキー 1～4

登録したお好みの機能を使うときに押します。お買い求め時の設定は、1：縮小、2：拡大、3：ページ連写、4：枠消しです。ユーザーモードのコピー仕様設定で登録内容を変更することができます。

㉜ ソート

ソートや回転を指定するときに押します。オプションのステーブルフィニッシャー装着時はステーブルソートも選択できます。

ワンタッチダイヤルパネルを 3 枚開いた状態



③③ タイマー通信

送信時刻を指定するときに押します。

③④ 拡張通信

拡張通信（ポーリング、親展、中継、F コード、パスワード、F ネット情報取出）を設定するときに押します。

③⑤ 転送

転送指示するとき、解除するときに押します。

③⑥ メモリ受信

メモリ受信機能を起動するとき／解除するときに押します。

③⑦ スペース

電話番号や文字の入力においてスペース（空白）を入れるときに押します。

③⑧ スピーカ音量スイッチ

左右にスライドさせてスピーカの音量を 4 段階で調節することができます。

③⑨ 削除

入力した文字を 1 文字削除するときに押します。

④① OK

登録／設定した内容を確定するときに押します。

④① ▲▼◀▶

項目を検索するときや設定内容を確認するときに押します。

④② クリア

登録／設定した内容を削除するときや、入力した電話番号／文字列をすべて削除するときに押します。

④③ 受信モード

受信モードを変更するときや留守モードにするときに押します。

④④ 発信人名称

発信人名称を切り替えるときに押します。

④⑤ スタンプ

原稿に送信済スタンプを印字するとき／解除するときに押します。

④⑥ レポート

通信関連のレポートやダイヤルリスト、ユーザデータリストなどを出力するときに押します。

④⑦ 手差しサイズ登録

手差しサイズを設定するときに押します。

④⑧ メモリ照会

メモリの内容を確認したり消去したりするときに押します。

ご利用前に必要なこと

設置工事は担当者（工事担任者資格を有する者）におまかせください。本商品をご使用にあたって、当社のレンタル電話機が不要になった場合は、当社へご連絡ください。ご連絡いただく日をもって「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番なしの116番（無料）または当社の営業所等へお問い合わせください。

本商品を設置後、ファクス操作を始める前に下記の項目を確認登録してください。

必要な接続や登録を正しく行わずにご利用になりますと、正しく機能しない場合があります。

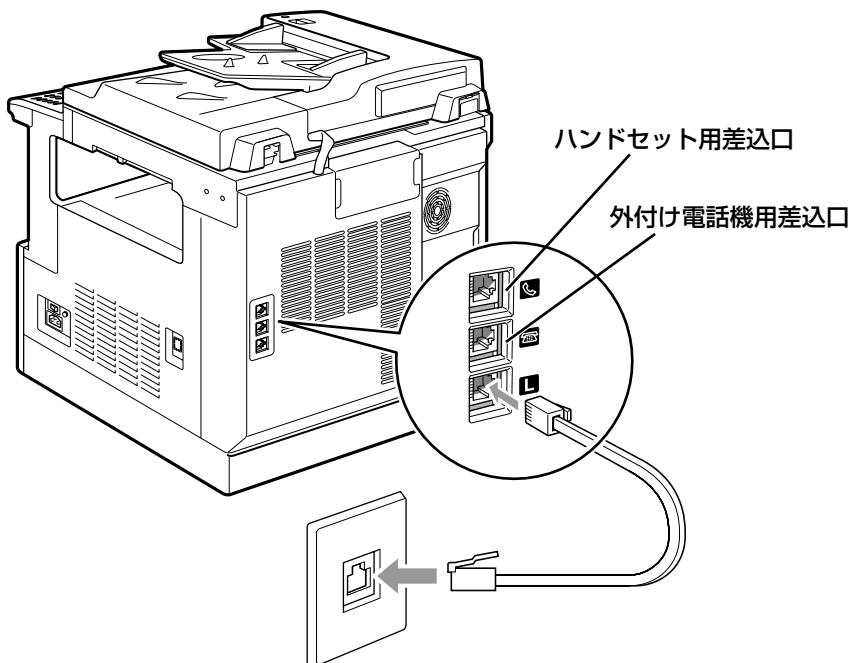
電話回線 / ハンドセット / 外付け電話機の接続

本商品をお使いになるときは、電話回線を接続してから電源を入れてください。必要に応じて、外付け電話機やオプションのハンドセットも取り付けてください。

- 📢 重要**
- 外付け電話機用差込口には、一般電話回線で利用する電話機を1台のみ接続することができます。それ以外の通信機器を接続しても、接続した通信機器が正常に動作しませんのでご注意ください。
 - 外付け電話機の種類によっては、ご使用になれない場合や、一部機能が利用できない場合があります。
 - 外付け電話機用差込口は、ナンバー・ディスプレイには対応していません。ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を接続する場合は、電話機のナンバー・ディスプレイ機能を利用しないように設定してください。

■ 接続方法

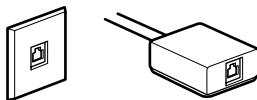
壁側のコンセントを確認してから、電話機コードを接続してください。



- **メモ**
 - ハンドセットは、ハンドセット用差込口に接続してください。
 - 外付け電話機は、外付け電話機用差込口に接続してください。

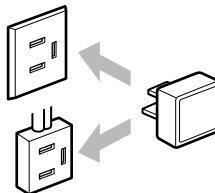
● モジュラ式差込口の場合は

- ▼ モジュラ式電話機プレートまたはモジュラジャックはそのままつなげます。「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



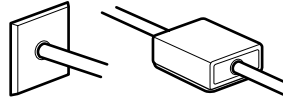
● 3ピンプラグ式コンセントの場合は

- ▼ 3ピンプラグ式コンセントの場合は市販の3ピンプラグ交換アダプタをお買い求めください。



● 直結配線コンセントの場合は

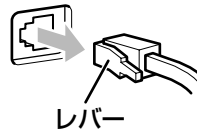
- ▼ モジュラ式差込口に变える必要があります。工事には資格が必要です。局番なしの116番（無料）または当社の営業所等にご相談ください。



メモ ● PBX をお使いの場合は当社のサービス取扱所にご相談ください。

■ モジュラジャックコードの引き抜き方

モジュラジャックのレバーを押さえながら引き抜いてください。



回線種別の登録

本商品に接続する電話回線の種類を選択します。

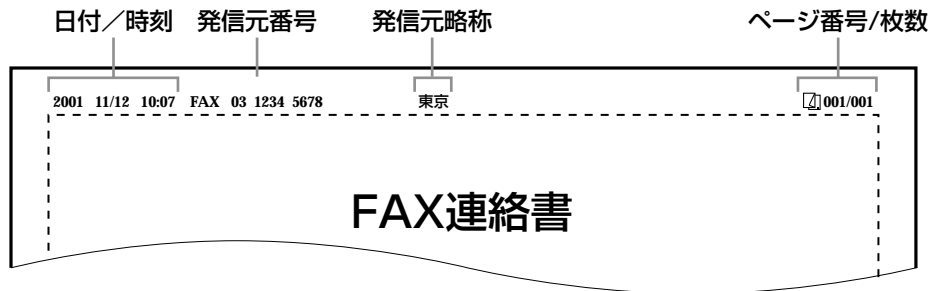
電話回線の種別は、当社とお客様の契約にもとづいて設定されています。ダイヤル回線（DP回線）かプッシュ回線（PB回線）かを確認して、正しい登録をしてください。（→電話回線の種類を選択する：P.5-11）

発信元記録の登録

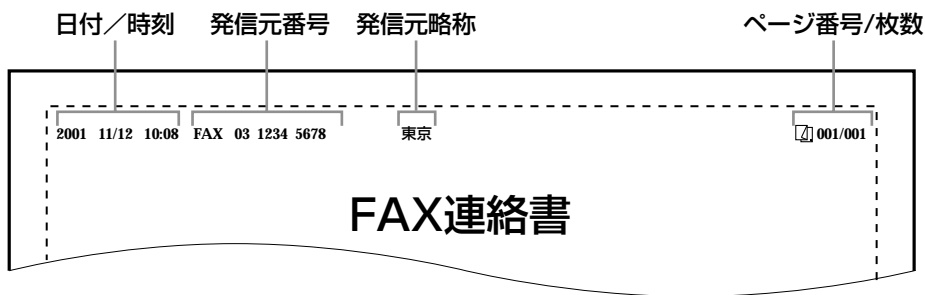
送信した相手の記録紙に印字される発信元情報を登録します。

登録された発信元記録は、以下のようにプリントされます。また、受信側の機種によっては、通信中の画面などに発信元記録が表示されます。

- 発信元記録の位置設定が「画像の外」の場合



- 発信元記録の位置設定が「画像の中」の場合



- **メモ** ● 発信元記録の各項目が登録されていても、発信元記録を印字しないように設定することができます。(→送信する文書に発信元記録をつける：P.5-18)
- 発信元記録を印字するように設定されていて、登録されていない項目がある場合、登録されている項目と原稿枚数が印字されます。

■ 日付/時刻 (→ユーザーズ編)

送信した日付と時刻が記録されます。

■ 発信元番号 (→ユーザー電話番号を登録する：P.5-7)

本商品の電話番号が記録されます。

■ 発信元略称 (→会社や部署の名称を登録する (ユーザー略称)：P.5-14)、(→発信人名称を登録する：P.5-15)

ユーザー略称や発信人名称に登録されている名称が記録されます。

■ ページ番号/枚数

何枚目の原稿か記録されます。


基本的なファクスの使いかた

基本的な送信、受信のしかたについて記載しています。

送信操作の流れ	2-2
原稿にあわせて解像度・濃度・画質を調節する	2-5
送信のしかたを選択する	2-8
本などの原稿を送信する（ブック送信）	2-8
原稿を読み込んでから送信する（メモリ送信）	2-10
原稿を読み込みながら送信する（ダイレクト送信）	2-11
通話してから送信する（手動送信）	2-12
送信済み／読み取り済みの原稿にスタンプをつける	2-14
いろいろなダイヤルのしかた	2-16
テンキーで指定する	2-16
リダイヤルで指定する	2-18
ワンタッチ宛先で指定する	2-20
短縮ダイヤルで指定する	2-21
複数の相手先を指定する	2-22
電話帳から指定する	2-23
アクセスコードで指定する	2-25
ファクスの受信について	2-26
受信モードについて	2-26
プリントする用紙について	2-28
受信した時の状態	2-30
自動で受信する	2-31
手動で受信する	2-31
プッシュホンサービスを利用する	2-33
F ネットを利用する	2-34
F ネットのおもなサービス	2-34
F ネットで同報通信する	2-35
F ネットで情報を取り出す	2-36

送信操作の流れ

ファクスを送信するときの基本的な操作の流れを説明します。

-  **メモ** • 以下の項目は、「ユーザーズ編」を参照してください。
- ・主電源と節電ボタンについて
 - ・日常のメンテナンス

2

基本的なファクスの使いかた

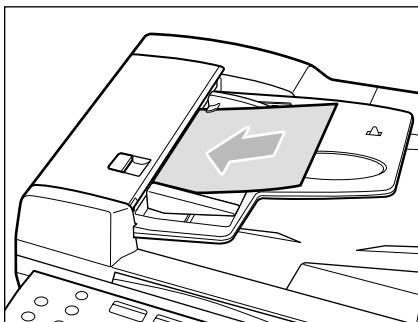
ファクス

1 [ファクス] を押します。

「部門 ID と暗証番号をテンキーで入力してください。」と表示された場合は、部門 ID と暗証番号を入力してください。(→ユーザーズ編)

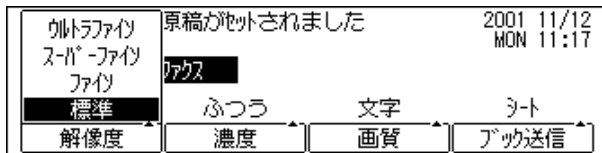
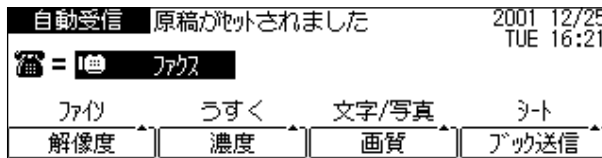
ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。

2 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたは、「ユーザーズ編」を参照してください。

3 ファクス基本画面（待機画面）で解像度、濃度、画質の設定、またはブック送信の設定をします。



- メモ** • 解像度、濃度、および画質を設定するには、「原稿にあわせて解像度・濃度・画質を調節する」(→ P.2-5)を参照してください。

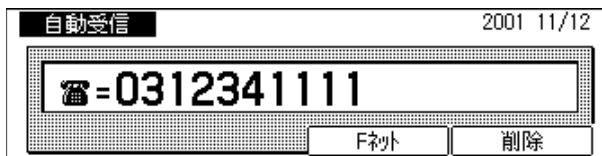
4 必要に応じて、ワンタッチダイヤルパネルを3枚開いて各機能ボタンを押すか、プログラムワンタッチキーを押して、モードを設定します。

あらかじめプログラムワンタッチキーに必要な機能を登録しておくことができます。(→面倒な設定を簡単にする(プログラムワンタッチキー設定): P.5-23)

5 相手先を指定します。

相手先を指定するには、「いろいろなダイヤルのしかた」(→ P.2-16)を参照してください。

他にも送信条件を設定するには、相手先を指定する前に設定してください。(→送信のしかたを選択する: P.2-8)(→第3章 便利な機能でファクスを有効に使う)



スタート



6 [スタート] を押します。

原稿の読み取りが開始されます。

 メモ

- 読み取りを中止するには、[ストップ] を押します。
- 先行するジョブがある場合は、原稿の読み込みをしたあと送信待機状態になり、順番がきたら送信を開始します。
- 原稿サイズは自動的に読み取られますが、受信側に読み取りサイズと同じ記録紙がセットされていない場合は、受信側の記録紙サイズに合わせて縮小または分割して送信することがあります。
- 通常はメモリ送信（画像をメモリに蓄積してから送信）します。[ダイレクト送信] を押して、1 枚ずつ送信することもできます。（→原稿を読み込みながら送信する（ダイレクト送信）：P.2-11）
- メモリに読み込めるファクス画像の枚数は、A4 サイズ 700 文字程度の原稿のとき、解像度「標準」で約 128 枚、「ウルトラファイン」で約 40 枚を読み込めます。オプションの増設メモリ を装着すると、最大約 1500 枚まで読み込むことができます。原稿の読み込み枚数は、送信する原稿および解像度によって異なります。
- 標準メモリと増設メモリを装着したときの読込可能枚数は標準原稿・標準モードでは同じですが、原稿が写真などの場合、標準メモリのみの場合は読込可能枚数が少なくなります。
- 原稿の読み込み途中でメモリがいっぱいになると、「メモリがいっぱいです」と表示されます。読み取り原稿がフィーダに残っているときは、[OK] を押して原稿を排出してください。読み込み中の原稿はすべて消去されてしまいます。メモリに読み込ませることのできる原稿の枚数は、メモリ内に記録されている原稿の量や読み込ませる原稿の画質などにより変わります。
- 送信結果の確認、および送信待ち文書の送信中止を行う場合は、[コピー／ファクス状況] を押してください。（→第 4 章 ファクスの状況を確認／変更する）
- 部門別 ID 管理を設定している場合は、送信終了後に [ID] を押します。（→ユーザーズ編）

原稿にあわせて解像度・濃度・画質を調節する

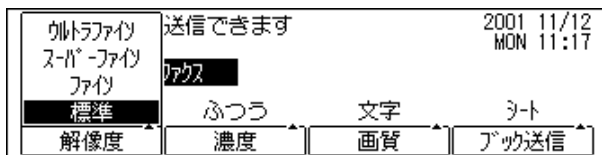
見やすい原稿が相手に届くように、送信する原稿に合わせて解像度、濃度、画質を設定します。

- **メモ** ● 解像度、濃度、画質の初期設定値はよく使う設定に変更できます。濃くて見づらい原稿や、薄くて見にくい原稿を読み取ることが多い場合に、あらかじめ基準濃度を設定しておくことができます。(→標準モードを変更する：P.5-136)
- 解像度がスーパーファインやウルトラファインに設定されているときに、画質を「文字／写真」または「写真」に設定すると、解像度は自動的にファインに変わりますが、もう一度解像度ボタンを操作することで解像度を上げることができます。
- 送信前に指定した各モードの設定は、通信が終了したとき、またはオートクリアタイムによって一定の時間が経過すると、初期設定状態に戻ります。(→ユーザーズ編)
- お買い求め時は、次のように設定されています。
 - ・ 解像度：標準
 - ・ 濃度：ふつう
 - ・ 画質：文字

■ 解像度

- 標準： 8 画素 /mm × 3.85 本 /mm (200 dpi × 100 dpi*) で送信します。文字が新聞活字よりも大きな文字の場合に選択します。
- ファイン： 標準モードの 2 倍の細かさ (8 画素 /mm × 7.7 本 /mm < 200 dpi × 200 dpi* >) で送信します。
- スーパーファイン： 標準モードの 4 倍の細かさ (8 画素 /mm × 15.4 本 /mm < 200 dpi × 400 dpi* >) で送信します。送信先に同じモードがない場合、自動的にファインモードで送信されます。
- ウルトラファイン： 標準モードの 8 倍の細かさ (16 画素 /mm × 15.4 本 /mm < 400 dpi × 400 dpi* >) で送信します。送信先に同じモードがない場合、自動的にスーパーファインモードあるいはファインモードで送信されます。

*：G4 通信ユニット (オプション) 装着時



- **メモ** ● 解像度を「ファイン」「スーパーファイン」「ウルトラファイン」に設定すると、「標準」に設定したときよりも送信に時間がかかります。
- 「標準」以外の解像度を設定すると、メモリ送信では一度に送信できる原稿枚数が少なくなります。

■ 濃度

こく／ふつう／うすく：原稿の濃度に合わせて選択します。



■ 画質

文字：文字が中心の原稿を送るときに設定します。

文字／写真：写真のような濃淡のある画像と文字が混在している場合に設定します。

写真：写真のような濃淡のある原稿を鮮明に送るときに設定します。



- メモ • 画質の種類を「文字／写真」「写真」に設定すると、「文字」に設定したときよりも送信に時間がかかります。

ファクス

1 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。

2 原稿をセットします。

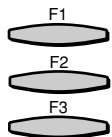
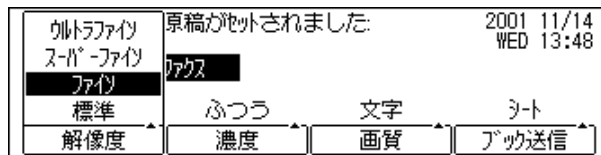
原稿のセットのしかたは、「ユーザーズ編」を参照してください。

3 [解像度] (F1)、[濃度] (F2)、または [画質] (F3) を押します。

[解像度] (F1) を押すごとに、送信時の解像度が切り替わります。

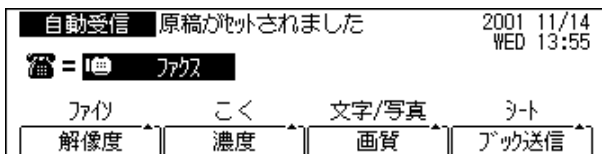
[濃度] (F2) を押すごとに、読み取り濃度が切り替わります。

[画質] (F3) を押すごとに、送信時の画質が切り替わります。





4 解像度、濃度、画質を設定したあと、[OK] を押します。



スタート



5 相手先を指定して、[スタート] を押します。

相手先を指定するには、「いろいろなダイヤルのしかた」(→ P.2-16) を参照してください。

他にも送信条件を設定する場合は、相手先を指定する前に設定してください。(→送信のしかたを選択する：P.2-8) (→第3章 便利な機能でファクスを有効に使う)

原稿の読み取りが開始されます。

送信のしかたを選択する

送信のしかたには、ブック送信、メモリ送信、ダイレクト送信、および手動送信の 4 種類があります。

2

基本的なファクスの使いかた

■ ブック送信

厚みのある原稿や破れた原稿、痛みやすい原稿など、フィーダにセットできない原稿を送信します。

■ メモリ送信


すべての原稿をメモリに読み込んでから送信を開始します。

■ ダイレクト送信

ファクス送信が可能になった時点で原稿の読み込みを開始します。


■ 手動送信

電話で相手と通話して確認してから、原稿の送信を開始します。

-  **メモ** • 原稿読み取り中にフィーダで原稿づまりが起こった場合、送信は中止されます。もう一度送信をやりなおしてください。

本などの原稿を送信する（ブック送信）

本のように厚みのある原稿や破れた原稿、また痛みやすい原稿など、フィーダにセットできない原稿もそのまま送信することができます。

-  **メモ** • メモリに読み込めるファクス画像の枚数は、A4 サイズ 700 文字程度の原稿のとき、解像度「標準」で約 128 枚、「ウルトラファイン」で約 40 枚を読み込めます。オプションの増設メモリを装着すると、最大約 1500 枚まで読み込むことができます。原稿の読み込み枚数は、送信する原稿および解像度によって異なります。
- メモリがいっぱいの場合、必要のない受信文書などを消去してください。（→第 4 章 ファクスの状況を確認／変更する）
 - 「標準」以外の解像度を設定すると、一度に読み込める原稿の枚数が少なくなります。

ファクス

1 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。

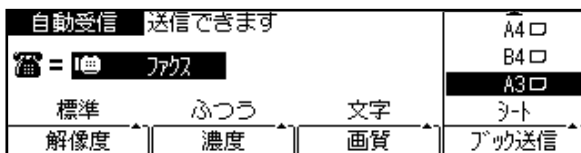
2 原稿台ガラスに原稿をセットします。

3 送信条件を設定します。

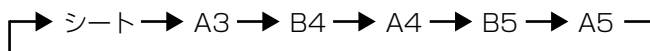
送信条件を設定するには、「原稿にあわせて解像度・濃度・画質を調節する」(→ P.2-5)、「送信済み／読み取り済みの原稿にスタンプをつける」(→ P.2-14)、「第3章 便利な機能でファクスを有効に使う」を参照してください。



4 [ブック送信] を押して原稿のサイズを指定し、[OK] を押します。

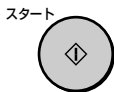


[ブック送信] を押すごとに、以下の順序で読取原稿のサイズが切り替わります。



5 相手先を指定します。

相手先を指定するには、「いろいろなダイヤルのしかた」(→ P.2-16) を参照してください。



6 [スタート] を押します。

原稿がメモリに読み込まれます。



7 必要な原稿をすべて読み込ませたら、最後に [OK] を押します。

読み込まれた原稿は、メモリから自動的に送信されます。



メモ

- 受付番号は、通信ごとに自動的に付けられる一連の番号で、通信の中止、メモリ内の原稿のプリントやクリアに使います。ページ番号は、読み込み中の原稿が何枚目であることを示しています。(→ 第4章 ファクスの状況を確認／変更する)
- 途中で送信を中止するときは、[ストップ] を押してください。(→ 送信を中止する: P.4-2)
- 原稿の読み込み途中でメモリがいっぱいになると、「メモリがいっぱいです」と表示されます。読み込み中の原稿はすべて消去されてしまいます。メモリに読み込ませることのできる原稿の枚数は、メモリ内に記録されている原稿の量や読み込ませる原稿の画質などにより変わります。
- 送信が正常に終了すると原稿は自動的にメモリから消去されます。
- 送信でエラーになった原稿は、自動的にメモリから消去されます。消去しないように設定することもできます。(→ エラー文書の自動消去を設定する: P.5-54)
- 自動リダイヤルを行っても相手先に送信できなかった場合は、相手先の番号を確認した後もう一度原稿をセットして送信しなおしてください。(→ 自動リダイヤルを設定する: P.5-51)
- メモリ送信中でも、送信する原稿の読み込みが終了していれば、コピーボタンを押してコピーすることができます。

原稿を読み込んでから送信する（メモリ送信）

送信するすべての原稿をいったんメモリに読み込んでから、送信を開始します。

このため原稿の読み込みが終われば本商品のそばにいる必要はありません。

ダイレクト送信を指定しなければメモリ送信となります。

- **メモ** ●メモリに読み込めるファクス画像の枚数は、A4 サイズ 700 文字程度の原稿のとき、解像度「標準」で約 128 枚、「ウルトラファイン」で約 40 枚を読み込めます。オプションの増設メモリを装着すると、最大約 1500 枚まで読み込むことができます。原稿の読み込み枚数は、送信する原稿および解像度によって異なります。
- メモリがいっぱいの場合、必要のない受信文書などを消去してください。（→第 4 章 ファクスの状況を確認／変更する）
- 「標準」以外の解像度を設定すると、一度に読み込める原稿の枚数が少なくなります。
- メモリ送信予約はタイム通信とあわせて最大 70 件まで行えます。

2

基本的なファクスの使いかた

ファクス

1 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。

2 原稿をセットします。

原稿のセットのしかたは「ユーザズ編」を参照してください。

3 送信条件を設定します。

送信条件を設定するには、「原稿にあわせて解像度・濃度・画質を調節する」（→ P.2-5）、「送信済み／読み取り済みの原稿にスタンプをつける」（→ P.2-14）、「第 3 章 便利な機能でファクスを有効に使う」を参照してください。

4 相手先を指定します。

相手先を指定するには、「いろいろなダイヤルのしかた」（→ P.2-16）を参照してください。

スタート



5 [スタート] を押します。

原稿がメモリに読み込まれます。

読み込まれた原稿は、メモリから自動的に送信されます。

- **メモ** ● 受付番号は、通信ごとに自動的に付けられる一連の番号で、通信の中止、メモリ内の原稿のプリントやクリアに使います。ページ番号は、読み込み中の原稿が何枚目であることを示しています。(→第4章 ファクスの状況を確認/変更する)
- 途中で送信を中止するときは、[ストップ] を押してください。(→送信を中止する:P.4-2)
- 原稿の読み込み途中でメモリがいっぱいになると、「メモリがいっぱいです」と表示されます。読み取り原稿がフィーダに残っているときは、[OK] を押して原稿を排出してください。読み込み中の原稿はすべて消去されてしまいます。メモリに読み込ませることのできる原稿の枚数は、メモリ内に記録されている原稿の量や読み込ませる原稿の画質などにより変わります。
- 送信が正常に終了すると原稿は自動的にメモリから消去されます。
- 送信でエラーになった原稿は、自動的にメモリから消去されます。消去しないように設定することもできます。(→エラー文書の自動消去を設定する:P.5-54)
- 自動リダイヤルを行っても相手先に送信できなかった場合は、相手先の番号を確認した後もう一度原稿をセットして送信しなおしてください。(→自動リダイヤルを設定する:P.5-51)
- メモリ送信中でも、送信する原稿の読み込みが終了していれば、コピーボタンを押してコピーすることができます。

原稿を読み込みながら送信する (ダイレクト送信)

フィーダにセットした原稿をメモリに読み込ませず直接送信する方法をダイレクト送信と呼びます。メモリ内に送信原稿が記憶されている場合でも、フィーダにセットした送信原稿を優先的に送信することができます。

- **重要** ● 原稿台ガラスにセットした原稿はダイレクト送信することはできません。

ファクス

1 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。

2 原稿をフィーダにセットします。

原稿のセットのしかたは、「ユーザズ編」を参照してください。

- **重要** ● 原稿台ガラスにセットした原稿はダイレクト送信することはできません。


3 [ダイレクト送信] を押します。

ダイレクト
送信




- **メモ** ● 取り消す場合は、もう一度 [ダイレクト送信] を押します。
ダイレクト送信ランプが点灯します。

4 送信条件を設定します。

-  **メモ** • 送信条件を設定するには、「原稿にあわせて解像度・濃度・画質を調節する」(→ P.2-5)、「送信済み／読み取り済みの原稿にスタンプをつける」(→ P.2-14)、「第3章 便利な機能でファクスを有効に使う」を参照してください。

5 相手先を指定します。

相手先を指定するには「いろいろなダイヤルのしかた」(→ P.2-16)を参照してください。


-  **重要** • 相手先を2件以上指定すると、ダイレクト送信を指定しても同報送信となり原稿はメモリに読み込まれます。(→複数の相手に同じ文書を送信する(同報送信): P.3-2)
- タイマー送信や、同報送信を指定していた場合は、自動的にメモリ送信になります。

スタート




6 [スタート] を押します。

相手のファクスを呼び出し、原稿の送信が始まります。

-  **メモ** • 送信中は、受付番号や相手の電話番号、送信中のページ番号などが表示されます。
- 途中で送信を中止するときは、[ストップ]を押してください。(→送信を中止する: P.4-2)
- ダイレクト送信を指定した場合でも、1枚分の原稿はメモリに読み込まれるようになっていため、「メモリがいっぱいです」と表示される場合があります。メモリが空くのを待つか、メモリ内の原稿をクリアしてから送信しなおしてください。(→メモリボックス内の文書をプリント／削除する: P.3-13)

通話してから送信する(手動送信)

本商品にオプションのハンドセットを接続している場合は、電話で相手と通話したり、相手を確認してから原稿を送信することができます。この機能を手動送信と呼びます。手動送信する場合は、原稿をフィーダにセットしてください。

-  **重要** • 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは手動送信できません。


ファクス

1 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。

2 原稿をフィーダにセットします。

原稿のセットのしかたは、「ユーザズ編」を参照してください。

-  **重要** • 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは手動送信できません。

3 [オンフック] を押します。

通話中／メモリーランプが点滅し、「ツー」という信号音が聞こえます。

- ✎ **メモ**
 - [オンフック] を押さずに、オプションのハンドセットを取って操作することもできます。
 - 信号音の大きさは調整することができます。(→ユーザーズ編)

4 相手の電話番号をダイヤルします。

テンキーのほか、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルが使用できます。(→いろいろなダイヤルのしかた：P.2-16)

5 相手の声が聞こえたら、ハンドセットを取り通話します。

原稿を送信する前に相手にスタートボタンを押すよう伝えてください。相手のファクスが受信可能になると、「ピー」という信号音が聞こえます。

- ✎ **メモ**
 - [オンフック] を押したときは、相手の声が聞こえても、ハンドセットを取るまでこちらの声は伝わりません。相手が出ない場合は、[オンフック] を押して電話を切ってください。

スタート



6 「ピー」という信号音が聞こえたら、[スタート] を押して、ハンドセットを戻します。

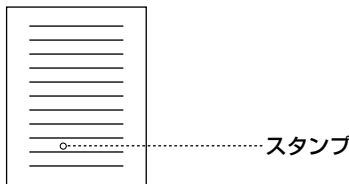
原稿の送信が始まります。

- ✎ **メモ**
 - 送信中、受付番号や相手の電話番号、送信中のページ番号などが表示されます。
 - 途中で送信を中止するときは、[ストップ] を押してください。
 - ハンドセットをきちんと戻しておかないと送信終了後「ピロピロピロ……」という警告音(オフフックアラーム)が鳴ります。

送信済み／読み取り済みの原稿にスタンプをつける

送信または読み込みの済んだ原稿にスタンプ（済スタンプ）が押されます。原稿をヨコ置きにして送信した場合、下の図の位置にスタンプが押されます。

- 重要** • コピーする場合や原稿台ガラスから送信する場合には、この機能ははたらきません。



- メモ**
- あらかじめ済スタンプを押す/押さないを設定しておくことができます。(→標準モードを変更する：P.5-136)
 - 手動送信やダイレクト送信時の送信済原稿だけにスタンプを押すか、メモリ送信時に読み込まれた原稿にもスタンプを押すかを選択できます。(→済スタンプの条件を設定する：P.5-56)
 - 済スタンプを押す設定になっていても、ディスプレイには設定内容が表示されませんので、ご注意ください。

2

基本的なファクスの使いかた

ファクス

1 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。

2 フィーダに原稿をセットします。

原稿のセットのしかたは、「ユーザーズ編」を参照してください。

- 重要** • コピーする場合や原稿台ガラスから送信する場合には、この機能ははたらきません。

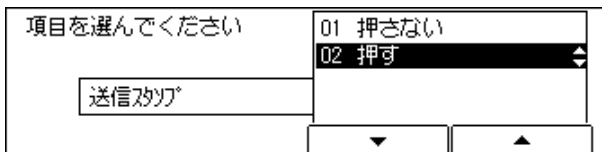


3 ワンタッチダイヤルパネルを3枚開いて、[スタンプ] を押します。

送信スタンプ画面が表示されます。


4 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 押す」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに項目が切り替わります。



5 相手先を指定したあと、送信します。

排紙された原稿には「⊗」印 (スタンプ) が押されます。

-  **メモ** • 済スタンプがはっきりと押されなかった場合は、「ユーザズ編」を参照してください。

いろいろなダイヤルのしかた

相手先を指定する方法には次の 7 種類があります。

■ テンキーダイヤル

操作パネルのテンキーを使用して相手先を指定します。

■ リダイヤル

操作パネルの [ポーズ/リダイヤル] を押して、最後に指定した相手をもう一度指定できます。

■ ワンタッチダイヤル

操作パネルの任意のワンタッチダイヤルボタンを押して、相手先を指定します。

■ 短縮ダイヤル

操作パネルの [短縮] を押して、短縮番号で相手先を指定します。

■ グループダイヤル

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに、複数の電話番号を登録している場合は、グループダイヤルとして複数の相手先を指定できます。

操作パネルのワンタッチダイヤルボタンまたは [短縮] を押して、相手先を指定します。

■ 電話帳

操作パネルの [電話帳] を押して、登録されている相手先略称から相手先を検索して指定します。

■ アクセスコード

ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・グループダイヤル登録時に設定しておいた 2 桁～5 桁の数字 (アクセスコード) で、相手先を指定します。

テンキーで指定する

テンキーから、相手先の番号をダイヤルします。一度に複数の相手先を指定することもできます。

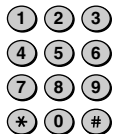
ファクス

1 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。

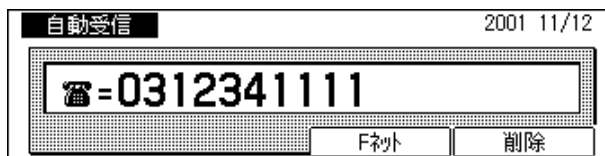
2 原稿をセットします。

原稿のセットのしかたは、「ユーザズ編」を参照してください。



3 相手先の番号をテンキーで入力します。

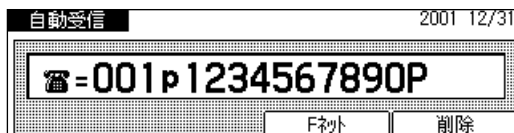
テンキーで入力した番号がメッセージエリアに表示されます。



複数の相手先を指定するときは、[OK] を押して相手先の番号を入力します。なお、入力できる桁数は最大 120 桁までです。



- 相手先電話番号入力時に併せて使用できる、各キーと機能については以下のとおりです。
 - ・ [ポーズ/リダイヤル]：海外への送信のときに、001 などの次や、電話番号の末尾で押します。数字と数字の間で [ポーズ/リダイヤル] を押すと「p」と表示されて、数字の末尾で [ポーズ] を押すと、「P」と表示されます。(→ポーズキーの時間を設定する：P.5-50)



- ・ [トーン]：ダイヤル回線から、PB (プッシュ) 信号を発信する前に押します。ダイヤル回線に接続している場合でも、プッシュホンサービスなどを利用することができます。(→プッシュホンサービスを利用する：P.2-33)
 - ・ [*] または [#]：F コードを入力するときに押します。(→ F コードを使って通信する (F コード)：P.3-20)
 - ・ [クリア]：入力した電話番号が間違っている場合に、ワンタッチダイヤルパネルを 3 枚開いて押します。入力した数字がすべて消去されて、正しい数字が入力できます。[スタート] 左上の [C] (クリア) も使用できます。
- 入力を間違えたときは、間違えた箇所に戻り [削除] を押して、入力しなおすことができます。[クリア] を押して最初から入力しなおすこともできます。

スタート



4 [スタート] を押します。

送信が開始されます。

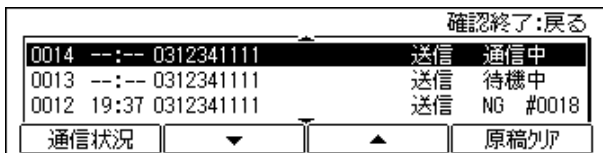
リダイヤルで指定する

通信相手が話し中だったなどで原稿が送信できなかった場合は、一定の時間（お買い求め時設定は2分）待機したあと、自動的に再度送信されます（自動リダイヤル）。

また、最後にテンキーでダイヤルした相手先を再度指定することができます。同じ相手先に再度原稿を送る場合などに便利です。

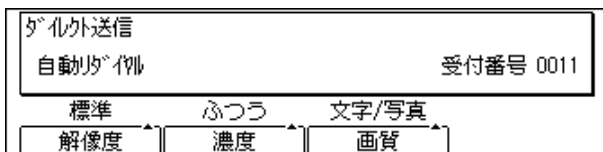
リダイヤル待機中の原稿を確認する

[コピー/ファクス状況] を押してから、[通信結果] (F1) を押します。ディスプレイに次のように表示されます。



- ☎ **メモ** • 自動リダイヤルで再送信する必要がないときは、[▼] (F2) または [▲] (F3) を押して、リダイヤル待機中の送信を反転表示させ、[原稿クリア] (F4) を押します。「クリアしていいですか?」というメッセージが表示された場合 [はい] (F3) を押すと自動リダイヤルは解除され、メモリ内の原稿は削除されます。

ダイレクト送信の場合は、ディスプレイに次のように表示されます。リダイヤル待機中には、原稿をフィーダにセットしたままにしておいてください。



- ☎ **メモ** • リダイヤルの必要がないときは [ストップ] を押してください。リダイヤル待機状態が解除されます。
- 送信エラーが発生した場合も自動リダイヤル機能がはたらきます。
 - 自動リダイヤルの設定は、「自動リダイヤルを設定する」(→ P.5-51) を参照してください。
 - 自動リダイヤルした場合、相手がまだ話し中だった場合は、さらに2分間待機してもう一度リダイヤルします。それでも相手が話し中の場合は、送信を中止しエラー送信レポートがプリントされます。(→送信結果レポートの自動出力を設定する: P.5-41)

もう一度同じ相手呼び出す場合は（手動リダイヤル）

ファクス

1 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。

2 原稿をセットします。

原稿のセットのしかたは「ユーザーズ編」を参照してください。

ポーズ/
リダイヤル



3 [ポーズ／リダイヤル] を押します。

自動受信	宛先数： 1	2001 11/12	
		MON 11:54	
☎	ファクス	0312341111	
標準	ふつう	文字	3ト
解像度	濃度	画質	ブック送信

最後に指定した番号が表示されます。

-  **メモ** • 送信を中止する場合は [ストップ] を押してください。

スタート




4 [スタート] を押します。

送信が開始されます。

ECM 方式での通信について

本商品は、ECM 方式で通信するように設定されています。ECM というのは、Error Correction Mode（自動誤り訂正モード）の頭文字をとった呼びかたです。ECM方式で通信すると、送信側と受信側で送受信状態を確認し合いながら通信するため、画像の通信エラーを防ぐことができます。（→ ECM 送信を設定する：P.5-48）

-  **メモ** • 相手が ECM 方式で通信するように設定されていないときは、通常の方式で通信します。
- ECM 方式で通信していても、回線の状態によっては画像エラーが発生することがあります。また、回線のトラブルなどがあると、エラーを訂正しながら送信するため通常より通信時間が多くなる場合があります。

2

基本的なファクスの使いかた

ワンタッチ宛先で指定する

あらかじめワンタッチダイヤルに通信相手の電話番号を登録しておく必要があります。(→ワンタッチ宛先・短縮宛先を登録する：P.5-27)

ワンタッチダイヤルには、最大 63 件の相手先を登録できます。

- 重要**
- 誤送信や間違い電話を防ぐため、ワンタッチダイヤルを登録する際は、番号間違いのないようディスプレイ表示を見ながら正確に行ってください。また、登録後はワンタッチ宛先リスト (P.8-2、P.8-3) で正しく登録されていることを確認してください。
 - 一般電話の電話番号を誤って登録すると、自動リダイヤルにより相手の方を何度も呼び出し、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。

2

基本的なファクスの使いかた

ファクス

1 [ファクス] を押します。

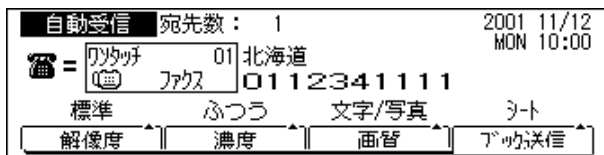
ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。

2 原稿をセットします。

原稿のセットのしかたは、「ユーザーズ編」を参照してください。

3 任意のワンタッチダイヤルボタンを押します。

登録した電話番号と相手先の名前が表示され、5 秒 (複数の宛先を指定したときは 10 秒) 以上経過すると、ダイヤルタイムアウト機能がはたらき、原稿が自動的にメモリに読み込まれ、送信が開始されます。



- メモ**
- ワンタッチダイヤルパネルは 3 枚あります。ワンタッチダイヤルパネルをすべて閉じている状態のときは、01 ~ 21、1 枚だけ開いた状態のときは 22 ~ 42、2 枚開いたときは 43 ~ 63 のワンタッチダイヤルが選択できます。
 - ワンタッチダイヤルボタンを間違えて押したときは、[クリア] を押してください。もう 1 度ワンタッチダイヤルを選択しなおしてください。
 - ワンタッチダイヤルに時刻を設定した場合は、設定時刻になってから原稿の送信が開始されます。
 - ダイヤルタイムアウト機能をはたらかせないように設定できます。(→ダイヤルタイムアウト機能を設定する：P.5-55)

スタート



4 [スタート] を押します。

送信が開始されます。

短縮ダイヤルで指定する

あらかじめ短縮ダイヤルに通信相手の電話番号を登録しておく必要があります。(→ワンタッチ宛先・短縮宛先を登録する：P.5-27)

短縮ダイヤルには、最大 137 件の相手先を登録しておくことができます。

- 重要** • 誤送信や間違い電話を防ぐため、短縮ダイヤルを登録する際は、番号間違いのないようディスプレイ表示を見ながら正確に行ってください。また、登録後は短縮宛先リスト(P.8-4)で正しく登録されていることを確認してください。
- 一般電話の電話番号を誤って登録すると、自動リダイヤルにより相手の方を何度も呼び出し、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。

ファクス

1 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。

2 原稿をセットします。

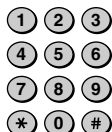
原稿のセットのしかたは、「ユーザーズ編」を参照してください。

短縮

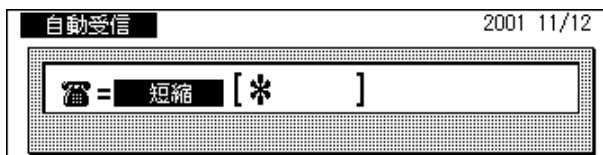


3 [短縮] を押します。

「短縮」が表示されます。



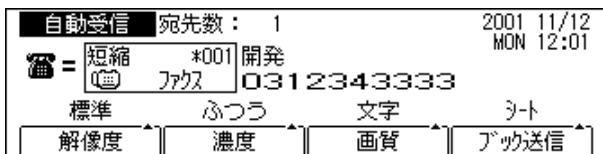
4 相手先の短縮ダイヤル番号(3桁の数字)をテンキーで入力します。



2

基本的なファクスの使いかた

登録した電話番号と相手先の名前が表示され、5秒（複数の宛先を指定したときは10秒）以上経過すると、ダイヤルタイムアウト機能がはたらき、原稿が自動的にメモリに読み込まれ、送信が開始されます。



- メモ**
- 短縮ダイヤルを間違えて指定したときは、[クリア] を押してください。もう一度 [短縮] を押して指定しなおしてください。
 - 短縮ダイヤルに時刻を設定した場合は、設定時刻になってからダイヤルが開始されます。
 - ダイヤルタイムアウト機能をはたらかせないように設定できます。（→ダイヤルタイムアウト機能を設定する：P.5-55）

2

基本的なファクスの使いかた

スタート



5 [スタート] を押します。

送信が開始されます。

複数の相手先を指定する

あらかじめワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに複数の通信相手の電話番号を登録しておく必要があります。（→グループダイヤルを登録する：P.5-36）

ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルには、他のワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録されている相手先を最大 199 件、グループとして登録しておくことができます。

ファクス

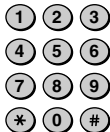
1 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。

2 原稿をセットします。

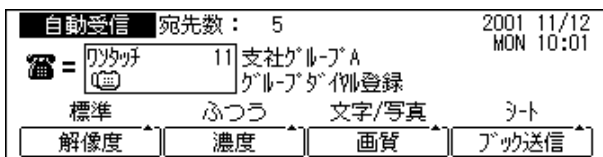
原稿のセットのしかたは、「ユーザーズ編」を参照してください。

短縮



3 グループダイヤルを登録したワンタッチダイヤルボタンを押すか、[短縮] を押してからテンキーで3桁の登録番号を指定します。

登録したグループ名が表示され、10秒以上経過すると、ダイヤルタイムアウト機能がはたらき、原稿が自動的にメモリに読み込まれ、送信が開始されます。



- メモ**
 - グループダイヤルを間違えて指定したときは、[クリア] を押ししてください。もう一度グループダイヤルを指定しなおしてください。
 - グループダイヤルに時刻を設定した場合は、設定時刻になってから原稿の送信が開始されます。
 - ダイヤルタイムアウト機能をはたらかせないように設定できます。(→ダイヤルタイムアウト機能を設定する：P.5-55)

スタート



4 [スタート] を押します。

送信が開始されます。

電話帳から指定する

あらかじめワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに通信相手の相手先略称を登録しておく必要があります。(→ワンタッチ宛先・短縮宛先を登録する：P.5-27)

ファクス



1 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。

2 原稿をセットします。

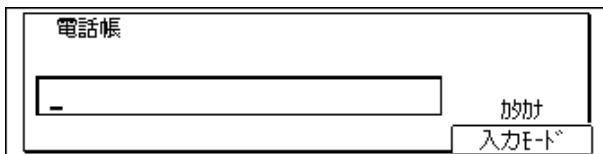
原稿のセットのしかたは、「ユーザーズ編」を参照してください。

電話帳



3 [電話帳] を押します。

電話帳の画面が表示されます。



2

基本的なファクスの使いかた



4 ワンタッチダイヤル登録時、グループダイヤル登録時、または短縮ダイヤル登録時に設定した相手先略称または相手先略称に含まれる文字を入力し、[OK] を押します。

適当な文字を入力すると、入力した文字に応じた名前が検索されます。

入力した略称または文字に対応する電話番号と相手先の名前の一覧が表示されます。

- メモ**
 - 相手先を間違えて指定したときは、[クリア] を押してください。相手先略称を再入力してください。
 - 相手先略称が正しく登録されていない場合は、目的の名前が検索できません。



5 [▼] (F2) または [▲] (F3) を押して、一覧表示の中から該当する相手先を選択し、[OK] を押します。

選択した相手先の電話番号と名前が表示され、5 秒（複数の宛先を指定したときは 10 秒）以上経過すると、ダイヤルタイムアウト機能がはたらき、原稿が自動的にメモリに読み込まれ、送信が始まります。

- メモ**
 - 電話帳で指定したワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルに時刻を設定した場合は、設定時刻になってからダイヤルが開始されます。
 - ダイヤルタイムアウト機能をはたかせないように設定できます。（→ダイヤルタイムアウト機能を設定する：P.5-55）

スタート



6 [スタート] を押します。

送信が開始されます。

アクセスコードで指定する

あらかじめアクセスコードキーを設定しておく必要があります。(→アクセスコードを設定する：P.5-140)

また、あらかじめワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルなどの宛先登録時にアクセスコードを登録しておく必要があります。(→ワンタッチ宛先・短縮宛先の詳細設定をする：P.5-31)

ファクス

1 [ファクス] を押します。

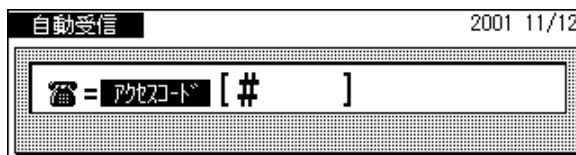
ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。

2 原稿をセットします。

原稿のセットのしかたは、「ユーザーズ編」を参照してください。

3 あらかじめ設定したアクセスコードキーを押します。

画面例は、[#] ボタンをアクセスコードキーに割り当てた場合です。



4 テンキーで相手先のアクセスコード (2桁～5桁の数字) を入力します。

相手先の電話番号と名前が表示されます。

スタート



5 [スタート] を押します。

送信が開始されます。

2

基本的なファクスの使いかた

ファクスの受信について

受信設定には、なにもしなくても自動的に応答する「自動受信」(→自動で受信する：P.2-31)、着信時にお客様がファクスと電話を切り替える「手動受信」(→手動で受信する：P.2-31)があります。

2

基本的なファクスの使いかた


受信モードについて

ファクスの受信のしかたには、以下の種類があります。
ご利用に合わせて適切に受信モードを選択することができます。

 **メモ** • 受信モードは操作パネルの「受信モード」で切り替えます。(→P.3-26)

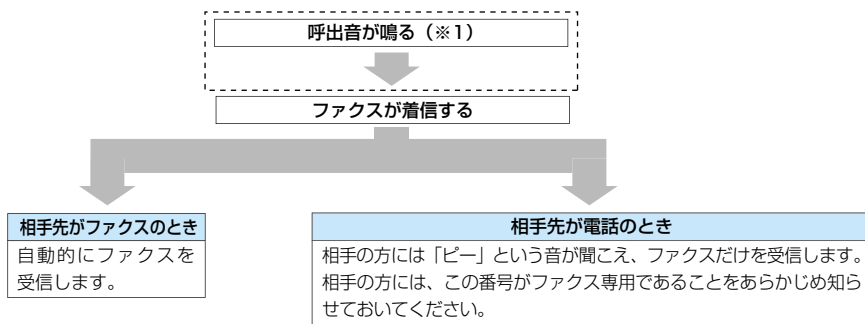
受信モード		ご利用の目安	ディスプレイ表示	備考
自動受信	自動受信*	ファクスだけを受けたいとき	「自動受信」	お買い求め時は、自動受信に設定されています。
	FAX/TEL 切替*	電話もファクスも受けたいとき	「自動受信」	外付け電話機を接続して利用します。(→P.1-7) 呼び出し開始時間などの詳細設定をすることができます。(→P.5-9)
手動受信		ファクスより電話の方が多いとき	「手動受信」	外付け電話機を接続してリモート受信を行います。(→P.5-65)
留守受信		留守中に、用件もファクスも受けたいとき	「留守」	外付け電話機に留守番電話機を使用しているときに利用します。(→P.1-7)

* 「自動受信」と「FAX/TEL 切替」の切り替えは、「受信モードを設定する」(→P.5-60)で設定します。

-  **重要**
- キャッチホンサービスをご契約になる場合には、以下の点にご注意ください。
 - ・ファクスの送信や受信中に、他の方から電話がかかってくると、画像に線が入ったり、通信が中断してしまうことがあります。
 - ・また上記の場合、かかってきたことはこちらではわかりません。キャッチホンサービスの異常ではありませんので、ご了承ください。
 - ・なお、キャッチホンIIサービスをご利用になり、割り込み音の回数「0」に設定していただくと、ファクス通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。

■ 自動受信

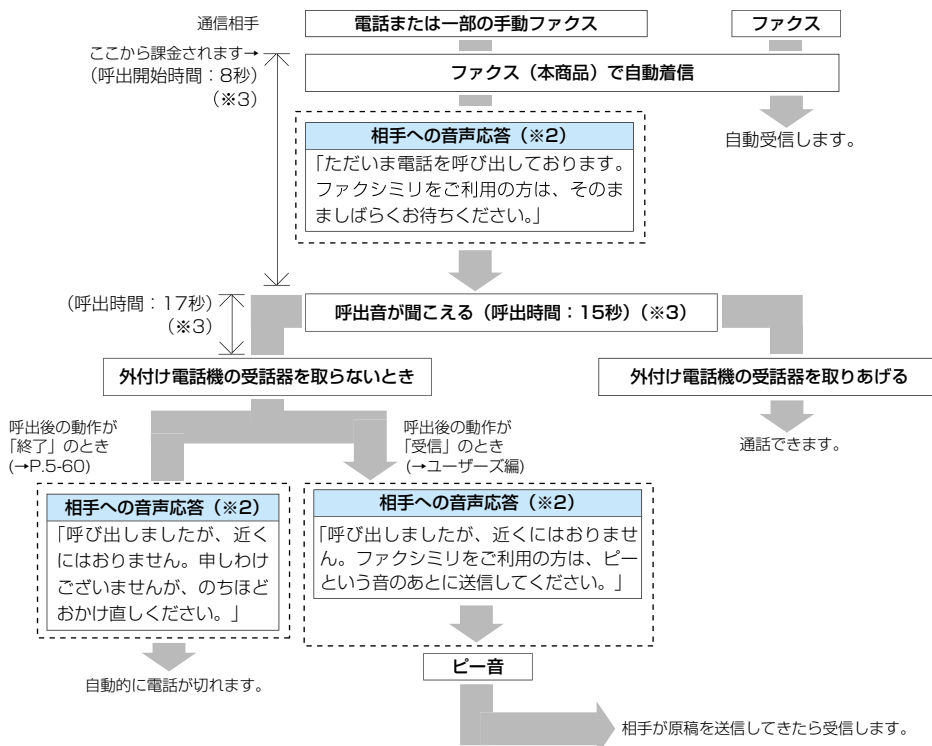
ファクス専用の回線で使うときに設定してください。相手からファクスが送られてきたら自動的に受信します。ファクス専用のため、相手の方が電話をかけてきても通話はできません。




※1 お買い求めのときは、着信呼び出しは「しない」に設定されており、呼出音は鳴りません。呼出音（1～99回）が鳴るように設定することもできます。（→ 5-63）

■ FAX/TEL 切替

1 本の電話回線でファクスと電話を自動的に切り替えて使いたいときに設定してください。相手がファクスなら自動的に受信します。相手が電話のときは呼び出し音で知らせます。このとき、オプションのハンドセットと外付け電話機の両方の呼び出し音が鳴ります。



- ※2 音声応答を流さないように設定されています。音声対応を流すようにするには、音声対応を「する」に設定してください。(→ P.5-60) 相手先には呼出音が聞こえないため、相手先は課金されていることに気づかないことがあるのでご注意ください。
- ※3 F/T切替モード時の呼び出し開始時間(0～30秒)と呼出時間(15～300秒)は変更することができます。(→ユーザーズ編)

 **メモ** • 外付け電話機によっては、呼び出し音が鳴らない場合もありますので、ご注意ください。

■ 手動受信

おもに電話として使いたいときに設定してください。相手がファクスでも電話でも呼び出し音で知らせます。相手がファクスの場合は、[スタート] ボタンを押すことで受信できます。

■ 留守

外付け電話機として留守番電話機を接続したときに利用できます。外出時に留守番電話機をセットします。相手が電話の場合は留守番電話が応答します。相手がファクスの場合は、自動的に受信します。

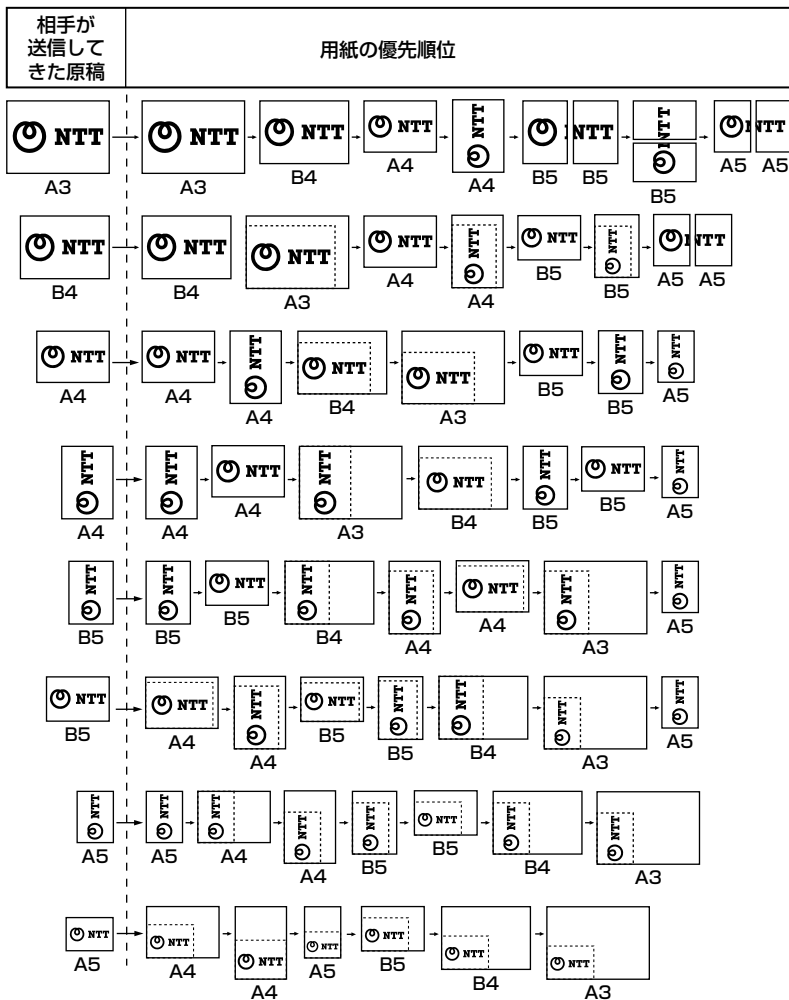
「留守」のときは、リモート受信はできません。

プリントする用紙について

受信文書は、記録紙カセットにセットされている用紙の中から、同じサイズの用紙にプリントされます。

受信文書と同じサイズの用紙がセットされていない場合は、下記の優先順位に従って、用紙が選択されます。

なお、すべての用紙がなくなった場合は、メモリ代行受信します。また、プリントの途中で用紙切れになった場合も、同様に選択されます。



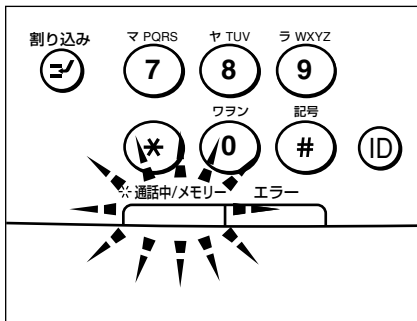
※お買い求め時の設定での優先順位です。

- メモ**
- 受信文書をプリントすることができる用紙サイズは、A3□、B4□、A4□、A4□、B5□、B5□、A5□、A5□です。
 - 手差しトレイにセットした用紙を使ってプリントする場合には、ハガキ、封筒以外の用紙を選択してください。(→ユーザー編)
 - カセットごとに「ファクス機能に使用する、しない」を設定できます。お買い求め時は、手差し以外のすべてのカセットで「ON」(ファクス機能に使用する)に設定されています。(→ユーザー編)
 - 受信文書のサイズが選択可能な用紙のサイズより大きい場合、75%、90%、95%、97%のいずれかの倍率で縮小してプリントするように設定できます。(→受信文書を縮小してプリントする：P.5-73)
 - 用紙の選択順序を変更できます。(→受信文書のプリント方法を設定する：P.5-71)
 - 受信文書は下向きに排紙され、受信した順番にならびます。

受信した時の状態

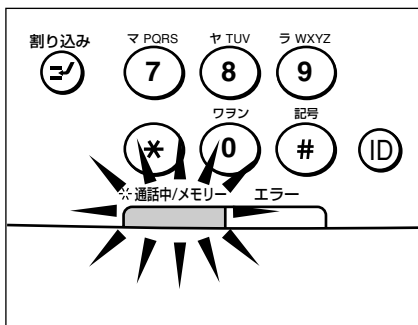
1 受信が始まると、操作パネルの通話中／メモリーランプが点滅します。

受信中にコピー／ファクス状況ボタンを押すと、受信文書の受付番号や相手の情報などが画面に表示されます。



2 受信が終わると、操作パネルの通話中／メモリーランプが点灯して、メモリ内に文書があることを示します。

メモリ内の文書がプリントされると通話中／メモリーランプは消えます。



- **メモ** 節電モードの場合でも、着信時に節電モードから復帰し、通話中／メモリーランプは点灯、点滅します。
- 記録紙カセットの用紙がなくなった場合は、エラーランプが点滅します。

3 用紙に文書がプリントされます。

メモリ内の文書がプリントされると通話中／メモリーランプは消えます。

- ✎メモ ● プリントできる用紙がない場合、受信文書はメモリに保存されます。
- メモリに読み込めるファクス画像の枚数は、A4 サイズ 700 文字程度 of 原稿のとき、解像度「標準」で約 128 枚、「ウルトラファイン」で約 40 枚を読み込みます。オプションの増設メモリを装着すると、最大約 1500 枚まで読み込むことができます。原稿の読み込み枚数は、送信する原稿および解像度によって異なります。
- 用紙がなくなり、いったんメモリに保存された受信文書は、カセットに用紙を補給するとプリントされます。
- プリントエラーが起きると、エラーランプが点滅します。

自動で受信する

本商品では、あらかじめ「自動受信」に設定されています。

電話回線をファクスの専用回線にする場合は、そのまま「自動受信」の状態で使用してください。相手機からファクス原稿が送られてきたときは自動的に受信します。(→受信モードを変更する(受信モード)：P.3-26)

ただし、「自動受信」は、ファクス専用のため、外付け電話機またはオプションのハンドセットを接続していても、相手が電話をかけてきたときに通話することはできません。

- ✎メモ ● 自動受信に設定していると以下のように機能します。
- 自動的に原稿を受信し、受信した原稿は自動的にプリントされます。
- 自動受信する場合は、外付け電話機またはオプションのハンドセットが接続されていても呼び出し音は鳴りません。ただし、外付け電話機の種類によっては呼び出し音が鳴る場合があります。
- 受信した原稿をプリントせずに、メモリに記憶しておくように設定することもできます。(→メモリで受信する(メモリ受信)：P.5-126)
- 外付け電話機またはオプションのハンドセットが接続されているときは、自動受信するときでも、呼び出し音を鳴らすように設定することができます。(→着信時の呼び出し音を設定する：P.5-63)

手動で受信する

本商品に外付け電話機またはオプションのハンドセットを接続している場合で、「手動受信」に設定しているときは、相手がファクスでも電話でも外付け電話機とハンドセットの呼び出し音で知らせます。(→受信モードを変更する(受信モード)：P.3-26)

「FAX/TEL 切替」に設定している場合は、相手が電話のときだけ呼び出し音が鳴ります。自動受信の場合は、呼び出し音は鳴りません。(→受信モードを設定する：P.5-9)

- 1 呼び出し音が鳴ったらハンドセット(外付け電話機の受話器)を取ります。

2 相手の声が聞こえたら通話してください。

「ポーポー」という信号音が聞こえるか、なにも応答がない場合は、手順 4 に進みます。

「FAX/TEL 切替」に設定していても、相手のファクス信号によっては、呼び出し音が鳴ることがあります。




3 原稿を受信する場合は、[ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯します。


4 [スタート] を押します。

原稿の受信が始まります。

-  **メモ** • 外付け電話機で応答した場合は、リモート受信用の ID 番号を押します。(→リモート受信を設定する：P.5-65)

5 ハンドセットを戻します。

外付け電話機の場合は、受話器を戻します。

-  **メモ** • オプションのハンドセットや外付け電話機の受話器の戻し方が誤っていると、受信終了後「ピロピロピロ……」という警告音（オフフックアラーム）が鳴ります。
- 「FAX/TEL 切替」に設定している場合は、こちらが電話口に出なくても着信状態になるため相手側に通話料金が課金されます。

2

基本的なファクスの使いかた



スタート

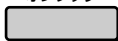
プッシュホンサービスを利用する

ダイヤル回線で本商品のファクス機能を使用している場合でも、簡単にプッシュホンサービスを利用することができます。銀行の残高照会、電車や飛行機の予約、ポケットベルサービスなど、いろいろなプッシュホンサービスが利用できます。

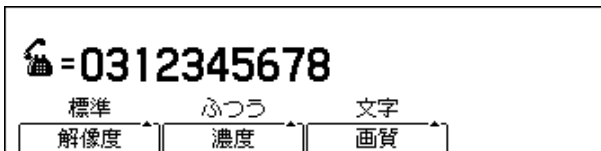
2

基本的なファクスの使いかた

オンフック



1 [オンフック] を押したあと、相手先の電話番号をダイヤルします。



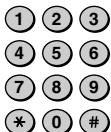
• [オンフック] を押さずに、オプションのハンドセットを取りあげてダイヤルすることもできます。

トーン



2 相手が出たら、[トーン] を押します。

音量を調節する場合は、スピーカ音量スイッチを左右にスライドさせます。



3 プッシュホンサービスの内容に合わせて、テンキーを押します。

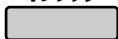
サービスの内容や、テンキーから操作する番号については、サービスを提供している業者に確認してください。

スタート



4 受信状態にする必要のある場合は、[スタート] を押します。

オンフック



5 [オンフック] を押します。

F ネットを利用する

2

基本的なファクスの使いかた

F ネットとは、NTT コミュニケーションズのファクシミリ専用ネットワークサービスです。F ネットに加入すると、通信をより経済的かつ効率的にするさまざまなサービスがご利用になれます。このサービスを利用するためには、NTT コミュニケーションズとの契約が必要です。本サービスの詳細につきましてはNTT コミュニケーションズにお問い合わせください。

- **メモ** F ネットをご利用の場合、本商品の中継指示送信 (P.3-17)、親展通信 (P.3-16)、ポーリング通信 (P.3-7)、F コードやパスワードを使った通信 (P.3-20) はご利用になれません。

F ネットのおもなサービス

F ネットのおもなサービスは以下のとおりです。

■ 一斉同報通信

1 回のダイヤル操作で、10 箇所までの宛先に同一原稿を送信できます。F ネット短縮ダイヤルをご契約になると、簡単な 1 回の操作で同じ原稿が最大 10 000 箇所まで送れます。

■ 自動再送信

一斉同報通信で送信できなかった相手先には、簡単なダイヤル操作だけで再送信することができます。

■ 再コール・不達通知

相手先がお話し中だった場合、F ネットが 2 分間隔で 5 回まで、自動的に再コールします。それでも送信できなかったときには、送信内容の一部と送信できなかった理由を、通知文でお知らせします。

■ 夜間配送指定通信

昼間 F ネットへ原稿を送信しておき、夜間の割引時間帯に F ネットから相手先への送信をすることができます。

■ 無鳴動自動受信

F ネットを使った受信では、呼び出し音を鳴らさず自動的に受信することができます。電話と間違えて受話器を取ることがないので、1 本の電話回線で電話とファクスを効率よく使うことができます。

■ センタ・エンド通信サービス

ファクスをコンピュータのデータ入出力端末として利用できます。大型コンピュータからパソコンまで様々な機種と接続でき、データは文書からイメージ情報まで幅広く対応できます。

■ ファクシミリ案内

レジャー、スポーツ、観光、金融、くらしにかかわる様々な情報が、簡単に取り出せます。

F ネットで同報通信する

F ネットを利用する例として、電話番号が「03-1111-2222」と「03-3333-4444」の相手に同報通信する場合の説明をします。

2

基本的なファクスの使いかた

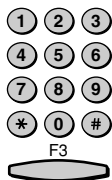
ファクス

1 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。

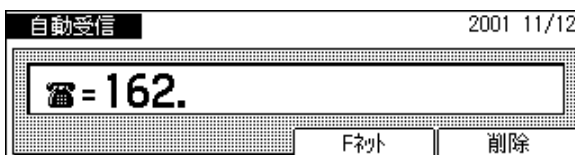
2 原稿をセットします。

原稿のセットのしかたは、「ユーザーズ編」を参照してください。




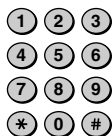
3 テンキーでF ネットの同報認識番号「162」を入力します。

4 [F ネット] (F3) を押します。

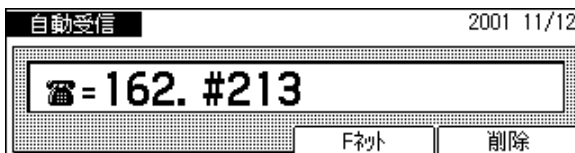


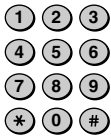
入力した「162」の後に「J」が表示されます。

-  **メモ**
- F ネットがつながりにくい場合は、「162」のあとに [ポーズ] を押してください。
 - ダイヤル回線に接続している場合は、さらに [トーン] を押してください。

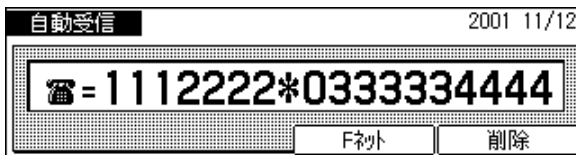


5 テンキーで同報通信のサービスコード (# 213) を入力します。





6 続けてテンキーで送信する相手先の電話番号「03-1111-2222」、「*」、「03-3333-4444」を入力します。



- メモ ● Fネットの電話番号をワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録することもできます。(→ワンタッチ宛先・短縮宛先を登録する：P.5-27)
- 相手先の指定はワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルなども利用できます。(→いろいろなダイヤルのしかた：P.2-16)

2

基本的なファクスの使いかた

スタート



7 [スタート] を押します。

原稿の読み取りが開始されます。

F ネットで情報を取り出す

F ネット情報サービスを利用していろいろな情報を取り出すことができます。

ここでは電話番号入力して F ネットから情報を取り出す操作を説明します。

- メモ ● F ネットの電話番号をワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録することもできます。宛先登録のときには、F ネット情報サービスの電話番号の他に、詳細設定の [03 送信方法設定] で、[06F ネット情報取出] を指定しておいてください。(→ワンタッチ宛先・短縮宛先の詳細設定をする：P.5-31)



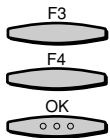
1 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。



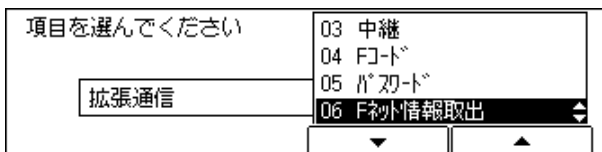
2 ワンタッチダイヤルパネルを 3 枚開いて、[拡張通信] を押します。

拡張通信画面が表示されます。

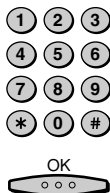


3 [▼](F3) または [▲](F4) を押して、「06 F ネット情報取出」を選択し、[OK] を押します。

[▼](F3) または [▲](F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



ファクス基本画面に戻ります。

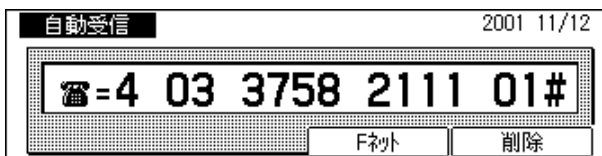


4 F ネット情報サービスの電話番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。

例：162 → [F ネット](F3) を押す → # 284 03 3758 2111 01 #

"#284" は、F ネットのファクシミリ案内サービス（取り出し）のサービス番号です。

162 のあとの "." は [F ネット](F3) を押すことで入力できます。



- メモ • F ネットが繋がりにくい場合は、「162」のあとに [ポーズ] を押してください。
- ダイヤル回線に接続している場合は、さらに [トーン] を押してください。

スタート



5 [スタート] を押します。

F ネット情報の受信が始まります。

MEMO

2

基本的なファクスの使いかた

便利な機能でファクスを有効に使う

3

CHAPTER

送信、受信の応用操作などについて記載しています。

複数の相手に同じ文書を送信する（同報送信）	3-2
時刻を指定して送信する（タイマー通信）	3-4
相手先にセットされている原稿を受信する（ポーリング受信）	3-7
メモリボックスを利用する（メモリボックス）	3-11
メモリボックスに原稿を読み込む	3-11
メモリボックス内の文書をプリント／削除する	3-13
メモリボックスの種類と使いかた	3-16
親展ボックスの使いかた	3-16
中継ボックスの使いかた	3-17
ポーリングボックスの使いかた（ポーリング送信）	3-18
転送ボックスの使いかた	3-19
Fコードを使って通信する（Fコード）	3-20
Fコードをつけて文書を送信する	3-20
Fコードつきの文書をポーリング受信する	3-23
発信人名称をつけて送信する（発信人名称）	3-25
受信モードを変更する（受信モード）	3-26
回線を選択して送信する（オプション）（回線選択）	3-27

複数の相手に同じ文書を送信する（同報送信）

複数の相手先に一度に送信することを「同報送信」といいます。

同じ原稿を複数の相手に送信する場合、まとめて相手先を指定できます。

同報送信は、最大で宛先を 210 件まで指定できます。

- メモ ● 同報送信するときだけは、マルチ通信結果レポート（複数の相手先の送信結果レポート）をプリントさせることができます。

3

便利な機能でファックスを有効に使う

ファックス

1 [ファックス] を押します。

ファックスランプが点灯し、ファックス待機状態になります。

2 原稿をセットします。

原稿のセットのしかたは、「ユーザズ編」を参照してください。

- メモ ● 原稿に合わせて濃度や画質が設定できます。（→原稿にあわせて解像度・濃度・画質を調節する：P.2-5）

3 相手先を順に指定します。

相手先を指定するには、「いろいろなダイヤルのしかた」（→ P.2-16）を参照してください。

● テンキーで続けて指定する場合

- ▼ テンキーで相手先の番号を入力し、[OK] を押します。
- ▼ この操作を繰り返します。

指定する相手先をリダイヤル、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、またはアクセスコードで続けて指定する場合は、[OK] を押したあと続けて指定できます。

- メモ ● 間違えたときは、[クリア] を押して指定しなおしてください。
- 最初の電話番号をダイヤルしてから 5 秒以上、2 番目以降の電話番号をダイヤルしてからは 10 秒以上の間隔をあげると、原稿のメモリへの読み込みが自動的に開始され、残りの宛先への同報送信ができなくなってしまうます。



4 [スタート] を押します。

原稿がメモリに読み込まれ、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、テンキーの順番に送信されます。

メモ

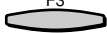
- 原稿を原稿台ガラスにセットした場合は、相手先を指定したあと、すべての原稿をメモリに読み込ませてから、[OK] を押してください。
- 送信を中止したいときは、[ストップ] を押し、「通信を中止しますか?」というメッセージが表示されたら [はい] を押してください。すべての相手先への送信が中止されます（1 箇所だけ送信を中止することはできません）。
- 話し中などで送信できなかった相手先には、その他のすべての相手先に送信したあと、自動リダイヤル機能で再送信します。（→自動リダイヤルを設定する：P.5-51）
- 同報送信の相手先が多いときは、通信が終了するまでに多少時間がかかります。
- ダイレクト送信を指定しているときでも、複数の相手先を指定すると、自動的に原稿はメモリに読み込まれ、同報送信されます。
- 同報送信が正常に終了すると、原稿は自動的にメモリから消去されます。
- 手順 2 で原稿をセットしたあとで、発信人名称を選択できます。（P.3-25）
- 相手先を指定する場合に、間隔があいても原稿のメモリへの読み込みが自動的に開始されないように設定することもできます。（→ダイヤルタイムアウト機能を設定する：P.5-55）
- 送信時刻を指定してタイマー同報送信することもできます。（→時刻を指定して送信する（タイマー通信）：P.3-4）

マルチ通信結果レポートをプリントするには

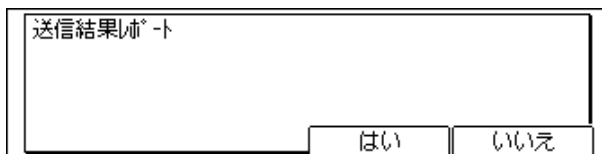
あらかじめプログラムワンタッチキーに「送信結果レポート予約」に設定しておく必要があります。（→面倒な設定を簡単にする（プログラムワンタッチキー設定）：P.5-23）

1 同報送信の相手先を指定する前に「送信結果レポート予約」が設定されたプログラムワンタッチキーを押します。

送信結果レポート画面が表示されます。



2 [はい] (F3) を押します。



同報送信終了後にマルチ通信結果レポートがプリントされます。

時刻を指定して送信する (タイマー通信)

あらかじめメモリに文書を読み込ませておき、指定した時刻に送信します。通話料金の安い時間帯に設定すると、通信コストを削減することができます。

タイマー通信は、最大で 70 時刻まで予約できます。

- メモ ● タイマー通信が終了すると、自動的にメモリ内の原稿は消去されます。
- メモリに読み込まれた文書は、送信状況の確認、送信の中止ができます。(→送信文書の状況を確認/変更する：P.4-2)

3

便利な機能でファックスを有効に使う

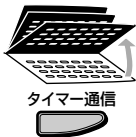


1 [ファックス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。

2 原稿をセットします。

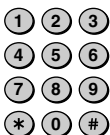
原稿のセットのしかたは、「ユーザズ編」を参照してください。



3 ワンタッチダイヤルパネルを 3 枚開いて、[タイマー通信] を押します。

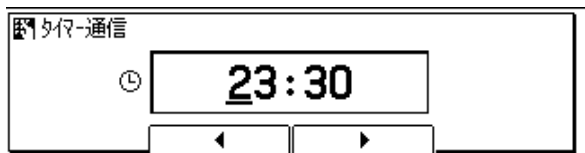
タイマー通信画面が表示されます。

- メモ ● 現在の時刻が正確に設定されていないと、原稿が指定した時刻に送信されません。時刻は正確に設定しておいてください。(→ユーザズ編)



4 テンキーで送信時刻を指定し、[OK] を押します。

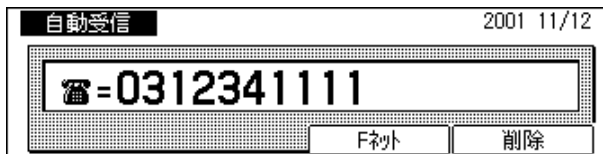
時、分は、それぞれ 24 時間表示の 2 桁で指定します。1 桁の場合は数字の前に「0」をつけます。



ファクス基本画面に戻ります。

- メモ ● 間違えたときは、[クリア] を押して指定しなおしてください。
- [◀] (F2) または [▶] (F3) を押してカーソルを移動し、間違えた箇所だけ修正できます。

5 相手先を指定します。



- **メモ** ● テンキーのほか、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルで最大、宛先 210 件、時刻 70 時刻にダイヤルできます。
- 複数の相手を指定して、タイマー同報送信することもできます。(→複数の相手に同じ文書を送信する (同報送信) : P.3-2)
- テンキーで相手先を指定するときは、電話番号の最後で [OK] を押してください。
- 間違えたときは、[クリア] を押してからダイヤルしなおしてください。

スタート



6 [スタート] を押します。

原稿の読み込みが始まります。

- **メモ** ● 原稿を原稿台ガラスにセットした場合は、すべての原稿をメモリに読み込ませてから、[OK] を押してください。
- 「発信人名称を選んでください」という画面が表示されたときは、発信人名称が選択できます (→発信人名称をつけて送信する (発信人名称) : P.3-25)。選択しないときは、そのまま [OK] を押してください。
- 原稿は指定時刻に自動的に送信されます。送信が終了するとメモリに読み込まれた原稿は消去されます。
- 送信結果は、送信結果レポートあるいは通信管理レポートで確認することができます。(→送信文書の状況を確認/変更する : P.4-2)

タイマー通信の予約の確認と解除

タイマー通信の予約状況はファクス状況画面で確認できます。(→送信文書または通信結果の詳細情報を確認する : P.4-5)

ファクス状況画面でメモリに読み込ませた予約原稿を削除すると、タイマー通信を解除することができます。(→リダイヤル待機中やメモリ送信待機中の原稿送信を中止する場合 : P.4-3)

タイマー通信の予約状況は、原稿リストを出力して確認することもできます。(→原稿リストをプリントする : P.4-4)

3

便利な機能でファクスを有効に使う

送信操作途中の時刻設定

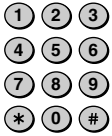
親展送信や中継指示送信、Fコード送信の操作途中でも原稿の送信時刻が設定できます。

タイマー通信

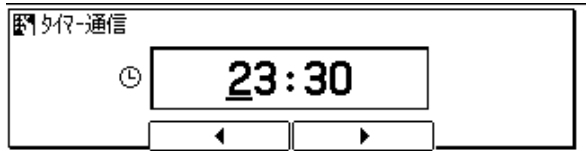


1 操作の途中で【タイマー通信】を押します。

タイマー通信画面が表示されます。



2 テンキーで時刻を指定し、【OK】を押します。



送信の時刻が設定され、自動的に【タイマー通信】を押す前の表示画面に戻ります。




- タイマー通信が正常に終了すると、原稿は自動的にメモリから消去されます。
- タイマー同報送信機能を使って送信するときは、すべての相手に送信し終わるまで多少時間がかかります。

3

便利な機能でファクスを有効に使う

相手先にセットされている原稿を受信する (ポーリング受信)

通信相手のファクスにあらかじめ原稿をセットしてもらい、本商品からダイヤルすることによって原稿を受信することができます。この機能をポーリング受信と呼びます。

-  **メモ**
- 本商品は、F コードをサポートしている各社のファクスはもちろん、F コードがサポートされていない当社のファクスからでもポーリング受信することができます。
 - 相手機が F コードをサポートしているファクスの場合、相手機の特定のポーリングボックスに蓄積された原稿を受信できます。ポーリングボックスは F コードで指定します。相手機のポーリングボックスに設定された F コードを確認しておいてください。なお、相手機のポーリングボックスにパスワードが設定されている場合は、パスワードも指定する必要があります。
 - 相手機が F コードをサポートしていない当社のファクスの場合、相手機のポーリング ID を 255 (2 進数 : 11111111) に設定するよう依頼しておき、F コードとパスワードを指定せずにポーリング受信してください。
 - 相手機に原稿がセットされていない場合、または相手機のポーリングボックスに原稿が蓄積されていない場合は、ポーリング受信することはできません。
 - メモリ内に定時ポーリングボックスを設定しておく、曜日や時刻を指定して、定期的にポーリング受信することもできます。(→定時ポーリングを設定する : P.5-98)

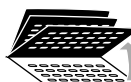
3

便利な機能でファクスを有効に使う



1 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。



拡張通信



2 ワンタッチダイヤルパネルを 3 枚開いて、[拡張通信] を押します。

拡張通信画面が表示されます。

F3

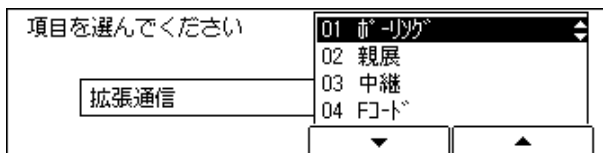
F4

OK

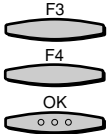
○○○

3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 ポーリング」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

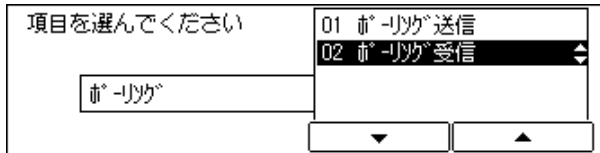


ポーリング画面が表示されます。



4 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 ポーリング受信」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



ファクス基本画面に戻ります。

3

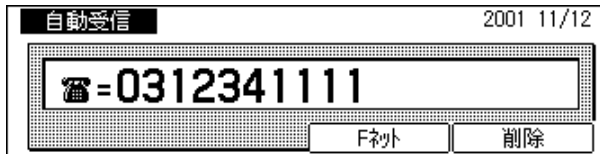
- メモ ポーリング送信の操作手順は、「メモリボックスに原稿を読み込む」(→ P.3-11) を参照してください。

便利な機能でファクスを有効に使う



5 相手先を指定し、[OK] を押します。

テンキーのほか、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、アクセスコードが使用できます。(→いろいろなダイヤルのしかた : P.2-16)



- メモ 複数の相手先を指定して、ポーリング受信することもできます。最大 210 件まで指定できます。
- テンキーでダイヤルするときは、電話番号の最後で [OK] を押してください。
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、アクセスコードで相手先を指定したときは、5 秒以内につぎの操作に進んでください。5 秒以上経過すると、自動的に通信が開始され、ITU-T 規格の F コードやパスワードが指定できなくなります。
- 相手機が ITU-T 規格の F コードやパスワードを設定しているとき、ポーリング受信するためには、ITU-T 規格の F コードとパスワードの設定が必要となります。(→受信パスワードを設定する : P.5-133)

ファクス基本画面に戻ります。

スタート



6 [スタート] を押します。

相手先を呼びだし、セットされている原稿を受信します。

- メモ 原稿の受信を中断したいときは、まず、[ストップ] を押してください。「通信を中止しますか?」というメッセージが表示されたら [はい] (F3) を押してください。

ポーリング受信時のFコードとパスワードの設定

ITU-T 規格の F コードとパスワードを設定している相手の原稿をポーリング受信するときは、相手の電話番号をダイヤルしたあとに、F コードやパスワードを設定する必要があります。

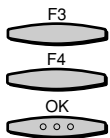
拡張通信



1 ポーリング受信の相手先を指定したあと、[拡張通信] を押します。

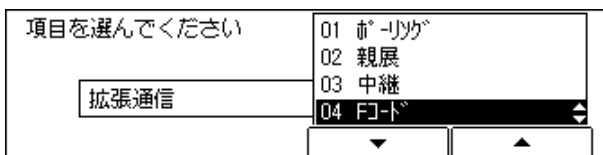
ここまでの操作は、「相手先にセットされている原稿を受信する（ポーリング受信）」（→ P.3-7）の手順 1～5 を参照してください。

拡張通信画面が表示されます。



2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「04 Fコード」を選択したあと、[OK] を押します。

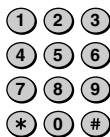
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



Fコードの入力画面が表示されます。

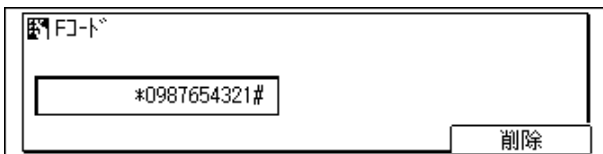


- 電話番号をダイヤルしてからFコードボタンを押すまでに5秒以上の間隔をあげないでください。ダイヤルタイムアウト機能がはたらき、ポーリング受信の動作が自動的に開始され、Fコードを指定できなくなります。



3 Fコードをテンキーで入力し、[OK] を押します。

20 桁以内で、数字、*、#、スペースが入力できます。



ファクス基本画面に戻ります。



- 相手機の F コードと、スペースも含めて完全に一致するように指定してください。
- スペースを入力するときは、[スペース] を押してください。
- 入力を間違えたときは、間違えた箇所に戻り [削除] を押して、入力しなおすことができます。[クリア] を押して、最初から入力しなおすこともできます。

3

便利な機能でファクスを有効に使う

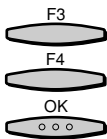
4 パスワードを設定する場合は、手順5へ進みます。

パスワードを設定しない場合は、[スタート] を押します。



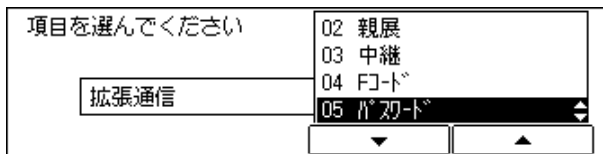
5 ポーリング受信の相手先を指定したあと、[拡張通信] を押します。

拡張通信画面が表示されます。



6 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「05 パスワード」を選択し、[OK] を押します。

・ [▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



パスワードの入力画面が表示されます。

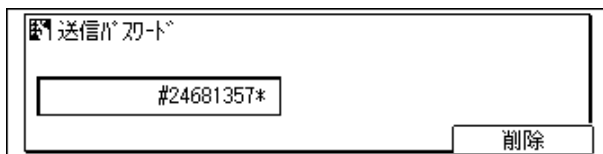


重要

- ・ Fコードを入力してからパスワードボタンを押すまでに5秒以上の間隔をあげないください。ダイヤルタイムアウト機能がはたらき、ポーリング受信の動作が自動的に開始され、パスワードを指定できなくなってしまいます。

7 テンキーでパスワードを入力し、[OK] を押します。

20 桁以内で、数字、*、#、スペースが入力できます。



メモ

- ・ 相手のパスワードとスペースも含めて完全に一致するように指定してください。
- ・ 入力を間違えたときは、間違えた箇所に戻り [削除] を押して、入力しなおすことができます。[クリア] を押して、最初から入力しなおすこともできます。

ファクス基本画面に戻ります。

スタート



8 [スタート] を押します。

ポーリング受信が開始されます。



3

便利な機能でファクスを有効に使う

メモリボックスを利用する (メモリボックス)

メモリボックスには、親展ボックス、中継ボックス、ポーリングボックス、および転送ボックスの4種類があります。(→メモリボックスの種類と使いかた：P.3-16)

あらかじめ利用の目的に応じたメモリボックスを設定して、暗証番号、Fコード、パスワードなどの必要項目を登録する必要があります。

-  **重要** • 登録できる転送ボックスは1個だけです。
-  **メモ** • 各メモリボックスの設定は、「ユーザモード」の「ファクス仕様設定」で行います。(→メモリ管理について設定する：P.5-77)

メモリボックスに原稿を読み込む

親展ボックスやポーリングボックスを利用する場合、原稿を読み込んで各メモリボックスに蓄積します。


ファクス

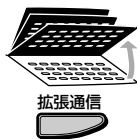
1 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。

2 原稿をセットします。

原稿のセットのしかたは、「ユーザズ編」を参照してください。

-  **メモ** • 原稿に合わせて濃度や画質が設定できます。(→原稿にあわせて解像度・濃度・画質を調節する：P.2-5)

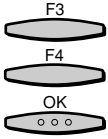


3 ワンタッチダイヤルパネルを3枚開いて、[拡張通信] を押します。

拡張通信画面が表示されます。

3

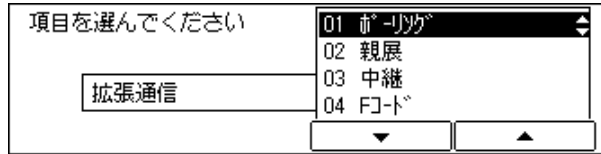
便利な機能でファクスを有効に使う



4 [▲] (F3) または [▼] (F4) を押して、「01 ポーリング」または「02 親展」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

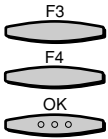
この画面例では、「01 ポーリングボックス」を選択します。



選択したメモリボックスの送受信の選択画面が表示されます。

3

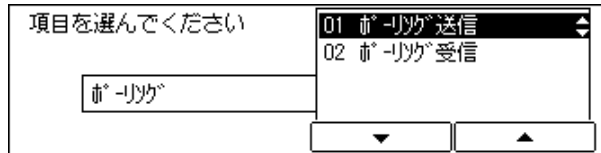
便利な機能でファクスを有効に使う



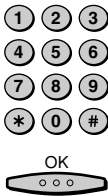
5 [▲] (F3) または [▼] (F4) を押して、利用するメモリボックスの送信機能を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

この画面例では、「01 ポーリング送信」を選択します。



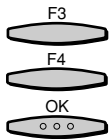
利用するメモリボックスのボックス番号入力画面が表示されます。



6 テンキーで利用するメモリボックスボックスのボックス番号を入力し、[OK] を押します。



発信人名称選択画面が表示されます。



7 [▲] (F3) または [▼] (F4) を押して、発信人名称を選択し、[OK] を押します。

[▲] (F3) または [▼] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

ユーザ略称が登録してある場合は、それが発信人名称となるのでそのまま [OK] を押しします。



原稿の読み込みが始まります。



- 受付番号は、ポーリング送信の設定を解除するときなどに使います。
- 原稿を原稿台ガラスにセットした場合は、すべての原稿をメモリに読み込ませてから、[OK] を押ししてください。
- 通信相手がポーリング受信操作すると原稿が送信されます。送信が終了すると原稿はメモリから消去されます。
- 原稿がメモリから消去されないように設定することもできます。(→メモリ管理について設定する：P.5-77)
- ポーリングボックスに読み込ませた原稿は、メモリ照会の原稿クリアで削除することができます。(→メモリボックス内の文書をプリント／削除する：P.3-13)

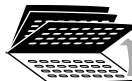
メモリボックス内の文書をプリント／削除する

メモリボックス内に蓄積されている文書をプリント、または消去します。



1 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。

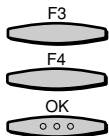


メモリ照会



2 ワンタッチダイヤルパネルを3枚開いて、[メモリ照会] を押します。

メモリ照会画面が表示されます。

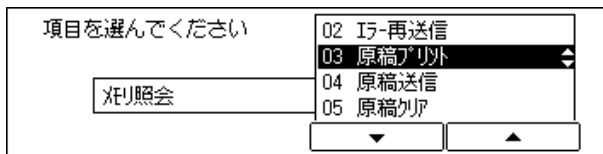


3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、利用する操作を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

● 文書をプリントする場合

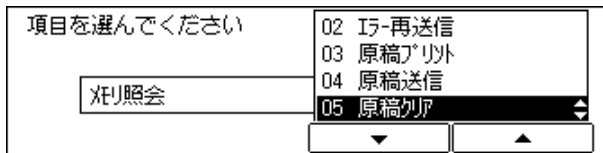
▼ 「03 原稿プリント」 を選択します。



メモリ内の文書一覧画面が表示されます。

● 文書を削除する場合

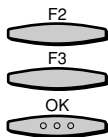
▼ 「05 原稿クリア」 を選択します。



メモリ内の文書一覧画面が表示されます。

3

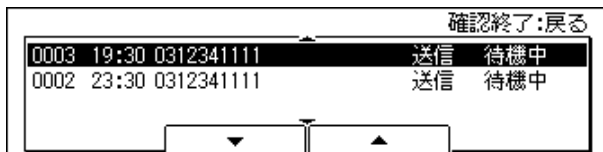
便利な機能でファクスを有効に使う



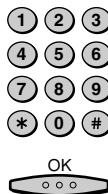
4

[▼] (F2) または [▲] (F3) を押してプリント、または削除する文書 (受付番号) を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F2) または [▲] (F3) を押すごとに、項目が切り替わります。

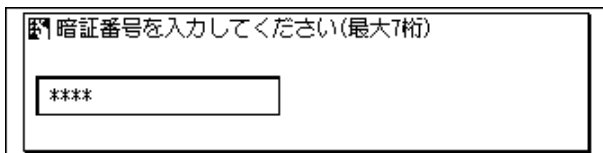


確認のメッセージが表示されます。

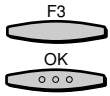


5

暗証番号の入力が必要な場合は、暗証番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。



確認のメッセージが表示されます。



6 [はい] (F3) を選択し、[OK] を押します。

14°-3°のみ出力?	
はい	いいえ

文書がプリントまたは削除されます。

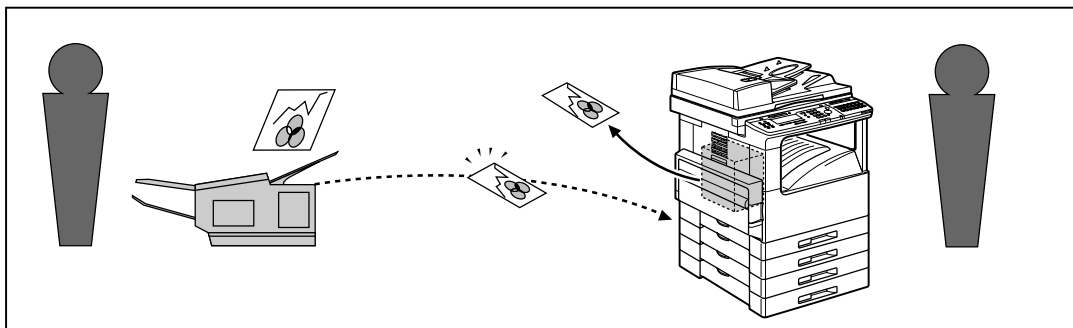
メモリボックスの種類と使いかた

メモリボックスごとの使いかたと操作の手順について説明します。

メモリボックスには、親展ボックス、中継ボックス、ポーリングボックス、転送ボックスの4種類があります。

親展ボックスの使いかた

機密の文書を受信するためのメモリボックスです。相手先には、目的の親展ボックスの F コードとパスワードを指定して文書を送信してもらいます。蓄積された文書をプリントするには、暗証番号の入力が必要です。



- メモ** • 親展ボックスを利用する場合は、あらかじめ親展ボックスを設定して、相手先にその親展ボックスの F コードとパスワードを連絡しておきます。ただし、パスワードの設定は省略できます。(→親展ボックスを設定する：P.5-77)

- 1** 親展ボックスを登録します。
- 2** 相手先に、目的の親展ボックスの F コードとパスワードを伝えます。
- 3** 相手先から、親展ボックスに文書を送信してもらいます。

親展ボックスに文書が受信されると、親展受信レポートがプリントされます。(→親展受信レポートの自動出力を設定する：P.5-44)


- メモ** • 親展受信レポートの自動出力は「する」または「しない」を選択できます。お買い求め時は、「しない」に設定されています。(→親展受信レポートの自動出力を設定する：P.5-44)

3

便利な機能でファックスを有効に使う

4 親展ボックス内の文書をプリントします。

プリント方法は「メモリボックス内の文書をプリント／削除する」（→ P.3-13）を参照してください。

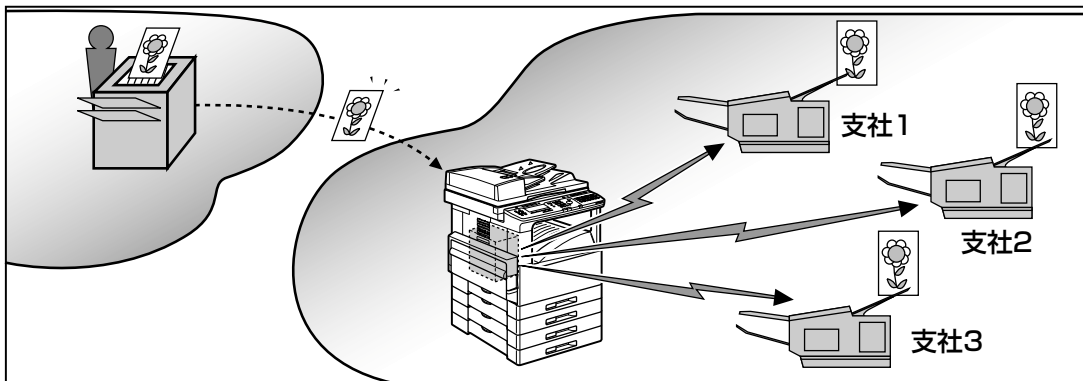
-  **メモ** • 親展ボックス内の文書をプリントしても、メモリボックス内の文書は消去されません。確認後、消去してください。（→メモリボックス内の文書をプリント／削除する：P.3-13）


中継ボックスの使いかた

中継ボックスは、本商品が受信した文書を複数の相手先に送信するためのメモリボックスです。

遠距離から、本商品と近距離の複数のファクス機に送信する場合、本商品を中継して他に送信すれば、長距離通信は一回ですみ、相手先にかかる通信料金の節約になります。

本商品から送信する時刻を指定できますので、通信コストの安い時間帯や回線のすいている時間帯などにまとめて送信することができます。



-  **メモ** • 中継ボックスを利用する場合は、あらかじめ中継ボックスを設定して、相手先にその中継ボックスの Fコードとパスワードを連絡しておきます。ただし、パスワードの設定は省略することができます。（→中継ボックスを設定する：P.5-86）

1 中継ボックスを登録します。

2 中継指示元の（本商品に文書を送信する）相手先に、目的の中継ボックスの Fコードとパスワードを伝えます。

3 中継ボックスに文書を送信してもらいます。

受信した文書が、登録されている相手先に送信されます。

3

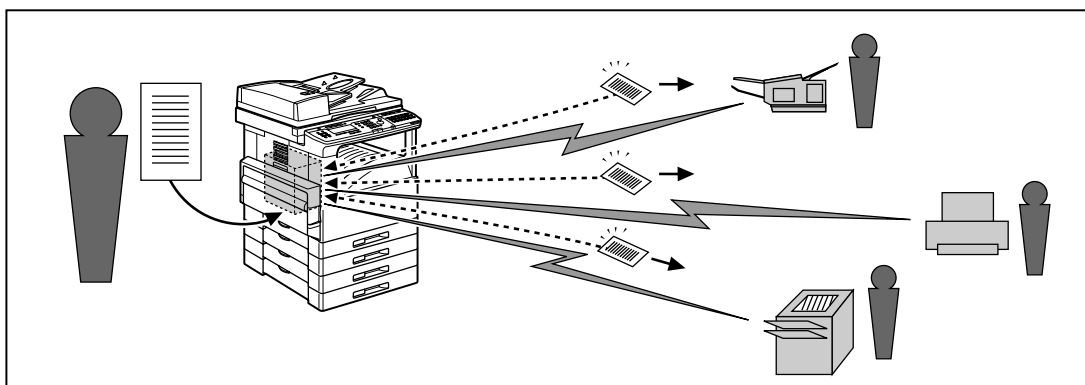
便利な機能でファクスを有効に使う

- **メモ** 受信した文書を本商品でもプリントするか、しないかを設定できます。(→中継ボックスを設定する：P.5-86)
- 同報送信する時刻が設定されている場合は、その時刻に送信を開始します。
- 中継ボックス内の文書を送信すると、メモリボックス内の文書は消去されます。

ポーリングボックスの使いかた（ポーリング送信）

原稿をメモリに記憶させておき、相手からの操作で原稿を送信できます。この機能をポーリング送信と呼びます。なお、この機能は、相手のファクス機が限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

ポーリング送信をする前に、あらかじめメモリ内に原稿を蓄積させるためのポーリングボックスを作成し(→ポーリングボックスの設定：P.5-106)、そのポーリングボックスに設定したFコードとパスワードを相手に連絡しておく必要があります。なお、パスワードは必ずしも設定する必要ありません。複数のポーリングボックスを作成して、各ボックスに異なる原稿を記憶させておけば、相手は必要な原稿を選んで受信できます。



- **メモ** Fコードをサポートしていないファクス機にポーリング送信する場合や相手を選ばず無条件にポーリング送信する場合は、ボックス番号「00」のポーリングボックスを使用します。ボックス番号「00」のポーリングボックスは、Fコードとパスワードを設定せず可以使用の特別なポーリングボックスです。
- 相手にセットされている原稿を本商品からの指示で受信する場合は、ポーリング受信になります。(→相手に先にセットされている原稿を受信する(ポーリング受信)：P.3-7)

1 ポーリングボックスに原稿を読み込みます。

2 相手機から本商品のファクス番号をダイヤルして、ポーリング受信してもらいます。

ポーリングボックス内に蓄積されている文書が相手先に送信されます。

3

便利な機能でファクスを有効に使う

- メモ ● 文書の送信後に、自動消去は「する」または「しない」を設定できます。(→ポーリングボックスの設定：P.5-107)
- 自動消去をしない設定の場合、任意のタイミングで消去できます。(→メモリボックス内の文書をプリント／削除する：P.3-13)
- ポーリングボックスから文書を毎日指定した時刻に特定の相手先からまとめて受信できます。(→定時ポーリングを設定する：P.5-98)

転送ボックスの使いかた

転送ボックスは、本商品が受信した文書を他のファクスに転送するためのメモリボックスです。曜日や時間を設定することができるので、夜間や休日に会社に送信されてきた文書を自宅に転送することができます。

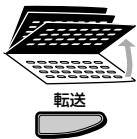
- メモ ● 転送ボックスを利用する場合は、あらかじめ転送ボックスを設定しておきます。(→受信した文書を自動転送する：P.5-115)

1 転送ボックスを登録します。



2 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。



3 ワンタッチダイヤルパネルを3枚開いて、[転送] を押します。

転送待ち受け状態になり、受信文書があらかじめ設定した宛先へ転送されます。


3

便利な機能でファクスを有効に使う

Fコードを使って通信する (Fコード)

相手先のファクス機と ITU-T (国際電気通信連合の通信規格などを制定する部門) 規格で原稿を送受信するときは、ファクス番号のほかに F コードとパスワードを付加します。

F コードを使うことにより、F コードをサポートしている他社の機種とでも、ポーリング受信やメモリボックスなどの機能を利用して、通信することができます。

-  **メモ** • F コードとパスワードは、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録できます。(→ワンタッチ宛先・短縮宛先の詳細設定をする：P.5-31)

3

便利な機能でファクスを有効に使う

F コードをつけて文書を送信する

相手先から F コードとパスワードを指定された場合、その F コードとパスワードを指定して文書の送信を行います。ただし、パスワードは設定されていない場合もあります。


ファクス

1 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。

2 原稿をセットします。

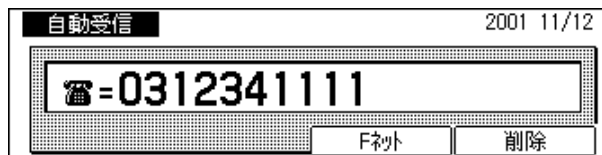
原稿のセットのしかたは、「ユーザーズ編」を参照してください。


-  **メモ** • 原稿に合わせて濃度や画質が設定できます。(→原稿にあわせて解像度・濃度・画質を調節する：P.2-5)

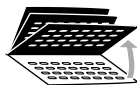
3 相手先を指定します。

テンキーで相手先の番号を入力する場合は、[OK] を押します。

相手先を指定するには、「いろいろなダイヤルのしかた」(→ P.2-16) を参照してください。



-  **メモ** • 入力を間違えたときは、間違えた箇所に戻り [削除] を押して、入力しなおすことができます。[クリア] を押して最初から入力しなおすこともできます。



拡張通信



F3



F4



OK

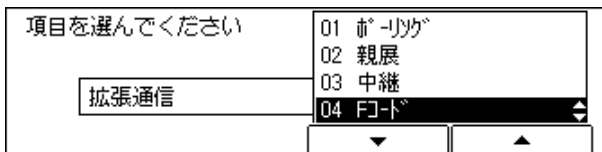


4 ワンタッチダイヤルパネルを 3 枚開いて、[拡張通信] を押します。

拡張通信画面が表示されます。

5 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「04 Fコード」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



Fコードを入力する画面が表示されます。



メモ

- 相手先を指定してから F コードボタンを押すまでに 5 秒以上の間隔をあげないでください。ダイヤルタイムアウト機能がはたらき、送信動作が自動的に開始され、F コードを指定できなくなってしまう可能性があります。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

*

0

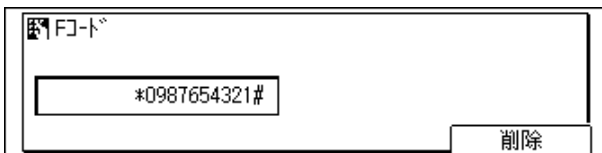
#

OK



6 テンキーで F コードを入力し、[OK] を押します。

20 桁以内で、数字、*、#、スペースが入力できます。



ファクス基本画面に戻ります。



メモ

- F コードは、スペースも含めて完全に一致するように指定してください。
- スペースを入力するときは、[スペース] を押します。
- 入力を間違えたときは、間違えた箇所に戻り [削除] を押して、入力しなおすことができます。[クリア] を押して、最初から入力しなおすこともできます。
- 相手がパスワードを設定していないときは、本商品でパスワードを設定する必要はありません。手順 10 に進んでください。

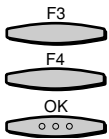


拡張通信



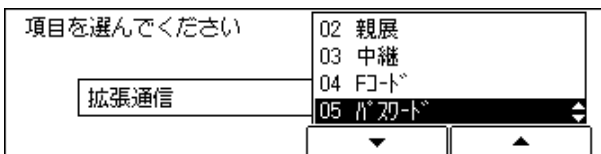
7 ファクス基本画面に戻ったら、ワンタッチパネルを 3 枚開いて、[拡張通信] を押します。

拡張通信画面が表示されます。



8 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「05 パスワード」を選択し、[OK] を押します。

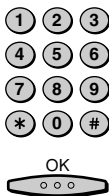
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



パスワードを入力する画面が表示されます。

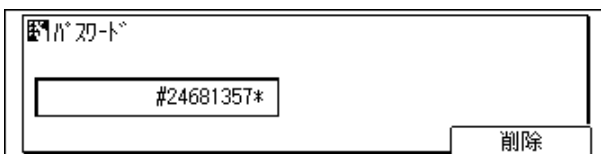
3

便利な機能でファクスを有効に使う



9 テンキーでパスワードを入力し、[OK] を押します。

20 桁以内で、数字、*、#、スペースが入力できます。



ファクス基本画面に戻ります。

- メモ • パスワードは、スペースも含めて完全に一致するように指定してください。
- スペースを入力するときは、[スペース] を押してください。
- 入力を間違えたときは、間違えた箇所に戻り [削除] を押して、入力しなおすことができます。[クリア] を押して、最初から入力しなおすこともできます。

スタート



10 ファクス基本画面に戻ったら、[スタート] を押します。

原稿が読み込まれ、文書が送信されます。

- メモ • Fコードとパスワードを設定した場合でも、Fコードやパスワードが登録されているワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどで相手先を指定した場合、登録されている方のFコードとパスワードが有効になります。

Fコード付きの文書をポーリング受信する

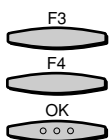
ポーリング受信する文書に相手先がFコードとパスワードを設定している場合、そのFコードとパスワードを付加して受信操作を行わないと、目的の文書は受信できません。ただし、パスワードは設定されていない場合もあります。



1 ポーリング受信の相手先を指定したあと、[拡張通信] を押します。

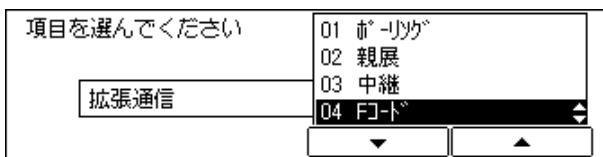
ここまでの操作は、「相手先にセットされている原稿を受信する（ポーリング受信）」（→ P.3-7）の手順 1～5 を参照してください。

拡張通信画面が表示されます。



2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「04 Fコード」を選択し、[OK] を押します。

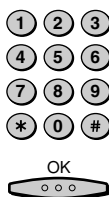
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



Fコード入力の画面が表示されます。

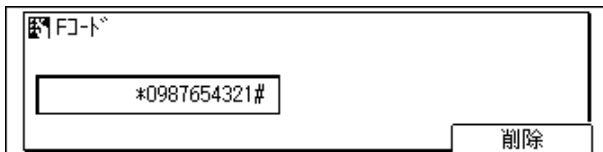


- 相手先を指定してから F コードボタンを押すまでに 5 秒以上の間隔をあげないでください。ダイアルタイムアウト機能がはたらき、ポーリング受信の動作が自動的に開始され、F コードを指定できなくなってしまいます。



3 テンキーでFコードを入力し、[OK] を押します。

20 桁以内で、数字、*、#、スペースが入力できます。



ファクス基本画面に戻ります。



- 相手機の F コードと、スペースも含めて完全に一致するように指定してください。
- スペースを入力するときは、[スペース] を押します。
- 間違えたときは、間違えた箇所に戻り [削除] を押して、入力しなおすことができます。[クリア] を押して、最初から入力しなおすこともできます。

3

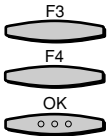
便利な機能でファクスを有効に使う

拡張通信



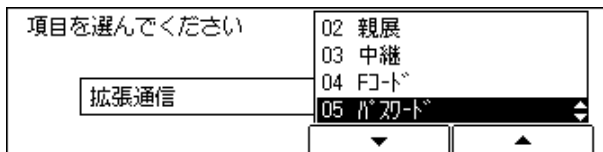
4 ファクス基本画面に戻ったら、[拡張通信] を押します。

拡張通信画面が表示されます。



5 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「05 パスワード」を選択したあと、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

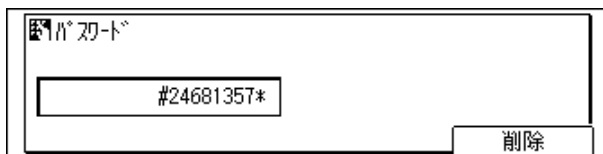


パスワード入力の画面が表示されます。

- メモ** • Fコードを入力してからパスワードボタンを押すまでに5秒以上の間隔をあげないでください。ダイヤルタイムアウト機能がはたらき、ポーリング受信の動作が自動的に開始され、パスワードを指定できなくなります。

6 テンキーでパスワードを入力し、[OK] を押します。

20桁以内で、数字、*、#、スペースが入力できます。



ファクス基本画面に戻ります。

- メモ** • 相手のパスワードとスペースも含めて完全に一致するように指定してください。

スタート



7 ファクス基本画面に戻ったら、[スタート] を押します。

ポーリング受信が開始されます。

- メモ** • Fコードとパスワードを設定した場合でも、Fコードやパスワードが登録されているワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどで相手先を指定した場合、登録されている方のFコードとパスワードが有効になります。


3

便利な機能でファクスを有効に使う

発信人名称をつけて送信する（発信人名称）

発信人名称を登録しておくで、ユーザ略称の代わりに発信人名称を発信元記録につけて文書を送信することができます。

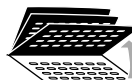
発信人名称は 99 個まで登録できます。部署名や個人名などで登録することにより、相手先や目的に合わせて使い分けられます。（→会社や部署の名称を登録する（ユーザ略称）：P.5-14）、（→発信人名称を登録する：P.5-15）

-  **メモ**
- 発信人名称を設定しても、発信元記録が「付けない」に設定されている場合は、発信人名称は相手先の記録紙に印字されません。印字する場合は、発信元記録の設定を「付ける」に設定します。（→送信する文書に発信元記録をつける：P.5-18）
 - 手動送信で送信した場合、ここで登録した発信人名称は送信されず、ユーザ略称が送信され、相手側の発信元記録にはユーザ略称が印字されます。

3

便利な機能でファクスを有効に使う

1 原稿をセットします。



発信人名称



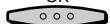
F3



F4



OK



2 ワンタッチダイヤルパネルを 3 枚開いて、[発信人名称] を押します。

発信人名称画面が表示されます。

3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、目的の発信人名称を選択したあと、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

テンキーから、発信人名称の番号を入力して指定できます。

発信人名称を選んでください	
<input type="text" value="発信人名称"/>	01 開発 02 営業 03
	▼ ▲

ファクス基本画面に戻ります。

スタート



4 相手先を指定したあと、[スタート] を押します。

原稿が読み込まれ、文書が送信されます。

受信モードを変更する (受信モード)

受信モードには、自動受信、手動受信、留守の3種類があります。

■ 自動受信

自動的に原稿を受信し、受信した原稿は自動的にプリントされます。

自動受信する場合は、外付け電話機またはオプションのハンドセットが接続されていても呼び出し音は鳴りません。


■ 手動受信

本商品に外付け電話機またはオプションのハンドセットを接続している場合で、「手動受信」に設定しているときは、相手がファクスでも電話でも呼び出し音で知らせます。

「FAX/TEL 切替」に設定している場合は、相手が電話のときだけ呼び出し音が鳴ります。自動受信の場合は、呼び出し音は鳴りません。

■ 留守

本商品の外付け電話機として留守番電話機を接続している場合で、「留守」に設定しているときは、相手からの着信に留守番電話機のメッセージで応答し、ファクス原稿が送られると自動的に受信します。

-  **メモ**
- 本商品では、あらかじめ「自動受信」に設定されています。
 - 電話回線をファクスの専用回線にする場合は、そのまま「自動受信」の状態で使用してください。相手機からファクス原稿が送られてきたときは自動的に受信します。
 - 「自動受信」は、ファクス専用のため、外付け電話機またはオプションのハンドセットを接続していても、相手が電話をかけてきたときに通話することはできません。
 - 「留守」のときは、リモート受信は使用できません。

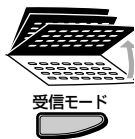
3

便利な機能でファクスを有効に使う

ファクス

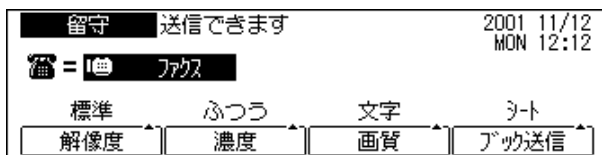
1 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。



2 ワンタッチダイヤルパネルを3枚開いて、[受信モード] を押します。

[受信モード] を押すたびに、「自動受信」→「手動受信」→「留守」と受信モードが変わり、「留守」の次は最初の「自動受信」に戻ります。



回線を選択して送信する（オプション）

（回線選択）

オプションの増設 G3 通信ユニット、G4 通信ユニット、PC プリンタユニットおよび LAN 接続ユニットを装着した場合に、回線を選択して送信することができます。（→回線 2 で送信する：P.6-10）（→ G4 通信ユニット取扱説明書）（→ LAN 接続ユニット取扱説明書（インターネットファクス編））

MEMO

3

便利な機能でファクスを有効に使う

ファクスの状況を確認／ 変更する

4

CHAPTER

送信文書や受信文書の通信状況の確認や変更のしかたについて記載しています。

送信文書の状況を確認／変更する	4-2
送信を中止する	4-2
原稿リストをプリントする	4-4
送信文書または通信結果の詳細情報を確認する	4-5
送信エラー文書を再送信する	4-6
送信文書の宛先を変更する	4-7
受信文書の状況を確認する	4-9
メモリ内の受信文書を消去する	4-9
受信文書の詳細情報を確認する	4-10
親展ボックスリストをプリントする	4-10
通信管理レポートをプリントする	4-12

送信文書の状況を確認／変更する

送信ジョブの状況の確認や変更について説明します。ユーザーズ編に記載している「ジョブ状況を確認する」とあわせてお読みください。

送信を中止する

原稿の送信を中止することができます。メモリ内の送信予約原稿も受付番号がわかっている場合はメモリから削除し、送信予約を解除することができます。

4

ファクスの状況を確認／変更する

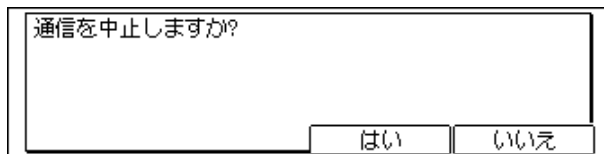
ストップ



1 原稿送信中に、[ストップ] を押します。

ダイレクト送信のときは、すぐに送信が中止されます。

メモリ送信のときは、送信中に [ストップ] を押すと、「通信を中止しますか?」と表示されます。




フィーダで原稿を読み取り中、またはダイレクト送信中のときは、「ストップキーが押されました [OK] キーを押して下さい」と表示されます。



2 [[はい] (F3) を押します。

原稿の送信が中止されます。

フィーダで原稿を読み取り中、またはダイレクト送信中のときは [OK] (F4) を押します。

-  **メモ** • 送信を中止しようとして [ストップ] を押しても、[[はい] (F3) を押すまでは送信しつづけます。
- ダイレクト送信を中止した場合、原稿がフィーダカバーの下につまった状態になることがあります。その場合はフィーダカバーを開いて原稿を取り出してください。

リダイヤル待機中やメモリ送信待機中の原稿送信を中止する場合

コピー/ファクス状況

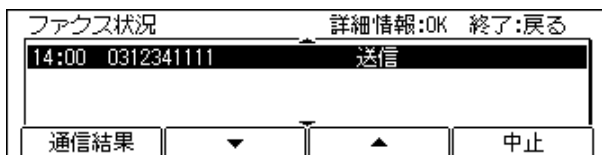


1 [コピー/ファクス状況] を押します。

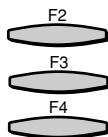
コピー状況画面が表示された場合は、もう一度 [コピー/ファクス状況] を押します。
ファクス状況画面が表示されます。



2 [通信結果] (F1) を押します。

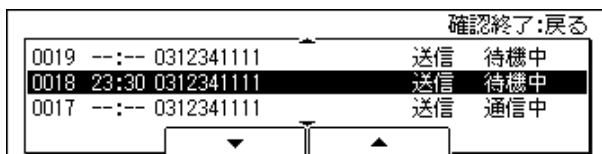


ジョブの送信結果の一覧が表示されます。

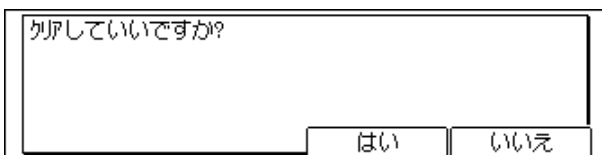


3 [▼] (F2) または [▲] (F3) を押して、中止するジョブを選択し、[原稿クリア] (F4) を押します。

[▼] (F2) または [▲] (F3) を押すごとに、項目が切り替わります。



4 [はい] (F3) を押します。



リダイヤル待機中やメモリ送信待機中の原稿送信が中止されます。



- [メモリ照会] を押して、「原稿クリア」を選択して原稿送信を中止することもできます。
(→メモリ内の受信文書を消去する：P.4-9)

4

ファクスの状況を確認/変更する

原稿リストをプリントする

原稿リストをプリントして、通信結果を確認できます。

原稿リストには、受付番号ごとに通信モード、相手先、枚数、受付時刻、開始時刻、および発信人名称が印字されます。

原稿リストをプリントするには、[レポート] を押して「原稿リスト」を選択する方法と [メモリ照会] を選択する方法の 2 通りがあります。

[レポート] を押してプリントする

1 [ファクス] を押します。

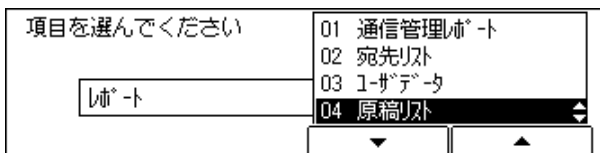
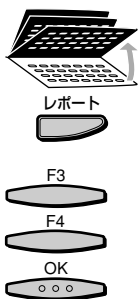
ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。

2 ワンタッチダイヤルパネルを 3 枚開いて、[レポート] を押します。

レポート画面が表示されます。

3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「04 原稿リスト」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



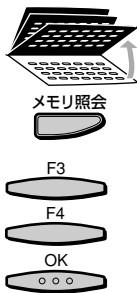
原稿リストがプリントされます。(P.8-11)

[メモリ照会] を押してプリントする



1 [ファクス] を押します。

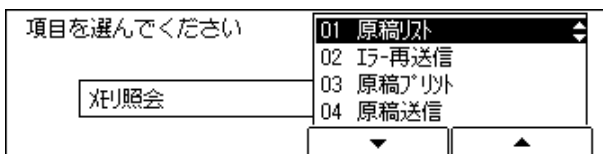
ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。



- 2** ワンタッチダイヤルパネルを3枚開いて、[メモリ照会]を押します。
メモリ照会画面が表示されます。

- 3** [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 原稿リスト」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すことに、項目が切り替わります。



原稿リストがプリントされます。(P.8-11)

受信文書や送信待機中文書などの詳細情報が確認できます。

送信文書または通信結果の詳細情報を確認する

送信ジョブの受付日時やページ数などの、詳細情報を確認できます。
また、複数の宛先が指定されている同報送信の各宛先が確認できます。

コピー/ファクス状況



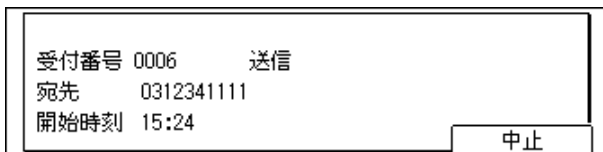
- 1** [コピー/ファクス状況] を押します。

コピー状況画面が表示された場合は、もう一度 [コピー/ファクス状況] を押します。

ファクス状況画面が表示されます。

- 詳細情報を確認するには
▼ 詳細情報を確認したい送信ジョブを選択し、[OK] を押します。

送信ジョブの詳細が表示されます。

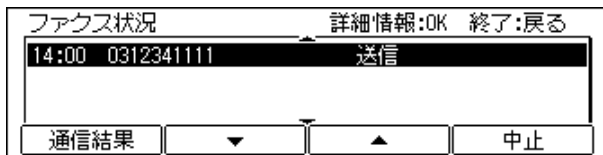


ファクス基本画面に戻ります。

- [メモ] [中止] (F4) を押すと、送信を中止することもできます。



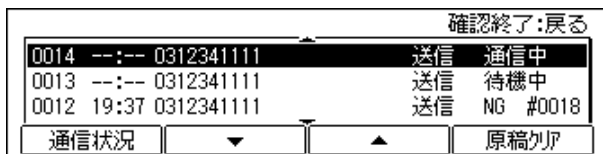
2 [通信結果] (F1) を押します。



ジョブの送信結果の一覧が表示されます。



3 [通信状況] (F1) を押します。



ファクス状況画面に戻ります。



4 [戻る] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

4

ファクスの状況を確認／変更する

送信エラー文書を再送信する

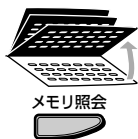
メモリ内の送信エラー文書を送信できます。

あらかじめエラー原稿クリアを「しない」に設定しておかなければ、再送信できません。(→エラー文書の自動消去を設定する：P.5-54)



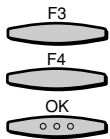
1 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。



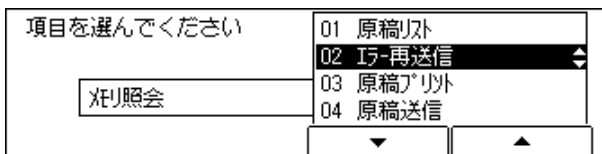
2 ワンタッチダイヤルパネルを3枚開いて、[メモリ照会] を押します。

メモリ照会画面が表示されます。

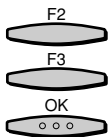


3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 エラー再送信」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



メモリ内の送信エラー文書一覧が表示されます。



4 [▼] (F2) または [▲] (F3) を押して再送信するエラー送信文書を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F2) または [▲] (F3) を押すごとに、項目が切り替わります。



再送信が始まります。

4
ファクスの状況を確認／変更する

送信文書の宛先を変更する

メモリ内の待機中の文書の宛先を変えて送信できます。

- ✎ **メモ** • 宛先を変えて送信できるのは、ポーリング送信、メモリ代行受信、親展受信した原稿、または送信エラー原稿をメモリから消去しないように設定したときの送信エラー原稿です。



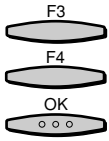
1 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。



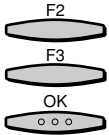
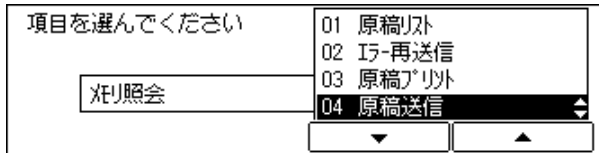
2 ワンタッチダイヤルパネルを3枚開いて、[メモリ照会] を押します。

メモリ照会画面が表示されます。



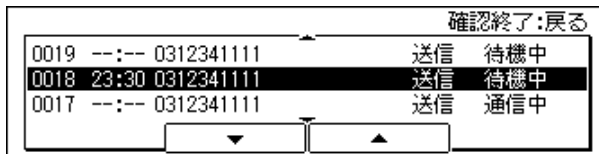
3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「04 原稿送信」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



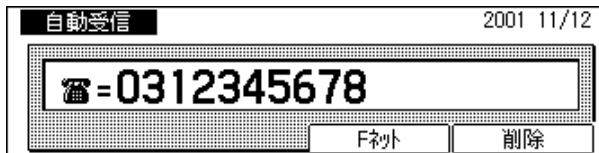
4 [▼] (F2) または [▲] (F3) を押して、送信する文書を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F2) または [▲] (F3) を押すごとに、項目が切り替わります。



5 相手先を指定し、[OK] を押します。

テンキーのほか、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルが使用できます。(→いろいろなダイヤルのしかた：P.2-16)



ファクス基本画面に戻ります。

- ☎メモ • 「発信人名称を選んでください」という画面が表示されたときは、発信人名称を選択できます。(→発信人名称をつけて送信する(発信人名称)：P.3-25) 選択しないときは、そのまま [OK] を押して下さい。



6 [OK] を押します

変更された宛先に文書が送信されます。

受信文書の状況を確認する

受信ジョブの状況の確認や変更について説明します。ユーザーズ編に記載している「ジョブ状況を確認する」とあわせてお読みください。

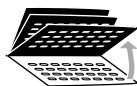
メモリ内の受信文書を消去する

メモリ内の受信文書を消去できます。

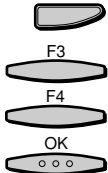


1 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。



メモリ照会

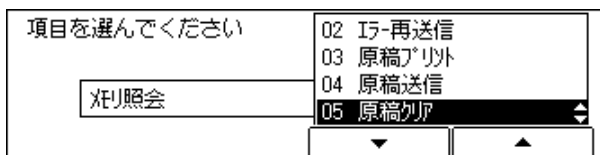


2 ワンタッチダイヤルパネルを 3 枚開いて、[メモリ照会] を押します。

メモリ照会画面が表示されます。

3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「05 原稿クリア」を選択し、[OK] を押します。

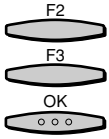
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



メモリ内の文書一覧が表示されます。

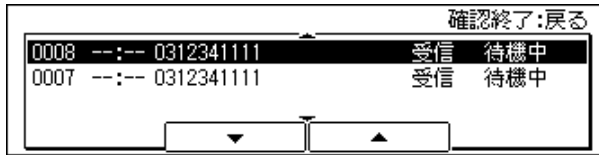
4

ファクスの状況を確認／変更する



4 [▼] (F2) または [▲] (F3) を押して、消去する受信文書を選択し、[OK] を押します。

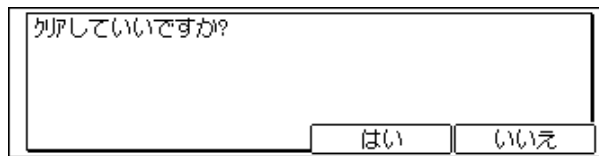
[▼] (F2) または [▲] (F3) を押すごとに、項目が切り替わります。




「クリアしていいですか?」と表示されます。



5 [はい] (F3) を押します。



消去しない場合は [いいえ] (F4) を押します。

-  **メモ** • プリント中の受信ジョブは、消去できません。
- 受信中のジョブを選択すると、「通信を中止しますか?」と表示され、[はい] (F3) を押すと、受信を中止することができます。

選択した受信文書が消去されます。

受信文書の詳細情報を確認する

原稿リスト (P.8-11) をプリントして、詳細情報を確認できます。(→原稿リストをプリントする : P.4-4)

親展ボックスリストをプリントする

親展ボックスでの通信結果の一覧をプリントします。

1 [ファクス] を押します。

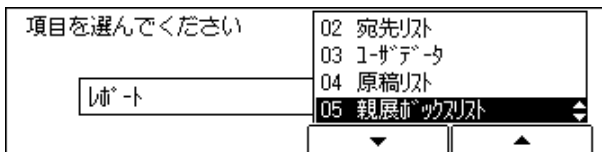
ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。

2 ワンタッチダイヤルパネルを 3 枚開いて、[レポート] を押します。

レポート画面が表示されます。

3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、[05 親展ボックスリスト] を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



ファクス基本画面に戻り、親展ボックスリストがプリントされます。(P.8-10)

通信管理レポートをプリントする

最新 40 件分の通信ジョブの開始時刻、相手先、発信人名称、受付番号、通信モード、枚数、および通信結果が印字されます。

 **メモ** • 通信管理レポートの出力例は、「第 8 章 付録」(P.8-1) を参照してください。

ファクス

1 [ファクス] を押します。

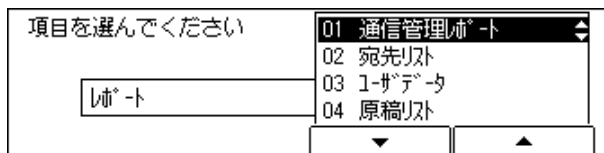
ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。

2 ワンタッチダイヤルパネルを 3 枚開いて、[レポート] を押します。

レポート画面が表示されます。

3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、[01 通信管理レポート] を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



ファクス基本画面に戻り、通信管理レポートがプリントされます。(P.8-7)

4

ファクスの状況を確認／変更する

使いかたにあわせて ファクス機能を設定登録する

5

CHAPTER

ファクス機能の初期設定をご利用にあわせて変更、登録するしかたについて記載しています。


ファクス仕様設定・宛先登録一覧表	5-3
基本的な登録をする	5-7
ユーザ電話番号を登録する	5-7
受信モードを設定する	5-9
ダイヤルインサービスを設定する	5-10
電話回線の種類を選択する	5-11
送受信のスタートスピードを設定する	5-13
会社や部署の名称を登録する（ユーザ略称）	5-14
発信人名称を登録する	5-15
送信する文書に発信元記録をつける	5-18
送出電話番号を設定する	5-20
原稿を読み取るときの基準濃度を設定する	5-21
面倒な設定を簡単にする（プログラムワンタッチキー設定）	5-23
オフフックアラームを鳴らす	5-26
宛先を登録する	5-27
ワンタッチ宛先・短縮宛先を登録する	5-27
ワンタッチ宛先・短縮宛先の詳細設定をする	5-31
グループダイヤルを登録する	5-36
通信レポート出力の設定をする	5-41
送信結果レポートの自動出力を設定する	5-41
受信結果レポートの自動出力を設定する	5-43
親展受信レポートの自動出力を設定する	5-44
通信管理レポートの自動出力を設定する	5-45
送信機能について登録する	5-48
ECM 送信を設定する	5-48
ポーズキーの時間を設定する	5-50
自動リダイヤルを設定する	5-51
エラー文書の自動消去を設定する	5-54
ダイヤルタイムアウト機能を設定する	5-55
済スタンプの条件を設定する	5-56
回転送信を設定する	5-57

5. 使いかたにあわせて ファクス機能を設定登録する

受信機能について設定する	5-58
ECM 受信を設定する	5-58
受信モードを設定する	5-60
着信時の呼び出し音を設定する	5-63
自動受信へ切り替えるように設定する	5-64
リモート受信を設定する	5-65
受信情報記録のプリントを設定する	5-67
2 in 1 記録を設定する	5-68
受信文書のプリントについて設定する	5-70
受信文書のプリント部数を設定する	5-70
受信文書のプリント方法を設定する	5-71
受信文書を縮小してプリントする	5-73
トナー不足時のプリント継続/中止の設定をする	5-76
メモリ管理について設定する	5-77
親展ボックスを設定する	5-77
中継ボックスを設定する	5-86
定時ポーリングを設定する	5-98
ポーリングボックスの設定	5-107
受信した文書を自動転送する	5-115
システム管理について設定する	5-126
メモリで受信する (メモリ受信)	5-126
指定時間外にメモリ受信を ON/OFF する	5-132
メモリ受信した原稿をプリントする	5-133
受信パスワードを設定する	5-133
通信時に相手先を確認する	5-134
標準モードを変更する	5-136
アクセスコードを設定する	5-140
F ネット無鳴動着信を設定する	5-142
FIS スイッチを設定する	5-143
登録・設定した内容をプリントする	5-145

ファクス仕様設定・宛先登録一覧表

ファクス仕様設定・宛先登録で登録／設定できる項目は次のとおりです。（* マークがお買い求め時の設定）。

 **メモ** • オプションを装着していない場合は、表示項目が異なったり、選択できなかったりすることがあります。

■ ファクス仕様設定

ユーザモード項目	設定項目		参照ページ	
基本設定	電話回線設定：	PSTN*		
		ユーザ電話番号	登録	5-7
		受信モード	自動受信* / FAX/TEL切替	5-9
		ダイヤルインサービス	使用しない* / モデムダイヤルインを使用 / ダイヤルインを使用	5-10
		回線種類選択	プッシュ回線 / ダイヤル回線*	5-11
		送信スタートスピード	14400bps / 9600bps / 7200bps / 4800bps / 2400bps / 33600bps*	5-13
	受信スタートスピード	14400bps / 9600bps / 7200bps / 4800bps / 2400bps / 33600bps*	5-13	
		ISDN	G4 通信ユニット取扱説明書	
	ユーザ略称登録：登録	5-14		
	発信人名称：01 ~ 99（発信人名称登録 / 個別設定）	5-15		

ユーザモード項目	設定項目	参照ページ
基本設定	発信元記録：付ける* / 付けない	5-18
	送出電話番号：使用回線のユーザ TEL* / その他の電話番号	5-20
	読み取り濃度セット：うすく / ふつう / こく	5-21
	プログラムワンタッチキー：01 ~ 63 (使用しない* / 使用する)	5-23
	オフフックアラーム：する* / しない	5-26
	送信回線選択：自動* / 手動	G4 通信 ユニット 取扱説明書
レポート設定	送信結果レポート：プリントしない / エラー時のみプリント* / プリントする	5-41
	受信結果レポート：プリントしない* / エラー時のみプリント / プリントする	5-43
	親展受信レポート：プリントしない / プリントする*	5-44
	通信管理レポート：自動プリント* / 時刻指定プリント / 送信 / 受信分離	5-45
送信機能設定	ECM 送信：する* / しない	5-48
	ポーズ時間 (2 秒*)	5-50
	自動リダイヤル：する* / しない	5-51
	エラー原稿クリア：しない / する*	5-54
	ダイヤルタイムアウト：する* / しない	5-55
	サブアドレス発信：使用する / 使用しない*	G4 通信 ユニット 取扱説明書
	済スタンプの種類：ダイレクト / メモリ送信* / ダイレクト送信のみ	5-56
	回転送信：する* / しない	5-57

ユーザモード項目	設定項目	参照ページ
受信機能設定	ECM 受信：する * / しない	5-58
	F/T 切替詳細設定：呼び出し開始時間 / 呼び出し時間 / 呼び出し後の動作 / 音声応答	5-60
	着信呼び出し：しない * / する	5-63
	自動受信切替：しない * / する	5-64
	リモート受信：する * / しない	5-65
	受信情報記録：付けない * / 付ける	5-67
	相手発信元記録：G4：付けない / 画像の中に付ける / 画像の外に付ける *	G4 通信 ユニット 取扱説明書
	2 in 1 記録：しない * / する	5-68
プリント設定	受信プリント部数 (1 枚 *)	5-70
	カセット選択：スイッチ A ~ D (ON* / OFF)	5-71
	画像縮小：する * / しない	5-73
	印字継続：しない * / する	5-76
メモリ管理設定	親展ボックス設定：作成 / 変更 / 取消	5-77
	中継ボックス設定：作成 / 変更 / 取消	5-86
	定時ポーリング設定：作成 / 変更 / 取消	5-98
	ポーリングボックス設定：作成 / 変更 / 取消	5-107
	転送：作成 / 変更 / 取消	5-115
システム管理設定	メモリ受信：しない * / する	5-126
	受信パスワード：登録	5-133
	相手先確認：しない * / する	5-134
	FAX ホームポジション：解像度 / 読取濃度 / 画質 / ブック送信 読取サイズ / 送信モード / 送信スタンプ	5-136
	アクセスコード：使用する / 使用しない *	5-140
	F ネット無鳴動着信：しない * / する	5-142
	FIS スイッチ：OFF* / ON	5-143

■ 宛先登録

ユーザモード項目	設定項目	参照ページ
ワンタッチダイヤル登録	電話番号登録：01～63（電話番号入力／名前／詳細設定）	5-27 5-31
	メールアドレス：01～63（メールアドレス入力／名前／詳細設定）	LAN接続ユニット 取扱説明書 （インターネット ファクス編）
	ftpサーバー：01～63（ftpサーバー名／名前／ログイン名／パスワード／アップロード先ディレクトリ／詳細設定）	LAN接続ユニット 取扱説明書 （インターネット ファクス編）
短縮ダイヤル登録	電話番号登録：000～136（電話番号入力／名前／詳細設定）	5-27 5-31
	メールアドレス：000～136（メールアドレス入力／名前／詳細設定）	LAN接続ユニット 取扱説明書 （インターネット ファクス編）
	ftpサーバー：000～136（ftpサーバー名／名前／ログイン名／パスワード／アップロード先ディレクトリ／詳細設定）	LAN接続ユニット 取扱説明書 （インターネット ファクス編）
グループダイヤル登録	01～63：相手先／名前／詳細設定	5-36

■ リストプリント

ユーザモード項目	設定項目	参照ページ
ユーザデータ	プリント	5-145
宛先リスト	ワンタッチ宛先リスト1／ワンタッチ宛先リスト2／短縮宛先リスト1／短縮宛先リスト2：ソートする／ソートしない* グループ宛先リスト／アクセスコード	5-145
部門別管理リスト	—	5-145
出力中止	—	5-145

5


使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

基本的な登録をする

ファクス機能の基本的な設定について説明しています。

ユーザ電話番号を登録する

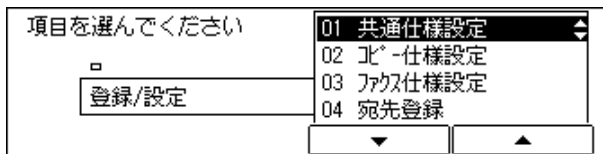
本商品の加入者電話番号を登録します。

 **メモ** • ダイヤルインを使用する場合は、ファクス番号と電話番号を登録できます。

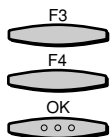
ユーザモード



1 [ユーザモード] を押します。

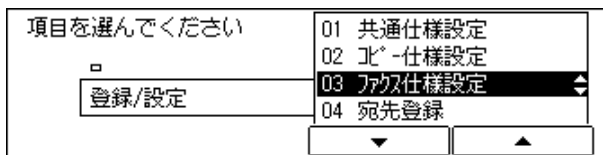


ユーザモード画面が表示されます。

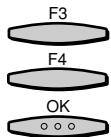


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 ファクス仕様設定」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

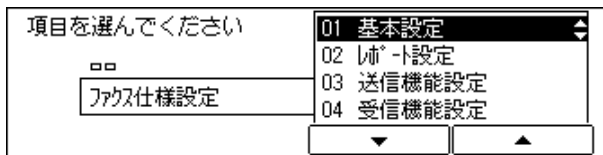


ファクス仕様設定の選択画面が表示されます。



3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 基本設定」を選択し、[OK] を押します。

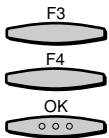
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



基本設定画面が表示されます。

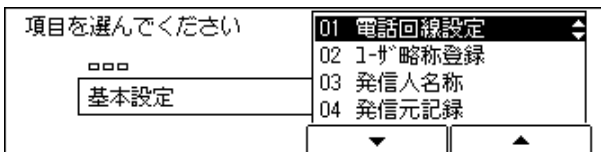
5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

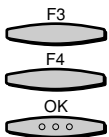


4 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 電話回線設定」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

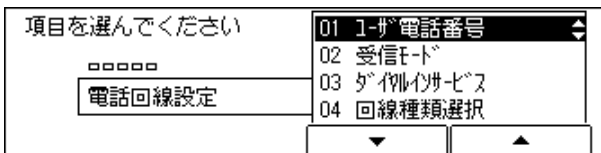


電話回線設定画面が表示されます。



5 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 ユーザ電話番号」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



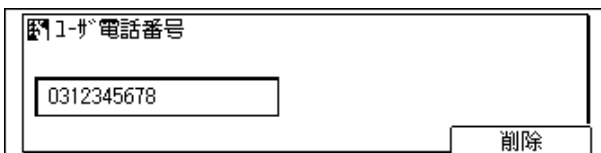
ユーザ電話番号入力画面が表示されます。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する



6 ユーザ電話番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。



● ダイヤルインを使用する場合

- ▼ 続いてFAX 番号指定画面、TEL 番号指定画面が表示されます。
- ▼ 各画面でファクス番号、電話番号を入力し、[OK] を押します。

ユーザ電話番号が登録され、電話回線設定画面に戻ります。

- ☞ **メモ** ● ダイヤルインを使用する場合は、あらかじめ設定しておきます。(→ダイヤルインサービスを設定する：P.5-10)
- 入力を間違えたときは、間違えた箇所に戻り [削除] を押して、入力しなおすことができます。[クリア] を押して、最初から入力しなおすこともできます。



7 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

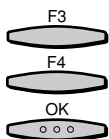
受信モードを設定する

受信モードを自動的に原稿を受信する「自動受信」にするか、相手が電話のときは呼び出し音が鳴り、ファクス原稿が送られると受信する「FAX / TEL 切替」にするかを設定します。オプションの増設G3通信ユニットを取り付けている場合は、1回線目だけに設定できます。

 **メモ** • お買い求め時は、「自動受信」に設定されています。

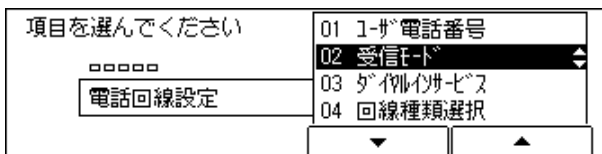
1 ユーザモード画面に入り、電話回線設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「ユーザ電話番号を登録する」(→ P.5-7)の手順1~4を参照してください。

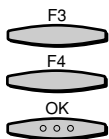


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 受信モード」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

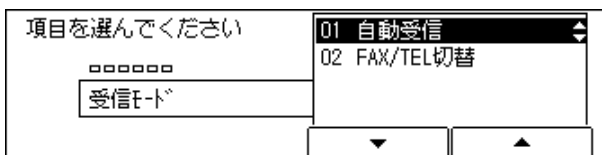


受信モード選択画面が表示されます。



3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 自動受信」または「02 FAX / TEL 切替」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



電話回線設定画面に戻ります。



4 ファクス基本画面に戻る場合は [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

ダイヤルインサービスを設定する

ダイヤルインサービスは、通常の契約者回線番号とは別に、複数の追加番号（ダイヤルイン番号）を持つことができる当社のサービスです。これにより、1本の回線でもファクスと電話に別々の電話番号を与えて使用できます。

ここでは、ダイヤルインサービスを使用するか、使用しないか、またはモデムダイヤルインを使用するかを設定します。

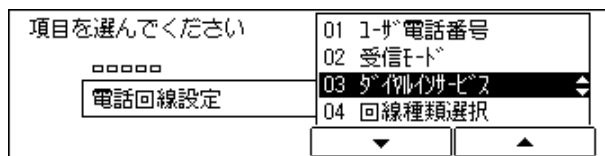
- 重要**
- ダイヤルインサービスを利用契約の際には、複数の電話番号を区別するための送出番号は必ず4桁にしてください。
 - ダイヤルインサービスを利用していると、停電中や電源を切っているとき、通常の操作では電話を受けることができなくなります。停電中に電話を受ける場合は、次のように操作してください。
 - ①電話の呼び出し音が2回鳴るうちに（6秒以内）ハンドセットを取ります。
 - ②「ピッポッパッポ」という音が聞こえたら、2秒以内にいったんハンドセットを戻します。
 - ③もう一度ハンドセットを取ると、相手と話すことができます。
- メモ**
- ダイヤルインサービスを利用するには当社（有料）との契約が必要です。
 - お買い求め時は、「使用しない」に設定されています。

1 ユーザモード画面に入り、電話回線設定画面を表示させます。

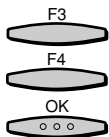
ここまでの操作は、「ユーザ電話番号を登録する」（→P.5-7）の手順1～4を参照してください。

2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 ダイヤルインサービス」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

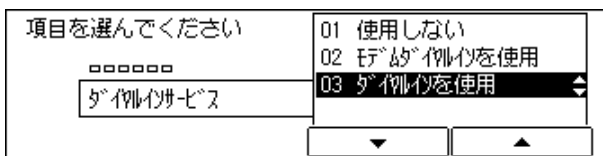


ダイヤルインサービス使用選択画面が表示されます。



3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 使用しない」「02 モデムダイヤルラインを使用」または「03 ダイヤルラインを使用」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



電話回線設定画面に戻ります。

- メモ** • ダイヤルラインとして使用するファクス番号と電話番号はユーザ電話番号の登録時 (→ P.5-7) に入力します。



4 ファクス基本画面に戻る場合は [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

電話回線の種類を選択する

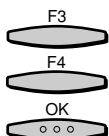
本商品に接続する電話回線の種類を設定します。

設定が誤っていると通信することができません。電話回線の種類を確認して、正しく設定してください。

- メモ** • お買い求め時は、「ダイヤル回線」に設定されています。

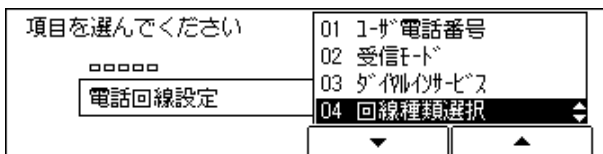
1 ユーザモード画面に入り、電話回線設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「ユーザ電話番号を登録する」(→ P.5-7) の手順 1 ~ 4 を参照してください。

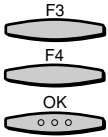


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「04 回線種類選択」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

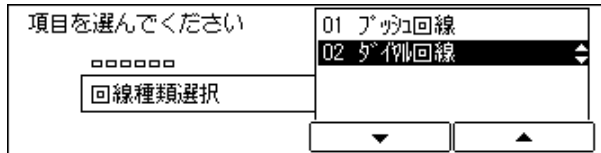


回線種類選択画面が表示されます。



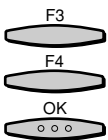
3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 プッシュ回線」、「02 ダイヤル回線」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



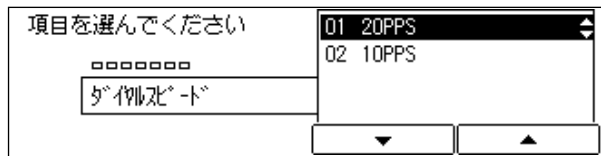
「01 プッシュ回線」を選択した場合は、電話回線種類の設定は完了です。

「02 ダイヤル回線」を選択した場合は、手順 4 へ進みます。




4 「02 ダイヤル回線」を選択した場合は、[▼] (F3) または [▲] (F4) を押して「01 20PPS」または「02 10PPS」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



電話回線設定画面に戻ります。

-  **メモ** • 電話回線の種類がわからないときは、局番なしの 116 番（無料）または当社の営業所等にお問い合わせください。



5 ファクス基本画面に戻る場合は [リセット] を押します。


ファクス基本画面に戻ります。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

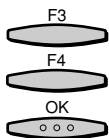
送受信のスタートスピードを設定する

回線の状態が悪く、送受信が始まるまでに時間がかかるとき、スタートスピードを変更することができます。

 **メモ** • お買い求め時は、「送信スタートスピード：33600bps」に設定されています。

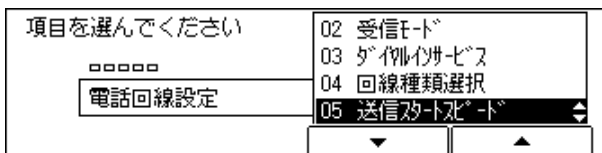
1 ユーザモード画面に入り、電話回線設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「ユーザ電話番号を登録する」(→ P.5-7)の手順1～4を参照してください。

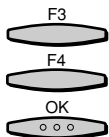


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、[05 送信スタートスピード] または [06 受信スタートスピード] を選択し、[OK] を押します。

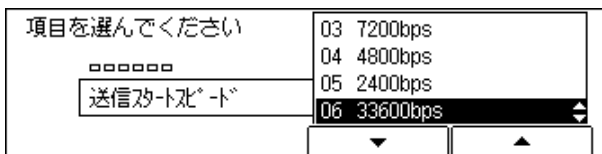
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。




スタートスピード選択画面が表示されます。



3 目的のスタートスピードを選択し、[▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、[OK] を押します。



設定内容が登録され、基本設定画面に戻ります。

 **メモ** • 回線の状態が悪い場合は、「33600bps」から「14400bps」、「9600bps」、「7200bps」、「4800bps」、「2400bps」の順にスピードを下げて、調整してください。



4 ファクス基本画面に戻る場合は [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。


5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

会社や部署の名称を登録する（ユーザ略称）

会社や部署の名称などをユーザ略称に登録します。

登録したユーザ略称は、原稿を送信したとき、発信元記録として相手先の用紙にプリントされます。

 **メモ** • 文字を入力する方法については、「ユーザズ編」を参照してください。

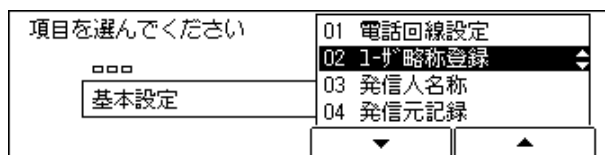
1 ユーザモード画面に入り、基本設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「ユーザ電話番号を登録する」(→ P.5-7) の手順 1～3 を参照してください。



2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 ユーザ略称登録」を選択し、[OK] を押します。

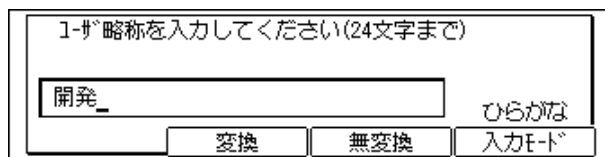
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。




ユーザ略称登録画面が表示されます。



3 ユーザ略称を入力し、[OK] を押します。



入力したユーザ略称が登録され、基本設定画面に戻ります。

-  **メモ**
- ボックス名称は最大で24文字、全角では12文字まで入力できます。文字を入力する方法については、「ユーザズ編」を参照してください。
 - 入力を間違えたときは、間違えた箇所に戻り [削除] を押して、入力しなおすことができます。[クリア] を押して最初から入力しなおすこともできます。



4 ファクス基本画面に戻る場合は [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

発信人名称を登録する

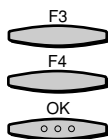
部や課の名称、個人名などを発信人名称に登録します。

ユーザ略称以外の名称を、発信元記録として相手先の記録紙にプリントしたい場合に発信人名称を登録します。

- ✎ **メモ** • 文字を入力する方法については、「ユーザズ編」を参照してください。
- 発信人名称は、最大 99 件登録できます。
- 発信元記録については、「送信する文書に発信元記録をつける」(→ P.5-18) を参照してください。
- ユーザ略称の代わりに発信人名称を発信元記録にプリントする場合は、ワンタッチパネルを 3 枚開いて、[発信人名称] を押します。(→ 発信人名称をつけて送信する (発信人名称) : P.3-25)

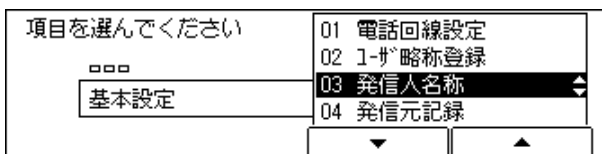
1 ユーザモード画面に入り、基本設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「ユーザ電話番号を登録する」(→ P.5-7) の手順 1 ~ 3 を参照してください。

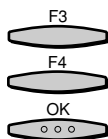


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 発信人名称」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



発信人名称の選択画面が表示されます。

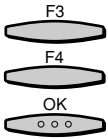


3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、発信人名称を入力する番号を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

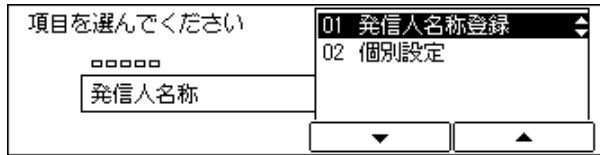


- ✎ **メモ** • 選択したい番号が表示されていない場合は、[▲] [▼] を押します。



4 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 発信人名称登録」を選択し、[OK] を押します。

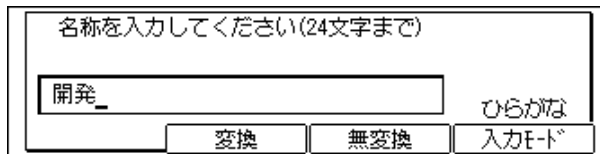
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



発信人名称入力画面が表示されます。

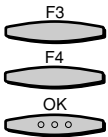


5 発信人名称を入力し、[OK] を押します。



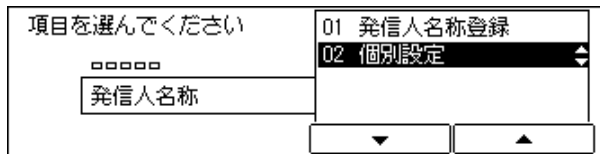
- **メモ** 発信人名称は最大半角で24文字、全角で12文字まで入力できます。文字を入力する方法については、「ユーザーズ編」を参照してください。
- 入力を間違えたときは、間違えた箇所に戻り [削除] を押して、入力しなおすことができます。[クリア] を押して最初から入力しなおすこともできます。

入力した発信人名称が登録され、発信人名称設定画面に戻ります。

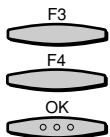


6 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 個別設定」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

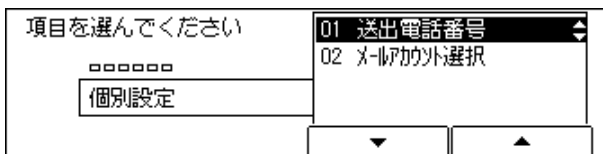


個別設定画面が表示されます。

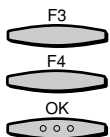


7 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 送出電話番号」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

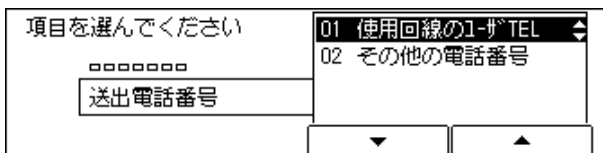


送出電話番号画面が表示されます。

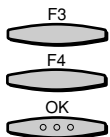


8 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 使用回線のユーザ TEL」または「02 その他の電話番号」を選択し、[OK] を押します。

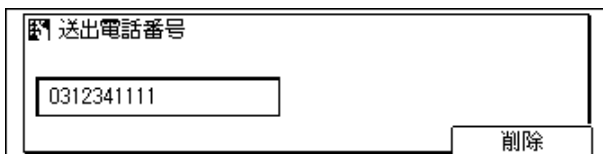
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



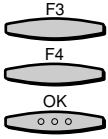
「01 使用回線のユーザ TEL」を選択した設定が登録され、個別設定画面に戻ります。



9 「02 その他の電話番号」を選択した場合は、登録する電話番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。



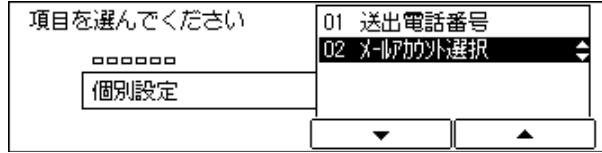
個別設定画面に戻ります。

**10**

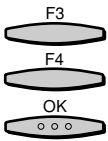
【▼】(F3) または 【▲】(F4) を押して、「02 メールアカウント選択」を選択し、【OK】を押します。

メールアドレスを選択すると、オプションの1ファクス(LAN接続ユニット)で送信する場合に、メールアドレスや名前が発信元記録として付けられます。

【▼】(F3) または 【▲】(F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



メールアドレス選択画面が表示されます。

**11**

【▼】(F3) または 【▲】(F4) を押して、メールアドレスを選択し、【OK】を押します。

【▼】(F3) または 【▲】(F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



発信人名称設定画面に戻ります。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

**12**

ファクス基本画面に戻る場合には【リセット】を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

送信する文書に発信元記録をつける

送信するとき、発信元記録の付ける、付けないを指定します。

発信元記録は送信文書の上部にプリントされます。

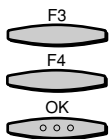
こちらの電話番号や名前などがプリントされますので、相手先で誰から送信されてきた文書かを確認することができます。

- ☑ **メモ** • お買い求め時は、「付ける」に設定されています。

1

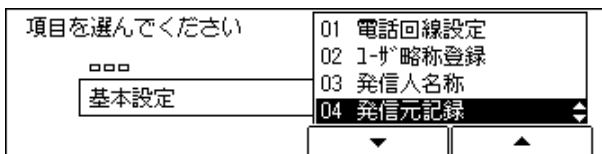
ユーザモード画面に入り、基本設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「ユーザ電話番号を登録する」(→P.5-7)の手順1~3を参照してください。

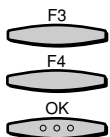


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「04 発信元記録」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

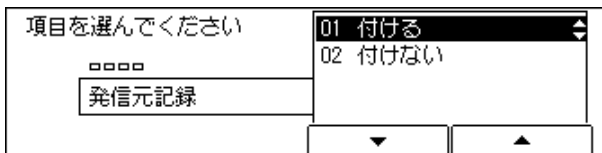


発信元記録の選択画面が表示されます。



3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 付ける」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

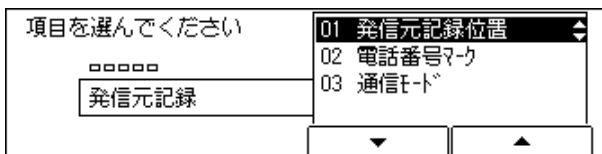


発信元記録をつけない場合は「02 付けない」を選択し、[OK] を押して、基本設定画面に戻ります。

発信元記録の処理選択画面が表示されます。



4 発信元記録のプリント位置と、電話番号マーク、通信モードを指定したあと、[OK] を押します。



基本設定画面に戻ります。



- 通信モードは、オプションの G4 通信ユニットを装着した場合に指定できます。
- 発信元記録を「01 付ける」に設定した場合、相手先の記録紙には発信元記録がプリントされます。(→発信元記録の登録：P.1-9)



5 ファクス基本画面に戻る場合は [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

送出電話番号を設定する

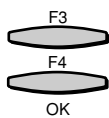
本商品で使用する電話番号を登録します。登録した電話番号は、原稿を送信したとき、発信元記録として相手先の記録紙にプリントされます。

相手先の機種によっては、通信中、タッチパネルディスプレイなどにも表示されます。

 **メモ** • お買い求め時は、「使用回線のユーザ TEL」に設定されています。

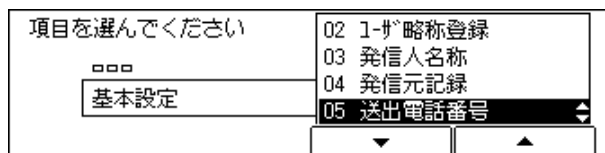
1 ユーザモード画面に入り、ファクス仕様設定画面から基本設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「ユーザ電話番号を登録する」(→ P.5-7) の手順 1 ~ 3 を参照してください。

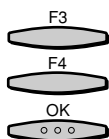


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「05 送出電話番号」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

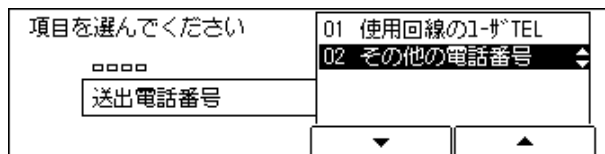


項目の選択画面が表示されます。




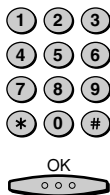
3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 使用回線のユーザ TEL」または「02 その他の電話番号」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

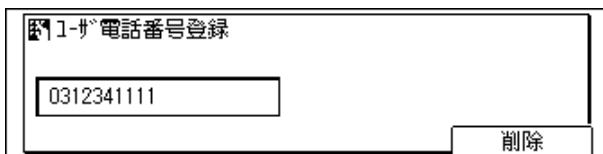


「01 使用回線のユーザ TEL」を選択した場合は、選択した設定が登録され、基本設定画面に戻ります。

 **メモ** • オプションの増設 G3 通信ユニットを取り付けている場合は、「01 使用回線のユーザ TEL」に設定されます。



4 「02 その他の電話番号」を選択した場合は、登録する電話番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。



基本設定画面に戻ります。



- 入力を間違えたときは、間違えた箇所に戻り [削除] を押して、入力しなおすことができます。 [クリア] を押して最初から入力しなおすこともできます。

リセット



5 ファクス基本画面に戻る場合は [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

原稿を読み取る時の基準濃度を設定する

ファクス基本画面の「濃度」の基準となる、原稿の読み取り濃度を設定します。「濃度」は「うすく」、「ふつう」、「こく」の3段階があり、それぞれの濃度を設定できます。濃くて見づらい原稿や、薄くて見にくい原稿を読み取ることが多い場合に、あらかじめ基準濃度を設定しておくことができます。



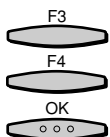
- 濃度を変更（設定）しても、解像度（イメージのきめの細かさ）は変わりません。
- 複雑で細かい原稿などを送信するときは、解像度を設定します。（→原稿にあわせて解像度・濃度・画質を調節する：P.2-5）

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

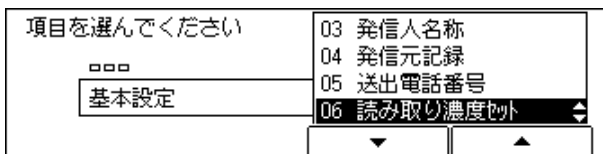
1 ユーザーモード画面に入り、基本設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「ユーザ電話番号を登録する」（→P.5-7）の手順1～3を参照してください。

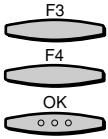


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「06 読み取り濃度セット」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

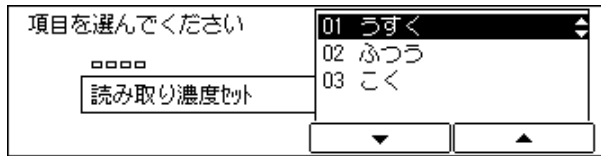


濃度の選択画面が表示されます。



3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「うすく」、「ふつう」、または「こく」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

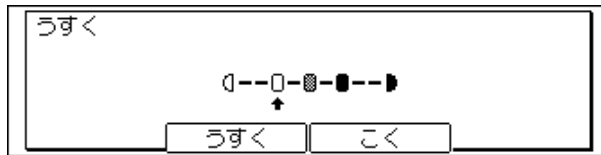
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



選択した濃度の微調整画面が表示されます。

●「01 うすく」を選択した場合

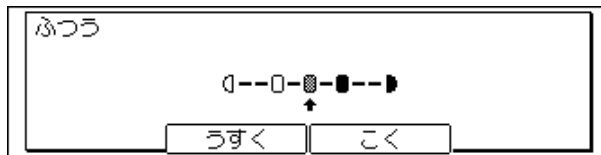
▼ [うすく] (F2) または [こく] (F3) を押して、読み取り濃度を微調整し、[OK] を押します。



読み取り濃度セット画面に戻ります。

●「02 ふつう」を選択した場合

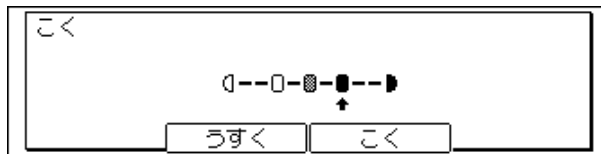
▼ [うすく] (F2) または [こく] (F3) を押して、読み取り濃度を微調整し、[OK] を押します。



読み取り濃度セット画面に戻ります。

●「03 こく」を選択した場合

▼ [うすく] (F2) または [こく] (F3) を押して、読み取り濃度を微調整し、[OK] を押します。



基本設定画面に戻ります。

メモ • 各画面例の矢印位置の濃度がお買い求め時の設定です。



4 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

面倒な設定を簡単にする（プログラムワンタッチキー設定）

ファクスモード特有の機能を実行するには、ワンタッチダイヤルパネルを 3 枚開いて各機能ボタンを押す必要があります。このような操作を簡略化できるように、任意のワンタッチダイヤルボタンにファクスモードの機能を設定できます。ファクスモードの機能を設定したワンタッチダイヤルボタンをプログラムワンタッチキーといいます。なお、プログラムワンタッチキーはコピーモードでは使用できません。

メモ • お買い求め時は、「01 使用しない」に設定されています。

プログラムワンタッチキーに設定できる機能

次の 13 のうちいずれかの機能をプログラムワンタッチキーに登録し、活用することができます。

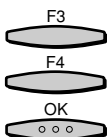
01 送信結果レポート予約	送信操作をする前に押すと、送信終了時に送信結果レポートが自動的にプリントされます。
02 レポート	[レポート] を押した場合と同じ機能です。
03 発信人名称	[発信人名称] を押した場合と同じ機能です。
04 Fコード	[拡張通信] - [Fコード] を押した場合と同じ機能です。
05 受信モード	[受信モード] を押した場合と同じ機能です。
06 タイマー通信	[タイマー通信] を押した場合と同じ機能です。
07 親展	[拡張通信] - [親展] を押した場合と同じ機能です。
08 中継	[拡張通信] - [中継] を押した場合と同じ機能です。
09 ポーリング	[拡張通信] - [ポーリング] を押した場合と同じ機能です。
10 アクセスコード	アクセスコードキーに割り当てられます。
11 発信人名称指定	[発信人名称指定] を押した場合と同じ機能です。
12 文字列登録	定型句など特定の文字列を登録できます。
13 メモリ照会	ワンタッチダイヤルパネルを 3 枚開いて [メモリ照会] を押した場合と同じ機能です。

プログラムワンタッチキーの設定

プログラムワンタッチキー設定の手順は、次のとおりです。

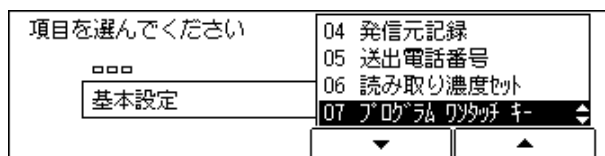
1 ユーザーモード画面に入り、基本設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「ユーザ電話番号を登録する」(→P.5-7)の手順1～3を参照してください。



2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「07 プログラムワンタッチキー」を選択し、[OK] を押します。

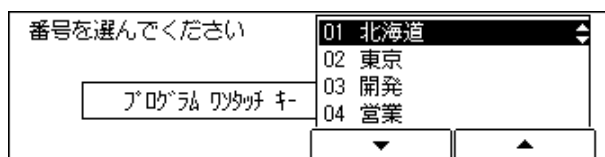
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



ワンタッチダイヤルキー選択画面が表示されます。

3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、任意のワンタッチダイヤルボタンの番号を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



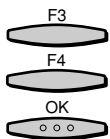
重要

ワンタッチ宛先が登録されている番号には、プログラムワンタッチキーを設定できません。

プログラムワンタッチキーを使用しないか、使用するかを選択する画面が表示されます。

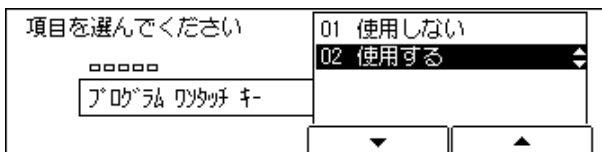
5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

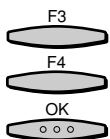


4 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 使用する」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

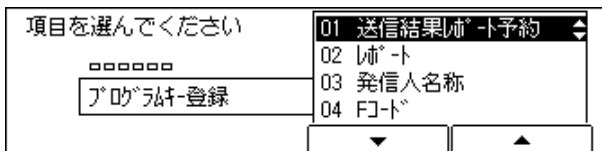


機能選択画面が表示されます。



5 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、登録する機能を選択し [OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



プログラムワンタッチキー設定画面に戻ります。




6 ファクス基本画面に戻る場合は [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

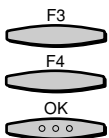
オフフックアラームを鳴らす

文書の手動送受信後に、オプションのハンドセットまたは外付け電話機の受話器が正しく戻っていない場合に、アラーム音で通知するかを設定します。

 **メモ** • お買い求め時は「する」に設定されています。

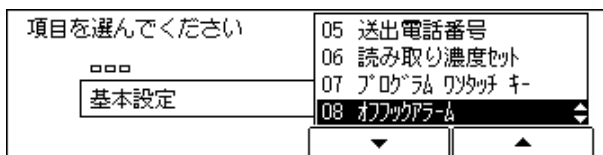
1 ユーザモード画面に入り、基本設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「ユーザ電話番号を登録する」(→ P.5-7)の手順 1～3 を参照してください。

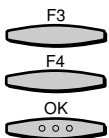


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「08 オフフックアラーム」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

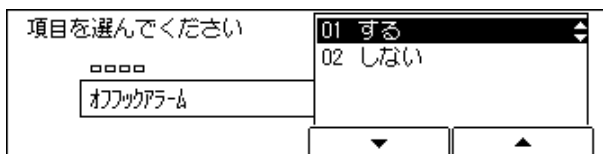


選択画面が表示されます。



3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 する」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



基本設定画面に戻ります。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

宛先を登録する

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルなど、よく利用する相手先の電話番号を登録できます。

ワンタッチ宛先・短縮宛先を登録する

ワンタッチダイヤルには 63 件の通信相手が、短縮ダイヤルには 137 件の通信相手が登録できます。

それぞれのワンタッチダイヤルおよび短縮ダイヤルには 120 桁までの電話番号と相手の名前を登録できます。相手の名前には、ひらがな、漢字、全角記号は 8 文字まで、カタカナ、英数字、半角記号は 16 文字まで入力できます。

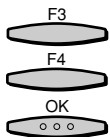
1 つのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに複数の相手先を登録すると、グループダイヤルとして利用することができます。

ユーザモード



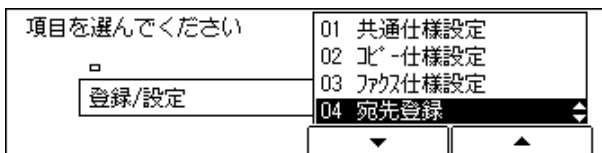
1 [ユーザモード] を押します。

ユーザモード画面が表示されます。

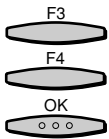


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「04 宛先登録」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



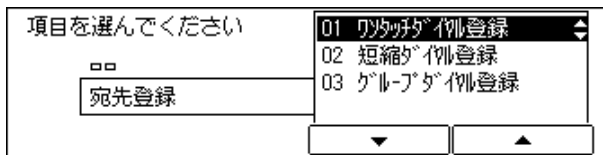
登録種別選択画面が表示されます。



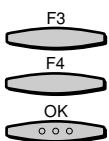
3 ワンタッチダイヤルを登録する場合は、[▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 ワンタッチダイヤル登録」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

短縮ダイヤルを登録する場合は、「02 短縮ダイヤル登録」を選択し、[OK] を押します。

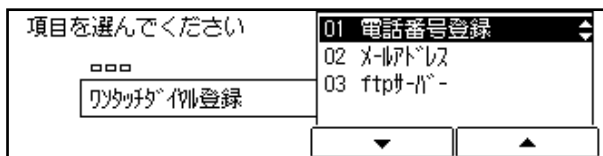


ワンタッチダイヤル登録画面が表示されます。



4 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 電話番号登録」を選択し、[OK] を押します。

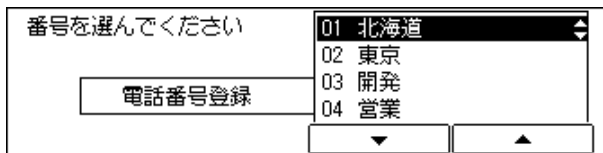
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



登録番号選択画面が表示されます。

5 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、任意の登録番号を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



すでに登録済みの番号には相手の名前や電話番号が表示されます。

グループダイヤルとして登録されている番号は「グループダイヤル登録」と表示されます。

電話番号登録画面が表示されます。

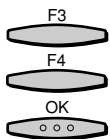


重要

- プログラムワンタッチキーが登録されている番号には、ワンタッチ宛先、短縮ダイヤルを登録できません。

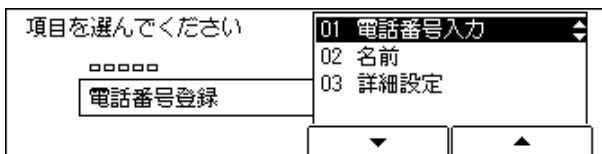
5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する



6 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 電話番号入力」を選択し、[OK] を押します。

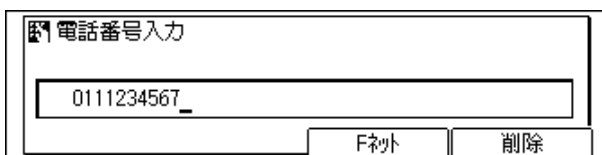
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



電話番号入力画面が表示されます。



7 電話番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。



- メモ**
- すでに登録されている電話番号を削除するときは、[クリア] を押してください。
 - 入力を間違えたときは、間違えた箇所に戻り [削除] を押して、入力しなおすことができます。
 - 電話番号はスペースを含めて 120 桁まで入力できます。

電話番号登録画面に戻ります。「02 名前」が反転表示されます。

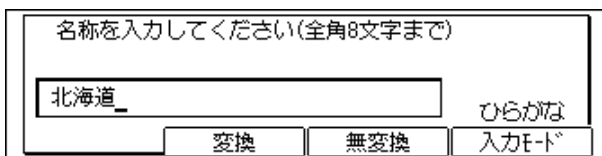


8 [OK] を押します。

名称入力画面が表示されます。



9 相手の名前を全角 8 文字以内で入力し、[OK] を押します。



名前が登録され、名称（カタカナ）入力画面が表示されます。

- メモ**
- 文字の入力方法は、「ユーザーズ編」を参照してください。
 - 名前には、ひらがな、漢字、全角記号は 8 文字まで、カタカナ、英数字、半角記号は 16 文字まで入力できます。



10 相手の名前を半角カナ 16 文字以内で入力し、[OK] を押します。

名称(加付)を入力してください(16文字まで)	
<input type="text" value="おかけ付き_"/>	<input type="button" value="加付"/>
<input type="button" value="入力終了"/>	

電話番号登録画面に戻ります。「03 詳細設定」が反転表示されます。



11 詳細設定をする場合は [OK] を押します。

項目を選んでください	01 電話番号入力 02 名前 03 詳細設定
<input type="text" value="電話番号登録"/>	<input type="button" value="▼"/> <input type="button" value="▲"/>

詳細設定画面が表示されます。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する



12 詳細設定をする場合は [▼] (F3) [▲] (F4) を押して、「02 する」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

詳細設定をしない場合は「01 しない」を選択し、[OK] を押します。

項目を選んでください	01 しない 02 する
<input type="text" value="詳細設定"/>	<input type="button" value="▼"/> <input type="button" value="▲"/>

「01 しない」を選択した場合は、電話番号登録の画面に戻ります。続けて他のワンタッチダイヤルを登録するときは、手順 4 からの操作を繰り返してください。

「02 する」を選択した場合は、詳細設定の画面が表示されます。次の「ワンタッチ宛先・短縮宛先の詳細設定をする」へ進んでください。



- 詳細設定はオプションとして、アクセスコード、送信時刻、ITU-T 規格の F コードやパスワード、国際送信、送信スピード、ECM 送信などの通信機能を設定することができます。



13 ワンタッチ宛先・短縮宛先の登録を終了する場合は、[リセット] を押します。

ワンタッチ宛先・短縮宛先の登録を終了し、ファクス基本画面に戻ります。

ワンタッチ宛先・短縮宛先の詳細設定をする

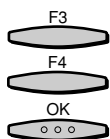
ワンタッチダイヤルを登録するときに、通信機能もあわせて登録することができます。詳細設定で登録できるのは次の項目です。

- アクセスコード：** 2桁～5桁のコードを登録しておく、送信時にアクセスコードで相手先を指定できます。(→アクセスコードを設定する：P.5-140)
- 送信時刻設定：** 送信開始時刻を設定しておく、メモリに読み込ませておいた文書が設定した時刻になると自動的に送信されます。
- 送信方法設定：** ITU-T規格のFコードとパスワードを登録することができます。ITU-T規格を使用しているメモリボックスと送受信をする場合に設定します。
- 国際送信設定：** 海外送信(海外の電話番号が登録されている場合)で、通信エラーがよく発生するときは「国際送信(1)」を設定してください。エラーが解消されないときは、「国際送信(2)」、「国際送信(3)」の順で設定を変更してください。
- 送信スピード設定：** [33600bps]で送信して、通信エラーが多発する場合は、送信スピードを[14400bps]、[9600bps]、[4800bps]の順で設定を変更してください。
- ECM通信：** 送信文書をECM方式で送信することができます。ECM方式は、通信画像のエラーを自動的に補正して通信を行う場合に設定します。
- 通信モード：** オプションのG4通信ユニットを装着している場合は、G4モードまたはG3モードで通信するかを設定します。(→G4通信ユニット取扱説明書)
- 送信回線選択：** オプションの増設G3通信ユニットを装着している場合は、回線1または回線2のいずれかを送信回線として設定します。
- 発信人名称：** 発信人名称を登録しておく、原稿に登録した名称を付加し送信します。

1 ユーザモード画面に入り、ワンタッチダイヤル登録または短縮ダイヤル登録の設定項目選択の画面を表示させます。

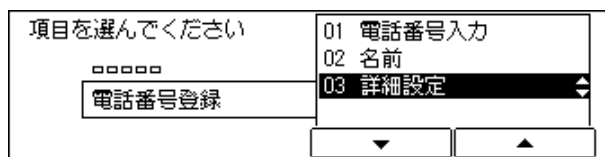
ここまでの操作は、「ワンタッチ宛先・短縮宛先を登録する」(→P.5-27)の手順1～4を参照してください。

「ワンタッチ宛先・短縮宛先の登録する」から引き続き、設定の操作をする場合は、手順4から操作を始めてください。

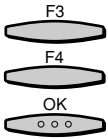


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 詳細設定」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

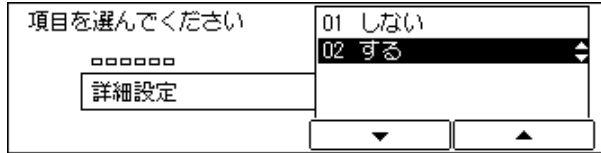


詳細設定画面が表示されます。

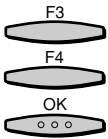


3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 する」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すことに、項目が切り替わります。

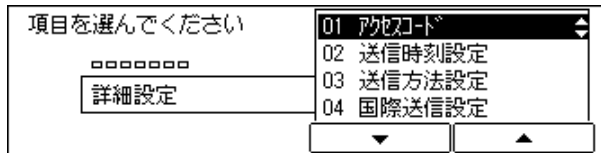


詳細設定の項目を選択する画面が表示されます。



4 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、設定する項目を選択し、[OK] を押します。

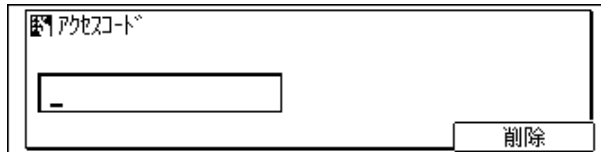
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すことに、項目が切り替わります。



各項目の詳細設定の画面が表示されます。

●「01 アクセスコード」を選択した場合

▼ テンキーで任意のコードを入力し、[OK] を押します。



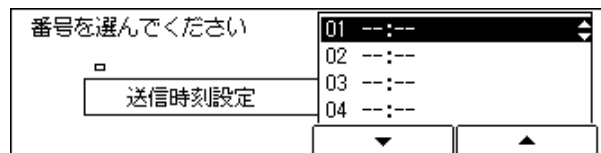
メモ ●あらかじめアクセスコードを「使用する」に設定しておきます。(→アクセスコードを設定する：P.5-140)

詳細設定画面に戻ります。

●「02 送信時刻設定」を選択した場合

▼ 「1」～「5」の任意の番号を選択し、[OK] を押します。

送信時刻は 5 時刻 (番号：1～5) まで登録できます。

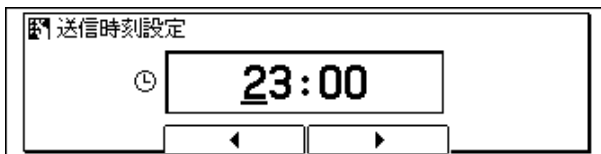


送信時刻設定画面が表示されます。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

▼ テンキーで送信時刻を入力し、[OK] を押します。

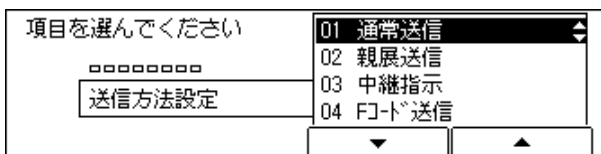


- メモ**
- 送信開始時刻は 24 時間制 (00 : 00 ~ 23 : 59) で入力します。
 - 送信時刻の登録を途中で終了する場合は [戻る] を押します。
 - 入力を間違えたときは、間違えた箇所に戻り上書きしてなおすことができます。[クリア] を押してから最初から入力しなおすこともできます。

詳細設定画面に戻ります。

● 「03 送信方法設定」を選択した場合

▼ 任意の送受信方法を選択し、[OK] を押します。



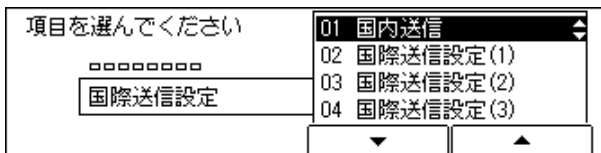
▼ F コード、パスワードの設定が必要な場合は「01 パスワード」、「02 F コード」を選択し、パスワード、F コードをテンキーで入力し、[OK] を押します。

- メモ**
- F コード、パスワードは、20 桁まで登録できます。数字、#、*、スペースが登録できます。
 - スペースを登録する場合は、[スペース] を押します。
 - 入力を間違えたときは、間違えた箇所に戻り [削除] を押して、入力しなおすことができます。[クリア] を押して最初から入力しなおすこともできます。
 - F コード、パスワードについては、「F コードをつけて文書を送信する」(→ P.3-20) を参照してください。

詳細設定画面に戻ります。

● 「04 国際送信設定」を選択した場合

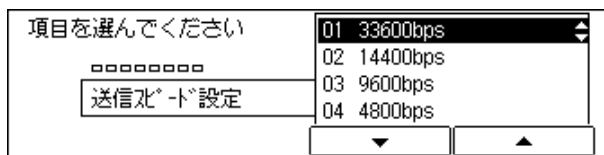
▼ 目的の項目を選択し、[OK] を押します。



詳細設定画面に戻ります。

●「05 送信スピード設定」を選択した場合

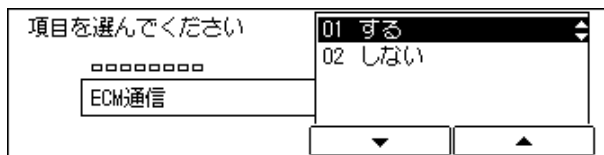
▼ 目的の送信スピードを選択し、[OK] を押します。



詳細設定画面に戻ります。

●「06 ECM 通信」を選択した場合

▼ 「01 する」または「02 しない」を選択し、[OK] を押します。

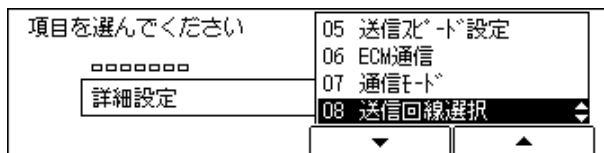


詳細設定画面に戻ります。

●「07 通信モード」を選択した場合

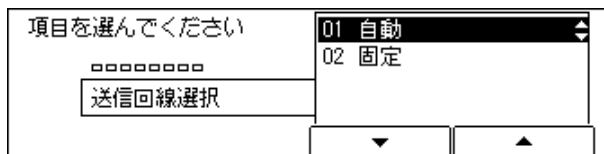
- 重要** ● この機能の設定には、オプションの G4 通信ユニットが必要です。(→ G4 通信ユニット取扱説明書)

●「08 送信回線選択」を選択した場合



- 重要** ● この機能の設定には、オプションの増設 G3 通信ユニットが必要です。(→送信回線を選択する：P.6-8)

▼ 「01 自動」または「02 固定」を選択し、[OK] を押します。



「01 自動」：回線の使用状況に合わせ、最適な回線を自動選択し送信します。

「02 固定」：選択した回線を使って送信します。

詳細設定画面に戻ります。

- ▼ 「02 固定」を選択した場合は、[▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 回線 1」または「02 回線 2」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

オプションの増設 G3 通信ユニットを装着している場合に、設定できる項目です。

項目を選んでください	01 回線 1
送信回線選択	02 回線 2

詳細設定画面に戻ります。

- 「09 発信人名称」を選択した場合は

項目を選んでください	06 ECM通信
詳細設定	07 通信モード
	08 送信回線選択
	09 発信人名称

- ▼ 一覧表示から発信人名称を選択し、[OK] を押します。

発信人名称を選んでください	01 開発
発信人名称	02
	03

電話番号登録画面に戻ります。



5 ワンタッチ宛先、短縮宛先の登録を終了する場合は、[リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

- **メモ** ワンタッチダイヤル登録の場合、ここでの送信回線選択は、基本設定の「送信回線を選択する」(→ P.6-8)での設定より優先されます。

グループダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを、グループダイヤルとして使用することができます。グループダイヤルを登録しておくことで、一度の操作で複数の相手先を指定することができます。

グループダイヤルは最大 63 件まで登録できます。

ひとつのグループダイヤルには、最大 199 件までの相手先をグループとして登録できます。

いつも決まった時刻の送信を行う場合には、送信開始時刻も設定することができます。

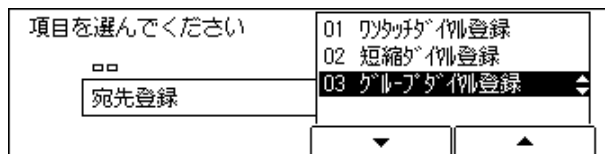
短縮ダイヤルにグループダイヤルを登録して、相手先を指定することができません。

1 ユーザモード画面に入り、宛先登録画面を表示させます。

ここまでの操作は、「ワンタッチ宛先・短縮宛先を登録する」(→ P.5-27) の手順 1 ~ 2 を参照してください。

2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 グループダイヤル登録」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



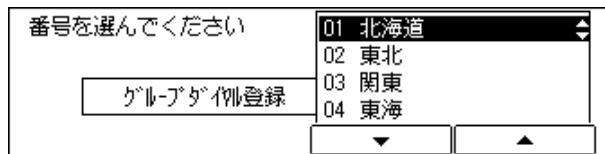
グループダイヤル登録選択画面が表示されます。

3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、任意の登録番号を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

すでに登録済みの番号には相手の名前や電話番号が表示されます。

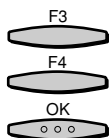
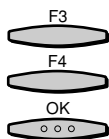
グループダイヤルとして登録されている番号は「グループダイヤル登録」と表示されます。



グループダイヤル登録画面が表示されます。

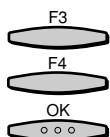
5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する



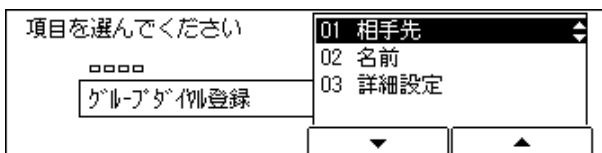
重要

- ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル内に電話番号や相手先略称などの情報が登録されている番号には登録できません。
- プログラムワンタッチキーが登録されている番号には、グループダイヤルを登録できません。



4 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 相手先」を選択し、[OK] を押します。

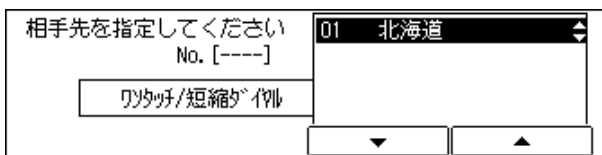
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



相手先指定の画面が表示されます。



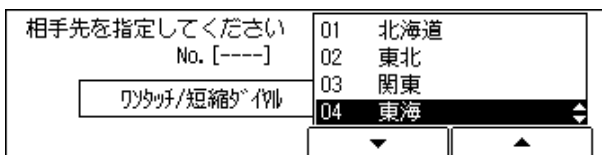
5 相手先をワンタッチダイヤル、短縮番号で入力します。



指定したワンタッチダイヤル、短縮番号に対応した名称が表示されます。



6 すべての相手先を入力するまで、手順 5 を繰り返し、最後の相手先を入力したら [OK] を押します。



グループダイヤル登録画面に戻ります。「02 名前」が反転表示されます。

メモ

- すでに登録されている電話番号を削除するときは、[クリア] を押してください。

7 [OK] を押します。

名称入力画面が表示されます。



8 グループの名前を全角 8 文字以内で入力し、[OK] を押します。

名称を入力してください(全角8文字まで)			
開発_	ひらがな		
変換	無変換	入力モード	

名前が登録され、名称（カタカナ）入力画面が表示されます。



- 文字の入力方法は、「ユーザーズ編」を参照してください。
- 名前には、ひらがな、漢字、全角記号は 8 文字まで、カタカナ、英数字、半角記号は 16 文字まで入力できます。



9 相手の名前を半角 16 文字以内で入力し [OK] を押します。

電話番号登録画面に戻ります。「03 詳細設定」が反転表示されます。

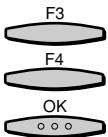
5



10 詳細設定をする場合は、[OK] を押します。

項目を選んでください	01 相手先
□□□□	02 名前
グループダイヤル登録	03 詳細設定
	▼ ▲

詳細設定画面が表示されます。



11 詳細設定をする場合は [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 する」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すことに、項目が切り替わります。

詳細設定をしない場合は「01 しない」を選択し、[OK] を押します。

項目を選んでください	01 しない
□□□□	02 する
詳細設定	
	▼ ▲

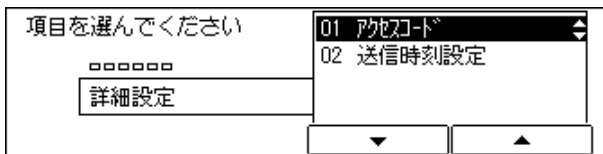
「01 しない」を選択した場合は、グループダイヤル登録画面に戻ります。続けて他のグループダイヤルを登録するときは、手順 3 からの操作を繰り返してください。

「02 する」を選択した場合は、詳細設定の画面が表示されます。続いて手順 12 へ進んでください。

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する



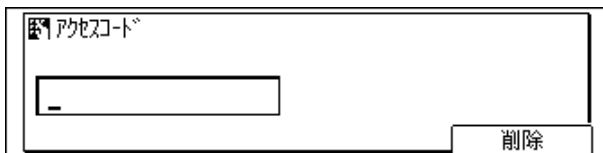
12 設定する項目を選択し、[OK] を押します。



各項目の詳細設定の画面が表示されます。

● 「01 アクセスコード」を選択した場合

▼ テンキーで任意のコードを入力し、[OK] を押します。



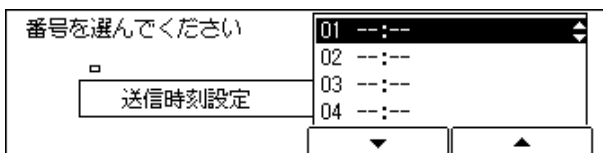
- **メモ** ● あらかじめアクセスコードを「使用する」に設定しておきます。(→アクセスコードを設定する：P.5-140)

詳細設定画面に戻ります。

● 「02 送信時刻設定」を選択した場合

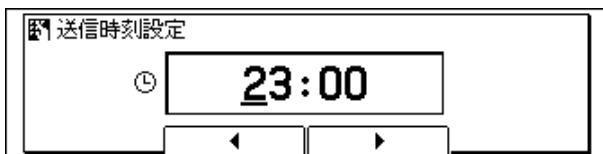
▼ 「1」～「5」の任意の番号を選択し、[OK] を押します。

送信時刻は5時刻(番号：1～5)まで登録できます。



送信時刻設定画面が表示されます。

▼ テンキーで送信時刻を入力し、[OK] を押します。



- **メモ** ● 送信開始時刻は24時間制(00:00～23:59)で入力します。
- 送信時刻の登録を途中で終了する場合は[戻る]を押します。
- 入力を間違えたときは、間違えた箇所に戻り上書きしてなおすことができます。[クリア]を押してから最初から入力しなおすこともできます。

送信時刻設定画面に戻ります。

リセット



- 13** グループダイヤルの登録を終了する場合は、[リセット] を押します。
グループダイヤルの登録を終了し、ファクス基本画面に戻ります。

5

使用かたにあわせてファクス機能を設定登録する

通信レポート出力の設定をする

通信／受信結果やメモリボックスの受信／送信レポートを自動的に出力できます。

送信結果レポートの自動出力を設定する

送信結果レポート（→ P.8-8）をプリントするかを選択することができます。送信エラーが発生したときのみ、プリントするように設定することもできます。

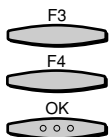
- **メモ** ● 送信結果レポートの出力例は、「第 8 章 付録」（→ P.8-1）を参照してください。
- 送信結果レポートに送信画像を付ける／付けないの設定もできます。
- 送信結果レポートで、相手先へ正常に送信できたかを確認することができます。
- お買い求め時は、「エラー時のみプリント」に設定されています。

ユーザモード



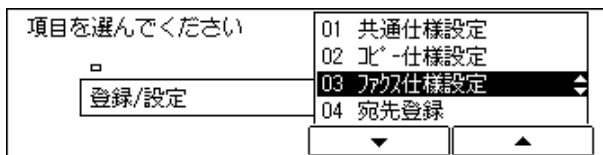
1 [ユーザモード] を押します。

ユーザモード画面が表示されます。

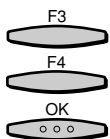


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 ファクス仕様設定」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

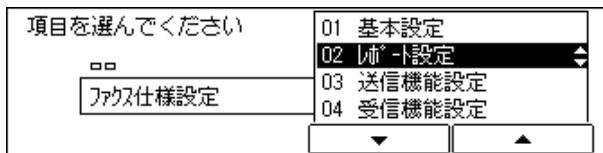


ファクス仕様設定画面が表示されます。



3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 レポート設定」を選択し、[OK] を押します。

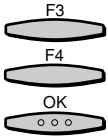
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



レポート設定画面が表示されます。

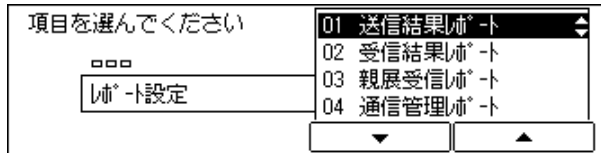
5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

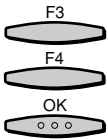


4 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 送信結果レポート」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

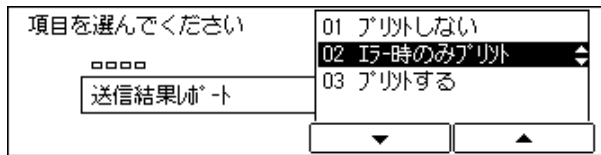


送信結果レポート画面が表示されます。



5 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 プリントしない」「02 エラー時のみプリント」または「03 プリントする」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

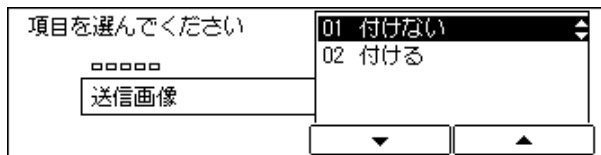
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



「01 プリントしない」を選択した場合は、送信結果レポートの設定は完了です。

6 「02 エラー時のみプリント」または「03 プリントする」を選択した場合は、[▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、送信画像を「01 付けない」または「02 付ける」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



レポート設定画面に戻ります。



7 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

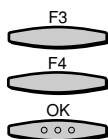
受信結果レポートの自動出力を設定する

受信結果レポート（→ P.8-8）をプリントするかを選択することができます。
受信エラーが発生したときのみ、プリントするように設定することもできます。

- **メモ** ● 受信結果レポートの出力例は、「第 8 章 付録」（→ P.8-1）を参照してください。
- 受信結果レポートは、相手先から正常に文書が送信されてきたか、本商品で正常に受信できたかを確認することができます。
- お買い求め時は、「プリントしない」に設定されています。

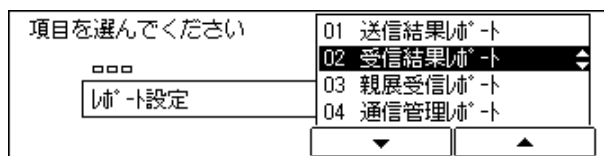
1 ユーザモード画面に入り、レポート設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「送信結果レポートの自動出力を設定する」（→ P.5-41）の手順 1 ～ 3 を参照してください。

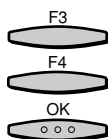


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 受信結果レポート」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

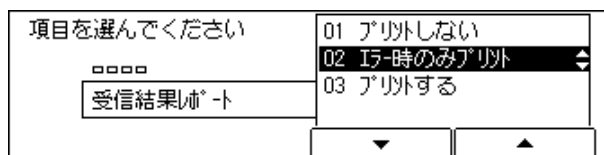


受信結果レポート画面に戻ります。



3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、[01 プリントしない] [02 エラー時のみプリント] または [03 プリントする] のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



レポート設定画面に戻ります。



4 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。


5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

親展受信レポートの自動出力を設定する

親展受信レポート（→ P.8-9）をプリントするかを選択することができます。

親展受信レポートは、相手先から正常に文書が送信されてきたか、本商品で正常に受信できたかを確認することができます。

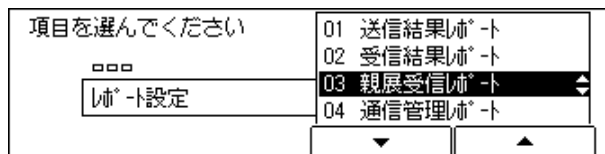
-  親展受信レポートの出力例は、「第8章 付録」（→ P.8-1）を参照してください。
- お買い求め時は、「プリントする」に設定されています。

1 ユーザモード画面に入り、レポート設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「送信結果レポートの自動出力を設定する」（→ P.5-41）の手順 1～3を参照してください。

2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 親展受信レポート」を選択し、[OK] を押します。

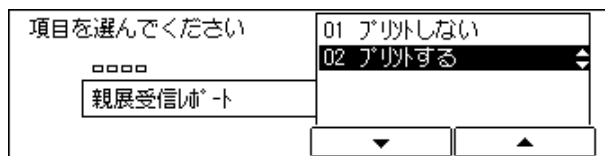
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



親展受信レポート画面が表示されます。

3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 プリントしない」または「02 プリントする」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



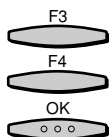
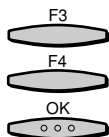
レポート設定画面に戻ります。

4 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。


5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する



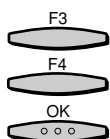
通信管理レポートの自動出力を設定する

通信管理レポート（→ P.8-7）をプリントするかを選択することができます。

-  **メモ**
- 通信管理レポートの出力例は、「第 8 章 付録」（→ P.8-1）を参照してください。
 - 通信管理レポートは、送受信の結果を一覧で確認することができます。
 - お買い求め時は、「自動プリント」を「する」に、「指定時刻プリント」を「しない」に、「送信 / 受信分離」を「しない」に設定されています。

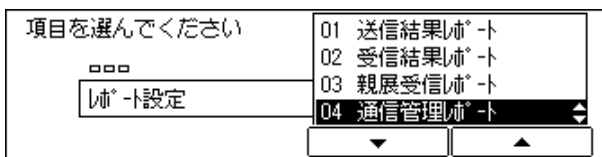
1 ユーザーモード画面に入り、レポート設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「送信結果レポートの自動出力を設定する」（→ P.5-41）の手順 1 ～ 3 を参照してください。

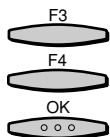


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「04 通信管理レポート」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

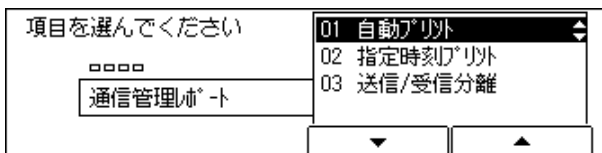


通信管理レポート画面が表示されます。



3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、設定する項目を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

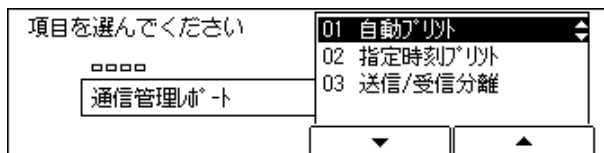


各項目の詳細設定の画面が表示されます。

●「01 自動プリント」を選択した場合

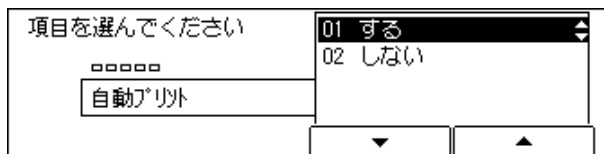
▼ 通信結果が 40 件になったときに自動的にプリントするかしないかを設定します。

▼ 「01 自動プリント」を選択し、[OK] を押します。



自動プリント画面が表示されます。

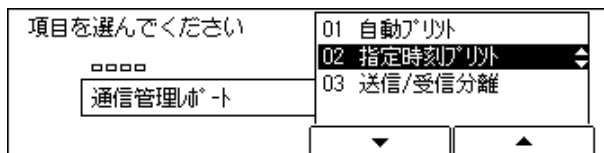
▼ 「01 する」または「02 しない」を選択し、[OK] を押します。



通信管理レポート画面に戻ります。

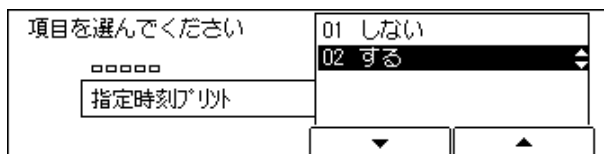
●「02 指定時刻プリント」を選択した場合

▼ 「02 指定時刻プリント」を選択し、[OK] を押します。



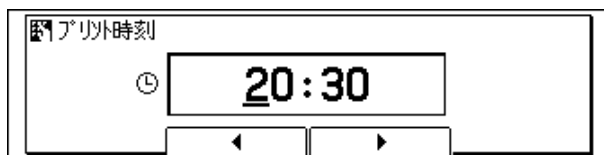
指定時刻プリント画面が表示されます。

▼ 「01 しない」または「02 する」を選択し、[OK] を押します。



時刻設定画面が表示されます。

▼ 「02 する」を選択した場合、テンキーで通信管理レポートのプリント時刻を入力し、[OK] を押します。



通信管理レポート画面に戻ります。

● 「03 送信／受信分離」を選択した場合

- ▼ 通信結果レポートを送信と受信に分けてプリントするかしないかを設定します。
- ▼ 「03 送信／受信分離」を選択し、[OK] を押します。

項目を選んでください	01 自動がリ外
□□□□	02 指定時刻がリ外
通信管理レポ	03 送信/受信分離
	▼ ▲

送信／受信分離画面が表示されます。

- ▼ 「01 しない」または「02 する」を選択し、[OK] を押します。

項目を選んでください	01 しない
□□□□□	02 する
送信/受信分離	
	▼ ▲

レポート設定画面に戻ります。

リセット



4 通信管理レポートの自動出力設定を終了する場合は、[リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

送信機能について登録する

ファクスを送信するときの機能を設定します。

ECM 送信を設定する

送信文書を ECM 方式で送信することができます。


ECM 方式は、通信画像のエラーを自動的に補正して通信を行う機能です。

ECM というのは、Error Correction Mode（自動誤り訂正モード）の頭文字をとった呼び方です。

ECM 方式で通信を行う場合は、相手機および本商品で ECM 機能を設定する必要があります。（双方で設定されていないと、この機能は無効になります。）

ECM 機能を設定した場合でも、電話回線の影響でエラーになることがあります。

電話回線にトラブルなどが発生した場合、送信に時間がかかることがあります。

 **メモ** • お買い求め時は、「する」に設定されています。

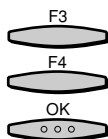
5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する



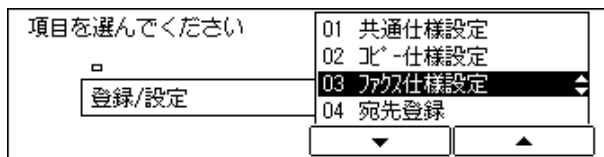
1 [ユーザモード] を押します。

ユーザモード画面が表示されます。

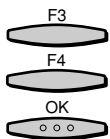


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 ファクス仕様設定」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

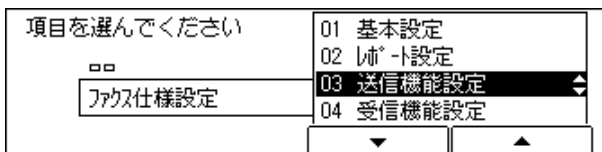


ファクス仕様設定画面が表示されます。

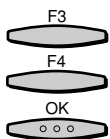


3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 送信機能設定」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

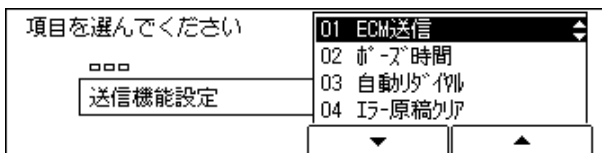


送信機能設定画面が表示されます。

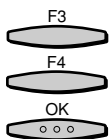


4 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 ECM 送信」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

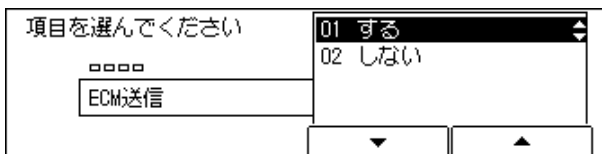


ECM 送信画面が表示されます。



5 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 する」または「02 しない」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



送信機能設定画面に戻ります。




6 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

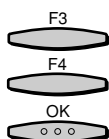
ファクス基本画面に戻ります。

ポーズキーの時間を設定する

ポーズキーを押したときの、ポーズの設定秒数を変更することができます。
電話番号の末尾にポーズを入れた場合、ポーズ時間は 10 秒（固定）になります。

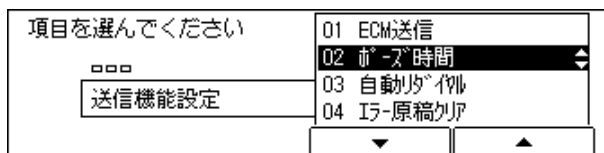
 **メモ** • お買い求め時は、「2（秒）」に設定されています。

1 ユーザーモード画面に入り、送信機能設定画面を表示させます。
ここまでの操作は、「ECM送信を設定する」(→P.5-48) の手順 1～3を参照してください。

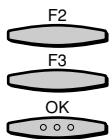


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 ポーズ時間」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。




ポーズ時間入力画面が表示されます。



3 [-] (F2) または [+] (F3) を押して表示されている時間を増減して、ポーズ時間を指定し、[OK] を押します。



送信機能設定画面に戻ります。

 **メモ** • 1～15 秒（1 秒間隔）の範囲で設定します。
• テンキーで設定することもできます。



4 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

自動リダイヤルを設定する

自動リダイヤルは、相手先が話し中などで送信できない場合や送信エラーが発生したときに、自動的に再送信する機能です。


自動リダイヤルを設定した場合は、リダイヤルする回数や間隔などを設定することができます。

自動リダイヤルを「する」に設定した場合、以下の詳細設定をすることができます。

リダイヤル回数： リダイヤルする回数を設定します。(お買い求め時：2回)

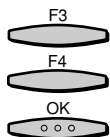
リダイヤル間隔： リダイヤルの間隔を設定します。(お買い求め時：2分)

送信エラー時リダイヤル： 再送信するページを設定します。(お買い求め時：1ページとエラーページ)

 **メモ** • お買い求め時は、「自動リダイヤル：する」に設定されています。

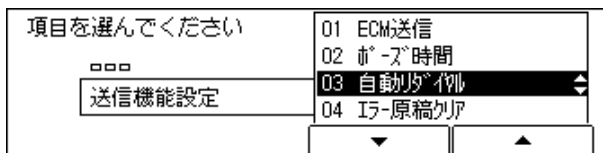
1 ユーザモード画面に入り、送信機能設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「ECM送信を設定する」(→P.5-48)の手順1～3を参照してください。

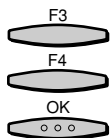


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 自動リダイヤル」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

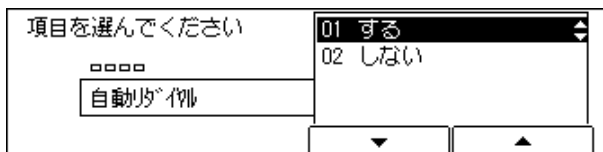


自動リダイヤル画面が表示されます。



3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 する」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



自動リダイヤルをしない場合は「02 しない」を選択し、[OK] を押します。

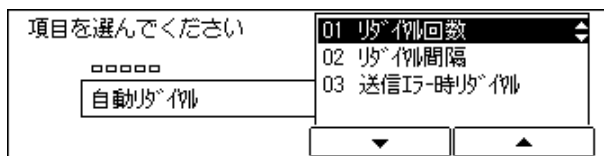
5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

4 各項目を設定します。

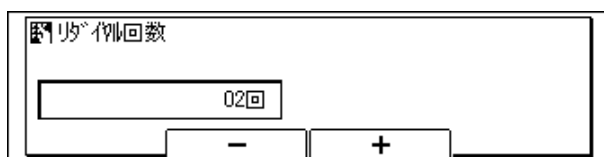
●「01 リダイヤル回数」を設定する場合

- ▼ [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 リダイヤル回数」を選択し、[OK] を押します。



リダイヤル回数画面が表示されます。

- ▼ [-] または [+] を押してリダイヤルの回数を設定し、[OK] を押します。

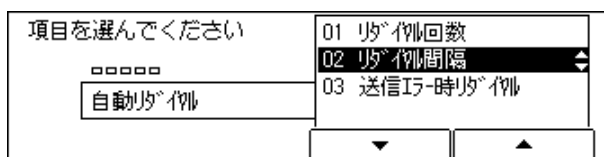


自動リダイヤル画面に戻ります。

- メモ
- 1～15の範囲で設定できます。
 - テンキーで設定することができます。

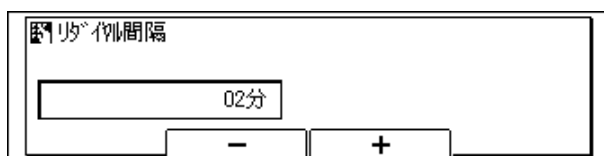
●「02 リダイヤル間隔」を設定する場合

- ▼ [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 リダイヤル間隔」を選択し、[OK] を押します。



リダイヤル間隔画面が表示されます。

- ▼ [-] または [+] を押してリダイヤルの間隔を設定し、[OK] を押します。

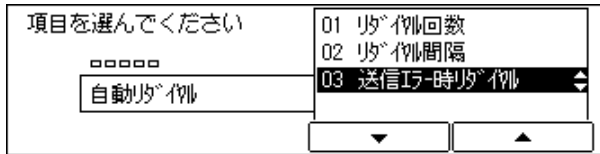


自動リダイヤル画面に戻ります。

- **メモ** 2 ~ 99 (1 分間隔) の範囲で設定できます。
- テンキーで設定することができます。

● 「03 送信エラー時リダイヤル」を設定する場合

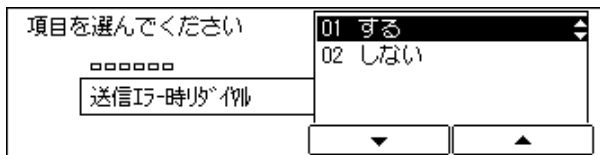
▼ 「03 送信エラー時リダイヤル」を選択し、[OK] を押します。



送信エラー時リダイヤル画面が表示されます。

▼ 「01 する」または「02 しない」を選択し、[OK] を押します。

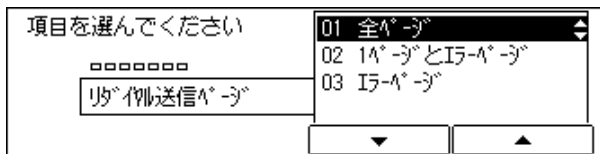
送信エラー時リダイヤルをしない場合は「02 しない」を選択し、[OK] を押します。設定操作は完了です。



リダイヤル送信ページ画面が表示されます。

▼ 目的の項目を選択し、[OK] を押します。

- [全ページ] : 送信エラー時に自動リダイヤルして送信文書の全ページが再送されます。
- [1 ページとエラーページ] : 送信エラー時に自動リダイヤルして送信文書の1 ページ目とエラーページ以降が再送されます。
- [エラーページ] : 送信エラー時に自動リダイヤルしてエラーページが再送されます。



送信機能設定画面に戻ります。




5 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

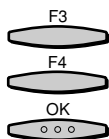
ファクス基本画面に戻ります。

エラー文書の自動消去を設定する

送信エラーになった文書を自動的にメモリから消去するかしないかを設定します。

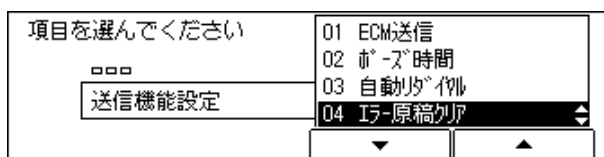
 **メモ** • お買い求め時は、「する」に設定されています。

- 1** ユーザモード画面に入り、送信機能設定画面を表示させます。
ここまでの操作は、「ECM送信を設定する」(→P.5-48)の手順1～3を参照してください。

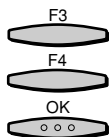


- 2** [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「04 エラー原稿クリア」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

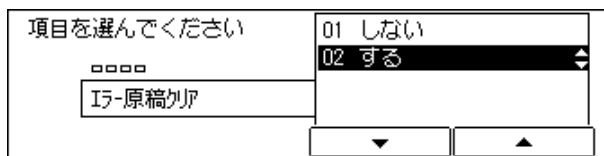


エラー原稿クリア画面が表示されます。



- 3** [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 しない」または「02 する」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



送信機能設定画面に戻ります。



- 4** ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。
ファクス基本画面に戻ります。


5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

ダイヤルタイムアウト機能を設定する

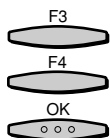
ダイヤルタイムアウトは、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、アクセスコード、リダイヤルで相手先を指定したとき、[スタート]を押さずに原稿の読み取りを開始する機能です。指定する相手先が1件の場合は、5秒でこの機能がはたらきます。

同報送信を行う際、相手先の電話番号を指定するときに間隔があくと（最初の電話番号を指定してから5秒、2件目以降の電話番号の指定では10秒以上）、ダイヤルタイムアウト機能がはたらき、メモリへの読み込みが自動的に開始します（この場合、残りの相手先への同報送信ができなくなります）。

 **メモ** • お買い求め時は、「する」に設定されています。

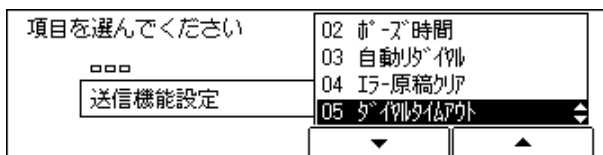
1 ユーザーモード画面に入り、送信機能設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「ECM送信を設定する」(→P.5-48)の手順1～3を参照してください。

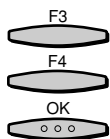


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「05 ダイヤルタイムアウト」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

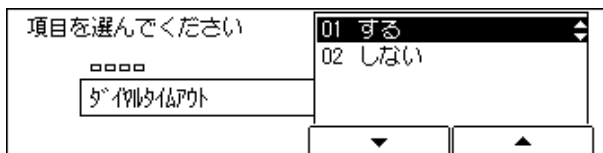


ダイヤルタイムアウト画面が表示されます。



3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 する」または「02 しない」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



送信機能設定画面に戻ります。



4 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

済スタンプの条件を設定する

ダイレクト送信時およびメモリ送信時に済スタンプを押すか、ダイレクト送信時にだけ済スタンプを押すかを設定します。

スタンプはフィーダに原稿をセットしたときに押されます。

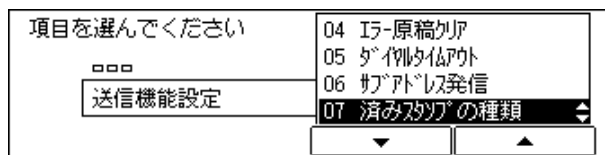
- **メモ** お買い求め時は、「ダイレクト／メモリ送信」に設定されています。
- 済スタンプを押す動作を設定するには「送信済み／読み取り済みの原稿にスタンプをつける」(→ P.2-14)を、あらかじめ済スタンプを押す／押さないの設定をするには「標準モードを変更する」(→ P.5-136)を参照してください。

1 ユーザモード画面に入り、送信機能設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「ECM送信を設定する」(→ P.5-48)の手順1～3を参照してください。

2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「07 済スタンプの種類」を選択し、[OK] を押します。

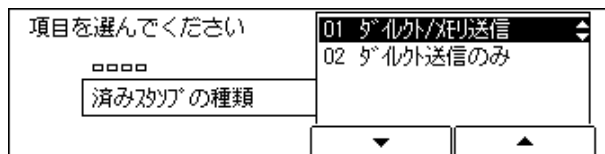
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



済スタンプの種類画面が表示されます。

3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 ダイレクト／メモリ送信」または「02 ダイレクト送信のみ」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



送信機能設定画面に戻ります。

4 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

5


使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する



回転送信を設定する

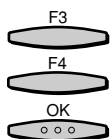
回転送信は、送信する原稿を縦方向にセットしても、送信画像の向きを 90° 回転させて、横方向にして送信する機能です。

ここでは、送信画像を回転送信するかを設定します。

-  **メモ** • 回転送信できるのは、A4 サイズの原稿のみです。また、ダイレクト送信や手動送信のときにも、回転送信されませんのでご注意ください。
- お買い求め時は、「する」に設定されています。

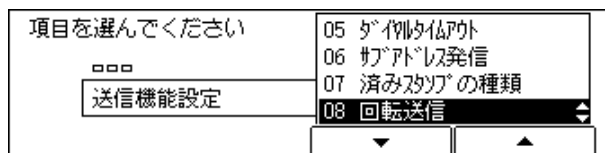
1 ユーザモード画面に入り、送信機能設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「ECM送信を設定する」(→P.5-48)の手順1~3を参照してください。

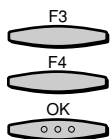


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「09 回転送信」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

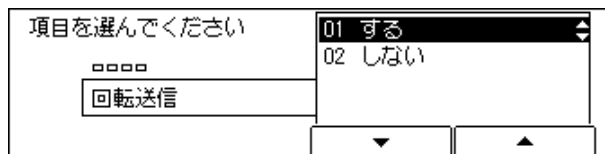


回転送信画面が表示されます。



3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 する」または「02 しない」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



ファクス仕様設定画面に戻ります。



4 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

受信機能について設定する

ファクスを受信するときのいろいろな機能を設定できます。

ECM 受信を設定する


受信文書を ECM 方式で受信することができます。

ECM 方式は、通信画像のエラーを自動的に補正して通信を行う機能です。

ECM というのは、Error Correction Mode（自動誤り訂正モード）の頭文字をとった呼び方です。

ECM 方式で通信を行う場合は、相手機および本商品で ECM 機能を設定する必要があります。（双方で設定されていないと、この機能は無効になります）。

ECM 機能を設定した場合でも、電話回線の影響でエラーになることがあります。電話回線にトラブルなどが発生した場合、受信に時間がかかることがあります。

 **メモ** • お買い求め時は、「する」に設定されています。

5

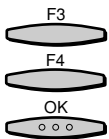
使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

ユーザモード



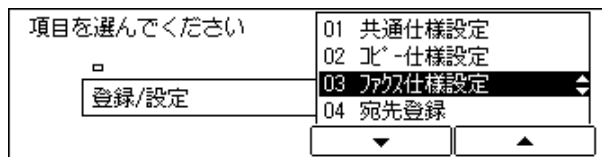
1 [ユーザモード] を押します。

ユーザモード画面が表示されます。

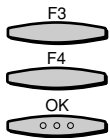


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 ファクス仕様設定」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

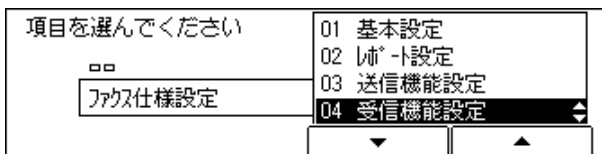


ファクス仕様設定画面が表示されます。

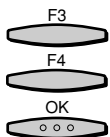


3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「04 受信機能設定」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

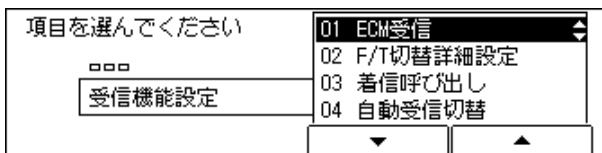


受信機能設定画面が表示されます。

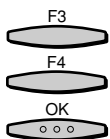


4 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 ECM 受信」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

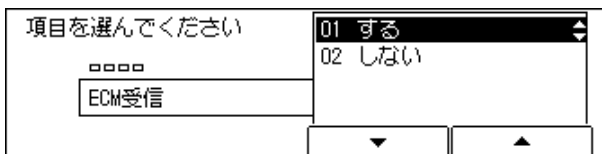


ECM 受信画面が表示されます。



5 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 する」または「02 しない」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



受信機能設定画面に戻ります。



6 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

受信モードを設定する

受信モードを「FAX/TEL 切替」に設定している場合に、以下の詳細設定をすることができます。

呼び出し開始時間： 電話を受けてから呼び出し音を鳴らすまでの時間を設定します。(お買い求め時：8 秒)

呼び出し時間： 呼び出し音を鳴らし続ける時間を設定します。(お買い求め時：17 秒)

呼び出し後の動作： 呼び出し音を鳴らしてもこちらが電話に出ない場合の本商品の動作を設定します。(お買い求め時：受信)

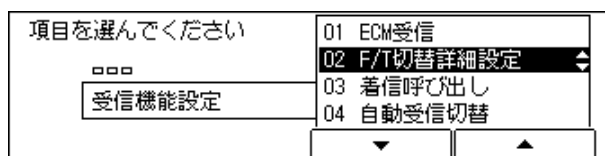
音声応答： 応答メッセージを流すかどうか設定できます。(お買い求め時：しない)

1 ユーザモード画面に入り、受信機能設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「ECM受信を設定する」(→P.5-58)の手順1～3を参照してください。

2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 F/T 切替詳細設定」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すことに、項目が切り替わります。

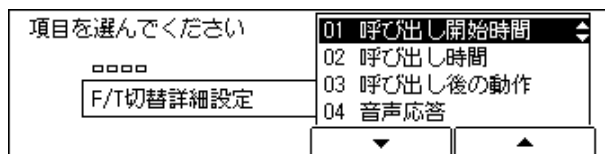


F/T 切替詳細設定画面が表示されます。

3 各項目を設定します。

● 「01 呼び出し開始時間」を設定する場合

▼ [01 呼び出し開始時間] を選択し、[OK] を押します。



呼び出し開始時間画面が表示されます。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

- ▼ [-] (F2) または [+] (F3) を押して呼び出し開始時間を設定し、[OK] を押します。

- メモ**
- 0 ~ 30 秒の範囲で設定できます。
 - テンキーで設定することができます。

F/T 切替詳細設定画面に戻ります。

● 「02 呼び出し時間」を設定する場合

- ▼ 「02 呼び出し時間」を選択し、[OK] を押します。

呼び出し時間画面が表示されます。

- ▼ [-] (F2) または [+] (F3) を押して呼び出し時間を設定し、[OK] を押します。

- メモ**
- 15 ~ 300 秒の範囲で設定できます。
 - テンキーで設定することができます。

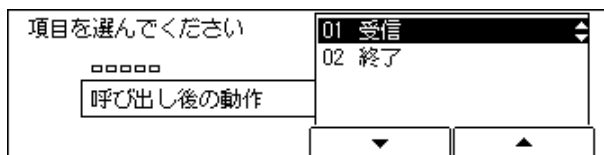
F/T 切替詳細設定画面に戻ります。

● 「03 呼び出し後の動作」を設定する場合

- ▼ 「03 呼び出し後の動作」を選択し、[OK] を押します。

呼び出し後の動作画面が表示されます。

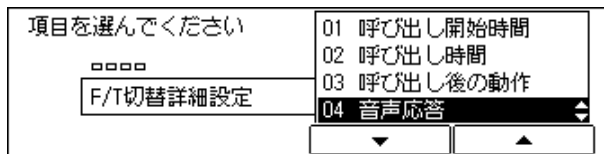
▼ 「01 受信」または「02 終了」を選択し、[OK] を押します。



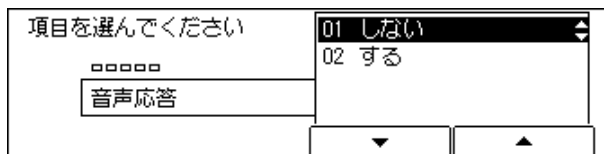
F/T 切替詳細設定画面に戻ります。

● 「04 音声応答」を設定する場合


▼ 「04 音声応答」を選択し、[OK] を押します。



▼ 「01 しない」または「02 する」を選択し、[OK] を押します。



受信機能設定画面に戻ります。

-  **メモ**
- 前カバー、左下カバー、左カバーが開いていたり、メモリがいっぱいであったり、本商品の印字部が故障していると自動応答せず、FAX/TEL 切替は機能しません。
 - ファクスが自動応答したときから通信相手に料金が課金されます。相手が電話のとき、こちらが電話に出なくても料金は課金されます。
 - 音声応答を「01 しない」に設定すると、ファクスが自動応答し、通信相手には呼び出し音が聞こえるだけにもかかわらず、料金が課金されます。



4 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。


ファクス基本画面に戻ります。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

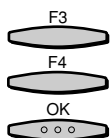
着信時の呼び出し音を設定する

自動受信の場合も呼び出し音で知らせるかどうかを設定します。呼び出し音の回数も設定できます。

-  **メモ**
- 着信呼び出しを「しない」に設定していても、接続する電話機の種類によっては呼び出し音が鳴る場合があります。また節電モード時に着信すると、着信直後に1回だけ呼び出し音が鳴ります。
 - お買い求め時は、「しない」に設定されています。

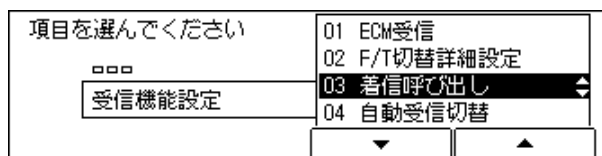
1 ユーザーモード画面に入り、受信機能設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「ECM受信を設定する」(→P.5-58)の手順1～3を参照してください。

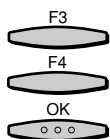


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 着信呼び出し」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



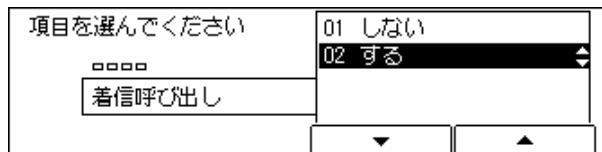
着信呼び出し画面が表示されます。



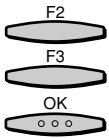
3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 する」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

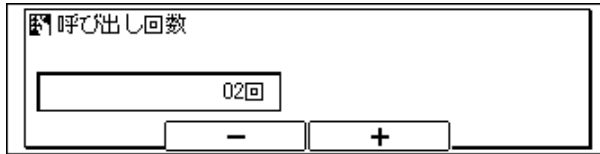
着信呼び出しをしない場合「01 しない」を選択し、[OK] を押します。



呼び出し回数画面が表示されます。



4 [-] (F2) または [+] (F3) を押して呼び出し回数を設定し、[OK] を押します。



受信機能設定画面に戻ります。

- メモ • 1 ~ 99 回の範囲で設定できます。
- メモ • テンキーで設定することができます。



5 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

5

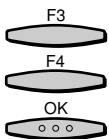
自動受信へ切り替えるように設定する

手動受信を終えてから自動的に自動受信へ切り替えるか、切り替えるのは何秒後かを設定します。

- メモ • お買い求め時は、「しない」に設定されています。

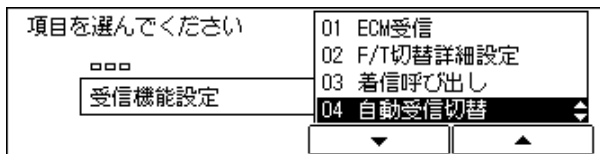
1 ユーザーモード画面に入り、受信機能設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「ECM受信を設定する」(→P.5-58) の手順 1 ~ 3を参照してください。

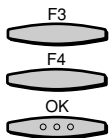


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「04 自動受信切替」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



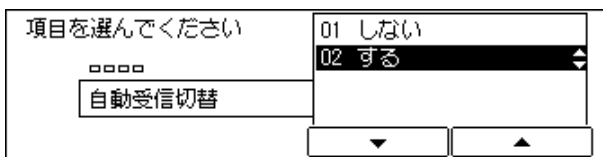
自動受信切替画面が表示されます。



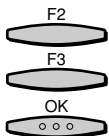
3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 する」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

自動受信切替をしない場合は「01 しない」を選択し、[OK] を押します。



呼び出し時間画面が表示されます。



4 [-] (F2) または [+] (F3) を押して呼び出し時間を設定し、[OK] を押します。



受信機能設定画面に戻ります。

- メモ** • 0 ~ 99 の範囲で設定できます。
- テンキーで設定することができます。



5 ファクス基本画面に戻る場合は [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

リモート受信を設定する

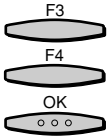
本商品に外付け電話機を接続している場合で、手動受信するときは、外付け電話機から受信用の ID 番号を指定して受信操作することができます。この機能をリモート受信と呼びます。

- 重要** • 接続した外付け電話機の電話回線種別を必ず「プッシュ回線 (PB)」に設定してください。「プッシュ回線」に設定していないと、リモート受信できません。

- メモ** • お買い求め時は、「する」 - 「25」に設定されています。

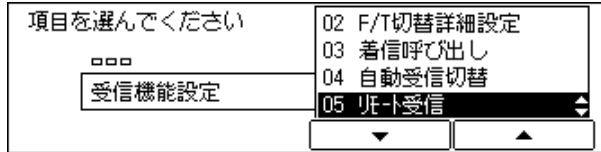
1 ユーザーモード画面に入り、受信機能設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「ECM受信を設定する」(→P.5-58) の手順 1 ~ 3 を参照してください。

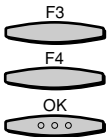


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「05 リモート受信」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



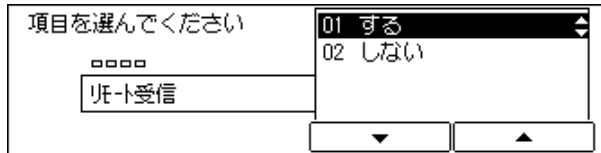
リモート受信画面が表示されます。



3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 する」を選択し、[OK] を押します。

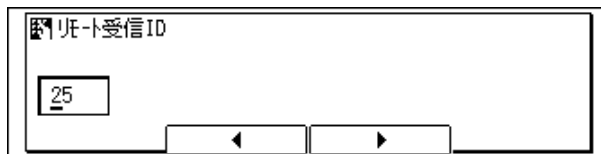
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

リモート受信をしない場合は「02 しない」を選択し、[OK] を押します。



リモート受信 ID 入力画面が表示されます。

4 リモート受信 ID をテンキーで設定し、[OK] を押します。



受信機能設定画面に戻ります。



- IDは0～99の範囲で設定できます。
- 留守番電話などのような特殊な外付け電話機を接続しているときや回線状態等の諸条件により、リモート受信ができないこともあります。
- 本商品の外付け電話機用差込口は、ナンバー・ディスプレイに対応していません。電話機の取扱説明書を参照し、ナンバー・ディスプレイ対応機能を利用しないよう設定してください。
- こちらから電話をかけた場合は、リモート受信はできません。




5 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

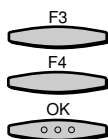
受信情報記録のプリントを設定する

受信文書をプリントするとき、受信した時刻や受付番号、ページ番号などを原稿につけることができます。

 **メモ** • お買い求め時は、「付けない」に設定されています。

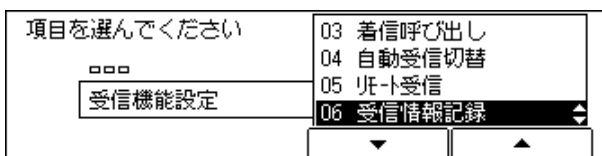
1 ユーザモード画面に入り、受信機能設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「ECM受信を設定する」(→P.5-58)の手順1～3を参照してください。

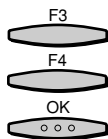


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「06 受信情報記録」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

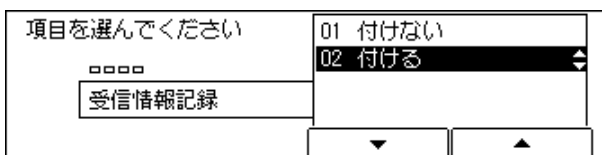


受信情報記録画面が表示されます。



3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 付けない」または「02 付ける」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



受信機能設定画面に戻ります。



4 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

2 in 1 記録を設定する

2 in 1 記録とは、2 枚の同系列サイズの受信画像を 1 枚の用紙にプリントする機能です。この機能は以下の条件を満たしたときに働きます。

受信文書のプリント用紙として選ばれた用紙カセット内の用紙は、受信文書 N ページ目と N+1 ページ目を並べてプリントすることができるサイズである。

- 例) A4 用紙がなく、かつ A3 用紙がある場合に、A3 サイズ未満の原稿 2 枚を A3 用紙 1 枚に並べてプリントします。
- なお、A3 用紙がなく A4 用紙がある場合には、A3 サイズ未満の原稿は A4 用紙でプリントされます。

2 in 1 記録でプリントされた文書は、中央に破線が印字されます。受信情報記録をつけて受信した場合は、その部分を除いた中央に印字されます。

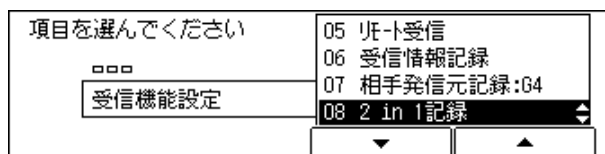
 **メモ** • お買い求め時は、「しない」に設定されています。

1 ユーザモード画面に入り、受信機能設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「ECM受信を設定する」(→P.5-58) の手順 1～3を参照してください。

2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「08 2in1 記録」を選択し、[OK] を押します。

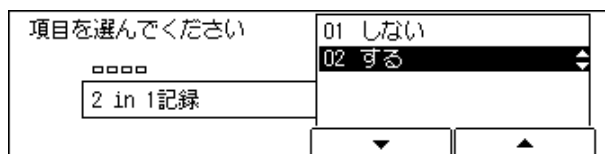
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すことに、項目が切り替わります。



2in1 記録画面が表示されます。

3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 しない」または「02 する」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

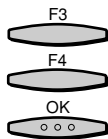
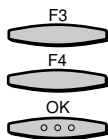
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すことに、項目が切り替わります。



ファクス仕様設定画面に戻ります。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する





- 4** ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。
ファクス基本画面に戻ります。

受信文書のプリントについて設定する

受信した文書のプリント部数やプリントの方法などを設定できます。

受信文書のプリント部数を設定する

受信文書をプリントするときの部数を設定することができます。

 **メモ** • お買い求め時は、「1（枚）」に設定されています。

ユーザーモード

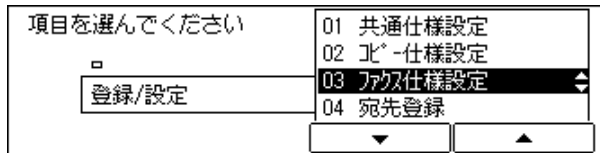


1 [ユーザーモード] を押します。

ユーザーモード画面が表示されます。

2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 ファクス仕様設定」を選択し、[OK] を押します。

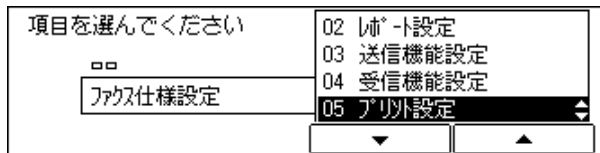
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



ファクス仕様設定画面が表示されます。

3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「05 プリント設定」を選択し、[OK] を押します。

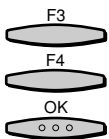
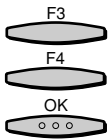
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

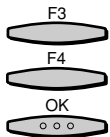


プリント設定画面が表示されます。

5

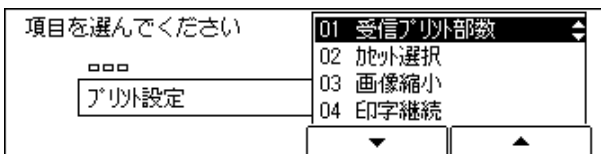
使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する



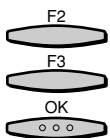


4 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 受信プリント部数」を選択し、[OK] を押します。

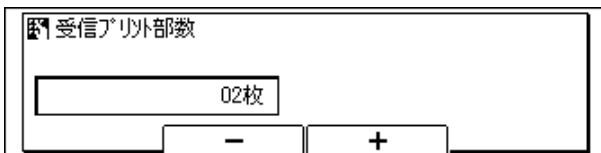
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



受信プリント部数画面が表示されます。



5 [-] (F2) または [+] (F3) を押して、プリント部数を設定し、[OK] を押します。



設定内容が登録され、プリント設定画面に戻ります。

- メモ** • 1 ~ 99 の範囲で設定できます。
- テンキーで設定することができます。



6 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

受信文書のプリント方法を設定する

受信文書の画像と同じ用紙方向で同じサイズ of 用紙がないとき、どのようにプリントするかを設定できます。

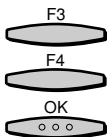
プリント方法は 4 種類 (スイッチ A、B、C、D) あります。

- スイッチ A：受信文書を同じサイズの用紙に分割してプリントします。
- スイッチ B：受信文書を同じ判型 (A 判 / B 判) の用紙に余白をつけてプリントします。
- スイッチ C：受信文書を違う判型 (A 判 / B 判) の用紙に縮小してプリントします。
- スイッチ D：受信文書よりも大きいサイズの用紙にプリントします。

- メモ** • 受信文書をプリントするときの用紙カセットの選択については、「プリントする用紙について」 (→ P.2-28) を参照してください。
- お買い求め時は、すべてのスイッチが「ON」に設定されています。

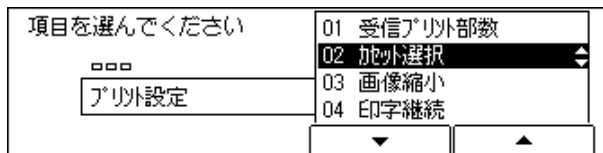
1 ユーザーモード画面に入り、プリント設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「受信文書のプリント部数を設定する」(→ P.5-70) の手順 1～3 を参照してください。



2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 カセット選択」を選択し、[OK] を押します。

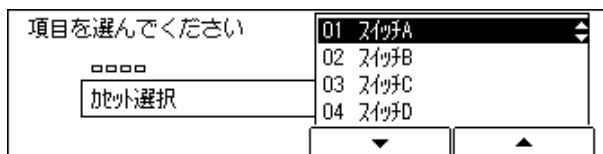
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



カセット選択画面が表示されます。

3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、任意のスイッチを選択し、[OK] を押します。

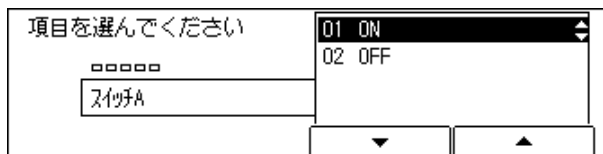
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



任意のカセットを選択するスイッチ設定画面が表示されます。

4 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 ON」または「02 OFF」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



設定内容が登録され、カセット選択画面に戻ります。

5 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

受信文書を縮小してプリントする


受信文書の画像を記録紙のプリント可能な範囲にプリントするために、自動的に縮小してプリントすることができます。

画像縮小を「する」に設定した場合、以下の各項目を設定します。（*はお買い求め時の値）

縮小モード選択「自動*、固定」： 画像の縮小率を自動的に調整するか、固定にするかを指定します。

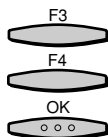
縮小率「97%、95%、90%*、75%」： 画像の縮小率を選択します。

縮小方向選択「縦横、縦のみ*」： 画像の縮小方向を上下左右にするか上下方向だけにするか選択します。

 **メモ** • お買い求め時は、画像縮小「する」に設定されています。

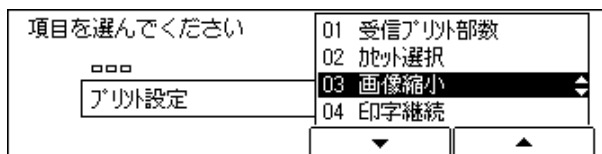
1 ユーザモード画面に入り、プリント設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「受信文書のプリント部数を設定する」（→ P.5-70）の手順1～3を参照してください。

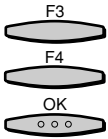


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 画像縮小」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

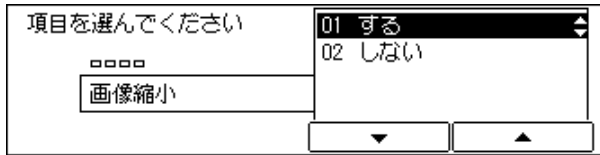


画像縮小画面が表示されます。



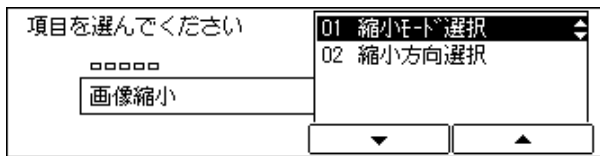
3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 する」または「02 しない」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



●「01 する」を選択した場合

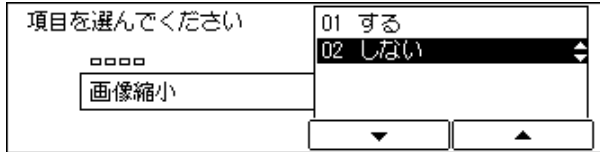
▼ 「01 縮小モード選択」、または「02 縮小方向選択」を選択し、[OK] を押します。



手順 4 または手順 5 へ進みます。

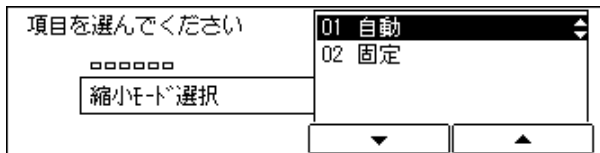
●「02 しない」を選択した場合

▼ [OK] を押すと、プリント設定画面に戻ります。



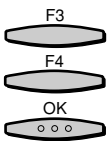
4 「01 縮小モード選択」を設定する場合は、[▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 自動」または、「02 固定」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



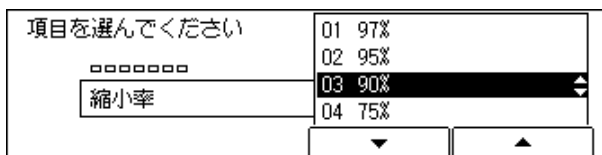
●「01 自動」を選択した場合

▼ 画像が自動調整して縮小されます。画像縮小画面に戻ります。

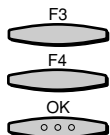


● 「02 固定」 を選択した場合

- ▼ 画像の縮小率を 「01 97%」、 「02 95%」、 「03 90%」、 「04 75%」 のいずれかから選択し、 [OK] を押します。



画像縮小画面に戻ります。

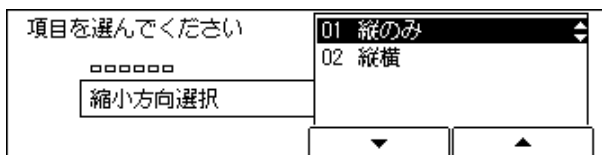


5 「02 縮小方向選択」 を設定する場合は、 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 縦のみ」または、「02 縦横」のいずれかを選択し、 [OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

[01 縦のみ] : 縦方向のみ縮小します。

[02 縦横] : 縦横方向に縮小します。



プリント設定画面に戻ります。




6 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

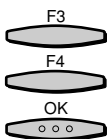
トナー不足時のプリント継続／中止の設定をする

用紙やトナーカートリッジのトナーが切れた場合に、印字を継続するか、印字を継続せずに受信文書を自動的にメモリに記憶されるかを設定します。

 **メモ** • お買い求め時は、印字継続「しない」に設定されています。

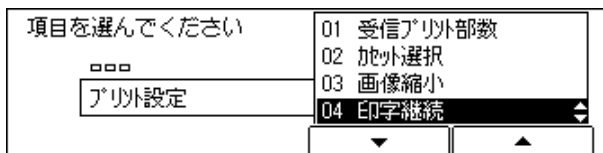
1 ユーザモード画面に入り、プリント設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「受信文書のプリント部数を設定する」(→ P.5-70) の手順 1～3 を参照してください。

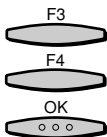


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「04 印字継続」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

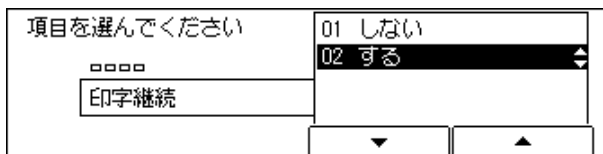


印字継続画面が表示されます。



3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 しない」または「02 する」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



設定内容が登録され、ファクス仕様設定画面に戻ります。



4 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

メモリ管理について設定する

メモリボックスの登録のしかたやメモリボックスの設定について説明しています。

メモリボックスを活用するためには、あらかじめメモリボックスの各項目を登録、設定する必要があります。

- メモ** •メモリボックスは、70個まで登録できます。

親展ボックスを設定する

親展ボックスは、メモリボックスの利用者を限定することができる受信専用のメモリボックスです。

関係者以外の目に触れさせたくない重要な原稿は、親展ボックスを活用して受信することができます。

親展ボックスに受信した文書は、ここで設定した暗証番号を入力しないとプリントすることができません。

親展ボックスでは、以下の項目を設定できます。

設定項目	設定内容	設定値
ボックス名称	メモリボックスの名称を登録します。	24桁以内
暗証番号	メモリボックスを管理するために暗証番号を設定します。メモリボックスの設定内容を変更する場合、メモリボックス内の受信文書をプリントする場合などに、暗証番号の入力が必要になります。	7桁以内の数字を入力。
Fコード	ITU-T規格のFコードを設定します。相手先からの文書をメモリボックスに受信するとき、他のメモリボックスと区別するために必要です。	20桁以内
受信パスワード	ITU-T規格のパスワードを設定します。パスワードを設定した場合、受信した文書に付加されているパスワードが照合され、合致しないときは、文書を受信しません。	20桁以内
受信プリント部数	受信した文書のプリント部数を設定します。	99部まで

- 重要** •設定した暗証番号は忘れないでください。

- メモ** •入力を間違えたときは、間違えた箇所に戻り[削除]を押して、入力しなおすことができます。[クリア]を押して、最初から入力しなおすこともできます。

親展ボックスを作成する

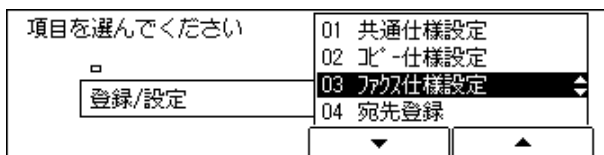
1 [ユーザモード] を押します。

ユーザモード画面が表示されます。



2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 ファクス仕様設定」を選択し、[OK] を押します。

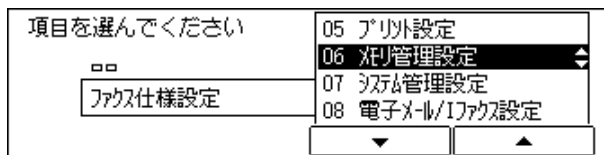
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



ファクス仕様設定画面が表示されます。

3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「06 メモリ管理設定」を選択し、[OK] を押します。

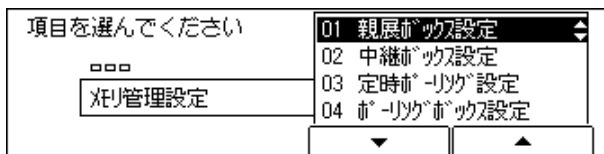
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



メモリ管理設定画面が表示されます。

4 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 親展ボックス設定」を選択し、[OK] を押します。

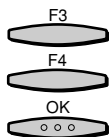
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

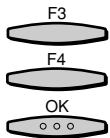


親展ボックス設定画面が表示されます。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

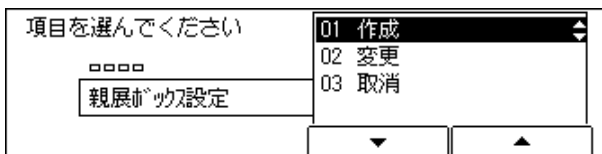




5

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 作成」を選択し、[OK] を押します。

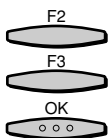
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



ボックス番号セット画面が表示されます。

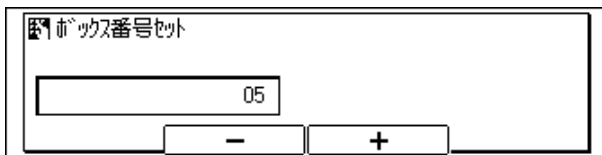


- 親展ボックス作成中に [ストップ] を押して作成を中断したあとで、処理を再開する場合は、「02 変更」を選択して、各項目を設定します。



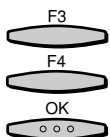
6

[-] (F2) または [+] (F3) を押して任意のボックス番号を設定し、[OK] を押します。



- 00 ~ 99 の範囲で設定できます。
- テンキーで設定することができます。

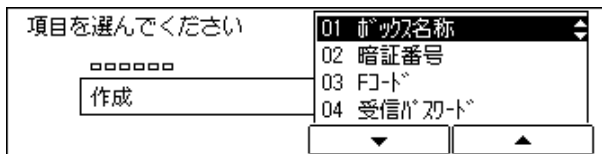
作成画面が表示されます。



7

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 ボックス名称」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



ボックス名称入力画面が表示されます。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する



8 親展ボックスの名称を入力し、[OK] を押します。

ボックス名称を入力してください(全角12文字まで)

親展_ ひらがな

変換 無変換 入力F10

- メモ**
- 文字を入力する方法については、「ユーザーズ編」を参照してください。
 - ボックス名称は最大で24文字、全角では12文字まで入力できます。文字を入力する方法については、「ユーザーズ編」を参照してください。

作成画面が表示され、「02 暗証番号」が反転表示されます。



9 [OK] を押します。

項目を選んでください

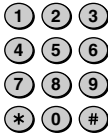
01 ボックス名称
02 暗証番号
03 Fコード
04 受信Fコード

作成

暗証番号入力画面が表示されます。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する



10 暗証番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。

暗証番号は、数字7桁で設定します。

暗証番号を入力してください(最大7桁)

1156

- 重要**
- 「0」からはじまる暗証番号は設定しないでください。
- 作成画面が表示され、「03 Fコード」が反転表示されます。



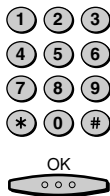
11 [OK] を押します。

項目を選んでください

01 ボックス名称
02 暗証番号
03 Fコード
04 受信Fコード

作成

Fコード入力画面が表示されます。



12 Fコードをテンキーで入力し、[OK] を押します。

Fコードは、数字、#、*、スペースを使って20桁まで登録できます。

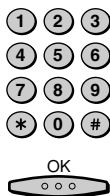
重要 • Fコードは必ず入力してください。

作成画面が表示され、「04 受信パスワード」が反転表示されます。



13 [OK] を押します。

受信パスワード入力画面が表示されます。



14 受信パスワードをテンキーで入力し、[OK] を押します。

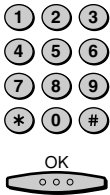
受信パスワードは、数字、#、*、スペースを使って20桁まで登録できます。

作成画面が表示され、「05 受信プリント部数」が反転表示されます。



15 [OK] を押します。

受信プリント部数画面が表示されます。



16 受信プリント部数をテンキー、あるいは [-] (F2) または [+] (F3) を押して入力し、[OK] を押します。



- メモ** • 01 ~ 99 の範囲で設定できます。
 新たなボックス番号セット画面が表示されます。

17 続けて新たな親展ボックスを作成する場合は、手順 6 から操作を行います。



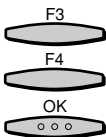
18 ファクス基本画面に戻る場合には、[リセット] を押します。
 ファクス基本画面に戻ります。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

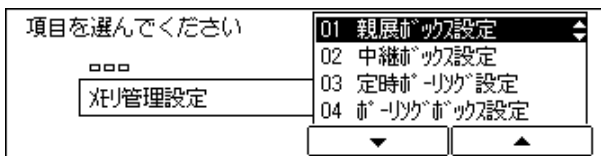
親展ボックスの設定内容を変更する

1 ユーザモード画面に入り、メモリ管理設定画面を表示させます。
 ここまでの操作は、「親展ボックスを作成する」(→ P.5-78) の手順 1 ~ 3 を参照してください。

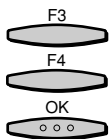


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 親展ボックス設定」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

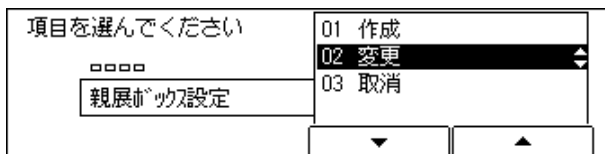


親展ボックス設定画面が表示されます。

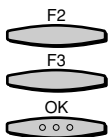


3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して「02 変更」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



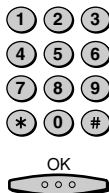
ボックス番号セット画面が表示されます。



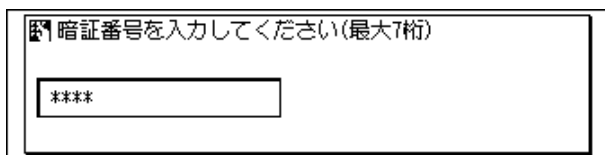
4 [-] (F2) または [+] (F3) を押して設定を変更したい親展ボックスのボックス番号を入力し、[OK] を押します。

「暗証番号を入力してください」と表示されます。

変更対象の親展ボックスに暗証番号が設定されていない場合は、変更画面が表示されます。



5 「暗証番号を入力してください」のメッセージに対し、暗証番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。



変更画面が表示されます。

設定内容の変更手順は「親展ボックスを作成する」(→ P.5-78) を参照してください。



6 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

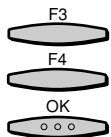
ファクス基本画面に戻ります。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

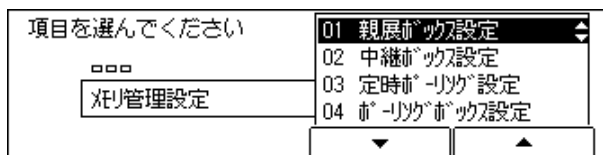
親展ボックスを取り消す

- 1 ユーザモード画面に入り、メモリ管理設定画面を表示させます。
ここまでの操作は、「親展ボックスを作成する」(→P.5-78)の手順1~3を参照してください。



- 2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 親展ボックス設定」を選択し、[OK] を押します。

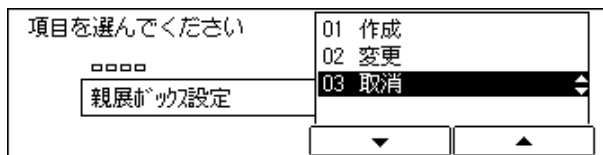
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



親展ボックス設定画面が表示されます。

- 3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して「03 取消」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



ボックス番号セット画面が表示されます。

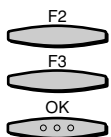
- 4 [-] (F2) または [+] (F3) を押して取り消したい親展ボックスのボックス番号を入力し、[OK] を押します。

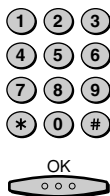
「暗証番号を入力してください」と表示されます。

取消対象の親展ボックスに暗証番号が設定されていない場合は、親展ボックスが取り消されます。

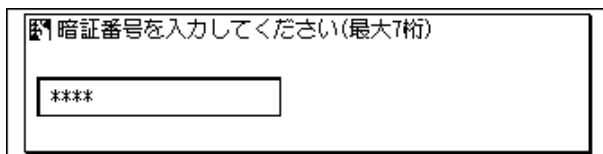
5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する





- 5** 「暗証番号を入力してください」のメッセージに対し、暗証番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。



親展ボックスが取り消されます。

- 6** ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。
ファクス基本画面に戻ります。


中継ボックスを設定する

中継ボックスは、複数の相手先から送られてきた受信文書を、本商品を介して特定の相手先に送信することができるメモリボックスです。

送信する時刻を設定して、メモリボックス内の文書を一度にまとめて送信することができます。中継メモリボックスでは、以下の項目を設定できます。

設定項目	設定内容	設定値
ボックス名称	メモリボックスの名称を登録します。	24 桁以内
暗証番号	メモリボックスを管理するために暗証番号を設定します。メモリボックスの設定内容を変更する場合や、メモリボックス内の受信文書をプリントする場合などに、暗証番号の入力が必要になります。	7 桁以内の数字を入力。
動作条件	中継ボックスの目的別に、F コード、発信者番号、メールアドレスの中から 1 つだけ設定します。	—
受信パスワード	ITU-T 規格のパスワードを設定します。パスワードを設定した場合、受信した文書に付加されているパスワードが照合され、合致しないときは、文書を受信しません。	20 桁以内
指示元制限	文書を受信したとき、通信相手の制限をするかを設定します。「する」に設定したとき、通信相手を設定します。設定した相手以外からは、受信文書を受けつけません。	「する、しない*」
受信原稿プリント	受信した文書を本商品でプリントするかを設定します。	「しない*、する」
宛先	メモリボックス内の受信文書を送信する相手先（宛先）として設定します。	ワンタッチ、短縮、グループ
送信結果レポート	文書を送信してきた通信相手に、中継送信の結果を通知するかを設定します。通信相手の方では、送信結果を確認することができます。	「送信しない、送信する*」
送信開始時刻	中継送信の開始時刻を設定します。送信開始時刻を設定すると、メモリボックス内の文書が自動的に送信されます。	5 時刻から選択
中継同報	受信した文書を本商品で中継同報するかを設定します。	「する*、しない」

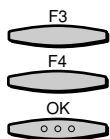
* がついている設定値が、お買い求め時の値

-  **メモ**
- 「宛先」、「指示元制限」に登録する相手先がワンタッチダイヤルに登録されていない場合は、相手先をワンタッチダイヤルに登録してください。
 - 中継結果レポート送信を行う場合は、「指示元制限」の設定が必要です。
 - 各設定項目の入力を間違えたときは、間違えた箇所に戻り [削除] を押して、入力しなおすことができます。[クリア] を押してから最初から入力しなおすこともできます。ただし、「送信開始時刻」を間違えたときは、間違えた箇所に戻り上書きしてなおすことができます。[クリア] を押してから最初から入力しなおすこともできます。
 - 指示元制限は、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録された電話番号の下 6 桁を照合して制限を行っています。このため、内線番号など 6 桁未満の電話番号の場合は指示元制限機能ははたらかません。また、下 6 桁が同じ電話番号は同一と見なしますのでご注意ください。

中継ボックスを作成する

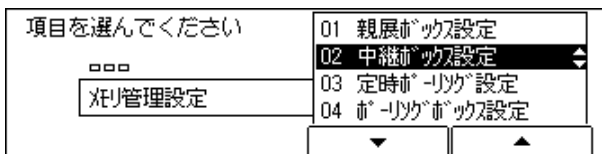
1 ユーザーモード画面に入り、メモリ管理設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「親展ボックスを作成する」(→ P.5-78) の手順 1 ~ 3 を参照してください。

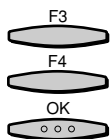


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 中継ボックス設定」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

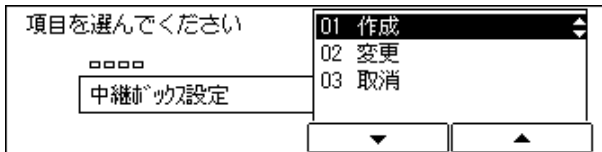


中継ボックス設定画面が表示されます。




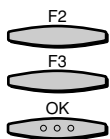
3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 作成」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

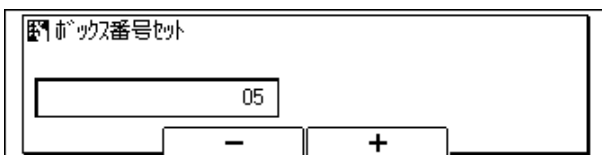



ボックス番号セット画面が表示されます。

-  **メモ** • 中継ボックス作成中に [ストップ] を押して作成を中断したあとで、処理を再開する場合は、「02 変更」を選択して、各項目を設定します。



4 [-] (F2) または [+] (F3) を押して任意のボックス番号を設定し、[OK] を押します。

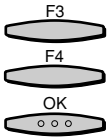


-  **メモ** • 00 ~ 99 の範囲で設定できます。
• テンキーで設定することができます。

作成画面が表示されます。

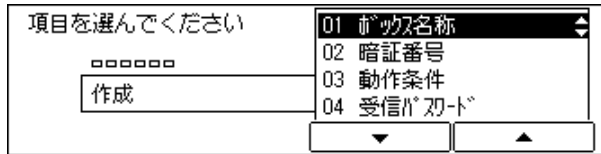
5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する



5 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 ボックス名称」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すことに、項目が切り替わります。

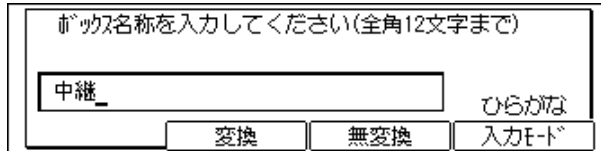


ボックス名称入力画面が表示されます。



6 中継ボックスの名称を入力し、[OK] を押します。

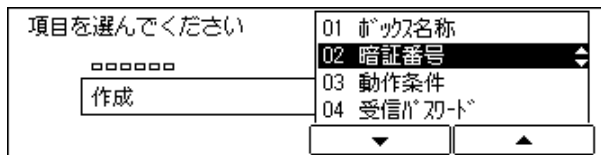
- メモ • 文字を入力する方法については、「ユーザーズ編」を参照してください。
- ボックス名称は最大で24文字、全角では12文字まで入力できます。文字を入力する方法については、「ユーザーズ編」を参照してください。



作成画面が表示され、「02 暗証番号」が反転表示されます。



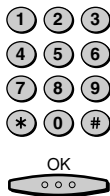
7 [OK] を押します。



暗証番号入力画面が表示されます。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する



8 暗証番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。

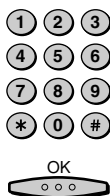
暗証番号は、数字 7 桁以内で設定します。

- 重要** ●「0」からはじまる暗証番号は設定しないでください。
作成画面が表示されます。「03 動作条件」が反転表示されます。



9 [OK] を押します。

動作条件画面が表示されます。



10 動作条件について、「01 Fコード」、「02 発信者番号」、「03 メールアドレス (To)」の中から 1 つ設定します。

- 「01 Fコード」を設定する場合
 - ▼ Fコードをテンキーで入力し、[OK] を押します。
 - ▼ Fコードは数字、#、*、スペースを使って 20 桁まで登録できます。

動作条件画面に戻ります。

●「02 発信者番号」を設定する場合

- ▼ 発信者番号の選択画面で任意のワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを選択し、[OK] を押します。

相手先を指定してください No. [----]	*001 営業 01 北海道
ワンタッチ/短縮ダイヤル	

動作条件画面に戻ります。

●「03 メールアドレス (To)」を設定する場合

オプションの1ファクス (LAN 接続ユニット) で中継送信する場合に、相手先のメールアドレス (From) が一致した場合に通信を行います。

- ▼ メールアカウント選択画面で任意のメールアドレスを選択し、[OK] を押します。

- ▼ 「00 使用しない」を選択した場合は、メールアドレスは動作条件として使用されません。

メールアカウント選択	00 使用しない 01 suzuki@000000.co.jp 02 sato@000000.co.jp 03 nakamura@000000.co.jp
メールアドレス(To)	

作成画面に戻ります。

手順 12 へ進みます。



11 [戻る] を押します。

作成画面に戻ります。

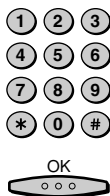


12 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「04 受信パスワード」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

項目を選んでください	01 拡張名称 02 暗証番号 03 動作条件 04 受信パスワード
作成	

受信パスワード入力画面が表示されます。



13 受信パスワードをテンキーで入力し、[OK] を押します。

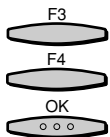
受信パスワードは、数字、#、*、スペースを使って 20 桁まで登録できます。

作成画面が表示されます。「05 指示元制限」が反転表示されます。



14 [OK] を押します。

指示元制限画面が表示されます。



15 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 する」または「02 しない」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

● 「01 する」を選択した場合

▼ 相手先が登録されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを選択し、[OK] を押します。

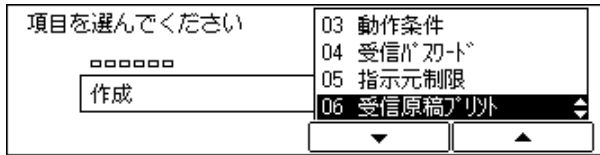
作成画面が表示されます。「06 受信原稿プリント」が反転表示されます。

● 「02 しない」を選択した場合

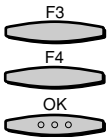
▼ 作成画面が表示されます。「06 受信原稿プリント」が反転表示されます。



16 [OK] を押します。

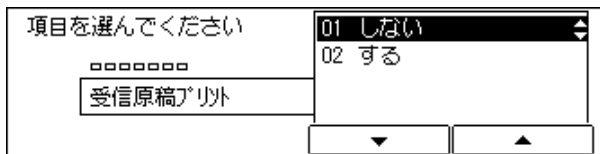


受信原稿プリント画面が表示されます。



17 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 しない」または「02 する」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すことに、項目が切り替わります。



●「01 しない」を選択した場合

▼ 作成画面が表示されます。「07 宛先」が反転表示されます。

●「02 する」を選択した場合

▼ 受信プリント部数について [-] (F2) または [+] (F3) を押して部数を設定し、[OK] を押します。

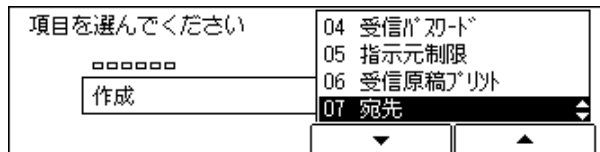


- メモ ● 01 ~ 99 の範囲で設定できます。
- テンキーで設定することができます。

作成画面が表示されます。「07 宛先」が反転表示されます。



18 [OK] を押します。



宛先画面が表示されます。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する



19 相手先が登録されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力し、[OK] を押します。

相手先は最大 200 件指定できます。

相手先を指定してください No. [----]	*001 営業 01 北海道
ワンタッチ/短縮ダイヤル	
	▼ ▲

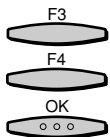
作成画面が表示されます。「08 送信結果レポート」が反転表示されます。



20 [OK] を押します。

項目を選んでください ○○○○○○	05 指示元制限 06 受信原稿フリット 07 宛先 08 送信結果レポート
作成	
	▼ ▲

送信結果レポート画面が表示されます。



21 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 送信しない」または「02 送信する」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

項目を選んでください ○○○○○○	01 送信しない 02 送信する
送信結果レポート	
	▼ ▲

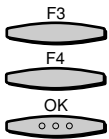
作成画面が表示されます。「09 送信開始時刻」が反転表示されます。



22 [OK] を押します。

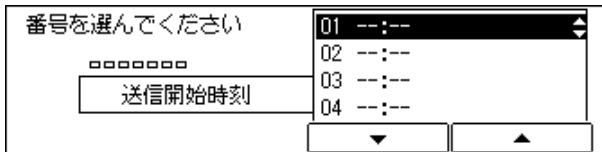
項目を選んでください ○○○○○○	07 宛先 08 送信結果レポート 09 送信開始時刻 10 中継同報
作成	
	▼ ▲

送信開始時刻が表示されます。

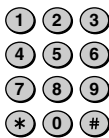
**23**

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、1～5のいずれかの時間帯を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

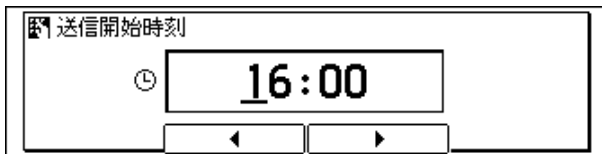


送信開始時刻入力画面が表示されます。

**24**

送信開始時刻をテンキーで入力し、[OK] を押します。

時刻は24時間制(00:00～23:59)で入力します。

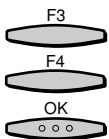


送信開始時刻画面が表示されます。

25

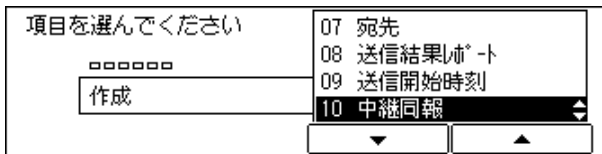
続けて送信開始時刻を設定する場合は手順22へ戻ります。送信開始時刻の設定を終了する場合は[戻る]を押します。

作成画面が表示されます。

**26**

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押して「10 中継同報」を選択し [OK] を押します。

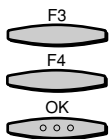
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



中継同報画面が表示されます。

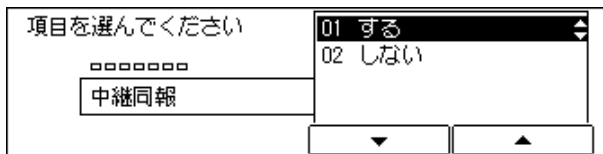
5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する



27 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 する」または「02 しない」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



ボックス番号セット画面が表示されます。



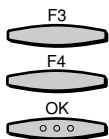
28 中継ボックス作成を終了する場合は、[リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

中継ボックスの設定内容を変更する

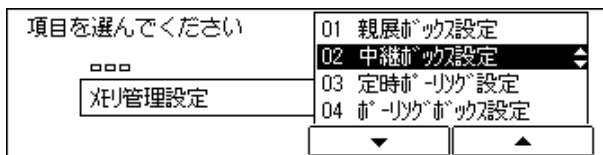
1 ユーザーモード画面に入り、メモリ管理設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「親展ボックスを作成する」(→ P.5-78) の手順 1 ~ 3 を参照してください。

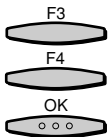


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 中継ボックス設定」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

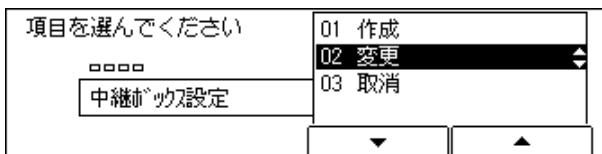


中継ボックス設定画面が表示されます。

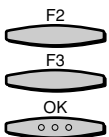


3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して「02 変更」を選択し、[OK] を押します。

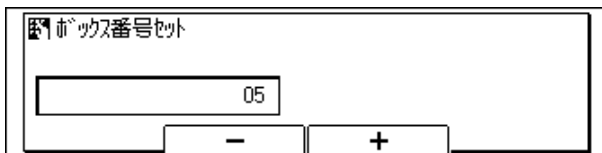
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



ボックス番号セット画面が表示されます。



4 [-] (F2) または [+] (F3) を押して設定を変更したい中継ボックスのボックス番号を入力し、[OK] を押します。

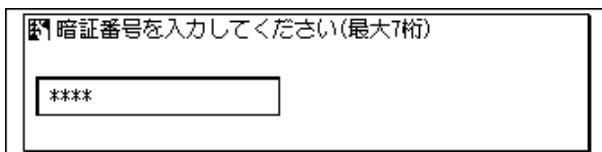
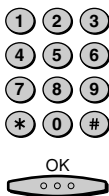


メモ • テンキーで設定することができます。

「暗証番号を入力してください」と表示されます。

変更対象の中継ボックスに暗証番号が設定されていない場合は、変更画面が表示されます。

5 「暗証番号を入力してください」のメッセージに対し、暗証番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。



変更画面が表示されます。

設定内容の変更手順は「中継ボックスを作成する」(→ P.5-87) を参照してください。



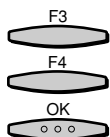
6 ファクス基本画面に戻る場合は [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

中継ボックスを取り消す

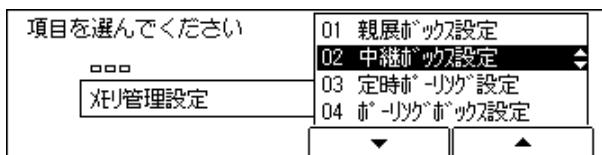
1 ユーザーモード画面に入り、メモリ管理設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「親展ボックスを作成する」(→ P.5-78) の手順 1 ~ 3 を参照してください。

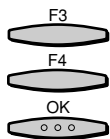


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 中継ボックス設定」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

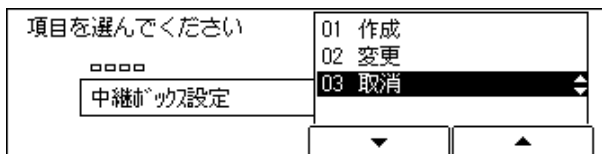


中継ボックス設定画面が表示されます。

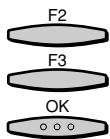


3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して「03 取消」を選択し、[OK] を押します。

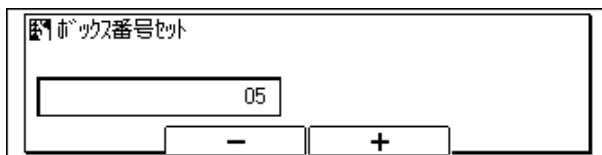
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



ボックス番号セット画面が表示されます。



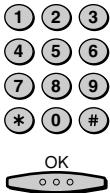
4 [-] (F2) または [+] (F3) を押して取り消したい中継ボックスのボックス番号を入力し、[OK] を押します。



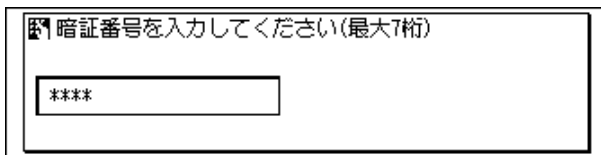
メモ • テンキーで設定することができます。

「暗証番号を入力してください」と表示されます。

取消対象の中継ボックスに暗証番号が設定されていない場合は、中継ボックスが取り消されます。



5 「暗証番号を入力してください」のメッセージに対し、暗証番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。



中継ボックスが取り消されます。



6 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

定時ポーリングを設定する

5

定時ポーリング受信は、毎日、または特定の曜日の特定の時刻に文書をポーリング受信します。

定時ポーリング受信を設定するときは、ポーリング受信する相手先や時刻を設定する必要があります。

ポーリング受信する相手先がワンタッチダイヤルまたは、短縮ダイヤルに登録されていない場合は、相手先をワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録してください。

定時ポーリングでは以下の項目を設定できます。

設定項目	設定内容	設定値
ボックス名称	メモリボックスの名称を登録します。	24 桁以内
暗証番号	メモリボックスを管理するために暗証番号を設定します。メモリボックスの設定内容を変更する場合や、メモリボックス内の受信文書をプリントする場合などに暗証番号の入力が必要になります。	7 桁以内の数字を入力。
宛先	ポーリング受信する相手先をワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルで設定します。	—
開始時刻	ポーリング受信開始時刻を指定します。	5 時刻まで設定

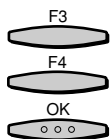
- メモ**
 - ボックス名称、暗証番号、宛先の入力を間違えたときは、間違えた箇所に戻り [削除] を押して、入力しなおすことができます。[クリア] を押して、最初から入力しなおすこともできます。
 - 開始時刻の入力を間違えたときは、間違えた箇所に戻り上書きしてなおすことができます。[クリア] を押してから最初から入力しなおすこともできます。

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

定時ポーリングを作成する

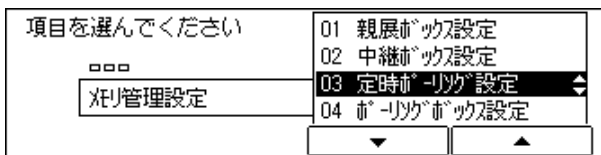
1 ユーザーモード画面に入り、メモリ管理設定の画面を表示させます。

ここまでの操作は、「親展ボックスを作成する」(→ P.5-78) の手順 1 ~ 3 を参照してください。

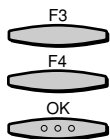


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 定時ポーリング設定」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

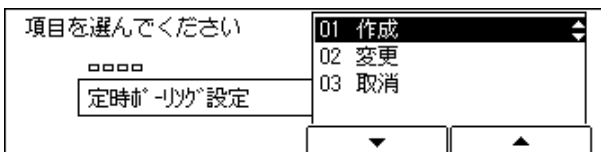


定時ポーリング設定画面が表示されます。



3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 作成」を選択し、[OK] を押します。

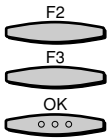
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



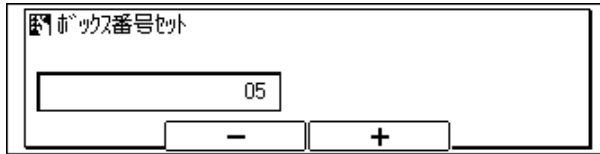
ボックス番号セット画面が表示されます。



- 定時ポーリング作成中に [ストップ] を押して作成を中断したあとで、処理を再開する場合は、「02 変更」を選択して、各項目を設定します。

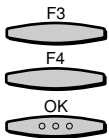


4 [-] (F2) または [+] (F3) を押して任意のボックス番号を設定し、[OK] を押します。



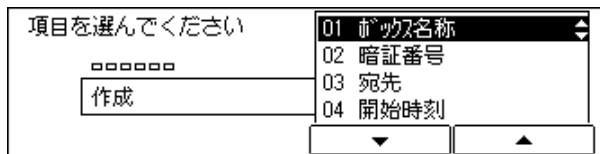
- メモ 0～99の範囲で設定できます。
- テンキーで設定することができます。

作成画面が表示されます。



5 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 ボックス名称」を選択し、[OK] を押します。

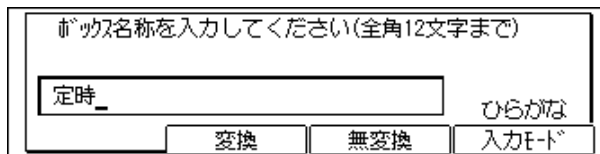
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



ボックス名称入力画面が表示されます。



6 定時ポーリングボックスの名称を入力し、[OK] を押します。



- メモ 文字を入力する方法については、「ユーザーズ編」を参照してください。
- ボックス名称は最大で24文字、全角では12文字まで入力できます。文字を入力する方法については、「ユーザーズ編」を参照してください。

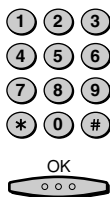
作成画面が表示されます。「02 暗証番号」が反転表示されます。



7 [OK] を押します。

項目を選んでください	01 ボックス名称
○○○○○○	02 暗証番号
作成	03 宛先
	04 開始時刻

暗証番号入力画面が表示されます。



8 暗証番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。

暗証番号は、数字 7 桁で設定します。

暗証番号を入力してください(最大7桁)
1151

- 重要** • 「0」からはじまる暗証番号は設定しないでください。
作成画面が表示されます。「03 宛先」が反転表示されます。



9 [OK] を押します。

項目を選んでください	01 ボックス名称
○○○○○○	02 暗証番号
作成	03 宛先
	04 開始時刻

宛先画面が表示されます。



10 宛先について相手先が登録されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを選択し、[OK] を押します。

相手先は最大 210 件指定できます。

相手先を指定してください No. [----]	01 北海道
ワンタッチ/短縮ダイヤル	

作成画面が表示されます。「04 開始時刻」が反転表示されます。

- 重要** • 通信相手のポーリングボックスに F コード、パスワードが設定されている場合、相手先に指定したワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに、あらかじめ F コード、パスワードを登録しておく必要があります。(→ワンタッチ宛先・短縮宛先の詳細設定をする : P.5-31)



11 [OK] を押します。

項目を選んでください	01 ホット名称
○○○○○○	02 暗証番号
作成	03 宛先
	04 開始時刻
	▼ ▲

開始時刻画面が表示されます。



12 開始時刻について [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 毎日」または「02 曜日別指定」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すことに、項目が切り替わります。

●「01 毎日」を選択した場合

項目を選んでください	01 毎日
○○○○○○	02 曜日別指定
開始時刻	
	▼ ▲

▼ 1～5の任意の番号を選択し、[OK] を押します。

番号を選んでください	01 --:--
○○○○○○○	02 --:--
毎日	03 --:--
	04 --:--
	▼ ▲

開始時刻入力画面が表示されます。

▼ 次に、開始時刻をテンキーで入力し、[OK] を押します。

📞 毎日	
🕒	19:00
	◀ ▶

時刻の番号選択画面が表示されます。



●時刻は24時間制(00:00～23:59)で入力します。

● 「02 曜日指定」 を選択した場合

項目を選んでください	01 毎日
開始時刻	02 曜日別指定

▼ [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、曜日を選択し、[OK] を押します。

項目を選んでください	01 SUN
曜日別指定	02 MON
	03 TUE
	04 WED

時刻の番号選択画面が表示されます。

▼ 1～5の任意の番号を選択し、[OK] を押します。

番号を選んでください	01 --:--
SUN	02 --:--
	03 --:--
	04 --:--

開始時刻入力画面が表示されます。

▼ 開始時刻をテンキーで入力し、[OK] を押します。

SUN	19:00
-----	-------

 ● 時刻は 24 時間制 (00:00～23:59) で入力します。

時刻の番号選択画面が表示されます。



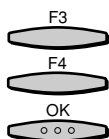
13 定時ポーリングの設定を終了する場合は、[リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

定時ポーリングの設定内容を変更する

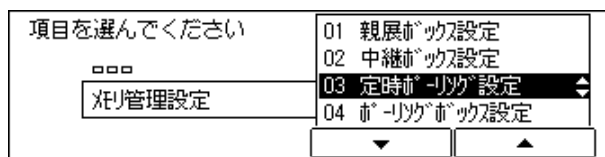
1 ユーザーモード画面に入り、メモリ管理設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「親展ボックスを作成する」(→ P.5-78) の手順 1 ~ 3 を参照してください。



2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 定時ポーリング設定」を選択し、[OK] を押します。

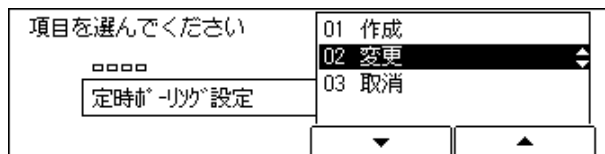
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



定時ポーリング設定画面が表示されます。

3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して「02 変更」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



ボックス番号セット画面が表示されます。

4 [-] (F2) または [+] (F3) を押して設定を変更したい定時ポーリングのボックス番号を入力し、[OK] を押します。

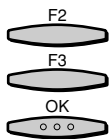
テンキーで指定することができます。

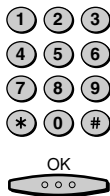
「暗証番号を入力してください」と表示されます。

変更対象の定時ポーリングに暗証番号が設定されていない場合は、変更画面が表示されません。

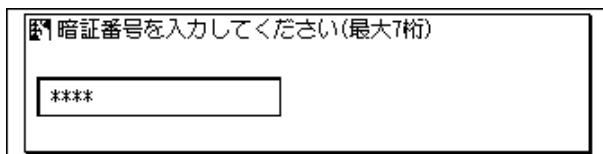
5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する





- 5** 「暗証番号を入力してください」のメッセージに対し、暗証番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。



変更画面が表示されます。

設定内容の変更手順は「定時ポーリングを作成する」(→ P.5-99) を参照してください。



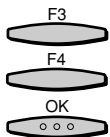
- 6** ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

定時ポーリングを取り消す

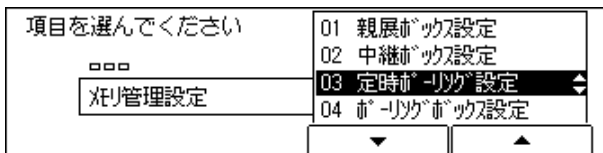
- 1** ユーザモード画面に入り、メモリ管理設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「親展ボックスを作成する」(→ P.5-78) の手順 1 ~ 3 を参照してください。

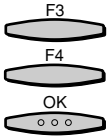


- 2** [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 定時ポーリング設定」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

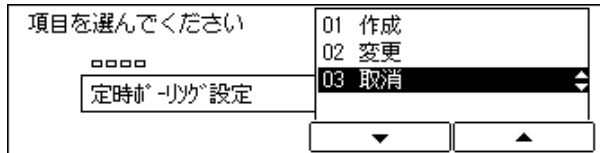


定時ポーリング設定画面が表示されます。

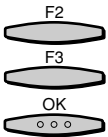


3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 取消」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



ボックス番号セット画面が表示されます。



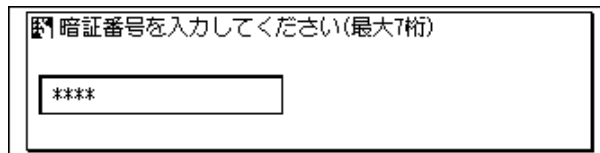
4 [-] (F2) または [+] (F3) を押して取り消したい定時ポーリングのボックス番号を入力し、[OK] を押します。

テンキーで指定することができます。

「暗証番号を入力してください」と表示されます。

取消対象の定時ポーリングに暗証番号が設定されていない場合は、定時ポーリングが取り消されます。

5 「暗証番号を入力してください」のメッセージに対し、暗証番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。



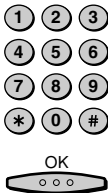
定時ポーリングが取り消されます。

6 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する



ポーリングボックスの設定

ポーリングボックスは、相手先が本商品の電話番号を指定してポーリング受信すると、ポーリングボックスに読み込ませておいた文書を送信します。

ポーリングボックスでは、以下の項目を設定することができます。

設定項目	設定内容	設定値
ボックス名称	ボックスの名称を登録します。	24 桁以内
暗証番号	メモリボックスを管理するための暗証番号を設定できません。暗証番号を設定すると、メモリボックスの設定内容を変更したり、メモリボックスに原稿を読み込む場合などに、暗証番号の入力が必要になります。	7 桁以内の数字が入力可能。
F コード	ITU-T 規格の F コードを設定します。他のメモリボックスと区別するために必要です。省略不可。	20 桁以内
送信パスワード	ITU-T 規格のパスワードを設定します。パスワードを設定した場合、送信する文書に付加されているパスワードが照合されます。省略可能。	20 桁以内
送信後の原稿クリア	文書を送信したあと、メモリ内の文書を自動的に消去することができます。	「しない、する*」

* がついている設定値が、お買い求め時の値

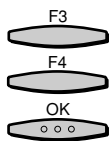


- 相手先のポーリング受信の操作を制限する場合は、掲示板メモリボックスを登録して、F コード/パスワードを設定してください。
- 入力を間違えたときは、間違えた箇所に戻り [削除] を押して、入力しなおすことができます。[クリア] を押して、最初から入力しなおすこともできます。

ポーリングボックスを作成する

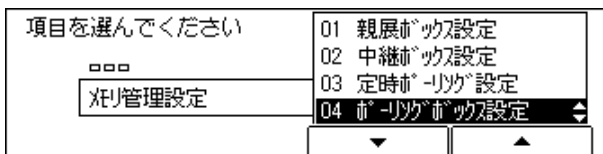
1 ユーザモード画面に入り、メモリ管理設定の画面を表示させます。

ここまでの操作は、「親展ボックスを作成する」(→ P.5-78) の手順 1 ~ 3 を参照してください。



2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「04 ポーリングボックス設定」を選択し、[OK] を押します。

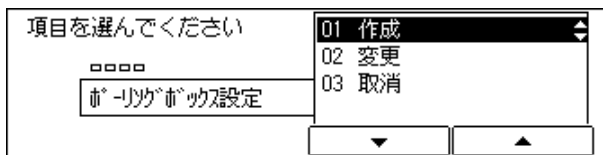
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。




ポーリングボックス設定画面が表示されます。

3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 作成」を選択し、[OK] を押します。

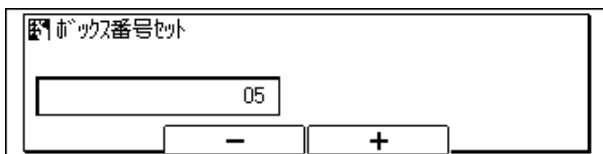
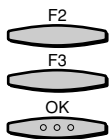
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。




ボックス番号セット画面が表示されます。

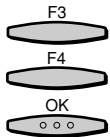
-  **メモ** • ポーリングボックス作成中に [ストップ] を押して作成を中断したあとで、処理を再開する場合は、「02 変更」を選択して、各項目を設定します。

4 [-] (F2) または [+] (F3) を押して任意のボックス番号を設定し、[OK] を押します。



-  **メモ** • 00 ~ 99 の範囲で設定できます。
• テンキーで設定することができます。

作成画面が表示されます。



5 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 ボックス名称」を選択し、[OK] を押します。

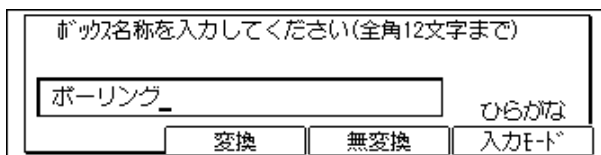
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



ボックス名称入力画面が表示されます。



6 ボーリングボックスの名称を入力し、[OK] を押します。

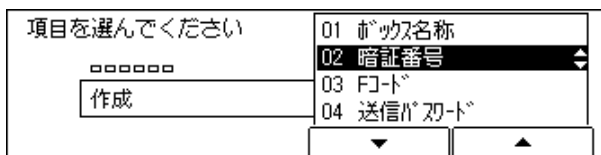


- メモ**
- 文字を入力する方法については、「ユーザーズ編」を参照してください。
 - ボックス名称は最大で24文字、全角では12文字まで入力できます。文字を入力する方法については、「ユーザーズ編」を参照してください。

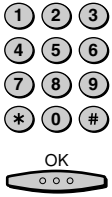
作成画面が表示されます。「02 暗証番号」が反転表示されます。



7 [OK] を押します。



暗証番号入力画面が表示されます。



8 暗証番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。

暗証番号は、数字 7 桁以内で設定します。

暗証番号を入力してください(最大7桁)

1150

- 重要**
- 「0」からはじまる暗証番号は設定しないでください。
作成画面が表示されます。「03 Fコード」が反転表示されます。



9 [OK] を押します。

項目を選んでください

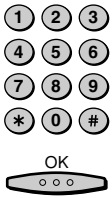
01 机`ツス名称
02 暗証番号
03 Fコード
04 送信机`パスワード

作成

Fコード画面が表示されます。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する



10 Fコードをテンキーで入力し、[OK] を押します。

Fコードは、数字、#、*、スペースを使って 20 桁まで登録できます。

Fコード

*0987654321#

削除

- 重要**
- Fコードは必ず入力してください。
作成画面が表示されます。「04 送信パスワード」が反転表示されます。



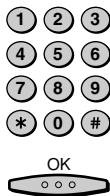
11 [OK] を押します。

項目を選んでください

01 机`ツス名称
02 暗証番号
03 Fコード
04 送信机`パスワード

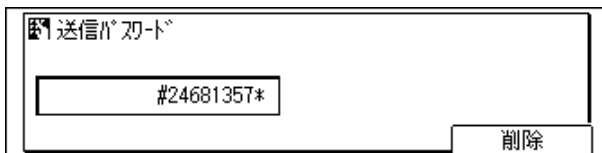
作成

送信パスワード画面が表示されます。



12 送信パスワードをテンキーで入力し、[OK] を押します。

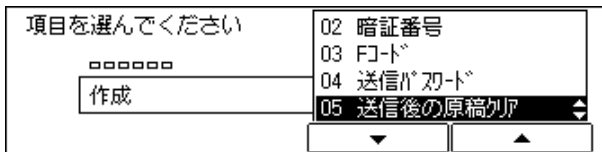
送信パスワードは、数字、#、*、スペースを使って 20 桁まで登録できます。



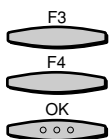
作成画面が表示されます。「05 送信後の原稿クリア」が反転表示されます。



13 [OK] を押します。

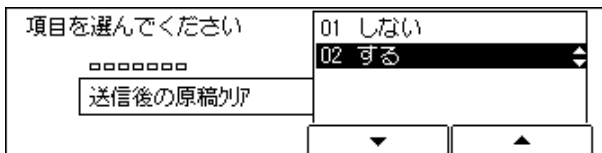


送信後の原稿クリア画面が表示されます。



14 送信後の原稿クリアについて [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 しない」または「02 する」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



[01 しない]： 送信後にポーリングボックス内の文書を消去します。

[02 する]： 送信後にポーリングボックス内に文書を残します。

ボックス番号セット画面が表示されます。



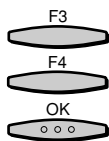
15 ポーリングボックス設定を終了する場合は、[リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

ポーリングボックスの設定内容を変更する

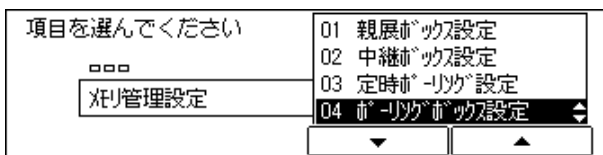
1 ユーザモード画面に入り、メモリ管理設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「親展ボックスを作成する」(→ P.5-78) の手順 1 ~ 3 を参照してください。



2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「04 ポーリングボックス設定」を選択し、[OK] を押します。

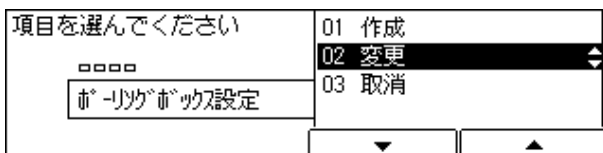
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



ポーリングボックス設定画面が表示されます。

3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 変更」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



ボックス番号セット画面が表示されます。

4 [-] (F2) または [+] (F3) を押して設定を変更したいポーリングボックスのボックス番号を入力し、[OK] を押します。

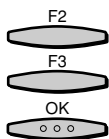
テンキーで指定することができます。

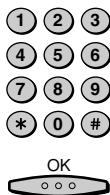
「暗証番号を入力してください」と表示されます。

変更対象のポーリングボックスに暗証番号が設定されていない場合は、変更画面が表示されます。

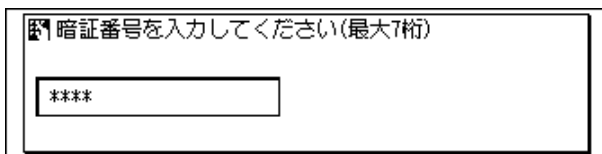
5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する





- 5** 「暗証番号を入力してください」のメッセージに対し、暗証番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。



変更画面が表示されます。

設定内容の変更手順は「ポーリングボックスを作成する」(→ P.5-108) を参照してください。



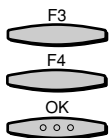
- 6** ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

ポーリングボックスを取り消す

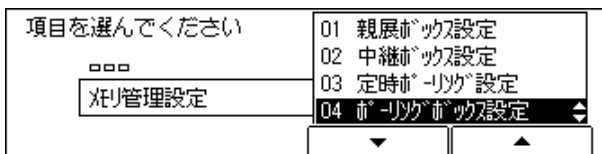
- 1** ユーザモード画面に入り、ファクス仕様設定画面からメモリ管理設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「親展ボックスを作成する」(→ P.5-78) の手順 1 ~ 3 を参照してください。

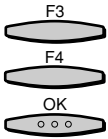


- 2** [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「04 ポーリングボックス設定」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

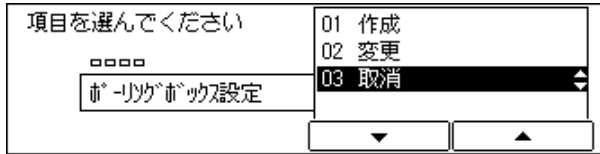


ポーリングボックス設定画面が表示されます。

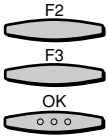


3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 取消」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



ボックス番号セット画面が表示されます。



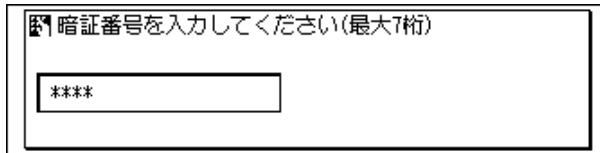
4 [-] (F2) または [+] (F3) を押して取り消したいポーリングボックスのボックス番号を入力し、[OK] を押します。

テンキーで指定することができます。

「暗証番号を入力してください」と表示されます。

取消対象のポーリングボックスに暗証番号が設定されていない場合は、ポーリングボックスが取り消されます。

5 「暗証番号を入力してください」のメッセージに対し、暗証番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。



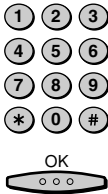
ポーリングボックスが取り消されます。

6 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する




受信した文書を自動転送する

受信した文書を他のファクスに転送することができます。

転送（機能）を使用する場合には、あらかじめ転送先を設定しておく必要があります。


また、曜日や時間を設定することができるので、夜間や休日のとき会社へ送信されてきた文書を自宅に転送することができます。

-  **メモ**
- 「しない」に設定されている場合には、転送機能は動きません。
 - 転送される文書は、通常に受信した原稿のみ対象となります。
 - メモリボックスやポーリング受信で受信した文書は転送しません。
 - 特定の相手からの文書だけを転送するように設定することができます（転送指示元制限）。
 - ワンタッチダイヤルに転送先や転送指示元を登録していない場合は、ワンタッチダイヤルに電話番号を登録してください。
 - お買い求め時は、転送機能を使用「しない」に設定されています。

転送では以下の項目を設定できます。

設定項目	設定内容	設定値
ボックス名称	メモリボックスの名称を登録します。	24 桁以内
宛先	転送先の宛先をワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルで設定します。	—
暗証番号	メモリボックスを管理するために暗証番号を設定可能です。メモリボックスの設定内容やメモリボックス内の受信文書をプリントする場合などに暗証番号の入力が必要になります。	7 桁以内の数字を入力
指示元制限	文書を受信したとき、通信相手の制限をするかを設定します。「する」に設定したとき、通信相手を設定します。設定した相手以外からは、受信文書を受けつけません。	「しない、する*」
時間指定	自動的に転送に切り替わる時刻（ON）と自動的に転送が解除される時刻（OFF）を設定します。	ON 時刻、OFF 時刻各 5 時刻まで
受信原稿プリント	受信した文書を本商品でプリントするかを設定します。	「しない*、する」

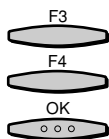
* がついている設定値が、お買い求め時の値

-  **メモ**
- ボックス名称、宛先、暗証番号、指示元制限、受信原稿プリントの入力を間違えたときは、間違えた箇所に戻り [削除] を押して、入力しなおすことができます。[クリア] を押して、最初から入力しなおすこともできます。
 - 開始時刻の入力を間違えたときは、間違えた箇所に戻り上書きしてなおすことができます。[クリア] を押してから最初から入力しなおすこともできます。

転送ボックスを作成する

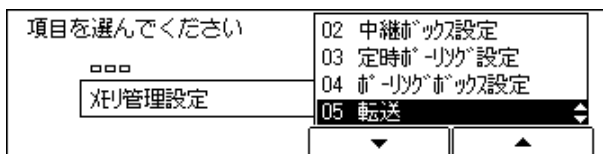
1 ユーザーモード画面に入り、メモリ管理設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「親展ボックスを作成する」(→ P.5-78) の手順 1 ~ 3 を参照してください。



2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「05 転送」を選択し、[OK] を押します。

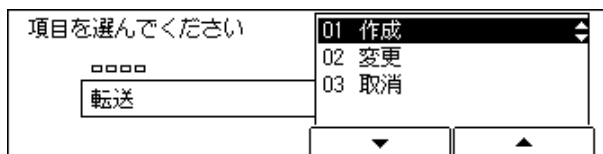
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。




転送画面が表示されます。

3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 作成」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

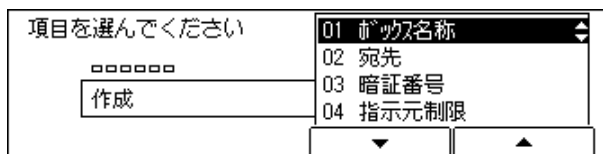


ボックス作成画面が表示されます。

-  **メモ** • 転送ボックス作成中に [ストップ] を押して作成を中断したあとで、処理を再開する場合は、「02 変更」を選択して、各項目を設定します。

4 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 ボックス名称」を選択し、[OK] を押します。

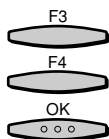
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



ボックス名称入力画面が表示されます。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する





5 ボックスの名称を入力し、[OK] を押します。



- 文字を入力する方法については、「ユーザズ編」を参照してください。
- ボックス名称は最大で 24 文字、全角では 12 文字まで入力できます。文字を入力する方法については、「ユーザズ編」を参照してください。

作成画面が表示されます。「02 宛先」が反転表示されます。



6 [OK] を押します。

宛先画面が表示されます。



7 宛先について相手先が登録されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力します。

相手先は最大 200 件指定できます。

指定したワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに対応した名称が表示されます。



8 すべての相手先を入力するまで、手順 7 を繰り返し、最後の相手先を入力したら [OK] を押します。

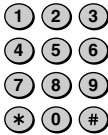
作成画面が表示されます。「03 暗証番号」が反転表示されます。



9 [OK] を押します。

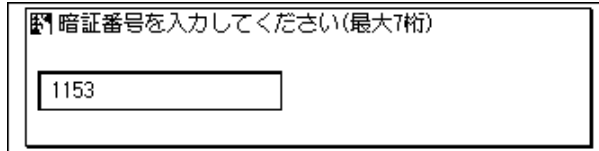


暗証番号画面が表示されます。



10 暗証番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。

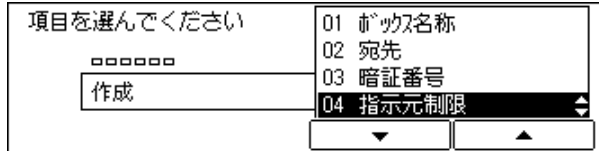
暗証番号は、数字 7 桁以内で設定します。



- 重要**
- 「0」からはじまる暗証番号は設定しないでください。
- 作成画面が表示されます。「04 指示元制限」が反転表示されます。



11 [OK] を押します。

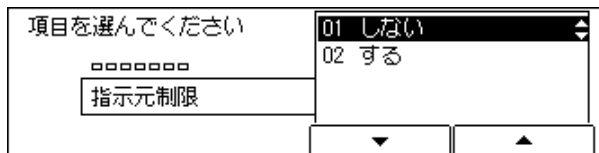


指示元制限画面が表示されます。



12 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 しない」または「02 しない」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



- 「01 しない」を選択した場合
 - ▼ 手順 13 へ進みます。
- 作成画面が表示されます。「05 時間指定」が反転表示されます。

●「02 する」を選択した場合

- ▼ 相手先が登録されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを選択し、[OK] を押します。

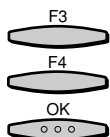
相手先を指定してください
No. [----]
ワンタッチ/短縮ダイヤル
01 北海道



13 [OK] を押します。

項目を選んでください
02 宛先
03 暗証番号
04 指示元制限
05 時間指定
作成

時間指定画面が表示されます。



14 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 ON時刻」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

項目を選んでください
01 ON時刻
02 OFF時刻
時間指定

ON時刻画面が表示されます。

15 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 毎日」または「02 曜日別指定」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。


●「01 毎日」を選択した場合

項目を選んでください
01 毎日
02 曜日別指定
ON時刻

▼ 1～5の任意の番号を選択し、[OK] を押します。

転送開始時刻入力画面が表示されます。

▼ 転送開始時刻をテンキーで入力し、[OK] を押します。

-  **メモ**
- 転送機能の開始時刻を、5 時刻まで設定することができます。
 - 時刻は 24 時間制 (00 : 00 ~ 23 : 59) で入力します。
- 時刻の番号選択画面が表示されます。

● 「02 曜日別」 を選択した場合

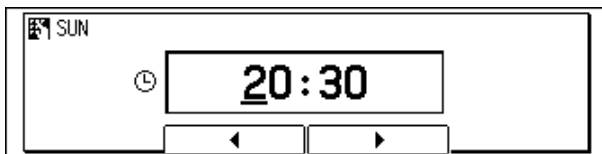
▼ 曜日を選択し、[OK] を押します。


時刻の番号選択画面が表示されます。

▼ 1～5の任意の番号を選択し、[OK] を押します。

転送開始時刻入力画面が表示されます。

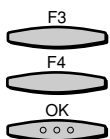
▼ 転送開始時刻をテンキーで入力し、[OK] を押します。



-  **メモ**
- 転送機能の開始時刻を、5 時刻まで設定することができます。
 - 時刻は 24 時間制 (00 : 00 ~ 23 : 59) で入力します。
- 時刻の番号選択画面が表示されます。

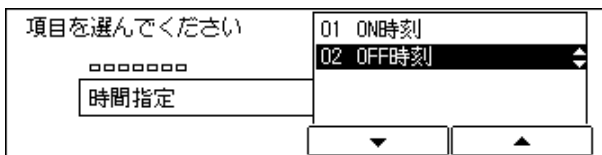


16 転送開始時刻の設定を終了する場合は、時間指定画面が表示されるまで [戻る] を押します。



17 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 OFF 時刻」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

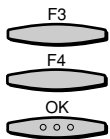


OFF 時刻画面が表示されます。

18 手順 15 ~ 16 を参照して、転送終了時刻の設定を行います。

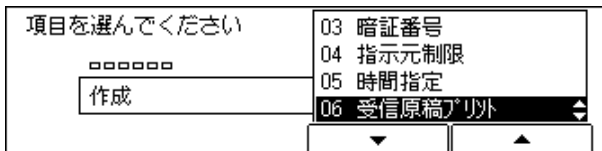


19 時間指定の設定を終了する場合は、作成画面が表示されるまで、[戻る] を押します。

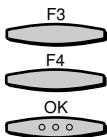


20 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「06 受信原稿プリント」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



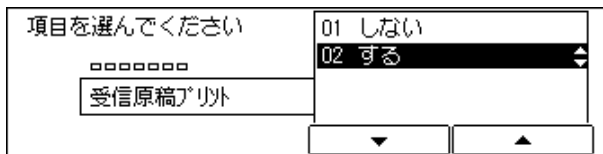
受信原稿プリント画面が表示されます。



21

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 しない」または「02 しない」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すことに、項目が切り替わります。



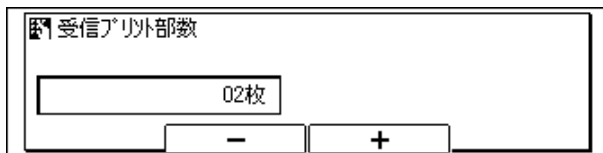
●「01 しない」を選択した場合

▼ 転送の設定は終了です。

転送画面に戻ります。

●「02 する」を選択した場合

▼ [-] (F2) または [+] (F3) を押して受信プリント部数を入力し、[OK] を押します。



- メモ • 01 ~ 99 の範囲で設定できます。
- テンキーで設定することができます。

転送画面に戻ります。



22

ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

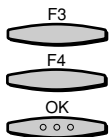
ファクス基本画面に戻ります。

転送ボックスの設定内容を変更する

1

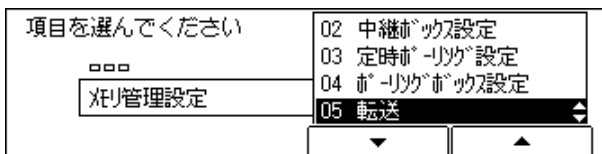
ユーザモード画面に入り、メモリ管理設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「親展ボックスを作成する」(→ P.5-78) の手順 1 ~ 3 を参照してください。

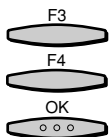


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「05 転送」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

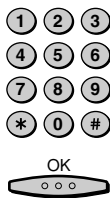
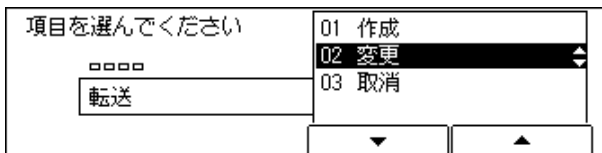


転送画面が表示されます。



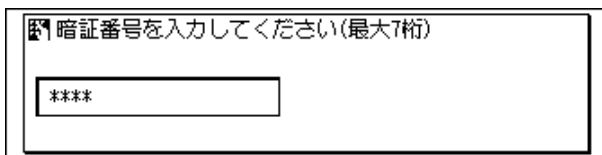
3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して「02 変更」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



4 「暗証番号を入力してください」のメッセージに対し、暗証番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。

転送ボックスに暗証番号が設定されていない場合は、変更画面が表示されます。



変更画面が表示されます。

設定内容の変更手順は「転送ボックスを作成する」(→ P.5-116)を参照してください。



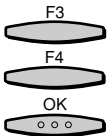
5 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

転送ボックスを取り消す

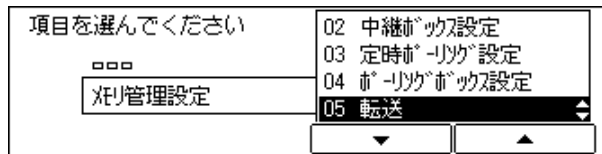
1 ユーザモード画面に入り、メモリ管理設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「親展ボックスを作成する」(→ P.5-78) の手順 1 ~ 3 を参照してください。



2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「05 転送」を選択し、[OK] を押します。

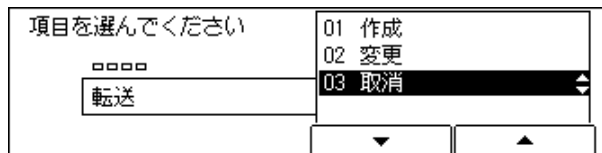
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



転送画面が表示されます。

3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して「03 取消」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



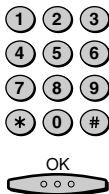
ボックス番号セット画面が表示されます。

「暗証番号を入力してください」と表示されます。

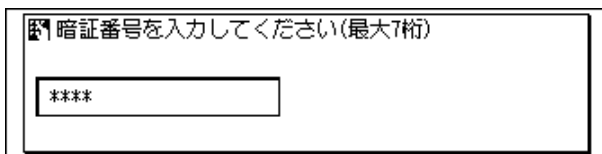
取消対象の転送ボックスに暗証番号が設定されていない場合は、転送ボックスが取り消されます。

5

使用かたにあわせてファクス機能を設定登録する



- 4** 「暗証番号を入力してください」のメッセージに対し、暗証番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。



転送ボックスが取り消されます。

リセット



- 5** ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。
ファクス基本画面に戻ります。


システム管理について設定する

ファクス送信のシステム管理者設定をします。

システム管理暗証番号が設定してある場合は、システム管理設定を押したあとに暗証番号の入力を促す画面が表示されます。暗証番号の入力を行ってから設定してください。

メモリで受信する（メモリ受信）

受信した原稿をメモリに蓄積させ、用紙にプリントしないように設定することができます。この機能をメモリ受信と呼びます。この機能を活用すると、夜間や休日など、オフィスが無人になる時間帯に受信した原稿をメモリに記憶させておくことができます。メモリ受信した原稿は、あとから用紙にプリントできます。（→メモリ受信した原稿をプリントする：P.5-133）

-  **メモ**
- 「しない」に設定されている場合には、メモリ受信機能ははたらきません。
 - お買い求め時は、メモリ受信機能を使用「しない」に設定されています。

5

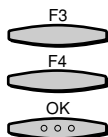
使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

ユーザーモード



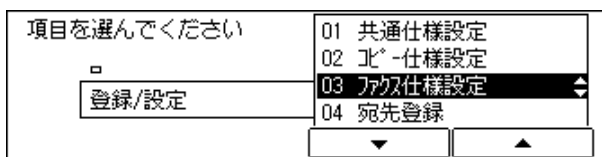
1 [ユーザーモード] を押します。

ユーザーモード画面が表示されます。

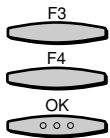


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 ファクス仕様設定」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



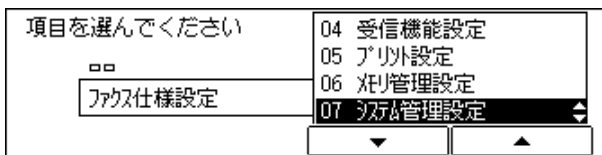
ファクス仕様設定画面が表示されます。



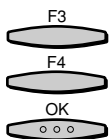
3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「07 システム管理設定」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号が設定されている場合は、「システム管理設定」を選択したあとにシステム管理部門 ID と暗証番号を入力します。

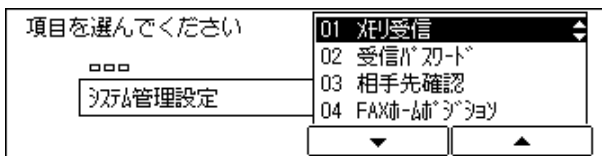


システム管理設定画面が表示されます。

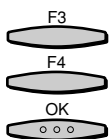


4 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 メモリ受信」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

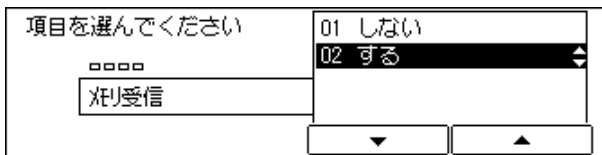


メモリ受信画面が表示されます。



5 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 しない」または「02 する」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

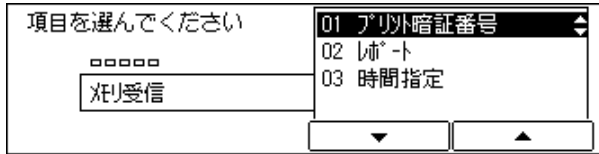


「01 しない」を選択した場合は、メモリ受信の設定は終了です。

「02 する」を選択した場合は、メモリ受信画面が表示され、「プリント暗証番号」が反転表示されます。手順 6 へ進みます。



6 [OK] を押します。

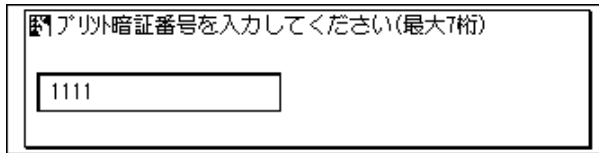


プリント暗証番号入力画面が表示されます。



7 プリント暗証番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。

暗証番号は、数字 7 桁以内で設定します。



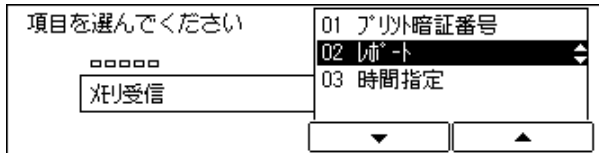
重要

- 「0」からはじまる暗証番号は設定しないでください。
- 設定した暗証番号は忘れないでください。

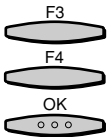
メモリ受信画面が表示されます。「02 レポート」が反転表示されます。



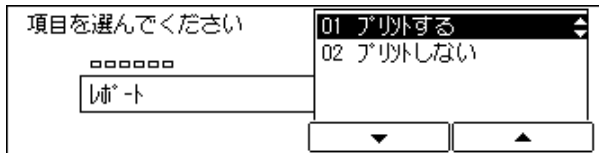
8 [OK] を押します。



レポート画面が表示されます。



9 受信結果レポートや通信管理レポートのプリントについて、[▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 プリントする」または「02 プリントしない」のいずれかを選択し、[OK] を押します。



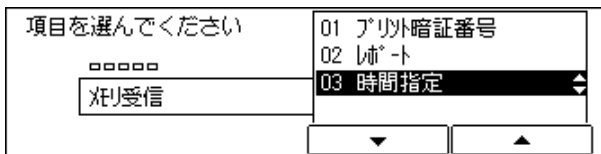
メモリ受信画面が表示されます。「03 時間指定」が反転表示されます。

5

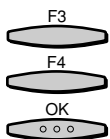
使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する



10 [OK] を押します。

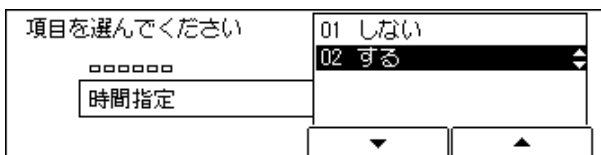


時間指定画面が表示されます。



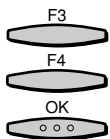
11 メモリ受信の自動起動と終了の時刻指定について、[▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 しない」または「02 する」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



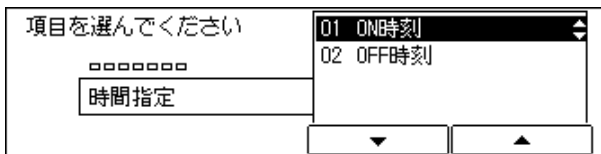
「01 しない」を選択した場合は、メモリ受信の設定は終了です。

「02 する」を選択した場合は、時間指定画面が表示され、「01 ON時刻」が反転表示されます。手順 12 へ進みます。

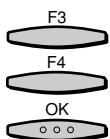


12 [OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



ON 時刻画面が表示されます。



13 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 毎日」または「02 曜日別指定」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

● [01 毎日] を選択した場合

項目を選んでください	01 毎日
○○○○○○○○	02 曜日別指定
ON時刻	
	▼ ▲

▼ 1～5の任意の番号を選択し、[OK] を押します。

番号を選んでください	01 --:--
○○○○○○○○	02 --:--
SUN	03 --:--
	04 --:--
	▼ ▲

ON 時刻入力画面が表示されます。

▼ 自動起動時刻をテンキーで入力し、[OK] を押します。

☒ SUN	
🕒	20:30
	◀ ▶

📌 **メモ** ● 時刻は 24 時間制 (00 : 00 ~ 23 : 59) で入力します。

時刻の番号選択画面が表示されます。

● [02 曜日別指定] を選択した場合

項目を選んでください	01 毎日
○○○○○○○○	02 曜日別指定
ON時刻	
	▼ ▲

▼ 曜日を選択し、[OK] を押します。

項目を選んでください	01 SUN
○○○○○○○○	02 MON
曜日別指定	03 TUE
	04 WED
	▼ ▲

時刻の番号選択画面が表示されます。

▼ 1～5の任意の番号を選択し、[OK] を押します。

番号を選んでください

01 --:--
02 --:--
03 --:--
04 --:--

SUN

自動起動時刻入力画面が表示されます。

▼ 自動起動時刻をテンキーで入力し、[OK] を押します。

SUN

20:30



•時刻は 24 時間制 (00:00～23:59) で入力します。

時刻の番号選択画面が表示されます。



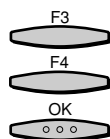
14

自動起動時刻の設定を終了する場合は、時間指定画面が表示されるまで [戻る] を押します。

項目を選んでください

01 ON時刻
02 OFF時刻

時間指定



15

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 OFF時刻」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

項目を選んでください

01 ON時刻
02 OFF時刻

時間指定

OFF時刻画面が表示されます。

項目を選んでください

01 毎日
02 曜日別指定

OFF時刻

16 手順 13 を参照して、終了時刻の設定を行います。



17 メモリ受信の設定を終了するには、[リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

- 入力を間違えたときは、間違えた箇所に戻り上書きしてなおすことができます。[クリア] を押してから最初から入力しなおすこともできます。

指定時間外にメモリ受信を ON/OFF する

時間指定をしていないときや、登録しておいた時間帯以外でも、メモリ受信をすることができます。ただし、あらかじめメモリ受信を「する」に設定していないとき (→ P.5-126) は、メモリ受信をすることはできません。

プリント暗証番号を登録している場合 (→ P.5-126) は、メモリ受信を ON / OFF するときにプリント暗証番号の入力が必要です。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

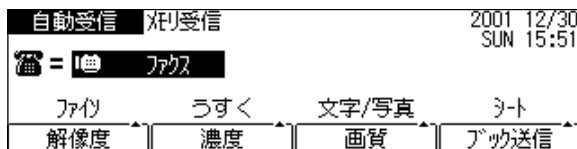


1 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。



2 ワンタッチダイヤルパネルを 3 枚開いて、[メモリ受信] を押します。



プリント暗証番号を登録しているときは、設定したプリント暗証番号を入力し、[OK] を押してください。

- メモリ受信の ON 時刻を設定しているときは、設定した時刻になると、自動的にメモリ受信が開始されます。
- メモリ受信の OFF 時刻を設定しているときは、設定した時刻になると、自動的にメモリ受信が解除され、受信原稿がプリントされます。
- メモリに読み込めるファクス画像の枚数は、A4 サイズ 700 文字程度の原稿のとき、解像度「標準」で約 128 枚、「ウルトラファイン」で約 40 枚を読み込みます。オプションの増設メモリを装着すると、最大約 1500 枚まで読み込むことができます。原稿の読み込み枚数は、送信する原稿および解像度によって異なります。

メモリ受信した原稿をプリントする

メモリ内に受信した原稿があると、通話中／メモリーランプが点灯します。



1 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。



2 ワンタッチダイヤルパネルを 3 枚開いて、[メモリ受信] を押します。

メモリ受信が解除され、受信原稿がプリントされます。

プリント暗証番号を登録しているときは、設定したプリント暗証番号を入力し、[OK] を押してください。

受信原稿がすべてプリントされると、メモリ内の原稿は自動的に消去されます。

- メモ** • 通話中／メモリーランプが消えているときは、メモリ内に受信した原稿はありません。[メモリ受信] を押すとメモリ受信が解除されますが、原稿はプリントされません。

受信パスワードを設定する

ITU-T 規格のパスワードを設定します。

相手先から ITU-T 規格で送られてきた受信文書に F コードが設定されていないとき、パスワードの照合が行なわれます。

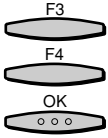
その際、ここで設定したパスワードと一致しない場合やパスワードが付加されていない場合は、文書を受信しません。

ここでパスワードを設定しても、メモリボックスを指定して受信する場合は、そのボックスのパスワードが優先されます。

- メモ** • ITU-T とは、国際電気通信連合の通信規格などを制定する部門のことです。

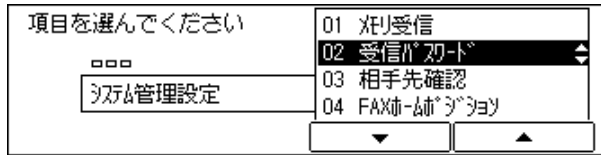
1 ユーザモード画面に入り、ファクス仕様設定画面からシステム管理設定の画面を表示させます。

ここまでの操作は、「メモリで受信する (メモリ受信)」(→ P.5-126) の手順 1～3 を参照してください。

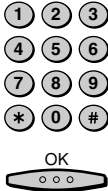


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 受信パスワード」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

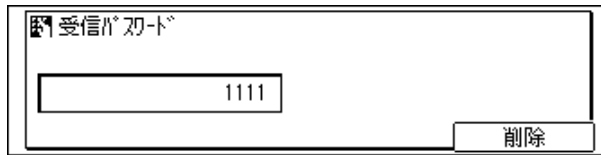


受信パスワード画面が表示されます。



3 受信パスワードをテンキーで入力し、[OK] を押します。

受信パスワードは、数字、#、*、スペースを使って 20 桁まで登録できます。



システム管理設定画面に戻ります。

- メモ • 入力を間違えたときは、間違えた箇所に戻り [削除] を押して、入力しなおすことができます。[クリア] を押して最初から入力しなおすこともできます。



4 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

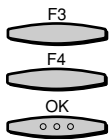
通信時に相手先を確認する

送信時にダイヤルした番号の下 6 桁と相手機に登録されているユーザ電話番号の下 6 桁を照合し、不一致の場合には送信を中止するかしないかを選択します。

- メモ • お買い求め時は、「01 しない」に設定されています。

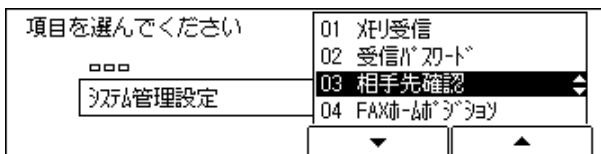
1 ユーザーモード画面に入り、システム管理設定の画面を表示させます。

ここまでの操作は、「メモリで受信する (メモリ受信)」(→ P.5-126) の手順 1 ~ 3 を参照してください。

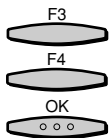


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 相手先確認」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

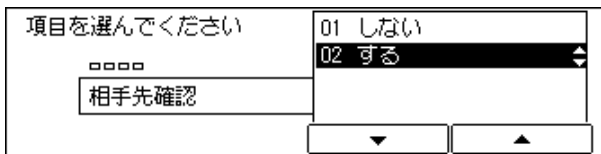


相手先確認画面が表示されます。



3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 しない」または「02 する」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



システム管理設定画面に戻ります。



4 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。


ファクス基本画面に戻ります。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

標準モードを変更する

標準モードとは電源を入れたり、[リセット] を押したときに設定されている機能の組み合わせです。ここでは、設定されている標準モードをファクス送信時によく使う機能に合わせて変更します。

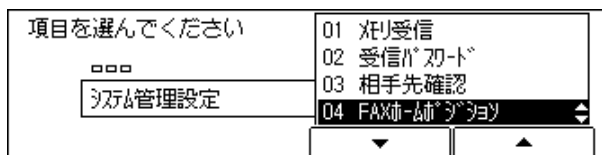
-  **メモ**
- 標準モードは、次のようなとき自動的に有効になります。
 - ・[ファクス] を押して、ファクスモードに切り替えたとき
 - ・原稿の読み込みが終了したとき
 - ・ファクスモードでオートクリア機能がはたらいたとき
 - ・登録/設定の操作が終了したとき
 - 標準モードの設定内容は次の 6 項目です。
 - ・解像度
 - ・読取濃度
 - ・画質
 - ・ブック送信読取サイズ
 - ・送信モード
 - ・送信スタンプ

1 ユーザモード画面に入り、システム管理設定の画面を表示させます。

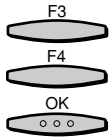
ここまでの操作は、「メモリで受信する (メモリ受信)」(→ P.5-126) の手順 1～3 を参照してください。

2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「04 FAX ホームポジション」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

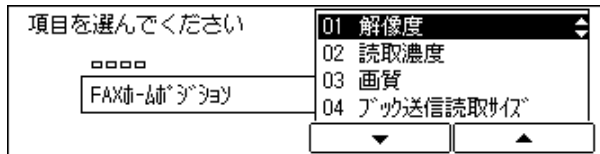


FAX ホームポジション画面が表示されます。

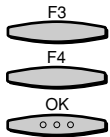


3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 解像度」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

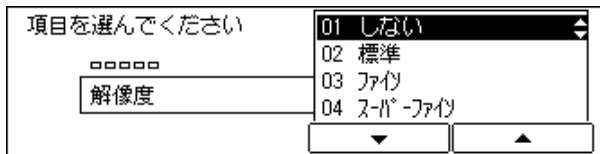


解像度画面が表示されます。

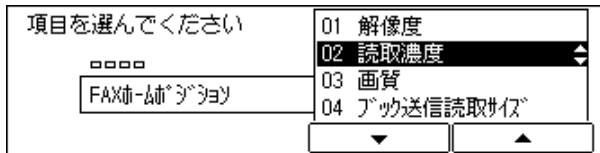


4 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 しない」または設定したい解像度を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

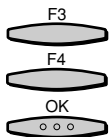


FAX ホームポジション画面に戻ります。「02 読取濃度」が反転表示されます。



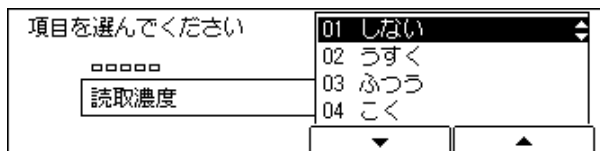
5 [OK] を押します。

読取濃度画面が表示されます。



6 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 しない」または設定したい濃度を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



FAX ホームポジション画面に戻ります。「03 画質」が反転表示されます。



7 [OK] を押します。

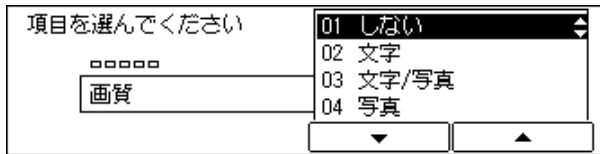


画質画面が表示されます。



8 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 しない」または設定したい画質を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すことに、項目が切り替わります。



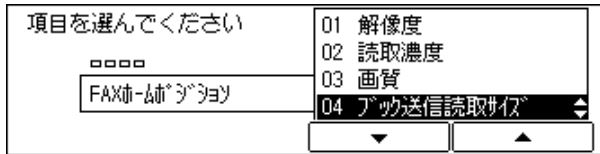
FAX ホームポジション画面に戻ります。「04 ブック送信読取サイズ」が反転表示されます。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する



9 [OK] を押します。

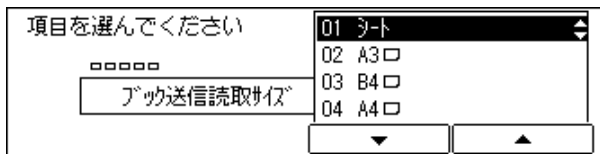


ブック送信読取サイズ画面が表示されます。



10 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、設定したいブック送信読取サイズを選択し、[OK] を押します。

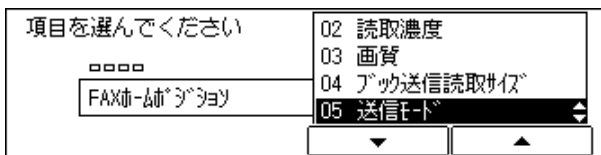
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すことに、項目が切り替わります。



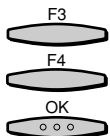
FAX ホームポジション画面に戻ります。「05 送信モード」が反転表示されます。



11 [OK] を押します。

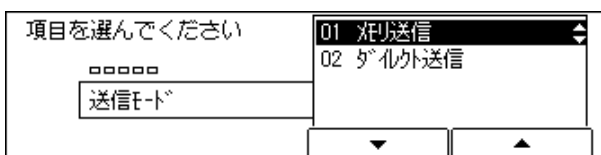


送信モード画面が表示されます。



12 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 メモリ送信」または「02 ダイレクト送信」を選択し、[OK] を押します。

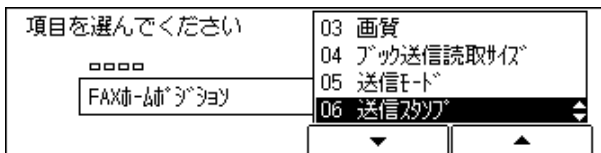
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



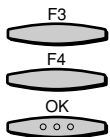
FAX ホームポジション画面に戻ります。「06 送信スタンプ」が反転表示されます。



13 [OK] を押します。

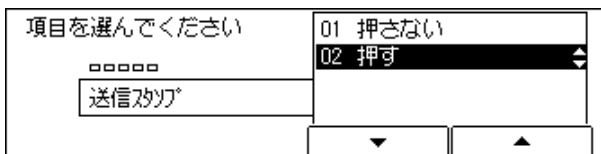


送信スタンプ画面が表示されます。



14 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 押さない」または「02 押す」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに項目が切り替わります。



システム管理設定画面に戻ります。




15 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

アクセスコードを設定する

アクセスコードにより、任意の番号で電話番号を代用できます。例えば、相手先の支店コードや部課コードなどを電話番号代わりに使用できます。ここでは、アクセスコードを使用するかを設定します。

アクセスコードは数字 2～5 桁で設定し、[#] または任意のワンタッチダイヤルキーに設定できます。

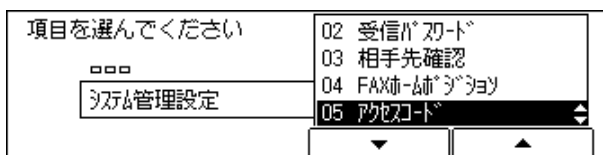
 **メモ** • お買い求め時は、「使用しない」に設定されています。

1 ユーザモード画面に入り、システム管理設定の画面を表示させます。

ここまでの操作は、「メモリで受信する (メモリ受信)」(→ P.5-126) の手順 1～3 を参照してください。

2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「05 アクセスコード」を選択し、[OK] を押します。

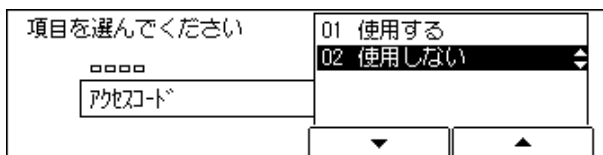
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



アクセスコード使用画面が表示されます。

3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 使用する」または「02 使用しない」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

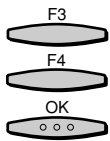


「01 使用する」を選択した場合は、アクセスコード画面が表示され、手順 4 へ進みます。

「02 使用しない」を選択した場合は、アクセスコード設定の操作は終了です。

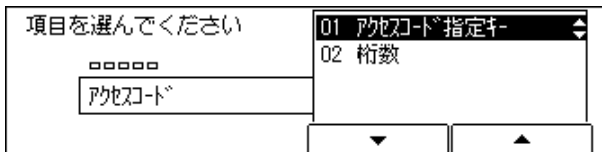
5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

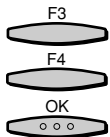


4 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 アクセスコード指定キー」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

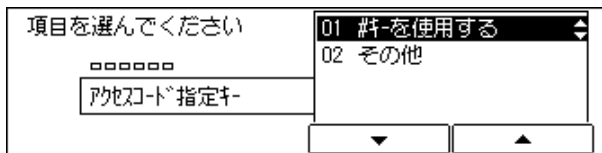



アクセスコード指定キー画面が表示されます。



5 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 # キーを使用する」、または「02 その他」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

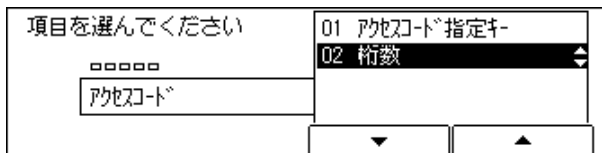


-  **メモ** • 「02 その他」を選択した場合は、任意のワンタッチダイヤルキーに割り当てられます。(→ 面倒な設定を簡単にする (プログラムワンタッチキー設定) : P.5-23)

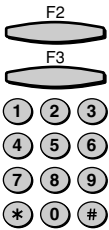
アクセスコード画面に戻ります。「02 桁数」が反転表示されます。



6 [OK] を押します。



桁数画面が表示されます。



7 アクセスコードの桁数を [-] (F2) または [+] (F3) またはテンキーで入力し、[OK] を押します。

アクセスコードの桁数は、数字 2 桁～5 桁まで登録できます。



システム管理設定画面に戻ります。

- 重要** • ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルにすでにアクセスコードが登録されている場合は、桁数を変更できません。登録されているアクセスコードをクリアしてから桁数の変更を行ってください。(→ワンタッチ宛先・短縮宛先の詳細設定をする：P.5-31)



8 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

5

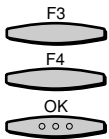
F ネット無鳴動着信を設定する

F ネット無鳴動着信時の呼び出し音をオフにする／しないを設定します。

- 重要** • F ネット無鳴動着信を利用するには、NTT コミュニケーションズとの契約が必要です。
- メモ** • F ネット無鳴動着信を「する」に設定している場合は、節電モードに移行しません。

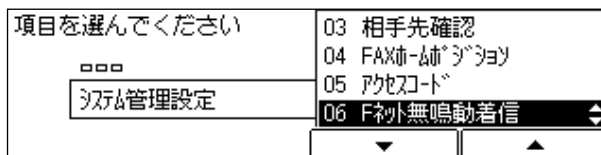
1 ユーザモード画面に入り、ファクス仕様設定画面からシステム管理設定の画面を表示させます。

ここまでの操作は、「メモリで受信する (メモリ受信)」(→ P.5-126) の手順 1～3 を参照してください。



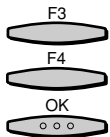
2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「06 F ネット無鳴動着信」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



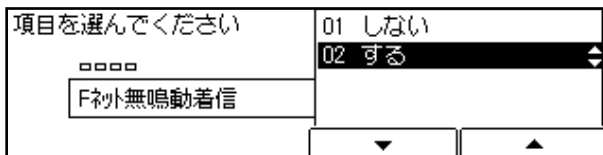
F ネット無鳴動着信画面が表示されます。

使用かたにあわせてファクス機能を設定登録する



3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 しない」または「02 する」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



システム管理設定画面に戻ります。



4 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

FIS スイッチを設定する

FIS スイッチを ON にすることで、当社のサービス取扱所からの遠隔操作により、電話回線を通してユーザデータのリモートメンテナンスなどが行えます。(→ユーザーズ編)

ここでは FIS スイッチの ON / OFF を設定します。

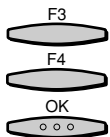
当社のサービス取扱所から要請があった場合だけ「ON」にします。

通常は「OFF」に設定しておきます。

メモ • お買い求め時は、「OFF」に設定されています。

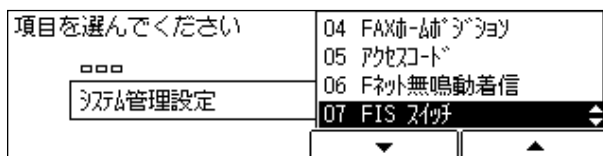
1 ユーザモード画面に入り、ファクス仕様設定画面からシステム管理設定の画面を表示させます。

ここまでの操作は、「メモリで受信する (メモリ受信)」(→ P.5-126) の手順 1 ~ 3 を参照してください。



2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「07 FIS スイッチ」を選択し、[OK] を押します。

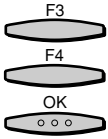
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



FIS スイッチの設定画面が表示されます。

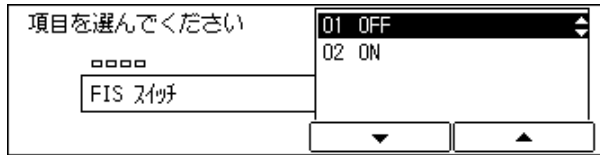
5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する



- 3** [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 OFF」または「02 ON」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



ファクス仕様設定画面に戻ります。



- 4** ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

登録・設定した内容をプリントする

ファクス仕様設定で登録・設定した内容をプリントすることができます。
プリントできるリストは、次のとおりです。

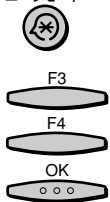
- ユーザデータリスト：** システムの登録内容をすべてプリントします。(→ P.8-6)
- ワンタッチ宛先リスト 1：** ワンタッチダイヤルの登録内容をプリントします。(→ P.8-2)
- ワンタッチ宛先リスト 2：** ワンタッチダイヤルに登録されている内容を詳細にプリントします。(→ P.8-3)
- 短縮宛先リスト 1：** 短縮ダイヤルの登録内容をプリントします。(→ P.8-4)
- 短縮宛先リスト 2：** 短縮ダイヤルに登録されている内容を詳細にプリントします。(→ P.8-4)
- グループ宛先リスト：** グループダイヤルの登録内容をプリントします。(→ P.8-5)
- アクセスコードリスト：** アクセスコードの登録内容をすべてプリントします。(→ P.8-5)
- 部門別管理リスト：** 部門ごとのプリント枚数、送受信枚数の集計結果をプリントします。

リストの出力中止を指示することもできます。

これらのリストは、[ユーザモード] を押して「08 リストプリント」を選択するか、[レポート] を押してプリントすることができます。ただし、「部門管理別リスト」は [レポート] を押してプリントすることはできません。ここでは、[ユーザモード] を押してからプリントする操作を説明します。

 **メモ** •各リストの出力例は、「第 8 章 付録」(P.8-1)を参照してください。

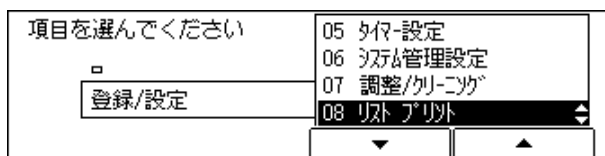
ユーザモード



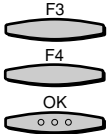
1 [ユーザモード] を押します。

2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「08 リストプリント」を選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



リストプリント画面が表示されます。

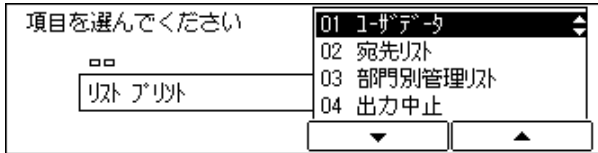


3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、プリントするリストを選択し、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

● ユーザーデータリストをプリントする場合

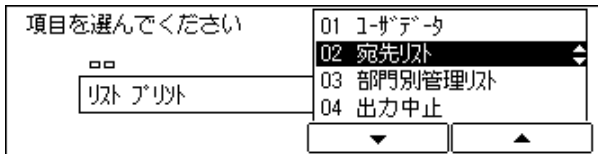
▼ 「01 ユーザーデータ」を選択し、[OK] を押します。



ファクス基本画面に戻り、ユーザーデータリストがプリントされます。

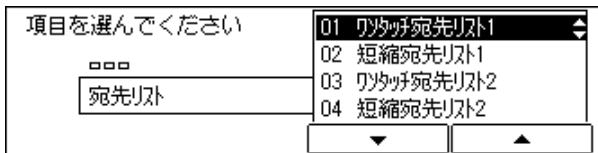
● ワンタッチ宛先リスト1、ワンタッチ宛先リスト2、短縮宛先リスト1、短縮宛先リスト2をプリントする場合

▼ [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 宛先リスト」を選択し、[OK] を押します。



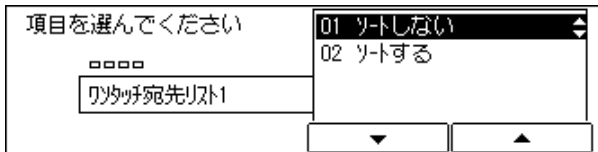
宛先リスト画面が表示されます。

▼ プリントしたいリストを選択し、[OK] を押します。



宛先リストのオプション選択画面が表示されます。

▼ [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 ソートしない」または「02 ソートしない」を選択し、[OK] を押します。



ファクス基本画面に戻り、選択した宛先リストがプリントされます。

● グループ宛先リストをプリントする場合

- ▼ [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 宛先リスト」を選択し、[OK] を押します。
- ▼ [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「06 グループ宛先リスト」を選択し、[OK] を押します。

項目を選んでください	02 短縮宛先リスト1
〇〇〇	03 リモット宛先リスト2
宛先リスト	04 短縮宛先リスト2
	05 グループ宛先リスト
	▼ ▲

ファクス基本画面に戻り、グループ宛先リストがプリントされます。

● アクセスコードリストをプリントする場合

- ▼ [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 宛先リスト」を選択し、[OK] を押します。
- ▼ [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「06 アクセスコードリスト」を選択し、[OK] を押します。

項目を選んでください	03 リモット宛先リスト2
〇〇〇	04 短縮宛先リスト2
宛先リスト	05 グループ宛先リスト
	06 アクセスコードリスト
	▼ ▲

ファクス基本画面に戻り、アクセスコードリストがプリントされます。

● 部門別管理リストをプリントする場合

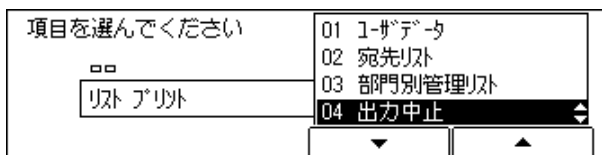
- ▼ [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 部門別管理リスト」を選択し、[OK] を押します。

項目を選んでください	01 1-データ
〇〇	02 宛先リスト
リスト プリント	03 部門別管理リスト
	04 リポート出力中止
	▼ ▲

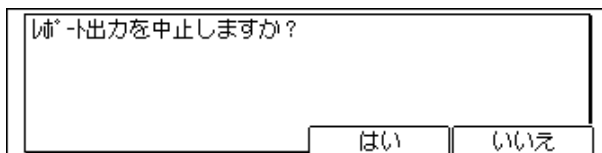
ファクス基本画面に戻り、部門別管理リストがプリントされます。

● リストの出力を中止する場合

- ▼ [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「04 出力中止」選択し、[OK] を押します。



- ▼ 複数のリストを出力中の場合は、プリント中、待機中のリスト一覧が表示されるので、中止したいリストを選択し、[中止] (F4) を押します。
- ▼ 「はい」 (F3) を押します。



ファクス基本画面に戻り、選択したリストの出力が中止されます。

4 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。



5

使いかたにあわせてファクス機能を設定登録する

増設 G3 通信ユニットを使う (オプション)

6

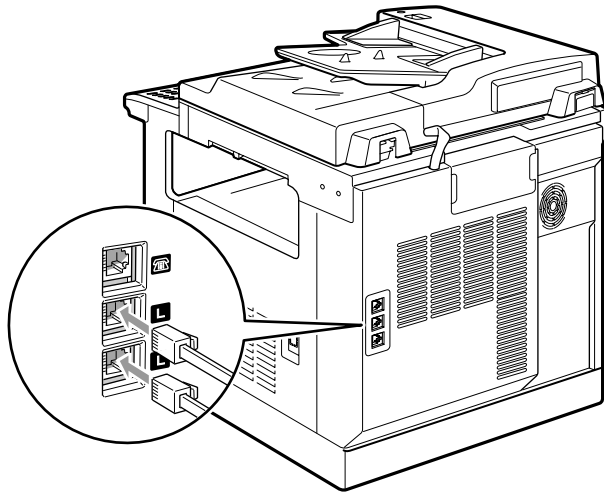
CHAPTER

本商品のオプションとして 2 つの電話回線を同時に接続するための増設 G3 通信ユニットについて、設置後の使いかたと使うための設定のしかたを記載しています。

2 つの電話回線を接続する.....	6-2
回線 2 の基本的な登録をする.....	6-3
回線 2 のユーザ電話番号を登録する.....	6-3
回線 2 の電話回線の種類を選択する.....	6-5
回線 2 の送受信スタートスピードを設定する.....	6-7
送信回線を選択する.....	6-8
回線 2 で送信する.....	6-10
送信中止について.....	6-11
回線 2 で受信する.....	6-12

2つの電話回線を接続する

ここでは、オプションの増設 G3 通信ユニットを設置した場合の電話回線の接続のしかたを説明します。壁側の電話機コンセントを確認してから、電話機コードを接続してください。一番下の [L] マークの差し込み口に接続した回線が回線 1、二番目の [L] マークの差し込み口に接続した回線が回線 2 になります。



- 重要** • オプションの増設G3通信ユニットを装着している場合、ハンドセットは使用できません。外付け電話機のみ使用可能となります。
- メモ** • どちらかの回線を受信専用を設定できます。また、送信時に2つの回線が空いているとき、どちらの回線を優先的に使用するかを設定することもできます。(→送信回線を選択する：P.6-8)

接続した2つの回線は機能が異なります。

回線 1 (一番下の [L] マークの差し込み口に接続した回線) では、本商品のすべての通信機能が使用できます。

回線 2 (二番目の [L] マークの差し込み口に接続した回線) で使用できない通信機能は以下のとおりです。

- 手動送信
- 手動受信
- 電話
- FAX/TEL 切替
- ダイヤルイン FAX/TEL 切替
- 留守モード
- リモート受信

回線 2 の基本的な登録をする

回線 2 に対して、ファクス機能の基本的な設定について説明しています。

回線 2 のユーザ電話番号を登録する

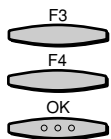
本商品の加入者電話番号を登録します。

ユーザモード



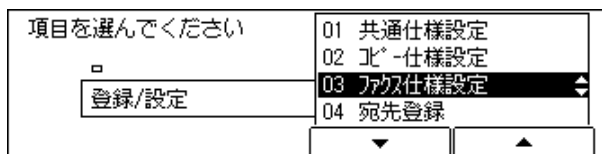
1 [ユーザモード] を押します。

ユーザーモード画面が表示されます。

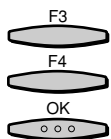


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 ファクス仕様設定」を選択したあと、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

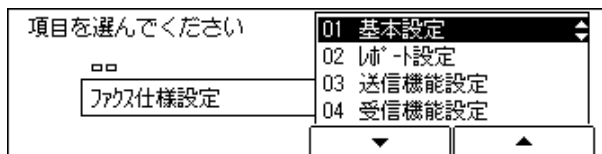


ファクス仕様設定の選択画面が表示されます。



3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 基本設定」を選択したあと、[OK] を押します。

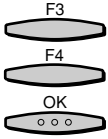
[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



基本設定の選択画面が表示されます。

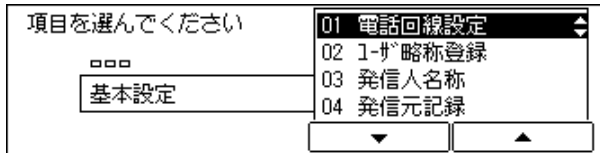
6

2 回線ボードを使う

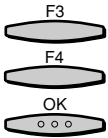


4 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 電話回線設定」を選択したあと、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



回線選択画面が表示されます。



5 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 回線 2」を選択したあと、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



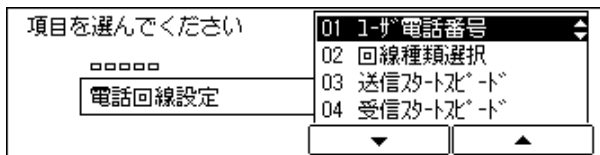
電話回線設定画面が表示されます。「01 ユーザ電話番号」が反転表示されます。

6

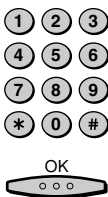
2 回線ボードを使う



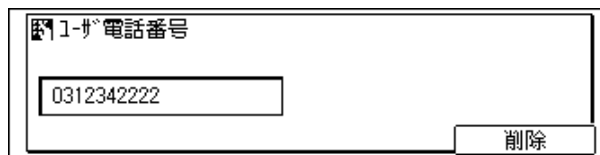
6 [OK] を押します。



ユーザ電話番号入力画面が表示されます。



7 ユーザ電話番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。



電話回線設定画面に戻ります。



8 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

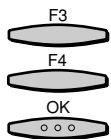
回線2の電話回線の種類を選択する

本商品に接続する電話回線の種類を設定します。

設定が誤っていると通信することができません。電話回線の種類を確認して、正しく設定してください。

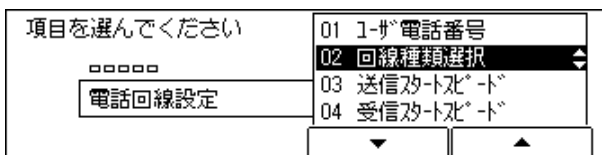
1 ユーザモード画面に入り、電話回線設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「回線2のユーザ電話番号を登録する」(→ P.6-3)の手順1～5を参照してください。

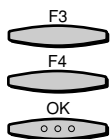


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「02 回線種類選択」を選択したあと、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

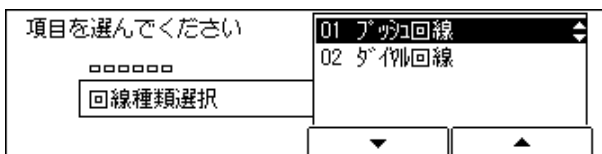


回線種類選択画面が表示されます。



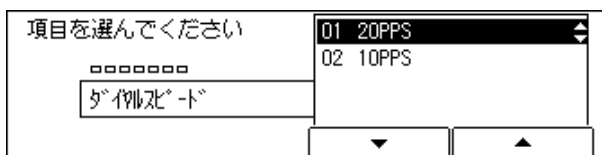
3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 ダイヤル回線」または「02 プッシュ回線」のいずれかを選択したあと、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



●「01 ダイヤル回線」を選択した場合

- ▼ ダイヤルスピードの選択画面が表示されるので、「01 20PPS」または「02 10PPS」のいずれかを選択し、[OK] を押します。



電話回線設定画面に戻ります。

●「02 プッシュ回線」を選択した場合


- ▼ [OK] を押すと、電話回線設定画面に戻ります。

電話回線設定画面に戻ります。




4 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

基本設定画面に戻ります。

-  **メモ** • 電話回線の種類がわからないときは、最寄りの当社の支店、営業所にお問い合わせください。

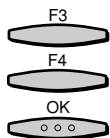
回線2の送受信スタートスピードを設定する

回線の状態が悪く、送受信が始まるまでに時間がかかるとき、スタートスピードを変更できます。

 **メモ** • お買い求め時は、「33600bps」に設定されています。

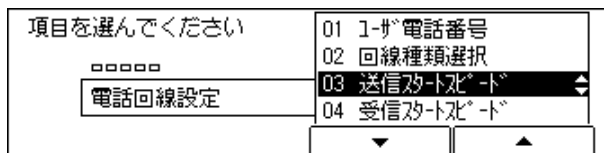
1 ユーザモード画面に入り、電話回線設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「回線2のユーザ電話番号を登録する」(→ P.6-3)の手順1～5を参照してください。

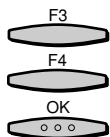


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「03 送信スタートスピード」または「04 受信スタートスピード」を選択したあと、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

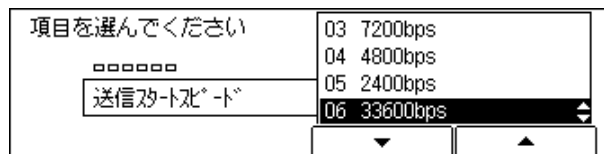


スタートスピード選択画面が表示されます。




3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、目的のスタートスピードを選択したあと、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



電話回線設定画面に戻ります。

 **メモ** • 回線の状態が悪い場合は、「33600bps」から「14400bps」、「9600bps」、「7200bps」、「4800bps」、「2400bps」の順にスピードを下げて、調整してください




4 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

基本設定画面に戻ります。

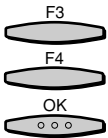
送信回線を選択する

優先して送信に使用する回線、送信を禁止する回線などを選択します。

-  **メモ**
- ワンタッチダイヤル登録の詳細設定 (→ P.5-31) で設定した送信回線選択は、ここでの送信回線選択より優先されます。
 - お買い求め時は、「自動」に設定されています。

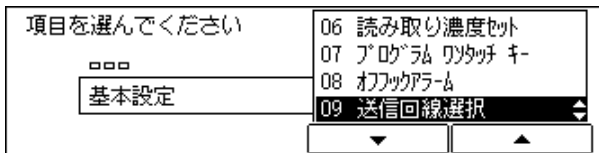
1 ユーザモード画面に入り、基本設定画面を表示させます。

ここまでの操作は、「回線2のユーザ電話番号を登録する」(→ P.6-3)の手順1～3を参照してください。

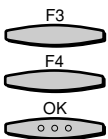


2 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「09 送信回線選択」を選択したあと、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。

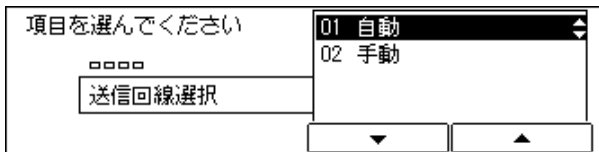


送信回線選択画面が表示されます。



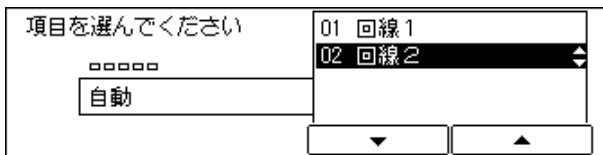
3 [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 自動」または「02 手動」のいずれかを選択したあと、[OK] を押します。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押すごとに、項目が切り替わります。



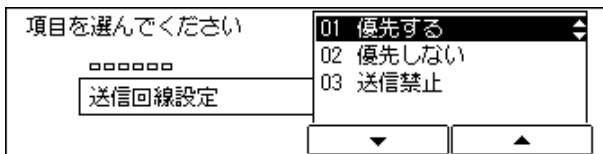
● 「01 自動」を選択した場合

- ▼ 自動画面が表示されるので、[▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 回線 1」または「02 回線 2」のいずれかを選択したあと、[OK] を押します。



選択した回線の画面が表示されます。

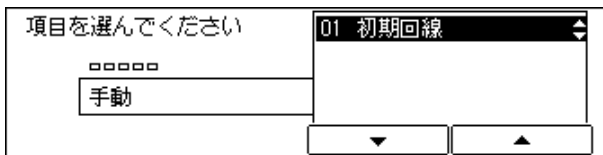
- ▼ [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 優先する」、「02 優先しない」、または「03 送信禁止」のいずれかを選択したあと、[OK] を押します。



ファクス仕様設定画面に戻ります。

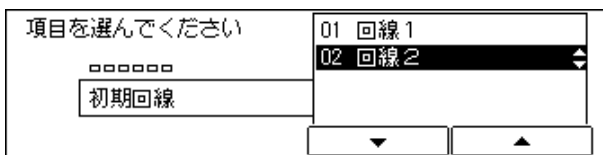
● 「02 手動」を選択した場合

- ▼ 手動画面が表示されるので、[▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 初期回線」を選択したあと、[OK] を押します。



初期回線画面が表示されます。

- ▼ [▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、「01 回線 1」または「02 回線 2」のいずれかを選択したあと、[OK] を押します。



ファクス仕様設定画面に戻ります。



4 ファクス基本画面に戻る場合には [リセット] を押します。

ファクス基本画面に戻ります。

回線 2 で送信する

回線 2 で送信するときの基本的な操作の流れを説明します。

「送信回線を選択する」(→ P.6-8) で「回線 2」を「送信禁止」に設定した場合は、回線 2 では送信できません。

ファクス

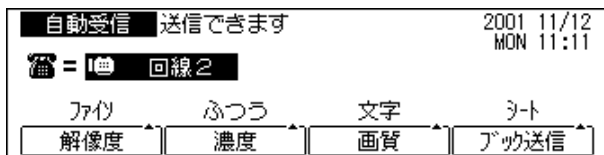
1 [ファクス] を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクス待機状態になります。

回線選択

2 [回線選択] を押し、ディスプレイに「回線 2」を表示させます。

「送信回線を選択する」(→ P.6-8) で「回線 2」を「初期回線」に設定した場合は、この操作は不要です。



回線 2 での送信が可能な状態になります。

3 原稿をセットします。

原稿のセットのしかたは、「ユーザズ編」を参照してください。

4 送信条件を設定します。

- ✎ **メモ** • 送信条件を設定するには、「原稿にあわせて解像度・濃度・画質を調節する」(→ P.2-5)、「送信済み／読み取り済みの原稿にスタンプをつける」(→ P.2-14)、「第 3 章 便利な機能でファクスを有効に使う」を参照してください。

5 相手先を指定します。

- ✎ **メモ** • 相手先を指定するには、「いろいろなダイヤルのしかた」(→ P.2-16) を参照してください。

スタート



6 [スタート] を押します。

原稿の読み取りが開始されます。


送信中止について

2 回線とも通信中の場合は、[ストップ] を押すと、どちらの通信を中止するのかが選択する画面が表示されます。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、中止する通信を選択し、[中止] (F4) を押します。

回線 2 で受信する

回線 2 の受信モードは「自動受信」だけです。「手動受信」、および「留守」の受信モードは選択できません。

 **メモ** • 受信のしかたについては、「ファクスの受信について」(→ P.2-26) を参照してください。

受信中止について

受信を中断したいときは、[ストップ] を押してください。

2 回線とも通信中の場合は、[ストップ] を押すと、どちらの通信を中止するのかが選択する画面が表示されます。

[▼] (F3) または [▲] (F4) を押して、中止する通信を選択し、[中止] (F4) を押します。

困ったときには

トラブルが発生した場合の対処のしかたについて記載しています

トラブルが発生したら.....	7-2
ファクス送信でのトラブル.....	7-2
ファクス受信でのトラブル.....	7-5
その他のトラブル.....	7-8
エラー表示.....	7-9
Q & A	7-12

トラブルが発生したら

ファクス送信でのトラブル

ダイヤルしても送信できない

原因 1 : 電話回線の種類が正しく設定されていますか？

処置 : 電話回線の種類を確認し、正しく設定してください。

原因 2 : コピーモードになっていませんか？

処置 : ファクスボタンを押してファクスランプを点灯させてください。

原因 3 : 原稿が正しくセットされていますか？

処置 : もう一度原稿をセットしなおしてから送信してみてください。

原因 4 : 電話番号は正しくダイヤルしましたか？

処置 : もう一度ダイヤルしなおしてみてください。ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録した電話番号が正しいかどうか確認してください。

原因 5 : 相手機用の紙がなくなっていないですか？

処置 : 用紙がなくなっていないか、相手に確認してください。

原因 6 : 相手の回線が送受信、話し中等で使用中になっていませんか？

処置 : お話し中調べ（局番なしの114番）でご確認ください。

送信のときにすぐメモリがいっぱいになる

原因 1 : 解像度が「スーパーファイン」や「ウルトラファイン」になっていませんか？画質を「写真」や「文字／写真」に設定していませんか？

処置 : 原稿に細かい文字や写真が含まれていないときは、解像度を「標準」にし、画質を「文字」にしてください。

処置 : 原稿に細かい文字や写真が含まれているときは、メモリ送信ではなくダイレクト送信してください。

原因 2 : メモリに文書がたまっていませんか？

処 置 : メモリ内の受信原稿をプリントするか、送信予約原稿の送信が済んでから操作しなおしてください。

相手の受信原稿に縦線が出る

原 因 : ファクスの読み取りガラスが汚れていませんか？

処 置 : コピー機能を使ってコピーをとり、汚れを確認してみてください。コピーが汚れるときは、読み取りガラスを清掃してください。

相手の受信原稿の画像が縮小してプリントされる

原因 1 : スライダガイドを送信原稿のサイズにあわせましたか？

処 置 : スライダガイドを送信原稿のサイズにあわせて、送りなおしてください。

原因 2 : 送信した原稿のサイズよりも相手の用紙サイズが小さくありませんか？

処 置 : 本商品は、相手の用紙サイズが小さいときは、相手の用紙サイズに合わせて自動的に縮小して送信します。

相手が受信した原稿の画像が欠けている

原 因 : 原稿セットの方向は正しいですか？

処 置 : 原稿を正しい方向にセットして、送りなおしてください。

相手が受信した原稿が薄い

原因 1 : 濃度が「うすく」に設定されていませんか？

処 置 : [濃度] を押して、濃度設定の「こく」を選択してください。

原因 2 : 画質を「写真」または「文字／写真」に設定していませんか？

処 置 : [画質] を押して「文字」を選択してください。

原因 3 : ファクスの読み取りガラスが汚れていませんか？

処 置 : コピー機能を使ってコピーをとり、汚れを確認してみてください。コピーが汚れるときは、読み取りガラスを清掃してください。

ポーリング送信できない

原因 : ポーリングボックスは設定されていますか？

処置 : ポーリング送信するためには、あらかじめポーリングボックスの設定が必要です。ポーリングボックスを設定して送信しなおしてください。

親展送信できない

原因 1 : 相手機はメモリ内に親展受信用のボックスを設定していますか？

処置 : 相手に連絡し、親展受信用のボックスの設定を確認してから送信しなおしてください。

原因 2 : 相手機は ITU-T 規格の通信機能を持っていますか？

処置 : 相手に連絡して確認してください。

原因 3 : 相手機の F コードやパスワードを正しく指定しましたか？

処置 : 相手が登録している F コードやパスワードを確認して、同じ番号を指定してください。

原因 4 : ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録している F コードやパスワードに誤りはありますか？

処置 : ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録内容を確認してください。

原因 5 : 相手機のメモリがいっぱいになっていませんか？

処置 : 相手に連絡して確認してください。

中継指示送信できない

原因 1 : 相手機はメモリ内に中継送信用のボックスを設定していますか？

処置 : 相手に連絡し、中継送信用のボックスの設定と中継する宛先の登録内容を確認してから送信しなおしてください。

原因 2 : 相手機は ITU-T 規格の通信機能を持っていますか？

処置 : 相手に連絡して確認してください。

原因 3 : 相手機の F コードやパスワードを正しく指定しましたか？

処置 : 相手が登録している F コードやパスワードを確認して、同じ番号を指定してください。

原因 4 : ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録しているFコードやパスワードに誤りはありませんか？

処 置 : ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録内容を確認してください。

原因 5 : 相手機のメモリがいっぱいになっていませんか？

処 置 : 相手に連絡して確認してください。

Fコード指定送信できない

原因 1 : 相手機はITU-T規格の通信機能を持っていますか？

処 置 : 相手に連絡して確認してください。

原因 2 : 相手機のFコードやパスワードを正しく指定しましたか？

処 置 : 相手が登録しているFコードやパスワードを確認して、同じ番号を指定してください。

原因 3 : ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録しているFコードやパスワードに誤りはありませんか？

処 置 : ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録内容を確認してください。

原因 4 : 相手機のメモリがいっぱいになっていませんか？

処 置 : 相手に連絡して確認してください。

ファクス受信でのトラブル

自動受信できない

原因 1 : 手動受信が表示されていませんか？

処 置 : 表示されているときは、受信モードボタンを押して自動受信を表示させてください。自動受信の登録／設定内容を確認してください。

手動受信できない

原因 1 : コピーモードになっていませんか？

処 置 : ファクスボタンを押してファクスランプを点灯させてください。

原因 2 : 原稿台に原稿がセットされていませんか？

処 置 : 原稿がセットされているときは、それを取り除いてから受信しなおしてください。

原因 3 : ハンドセットを置く前にスタートボタンを押しましたか？

処 置 : 先にハンドセットを置くと、回線が切れてしまいます。もう一度、受信しなおしてください。

原因 4 : ダイヤルインサービスを利用していませんか？

処 置 : 「ダイヤルインを使用」に設定している場合、「受信モード」を押しても「手動受信」に設定することはできません。ただし、相手がダイヤルインサービスの電話用の番号をダイヤルした場合は、手動受信することができます。

FAX/TEL 切替できない

原因 1 : 「留守」または「手動受信」が表示されていませんか？

処 置 : 表示されているときは、「受信モード」を押して「自動受信」を表示させてください。

原因 2 : FAX/TEL 切替に設定されていますか？

処 置 : FAX/TEL 切替の登録／設定内容を確認してください。

受信原稿の左右が欠ける

原因 1 : 手差しトレイのスライドガイドが用紙サイズにあわせてセットされていますか？

処 置 : スライドガイドを用紙サイズにあわせてセットしてください。

原因 2 : 手差しトレイの用紙サイズが正しく指定されていますか？

処 置 : 手差しトレイの用紙サイズを正しく指定してください。

原因 3 : 回転記録が「しない」に設定されていませんか？

処 置 : 回転記録を「する」に設定してください。(→ユーザーズ編)

プリントされた原稿にムラがある

原因 1 : トナーカートリッジのトナーがなくなりかけていませんか？

処 置 : トナーカートリッジを取りはずして、左右に5～6回ゆっくりかたむけてみてください。それでもだめなときは、新しいトナーカートリッジと交換してください。

原因 2 : 送信してきた相手機の読み取りガラスが汚れていませんか？

処 置 : コピー機能を使ってきれいにコピーできるときは、相手機に問題があります。相手に連絡して、相手機を清掃してもらってからもう一度送りなおしてもらってください。

用紙があるのにメモリ代行受信してしまう

原因 : オートカセット選択の登録／設定項目が正しく指定されていますか？

処 置 : オートカセット選択のファクス受信の項目を正しく指定してください。

親展受信できない

原因 1 : 親展ボックスは設定しましたか？

処 置 : 親展ボックスの設定内容を確認してください。

原因 2 : 相手は本商品の親展ボックスに登録してあるFコードとパスワードを正しく指定して送信してきていますか？

処 置 : 相手に連絡して確認してください。

ポーリング受信できない

原因 1 : 相手機のFコードやパスワードを正しく指定しましたか？

処 置 : 相手が登録しているFコードやパスワードを確認して、同じ番号を指定してください。

原因 2 : 相手機は自動受信状態になっていますか？

処 置 : 相手に連絡して確認してください。

原因 3 : 相手機に原稿がセットされていますか？

処 置 : 相手に連絡して確認してください。

その他のトラブル

送受信が遅い

原因 1 : 解像度が「ファイン」、「スーパーファイン」または「ウルトラファイン」に設定されていませんか？

処 置 : 標準設定にすると送信時間は短くなります。ただし、細かい文字などが読みにくくなることもあります。

原因 2 : 画質を「文字／写真」または「写真」に設定していませんか？

処 置 : 「画質」を押して「文字」を選択してください。

原因 3 : ECM 通信が「する」に設定されていませんか？

処 置 : ECM 方式は、エラーを訂正しながら通信するため、回線のトラブルなどがあると、通常の通信にくらべて時間がかかってしまうことがあります。ECM 通信を「しない」に設定してみてください。

情報サービスをうまく受けられない

原因 1 : トーンモードになっていますか？

処 置 : 「トーン」を押して、トーンモード (PB (プッシュ) 信号モード) にしてください。

原因 2 : 相手から受信状態にするなどの指示がありましたか？

処 置 : 最後に「スタート」を押してください。

メモリボックスを使った通信がうまくいかない

原因 1 : 相手の F コードやパスワードを正しく指定しましたか？

処 置 : ボックスごとに異なる F コードを設定してください。

エラー表示

送信・受信のときにエラーが発生すると、各種レポートにはエラーコードが表示されます。

- 📌 重要**
- 記載されている処置に従ってもエラーが解除されないときは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
 - ここに示した以外のエラーコードがプリントされた場合は、もう一度送りなおしていただき、それでも通信できない場合は、局番なしの113番にお問い合わせください。

#0001 原因：原稿がつまっている可能性があります。
処置：つまっている原稿を取り除いてください。

#0003 原因1：長さが1m以上の原稿をフィーダから送ろうとしました。
処置：原稿台ガラスから分割して送信しなおしてください。
原因2：データ量が大きすぎるため、1枚の原稿を送信するのに時間がかかってしまいます。
処置：読み取り時の解像度を下げて送信してください。
原因3：1枚の原稿を受信するのに時間がかかってしまいます。
処置：通信相手に、読み取り時の解像度を下げるか、原稿を分けて送信するように連絡してください。

#0005 原因1：相手が応答しませんでした。
処置：もう一度はじめからやりなおしてください。
原因2：相手機がG3以外の機種である可能性があります。
処置：相手に確認してください。

#0008 原因：ポーリング送信時にパスワードが一致しませんでした。
処置：相手に確認してください。

#0009 原因：用紙がないか記録紙カセットが正しくセットされていません。
処置：用紙を補給するか、あるいはカセットを正しくセットしなおしてください。

#0011 原因1：送信原稿が正しくセットされていませんでした。
処置：もう一度はじめからやりなおしてください。
原因2：相手機に原稿がセットされていないためポーリング受信できませんでした。
処置：相手に原稿をセットするように連絡してください。

-
- #0012** 原因：相手機用の紙がなかったため送信できませんでした。
処置：相手に用紙をセットするように連絡してください。
-
- #0018** 原因：リダイヤルしても応答がありませんでした。相手が通話中などでファクス信号が返ってこなかったために送信できませんでした。
処置：相手の状態を確認したあともう一度はじめからやりなおしてください。
-
- #0021** 原因：相手機が拒否したためポーリング受信できませんでした。
処置：相手に確認してもう一度はじめからやりなおしてください。
-
- #0022** 原因：複数の相手からポーリング受信するように設定されていましたが、相手を指定するときに使用したワンタッチまたは短縮ダイヤルの登録内容が削除されていました。
処置：ポーリング受信できなかった相手を確認し、再度ポーリング受信するための設定をしてください。
-
- #0025** 原因：F コードの登録に必要な送信方法がワンタッチ、短縮ダイヤルに設定されていますが、F コードが登録されていません。
処置：F コードを登録してください。
-
- #0033** 原因：相手機が F コードに対応していないため親展送信できません。
処置：相手に確認してください。
-
- #0034** 原因：相手機が拒否したため親展送信できませんでした。
処置：相手に確認してもう一度はじめからやりなおしてください。
-
- #0035** 原因：相手機が F コードに対応していないため中継指示送信できません。
処置：相手に確認してください。
-
- #0036** 原因：相手機が拒否したため中継指示送信できませんでした。
処置：相手に確認してもう一度やりなおしてください。
-
- #0037** 原因：メモリがいっぱいです。
処置：メモリ代行受信または親展受信などでメモリに記録された原稿をプリントしてください。
-

-
- #0059** 原因：ダイヤルした番号と相手機に登録してある番号が異なっていたため送信を中止しました。
処置：相手機に正しい電話番号が登録されているか確認してください。または、システム管理設定の相手先確認をしないに設定してください。
-
- #0080** 原因：相手機が F コードに対応していないため送信できません。
処置：相手に確認してください。
-
- #0081** 原因：相手機がパスワードに対応していないため送信できません。
処置：相手に確認してください。
-
- #0082** 原因：相手機が F コードに対応していないためポーリング受信できません。
処置：相手に確認してください
-
- #0083** 原因：ポーリング受信時に F コードやパスワードが一致しませんでした。
処置：相手に確認してください。
-
- #0084** 原因：相手機がパスワードに対応していないためポーリング受信できませんでした。
処置：相手に確認してください。
-
- #0102** 原因：送信時に F コードやパスワードが一致しませんでした。
処置：相手に確認してください。
-
- #0200** 原因：F ネットに接続できませんでした。
処置：F ネットの番号や指定サービスを確認してください。
-
- #0995** 原因：通信予約のクリア操作が行われました。
処置：必要に応じて、もう一度はじめから送信しなおしてください。
-

Q & A

本商品をお使いになるときに、便利に使う方法、トラブル回避方法を Q & A 形式でまとめました。

Q : 相手先に送信できなかった場合など、自動的に再送信を行うようにしたいのですが。

A : ユーザモードの自動リダイヤルを「する」に設定します。また、リダイヤルの回数や間隔などを、詳細に設定することができます。

Q : 操作部の節電スイッチが ON のときに送信されてきた文書はどうなりますか？

A : 送信されてきた文書を自動的に受信して、受信が終了すると文書がプリントされます。

Q : コピーをしているときに、ファクスが送られてきたらどうなりますか？

A : ファクスは自動的に受信されるので特別な操作をする必要はありません。そのままコピーを続けてください。

送信された文書は自動的に受信され、文書は内蔵のメモリに保存されます。

コピー作業の終了後、文書は自動的にプリントされます。

プリントの優先順位を変更することができます。(→ユーザーズ編)

Q : ファインモードで送信することが多いので、電源を入れたときや通信が終了したときに、いつもファインに戻るようにしたいのですが。

A : FAX ホームポジションで、解像度、画質、濃度はお好み状態（モード）を「標準モード」として登録できます。

Q : 受信した文書のプリント中に用紙づまりが起きました。受信した文書はどうなりますか？

A : 正常に出力されなかった場合、受信文書はメモリ内に保存されています。つまった用紙を取り除くと、用紙づまりが起きたページからプリントを再開します。

Q : 停電が起きた場合、メモリ内の文書の登録内容はどうなりますか？

A : 停電が起きてもメモリ内に保存されている文書は、メモリ容量により異なりますが、約 1 時間保存されています。

また、電話帳の登録内容も保存されています。

ただし、受信中に停電が起きた場合は、その文書はメモリ内に保存されません。

- Q :** タイマー送信の設定をしたけれど、電源は切ってもいいのですか？
- A :** 本商品を使用しない時間帯は、[節電] を押して節電モードにできます。主電源のスイッチは入れておいてください。
- タイマー送信が設定された文書は、指定した時間になれば、本商品のメモリから自動的に送信されます。

MEMO

7

困ったときには

付録

8

CHAPTER

ここでは、宛先、設定内容、および送受信の結果のレポートのサンプルを記載しています。

レポートサンプル.....	8-2
ワンタッチ宛先リスト 1 (一覧表示)	8-2
ワンタッチ宛先リスト 2 (詳細表示)	8-3
短縮宛先リスト 1 (一覧表示)	8-4
短縮宛先リスト 2 (詳細表示)	8-4
グループ宛先リスト	8-5
アクセスコードリスト	8-5
ユーザデータリスト	8-6
通信管理レポート	8-7
送(受)信結果レポート	8-8
エラー送信レポート	8-9
親展受信レポート	8-9
マルチ通信結果レポート	8-10
中継同報結果レポート	8-10
親展ボックスリスト	8-10
原稿リスト	8-11
メモリクリアリスト	8-11
索引.....	8-12

レポートサンプル

宛先、設定内容、および送受信の結果をレポートで確認できます。

ワンタッチ宛先リスト 1 (一覧表示)

ワンタッチダイヤルに登録された宛先の一覧がプリントされます。

プリントのしかたは、「登録・設定した内容をプリントする」(→ P.5-145) を参照してください。

2001 11/12 17:23 FAX 0333333333		開発		001	
***** *** ワンタッチ宛先リスト *** *****					
番号	相手先アドレス	相手先略称	送信方法	☎	
[04]	0312343333	営業	通常送信		
[03]	0312342222	開発	通常送信		
[06]	0488123456	埼玉	通常送信		
[07]	グループダイヤル	支店Aグループ			
[08]	グループダイヤル	支店Bグループ			
[05]	0521234567	東海	通常送信		
[02]	0312341111	東京	通常送信		
[01]	0112341111	北海道	通常送信		

8

付録

ワンタッチ宛先リスト2 (詳細表示)

ワンタッチダイヤルに登録された宛先ごとに、詳細情報がプリントされます。
 プリントのしかたは、「登録・設定した内容をプリントする」(→ P.5-145) を参照してください。

2001 11/12 17:23 FAX 0333333333	開発	001
***** *** ワンタッチ宛先リスト2 *** *****		
[04]	相手先アドレス 相手先略称 国際送信設定 送信スピード 送信方法 ECM通信 送信回線選択 アクセスコード	0312343333 営業 国内送信 33600bps 通常送信 する 自動 222
[03]	相手先アドレス 相手先略称 国際送信設定 送信スピード 送信方法 ECM通信 送信回線選択 アクセスコード	0312342222 開発 国内送信 33600bps 通常送信 する 自動 555
[06]	相手先アドレス 相手先略称 国際送信設定 送信スピード 送信方法 ECM通信 送信回線選択	0488123456 埼玉 国内送信 33600bps 通常送信 する 自動
[07]	相手先アドレス	グループダイヤル
[08]	相手先アドレス	グループダイヤル
[05]	相手先アドレス 相手先略称 国際送信設定 送信スピード 送信方法 ECM通信 送信回線選択 アクセスコード	0521234567 東海 国内送信 33600bps 通常送信 する 自動 333
[02]	相手先アドレス 相手先略称 国際送信設定 送信スピード 送信方法 ECM通信 送信回線選択 アクセスコード	0312341111 東京 国内送信 33600bps 通常送信 する 自動 111
[01]	相手先アドレス 相手先略称 国際送信設定 送信スピード 送信方法 ECM通信 送信回線選択 アクセスコード	0112341111 北海道 国内送信 33600bps 通常送信 する 自動 444

短縮宛先リスト 1 (一覧表示)

短縮ダイヤルに登録された宛先の一覧がプリントされます。

プリントのしかたは、「登録・設定した内容をプリントする」(→ P.5-145)を参照してください。

2001 11/12 17:23 FAX 0333333333		開発		001	
***** *** 短縮宛先リスト1 *** *****					
番号	相手先アドレス	相手先略称	送信方法		
[*001]	0488123456	埼玉	通常送信		
[*002]	0521234567	東海	通常送信		
[*003]	0762123456	北陸	通常送信		
[*000]	0111234567	北海道	通常送信		

短縮宛先リスト 2 (詳細表示)

短縮ダイヤルに登録された宛先ごとに、詳細情報がプリントされます。

プリントのしかたは、「登録・設定した内容をプリントする」(→ P.5-145)を参照してください。

2001 11/12 17:24 FAX 0333333333		開発		001	
***** *** 短縮宛先リスト2 *** *****					
[*001]	相手先アドレス 相手先略称 国際送信設定 送信スピード 送信方法 ECM通信 送信回線選択	048123456 埼玉 国内送信 33600bps 通常送信 する 自動			
[*002]	相手先アドレス 相手先略称 国際送信設定 送信スピード 送信方法 ECM通信 送信回線選択	0521234567 東海 国内送信 33600bps 通常送信 する 自動			
[*003]	相手先アドレス 相手先略称 国際送信設定 送信スピード 送信方法 ECM通信 送信回線選択	0762123456 北陸 国内送信 33600bps 通常送信 する 自動			
[*000]	相手先アドレス 相手先略称 国際送信設定 送信スピード 送信方法 ECM通信 送信回線選択	0111234567 北海道 国内送信 33600bps 通常送信 する 自動			

グループ宛先リスト

グループダイヤルに登録された宛先の一覧がプリントされます。

プリントのしかたは、「登録・設定した内容をプリントする」(→ P.5-145)を参照してください。

2001 11/12 17:24 FAX 0333333333		開発	001
***** *** グループ宛先リスト *** *****			
[07] 支店Aグループ	[01] 0112341111		北海道
	[02] 0312341111		東京
[08] 支店Bグループ	[03] 0312342222		開発
	[04] 0312343333		営業

アクセスコードリスト

登録されたアクセスコードの一覧がプリントされます。

プリントのしかたは、「登録・設定した内容をプリントする」(→ P.5-145)を参照してください。

2001 11/12 17:24 FAX 0333333333		開発	001	
***** *** アクセスコードリスト *** *****				
番号	相手先アドレス	相手先略称	送信方法	④
#111	0312341111	東京	通常送信	
#222	0312343333	営業	通常送信	
#333	0521234567	東海	通常送信	
#444	0112341111	北海道	通常送信	
#555	0312342222	開発	通常送信	

ユーザデータリスト

ユーザモードで設定した項目の一覧がプリントされます。

プリントのしかたは、「登録・設定した内容をプリントする」(→ P.5-145)を参照してください。

2001 11/11 15:30 FAX 0312341111		キヤノン	001
***** *** ユーザデータリスト *** *****			
1. 共通仕様設定			
初期モード設定		コピー	
オートクリア後のモード切替		初期モードに戻す	
音量調整			
キータッチ音量		鳴らす	
音量		1	
アラーム音量		鳴らす	
音量		1	
送信終了音量		エラー時のみ鳴らす	
音量		1	
受信終了音量		エラー時のみ鳴らす	
音量		1	
プリント終了音量		エラー時のみ鳴らす	
音量		1	
読取終了音量		鳴らす	
音量		1	
着信呼び出し音量		鳴らす	
音量		2	
オートカセット選択			
5. システム管理設定			
システム管理者情報			
システム管理部門ID		1234567	
メールアドレス		kato@nttabc.com	
部門別ID管理		しない	
電話制限		する	
IPアドレス自動取得		自動	
DHCP		OFF	
BOOTP		OFF	
RARP		OFF	
IPアドレス		192.168.203.042	
サブネットマスク		255.255.255.000	
デフォルトゲートウェイ		192.168.203.001	
DNSサーバーアドレス		192.168.212.013	
DNS動的更新		する	
ホスト名		Y3_IR2000F	
ドメイン名		shimadzu.com	

通信管理レポート

通信相手との通信結果の一覧がプリントされます。

プリントのしかたは、「通信管理レポートをプリントする」(→P.4-12)を参照してください。

2001 11/12 17:35 FAX 0333333333		開発		001	
***** *** 通信管理レポート *** *****					
開始時刻	相手先	番号	通信モード	枚数	通信結果
11/26 13:35		0001	送信	:1	0 NG 00'00 0 #0995
11/26 13:47	0333333333	0002	送信	:1	0 NG 00'00 0 #0018
11/26 13:55	0322222222	0003	送信	:1	0 NG 00'00 0 #0018
11/26 13:57	0344444444	0004	送信	:1	0 NG 00'00 0 #0018
11/26 13:59	0344444444	0005	送信	:1	0 NG 00'00 0 STOP
11/26 14:02		5001	自動受信	:2	0 NG 00'35 0 STOP
11/26 14:03		5002	自動受信	:2	0 NG 00'08 0 STOP
11/26 14:04	0344444444	0006	送信	:1	0 NG 00'00 0 STOP
11/26 14:12		0007	送信	:1	0 NG 00'00 0 #0995
11/26 14:51	0311111111	0008	送信	:1	0 NG 00'00 0 #0018
11/26 14:59	0311111111	0009	送信 ECM	:1	1 OK 00'16
11/12 14:02	0311111111	0010	送信 ECM	:1	1 OK 00'11
11/12 14:24	0311111111	5003	自動受信 ECM	:1	1 OK 00'13
11/12 14:26	0311111111	5004	自動受信 ECM	:1	1 OK 00'14
11/12 14:39	99	0011	ボ-リング受信 G3	:1	0 NG 00'00 0 #0018
11/12 15:46	北海道 0112341111	0012	ボ-リング受信 G3	:1	0 NG 00'36 0 #0018
11/12 15:48	北海道 0112341111	0013	ボ-リング受信 G3	:1	0 NG 00'35 0 #0018
11/12 15:51	北海道 0112341111	0014	ボ-リング受信 G3	:1	0 NG 00'35 0 #0018
11/12 16:02	北海道 0112341111	0015	ボ-リング受信 G3	:1	0 NG 00'35 0 #0018
11/12 16:03	北海道 0112341111	0016	ボ-リング受信 G3	:1	0 NG 00'36 0 #0018
11/12 16:04	北海道 0112341111	0017	ボ-リング受信 G3	:1	0 NG 00'00 0 #0018
11/12 16:09	0312341111	0018	ボ-リング受信 G3	:1	0 NG 00'36 0 #0018

- メモ** ● 節電モードの消費電力が「01 少ない」に設定されているとき、節電モード中に受信された文書は節電モードから復帰後にプリントされますが、通信管理レポートの通信モード欄には「代行受信」と記録されることがあります。(→ユーザーズ編)

送(受)信結果レポート

1回の通信ごとに通信相手との通信結果がプリントされます。
プリントのしかたは、「通信レポート出力の設定をする」(→ P.5-4-1) を参照してください。

2001 11/12 18:03 FAX 0333333333	開発	001
***** *** 送信結果レポート *** *****		
次の送信は正しく終了しました		
受付番号	0022	
相手先アドレス	0311111111	
相手先略称		
開始時刻	11/12 18:03	
通信時間	00'11	
枚数	1	
通信結果	OK	

2001 11/12 15:49 FAX 0333333333	開発	001
***** *** 受信結果レポート *** *****		
次の送信は正しく終了しました		
受付番号	0013	
相手先アドレス	0112341111	
相手先略称	北海道	
開始時刻	11/12 15:48	
通信時間	00'35	
枚数	1	
通信結果	OK	

エラー送信レポート

1回のエラー送信ごとにエラー送信結果がプリントされます。
プリントのしかたは、「通信レポート出力の設定をする」(→ P.5-41)を参照してください。

2001 11/26 13:56 FAX 0311111111	開発	001
***** *** エラー送信レポート *** *****		
次の送信はエラー終了しました		
受付番号	0003	
相手先アドレス	0322222222	
相手先略称		
開始時刻	11/26 13:55	
通信時間	00'00	
枚数	0	
通信結果	NG	#0018 話中でした

親展受信レポート

1回の親展ボックス受信ごとに受信結果がプリントされます。
プリントのしかたは、「通信レポート出力の設定をする」(→ P.5-41)を参照してください。

2001 11/12 17:35 FAX 0333333333	開発	001
***** *** 親展受信レポート *** *****		
親展ボックス番号	#01	
親展ボックス名称	親展	
受付番号	5005	
相手先アドレス	0311111111	
ポート		1111
相手先略称		
開始時刻	11/12 17:35	
通信時間	00'14	
枚数	1	
通信結果	OK	

マルチ通信結果レポート

1回の同報送信ごとに送信結果がプリントされます。

プリントのしかたは、「複数の相手に同じ文書を送信する（同報送信）」（→ P.3-2）を参照してください。

2001 11/12 17:37 FAX 0333333333	開発	001
***** *** マルチ通信結果レポート *** *****		
受付番号	0036	
枚数	2	
未通信相手先	-----	北海道
終了相手先	[01]0112341111	東京
	[02]0312341111	
エラー相手先	-----	

中継同報結果レポート

1回の中継同報送信ごとに中継指示機側で送信結果がプリントされます。

プリントのしかたは、「中継ボックスを設定する」（→ P.5-86）を参照してください。

2001 11/12 17:37 FAX 0333333333	開発	001
***** *** 中継同報結果レポート *** *****		
受付番号	5001	
枚数	1	
未通信相手先アドレス	-----	大阪
終了相手先アドレス	[01]06 1234 5678	東京
	[02]03 1234 1111	
エラー相手先アドレス	-----	

親展ボックスリスト

親展ボックスでの通信結果の一覧がプリントされます。

プリントのしかたは、「親展ボックスリストをプリントする」（→ P.4-10）を参照してください。

2001 11/12 17:37 FAX 0333333333		開発	001
***** ** 親展ボックスリスト ** *****			
親展ボックス番号	親展ボックス名称	枚数	
01	親展	1	

原稿リスト

受付番号ごとの通信結果の一覧がプリントされます。
 プリントのしかたは、「原稿リストをプリントする」(→ P.4-4)を参照してください。

2001 11/12 17:38 FAX 0333333333		開発	001			
***** ** 原稿リスト ** *****						
受付番号	通信モード	相手先	枚数	受付時刻	開始時刻	発信人名称
0019	送信	0333333333	1	11/12 17:38		
5005	親展受信		1	11/12 17:35	-----	

メモリクリアリスト

メモリをクリアする直前のメモリ内の文書一覧がプリントされます。

2001 11/12 10:32 FAX 0333333333		開発	001			
***** ** メモリクリアリスト ** *****						
次の通信予約またはメモリはクリアされました						
受付番号	通信モード	相手先	枚数	受付時刻	開始時刻	発信人名称
0011	タイマ-送信	[01]北海道	1	11/12 10:27	12:00	開発
0012	タイマ-同報	[01]北海道	5	11/12 10:28	15:00	
		[04]営業			15:00	
0013	タイマ-送信		1	11/12 10:29	18:00	開発
0014	タイマ-送信	[04]営業	10	11/12 10:30	15:30	開発

索引

英数字

2 in 1 記録	5-68
ECM	2-19, 5-48
FIS スイッチ	5-143
F コード	3-20
F ネット	2-34
F ネット無鳴動着信	5-142
ID (暗証)	1-5
OK	1-5, 1-6

あ

アクセスコード	5-140, 2-16
アクセスコードリスト	8-5
エラー送信レポート	8-9
エラーランプ	1-5
お好みキー 1 ~ 4	1-5
オンフック	1-4

か

回線種別	1-9
回線選択	1-5
回転送信	5-57
解像度	2-5
拡張通信	1-6
画質	2-6
画面コントラストダイヤル	1-4
クリア	1-4, 1-6
グループ宛先リスト	8-5
グループダイヤル	2-16

原稿リスト	4-4
コピー応用モード	1-5
コピー／ファクス状況	1-4
コピー／ファクス／拡張	1-4

さ

削除	1-6
指示元制限	5-86
自動受信	3-26
自動リダイヤル	2-18
受信パスワード	5-133
受信モード	1-6
主電源ランプ	1-5
手動受信	3-26
手動送信	2-8
手動リダイヤル	2-19
親展受信レポート	8-9
親展ボックス	3-16
親展ボックスリスト	8-10
スタート	1-5
スタンブ	1-6
ストップ	1-5
スピーカ音量スイッチ	1-6
スペース	1-6
済スタンブ	2-14
節電	1-4
送出電話番号	5-20
増設 G3 通信ユニット	6-1
送(受)信結果レポート	8-8
ソート	1-5

た

タイマー通信	1-6, 3-4
タイマー送信	3-4
ダイヤルインサービス	5-10
ダイヤルタイムアウト	5-55

ダイレクト送信	1-5, 2-8
ダイレクト送信ランプ	1-5
短縮	1-4
短縮宛先リスト1 (一覧表示)	8-4
短縮宛先リスト2 (詳細表示)	8-4
短縮ダイヤル	2-16
中継同報結果レポート	8-10
中継ボックス	3-17
通信管理レポート	4-12, 8-7
通話中/メモリーランプ	1-5
ディスプレイ	1-4
手差しサイズ指定	1-6
テンキー	1-4
テンキーダイヤル	2-16
転送	1-6
転送ボックス	3-19
電話帳	1-4, 2-16
同報送信	3-2
トーン	1-4

な

濃度	2-6
----------	-----

は

発信人名称	1-6, 3-25
発信元記録	1-9
標準モード	5-136
ファンクションボタン (F1 ~ F4)	1-5
プッシュホンサービス	2-33
プログラムワンタッチキー	5-23
ポーズ/リダイヤル	1-4
ポーリング受信	3-7, 3-18
ポーリングボックス	3-18

ま

マルチ通信結果レポート	8-10
メモリ受信	1-6
メモリ照会	1-6
メモリ送信	2-8
メモリボックス	3-11
戻る	1-5

や

ユーザデータリスト	8-6
ユーザ電話番号	5-7
ユーザモード	1-5
ユーザ略称	5-14

ら

リセット	1-4
リダイヤル	2-16
リモート受信	5-65
留守	3-26
レポート	1-6

わ

割り込み	1-5
ワンタッチ宛先	2-20
ワンタッチ宛先リスト1 (一覧表示)	8-2
ワンタッチ宛先リスト2 (詳細表示)	8-3
ワンタッチダイヤル	1-5, 2-16
ワンタッチダイヤルパネル	1-5, 2-20

MEMO

8

付録

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明な点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センターへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センター：トークニーナ
☎0120-109217

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

